

令和7年度 市民意識調査
報告書

令和8年3月
加古川市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	回答者の属性	2
2	定住意向とこのまち（加古川市）に対する誇りや愛着について	6
	（1）定住意向	6
	（2）転居したい理由	9
	（3）市内で希望する居住場所	15
	（4）市外で希望する居住場所	18
	（5）このまち（加古川市）に対する誇りや愛着の程度	22
3	市の施策に対する満足度・重要度	25
	「3 市の施策に対する満足度・重要度」のグラフの見方	26
	3-1 心豊かに暮らせるまち	28
	3-2 安心して暮らせるまち	51
	3-3 活力とにぎわいのあるまち	72
	3-4 快適なまち	85
	3-5 うるおいのあるまち	110
	3-6 まちづくりの進め方	123
4	「防災」及び「防犯」対策への取組について	132
	（1）「防災」対策として取り組んでいること	132
	（2）「防犯」対策として取り組んでいること	136
5	子育てと仕事に関することについて	140
	（1）加古川市が子育てしやすいまちだと感じるか	140
	（2）加古川市が子育てしやすいまちだと感じない理由	143
	（3）子育てと仕事の両立についての理解	149
6	協働のまちづくりについて	158
	（1）市民活動の参加状況	158
	（2）市民活動への参加意向	161
7	SDGs（エス・ディー・ジーズ）の取組について	165
	（1）SDGsの認知度	165
	（2）SDGsを意識した行動を行っているか	169
8	市政などに関する情報の認知状況	172

9	その他	173
	(1) 自由回答	173
Ⅲ	総括	178
1	経年比較	178
	(1) 回答者の性別・年齢について	178
	(2) 定住意向について	179
	(3) 市の施策に対する満足度（「満足」＋「やや満足」）について	182
	(4) 防災対策について	191
	(5) 防犯対策について	191
	(6) 加古川市が子育てしやすいまちだと感じるか	192
	(7) 子育てと仕事の両立についての理解について	192
	(8) 市民活動の参加状況について	192
	(9) 市民活動の参加意向について	193
	(10) SDGs（エス・ディー・ジーズ）の認知度について	193
	(11) SDGsを意識した行動を行っているか	193
	(12) 加古川市の取組等の認知度について	194
2	考察	195

I 調査の概要

1 調査の目的

加古川市総合計画（計画期間：令和3年度から令和8年度まで）に掲げた施策に対する市民の満足度と重要度などの意識を調査することにより、総合計画の進行管理を行うとともに、今後の施策展開に活用することを目的に実施した。

2 調査対象

加古川市在住の満18歳以上の市民の中から4,500人（住民基本台帳から無作為抽出）

3 調査期間

令和7年12月19日（金）から令和8年1月6日（火）まで

4 調査方法

郵送による配布・回収及びWEBによる回答

5 回収状況

配布数	回収数	回収率
4,500通	1,663通	37.0%

6 調査結果の表示方法

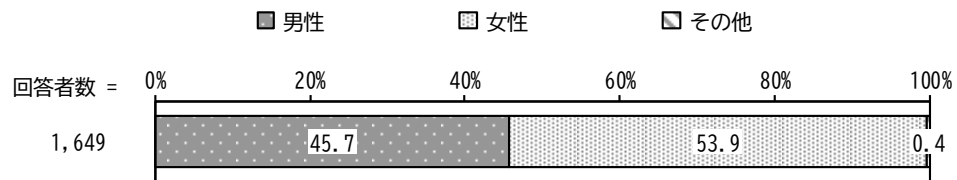
- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

Ⅱ 調査結果

1 回答者の属性

(1) 性別

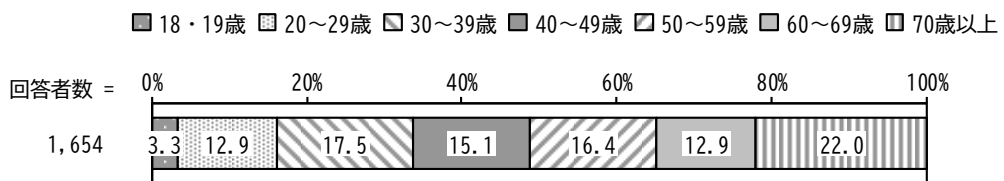
「男性」の割合が45.7%、「女性」の割合が53.9%となっています。



※「不明・無回答」を除く

(2) 年齢

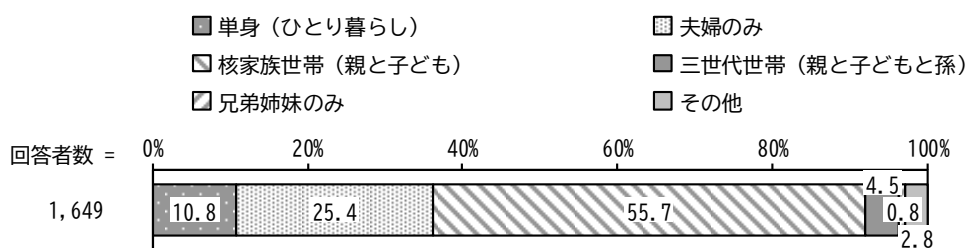
「70歳以上」の割合が22.0%と最も高く、次いで「30～39歳」の割合が17.5%、「50～59歳」の割合が16.4%となっています。



※「不明・無回答」を除く

(3) 家族構成

「核家族世帯（親と子ども）」の割合が55.7%と最も高く、次いで「夫婦のみ」の割合が25.4%、「単身（ひとり暮らし）」の割合が10.8%となっています。

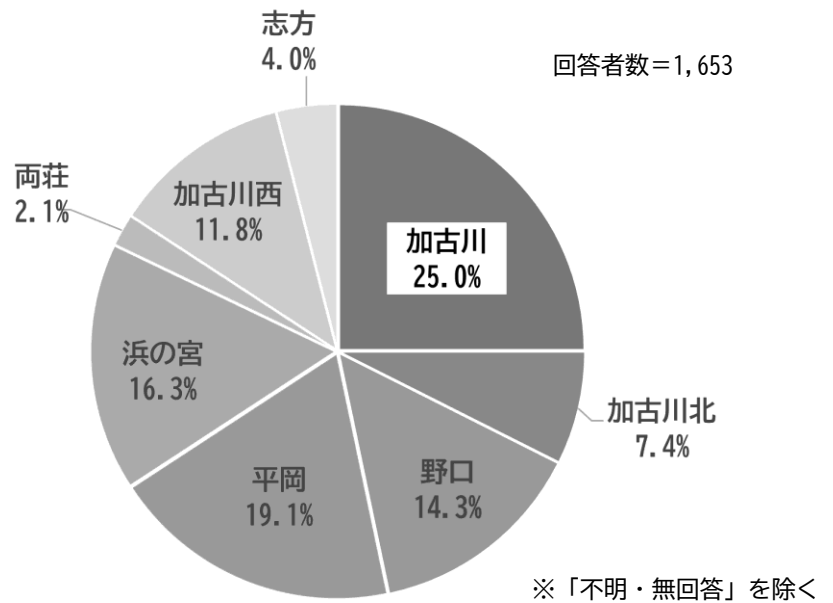


※「不明・無回答」を除く

(4) 居住地域

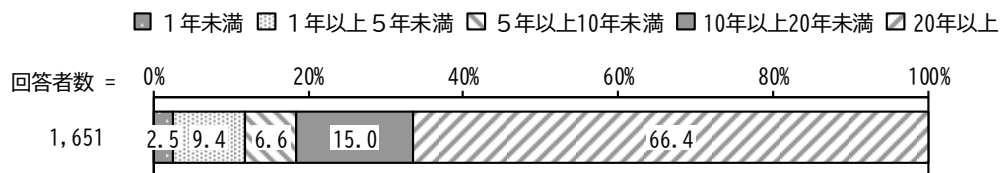
「加古川」の割合が25.0%と最も高く、次いで「平岡」の割合が19.1%、「野口」の割合が14.3%となっています。

居住地区	町名等
加古川	加古川町
加古川北	神野町 新神野 西条山手 山手 八幡町
野口	野口町
平岡	平岡町
浜の宮	尾上町 別府町
両荘	平荘町 上荘町
加古川西	東神吉町 西神吉町 米田町
志方	志方町



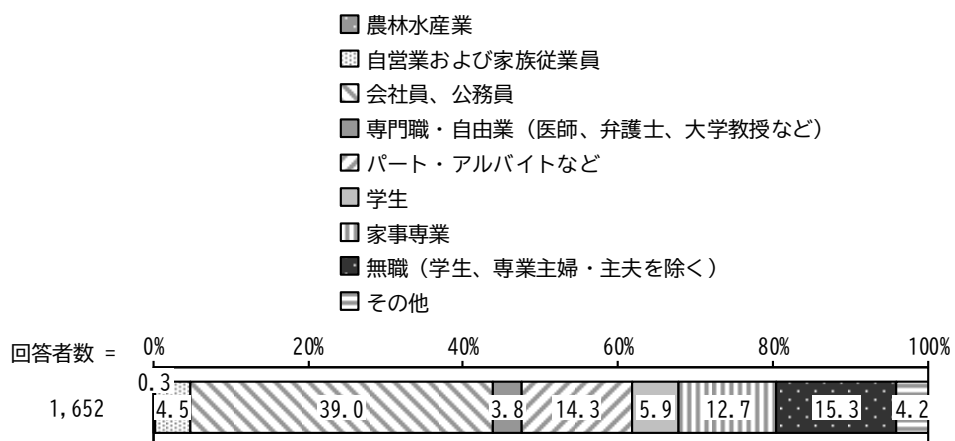
(5) 居住年数

「20年以上」の割合が66.4%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」の割合が15.0%となっています。



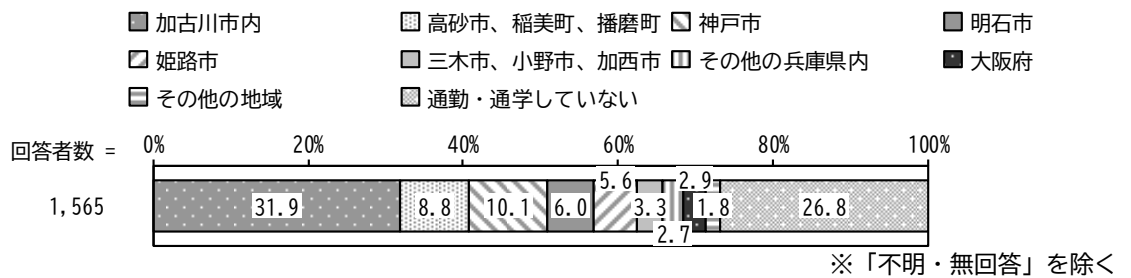
(6) 職業

「会社員、公務員」の割合が39.0%と最も高く、次いで「無職（学生、専業主婦・主夫を除く）」の割合が15.3%、「パート・アルバイトなど」の割合が14.3%となっています。



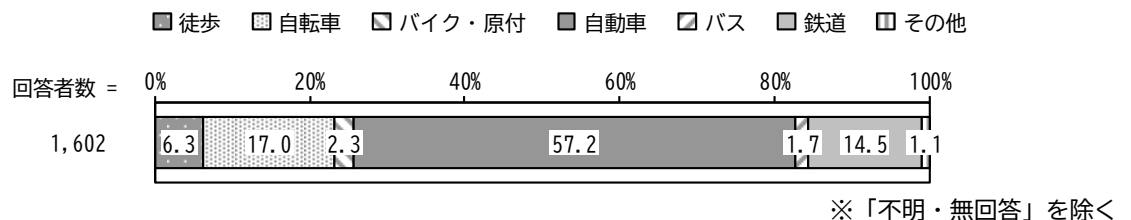
(7) 通勤・通学先

「加古川市内」の割合が31.9%と最も高く、次いで「通勤・通学していない」の割合が26.8%、「神戸市」の割合が10.1%となっています。



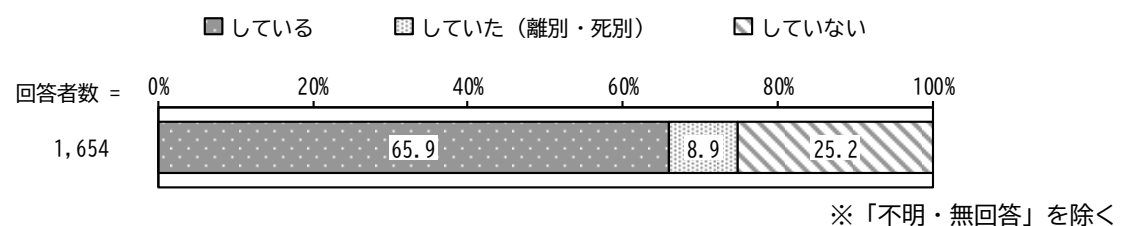
(8) 普段利用する交通手段

「自動車」の割合が57.2%と最も高く、次いで「自転車」の割合が17.0%、「鉄道」の割合が14.5%となっています。



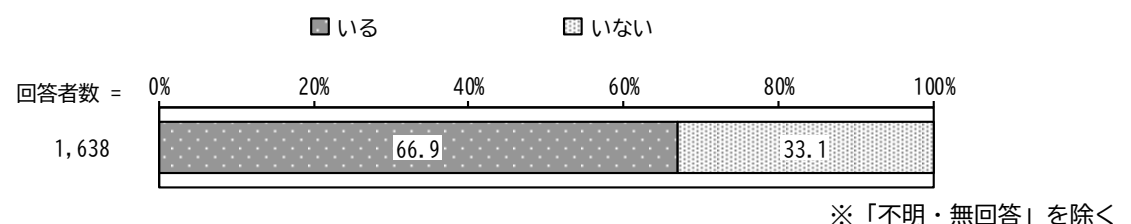
(9) 結婚の経験

「している」の割合が65.9%、「していた（離別・死別）」の割合が8.9%、「していない」の割合が25.2%となっています。



(10) 子どもの有無

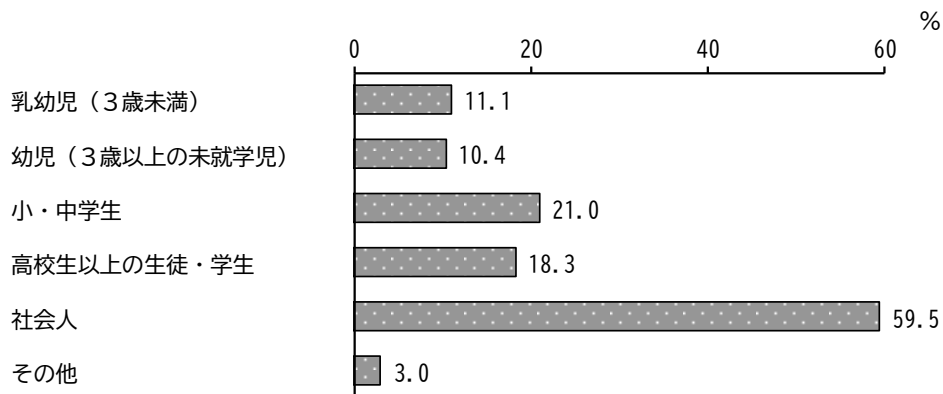
「いる」の割合が66.9%、「いない」の割合が33.1%となっています。



(11) 子どもの年齢・人数

「社会人」の割合が 59.5%と最も高く、次いで「小・中学生」の割合が 21.0%、「高校生以上の生徒・学生」の割合が 18.3%となっています。

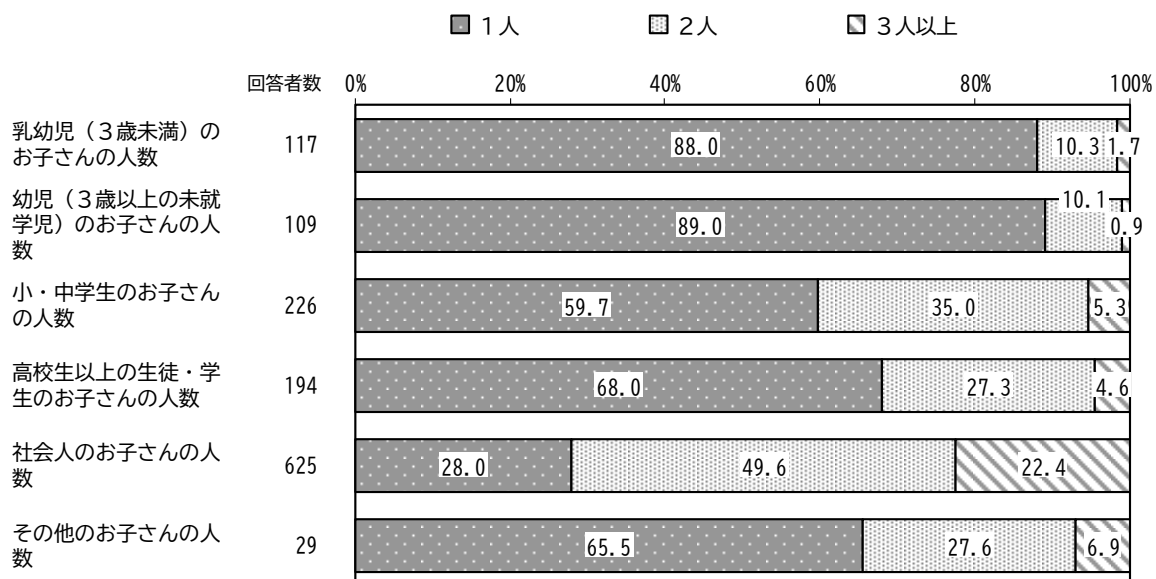
回答者数 = 1,081



※「不明・無回答」を除く

子どもの人数

『幼児 (3歳以上の未就学児) のお子さんの人数』で「1人」が、『社会人のお子さんの人数』で「2人」「3人以上」が高くなっています。

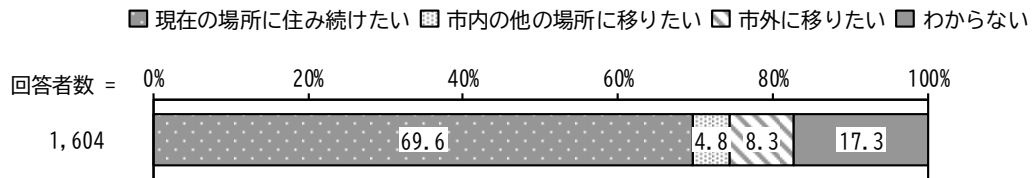


2 定住意向とこのまち（加古川市）に対する誇りや愛着について

（1）定住意向

問2 あなたは、現在お住まいの場所にこれからも住み続けたいと思いますか。（○は1つ）

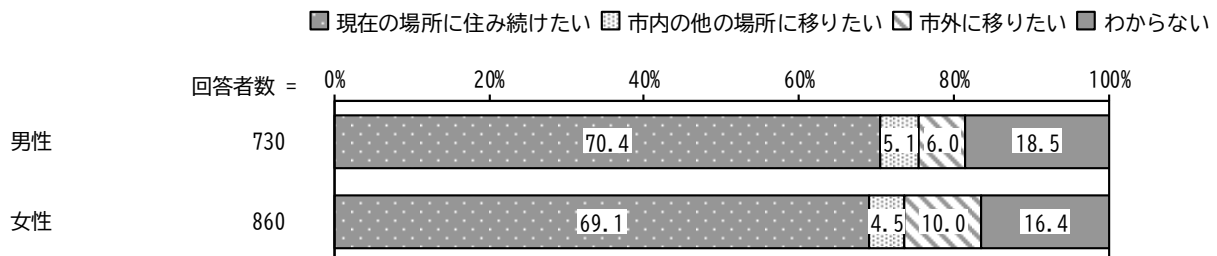
「現在の場所に住み続けたい」の割合が69.6%、「市内の他の場所に移りたい」の割合が4.8%、「市外に移りたい」の割合が8.3%となっています。



※「不明・無回答」を除く

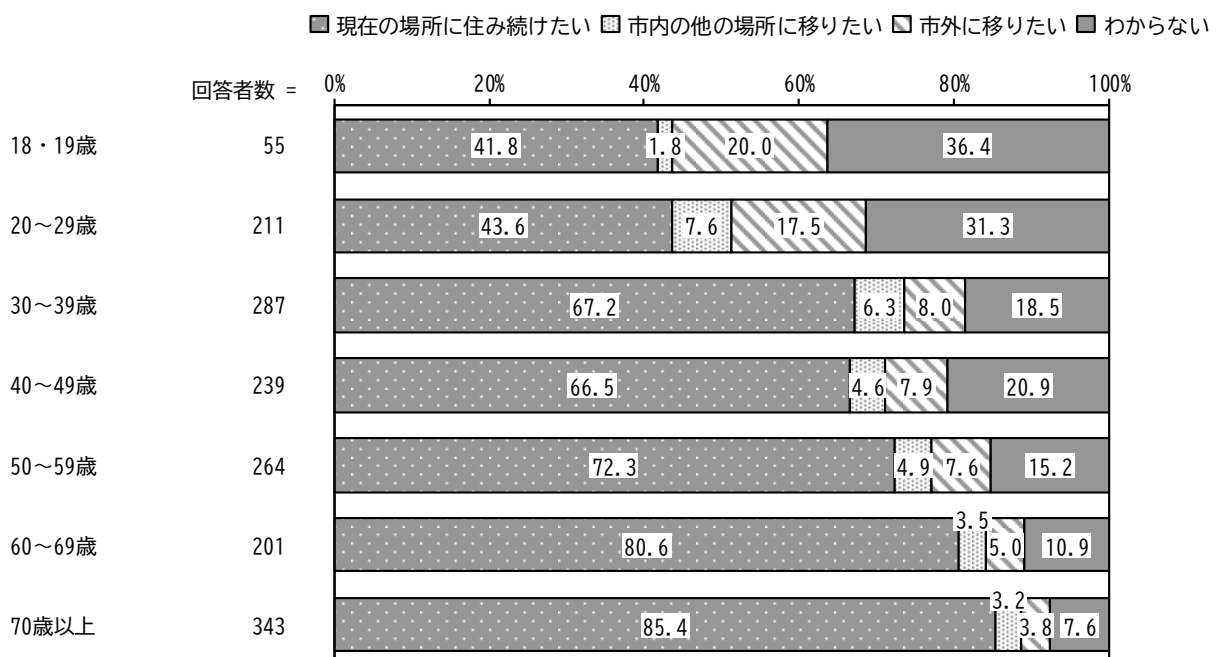
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



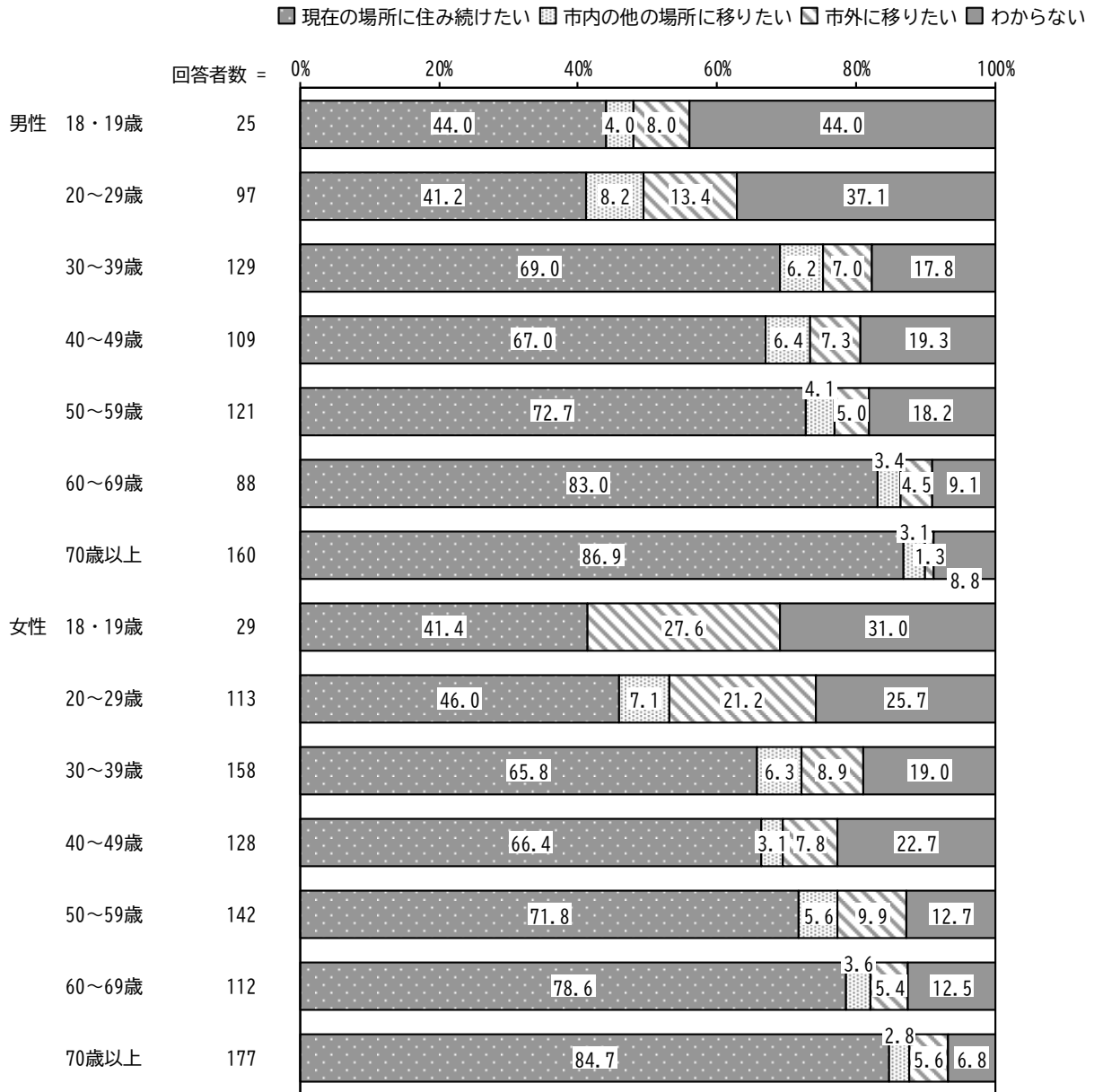
【年代別】

年代別にみると、年代が上がるほど「現在の場所に住み続けたい」の割合が高い傾向にあり、「市外に移りたい」の割合が低くなっています。



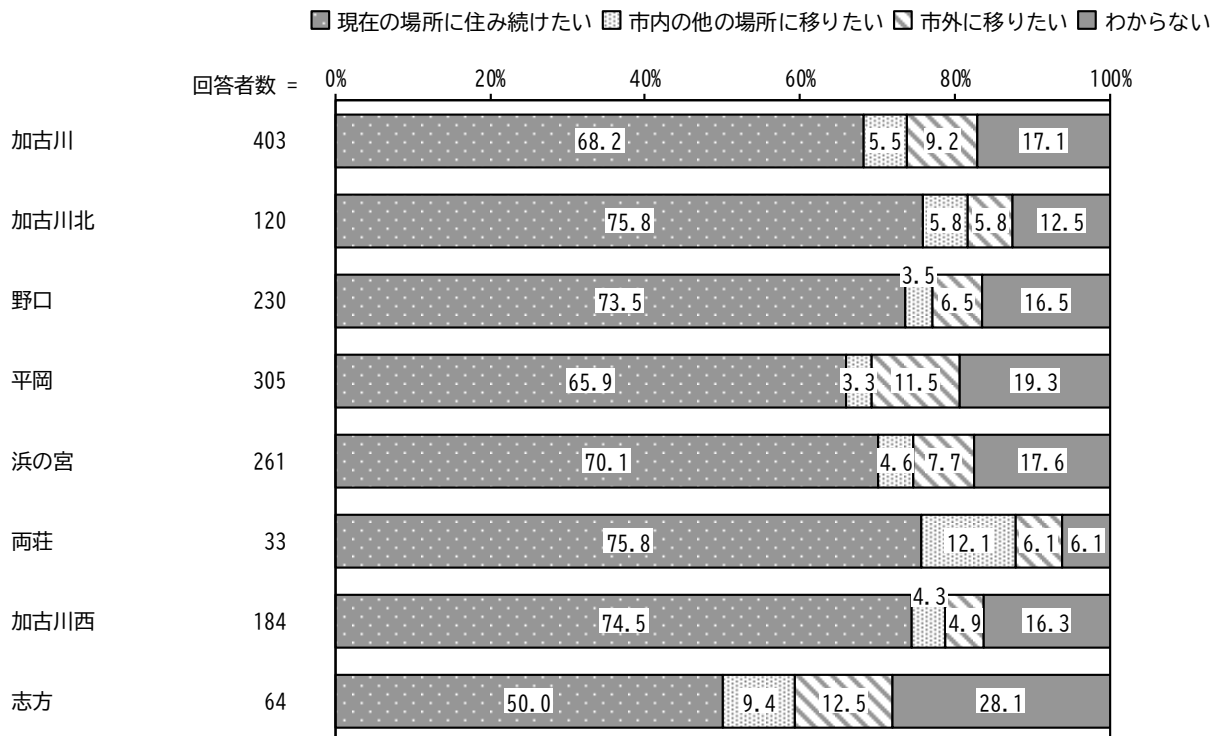
【性・年代別】

性・年代別にみると、男性 70 歳以上、女性 70 歳以上で「現在の場所に住み続けたい」、女性 18・19 歳で「市外に移りたい」の割合が高くなっています。



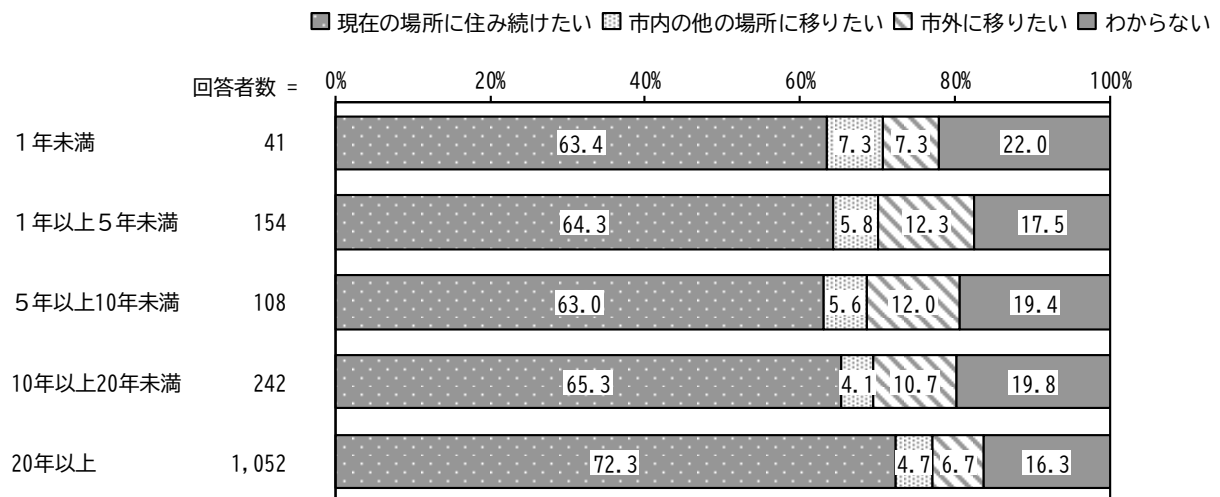
【居住地区別】

居住地区別にみると、加古川北、両荘で「現在の場所に住み続けたい」の割合が高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、20年以上で「現在の場所に住み続けたい」の割合が高くなっています。

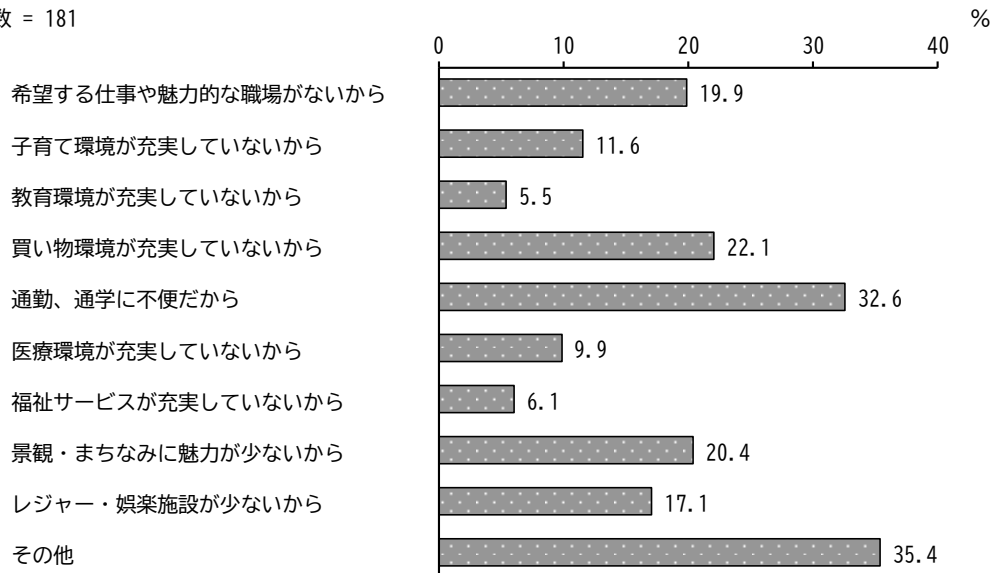


(2) 転居したい理由

問2-① 問2で「市内の他の場所に移りたい」または「市外に移りたい」を選ばれた方におたずねします。現在お住まいの場所から移りたいと思う理由は何ですか。(〇は3つまで)

「通勤、通学に不便だから」の割合が 32.6%と最も高く、次いで「買い物環境が充実していないから」の割合が 22.1%、「景観・まちなみに魅力が少ないから」の割合が 20.4%となっています。

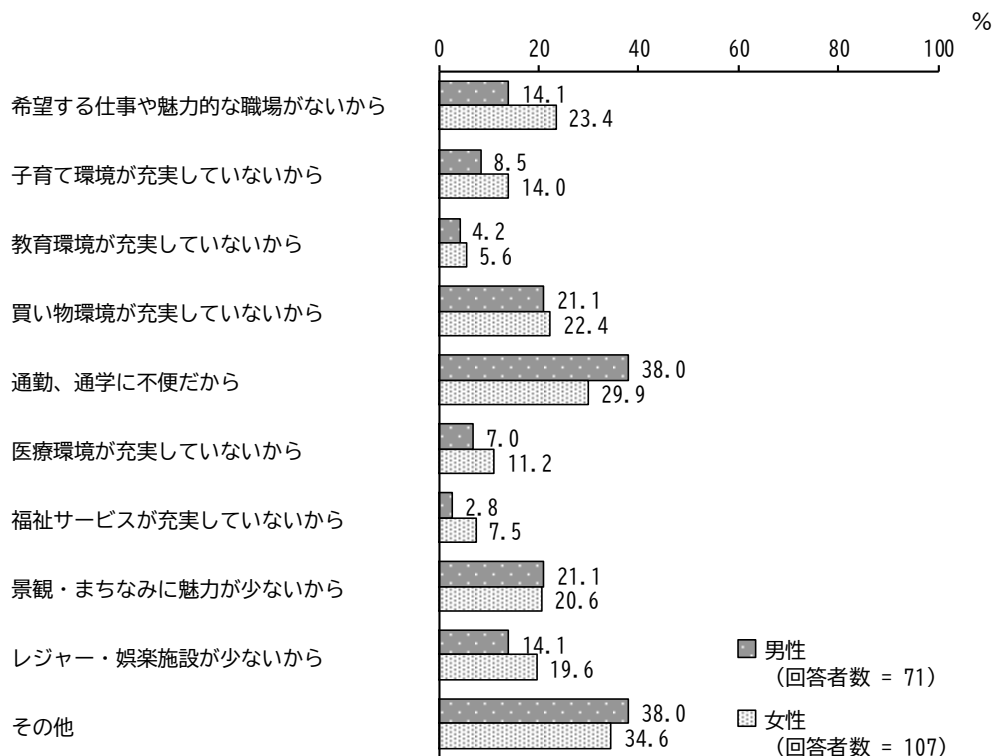
回答者数 = 181



※「不明・無回答」を除く

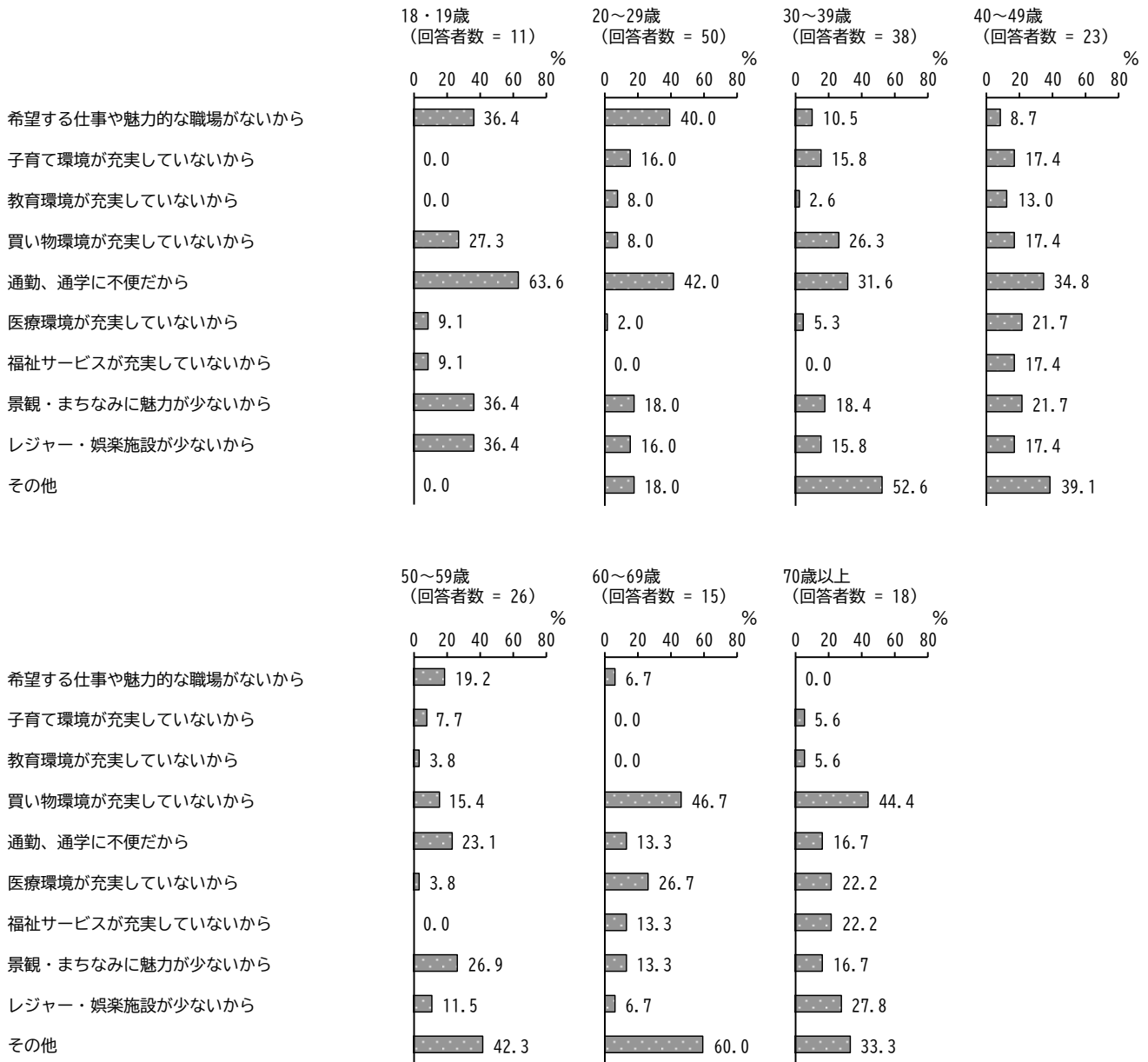
【性別】

性別にみると、男性で「通勤、通学に不便だから」の割合が高く、女性で「希望する仕事や魅力的な職場がないから」「子育て環境が充実していないから」「レジャー・娯楽施設が少ないから」の割合が高くなっています。



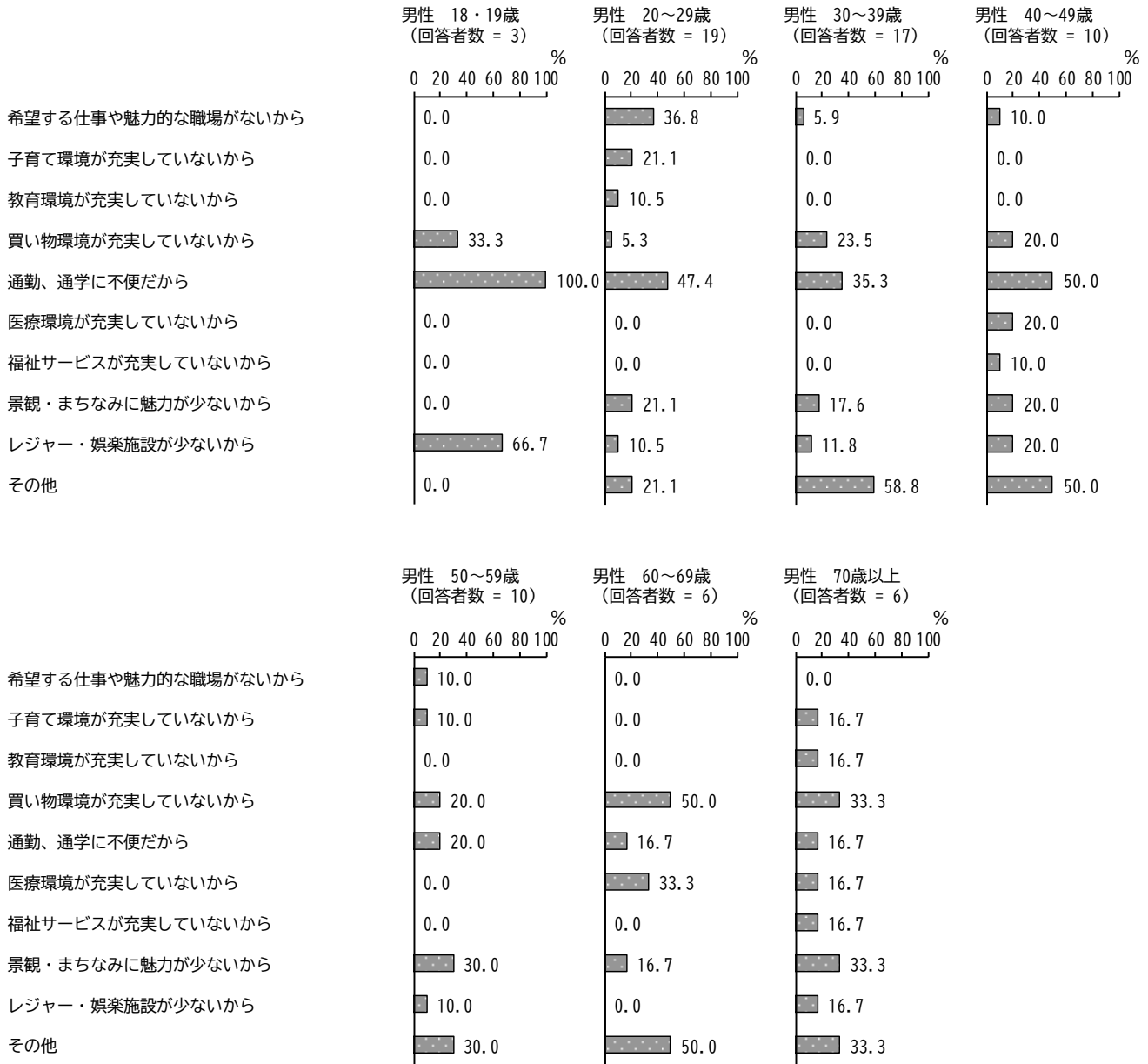
【年代別】

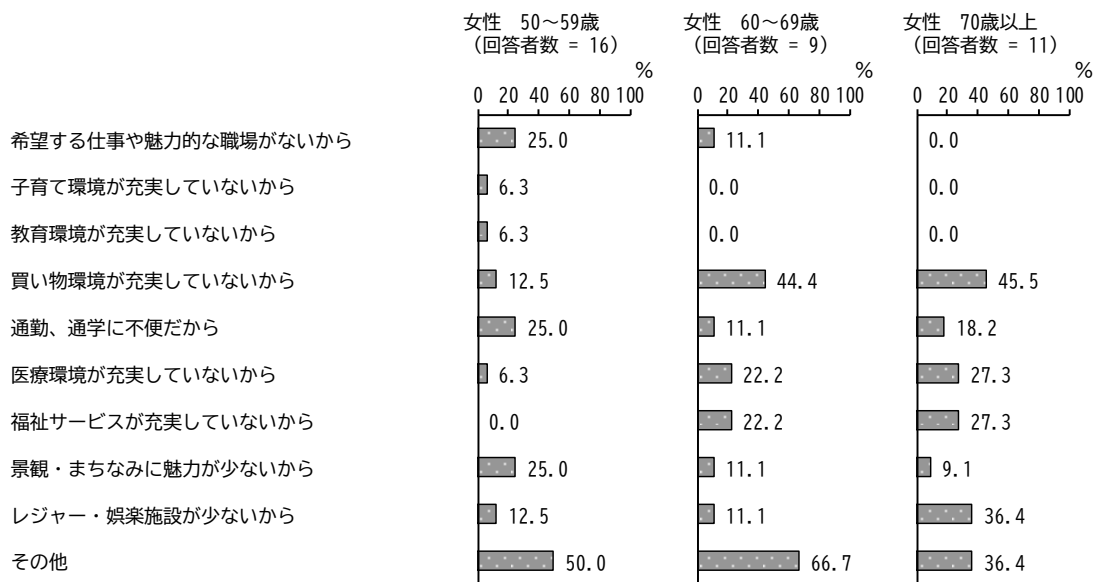
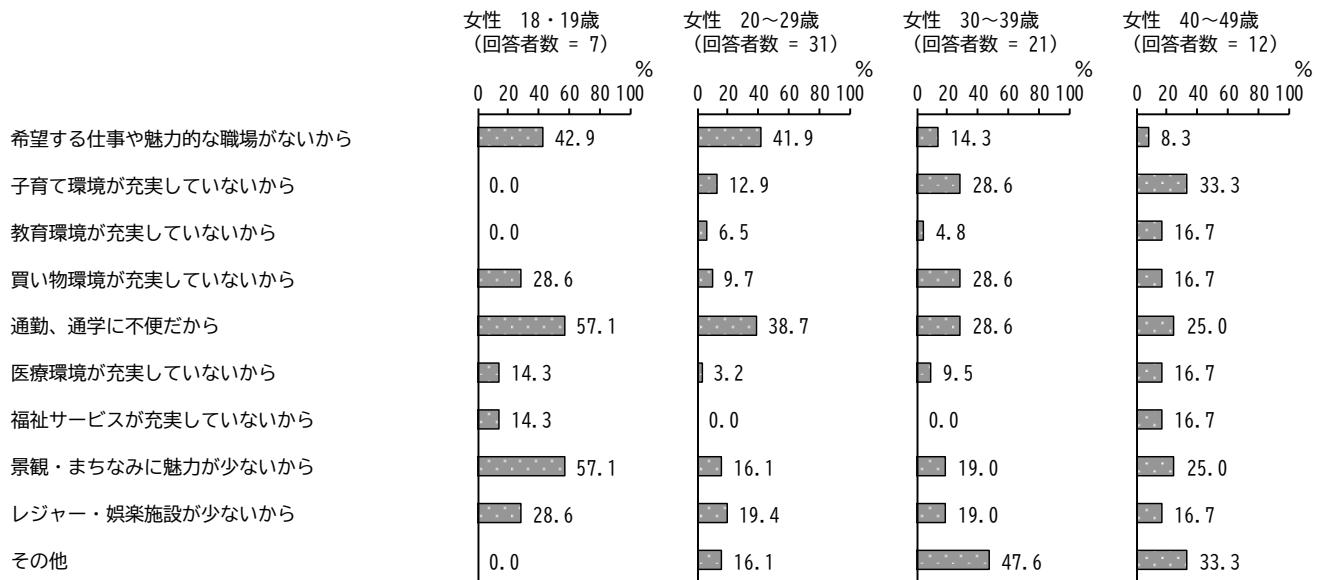
年代別にみると、60歳以上で「買い物環境が充実していないから」が、20～29歳で「希望する仕事や魅力的な職場がないから」や魅力的な職場がないから」の割合が他の世代に比べて高くなっています。



【性・年代別】

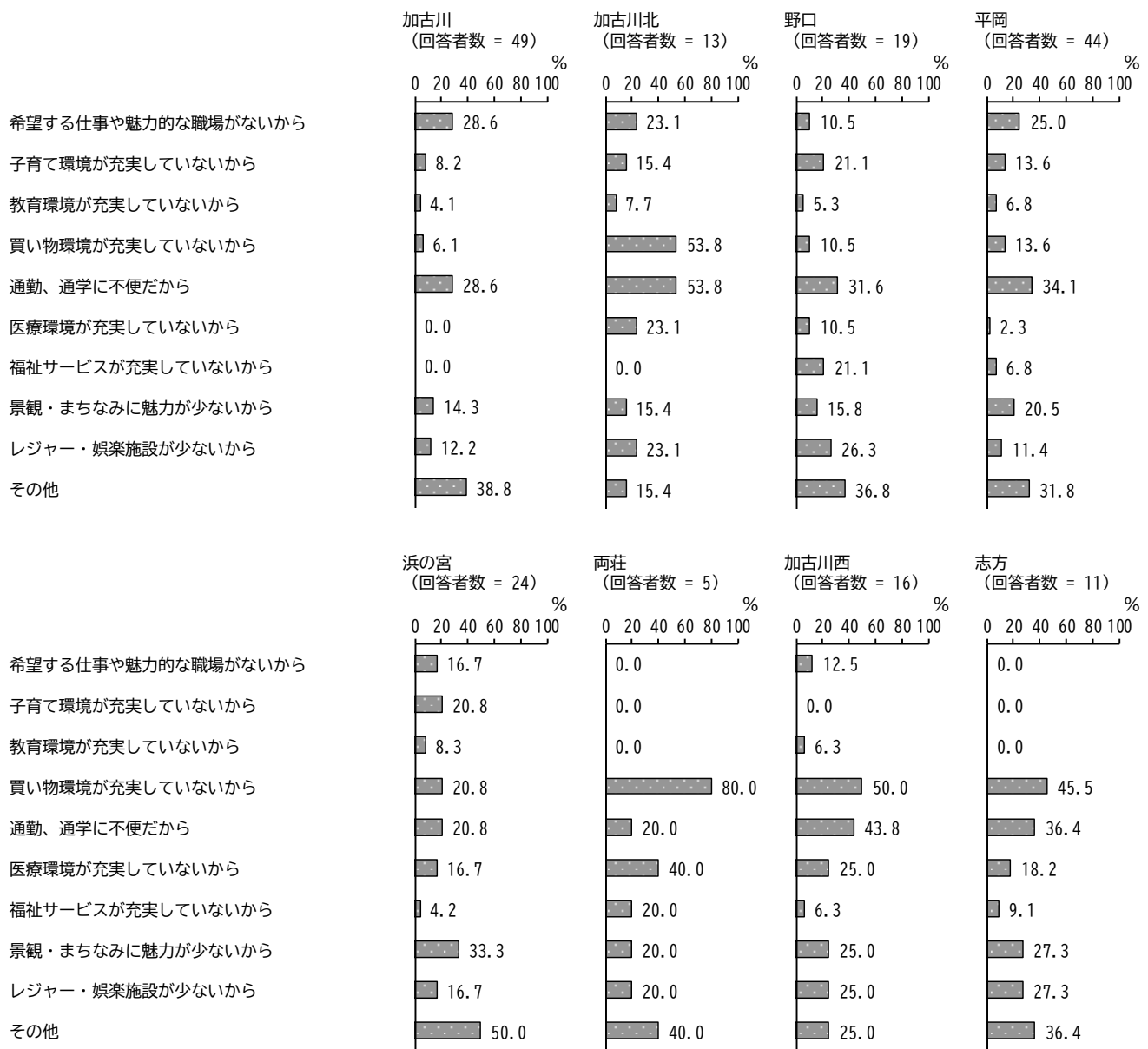
性・年代別にみると、女性 20～29 歳で「希望する仕事や魅力的な職場がないから」、女性 40～49 歳で「子育て環境が充実していないから」、女性 60 歳以上の世代で「買い物環境が充実していないから」、男性 20～29 歳、男性 40～49 歳で「通勤、通学に不便だから」の割合が高くなっています。





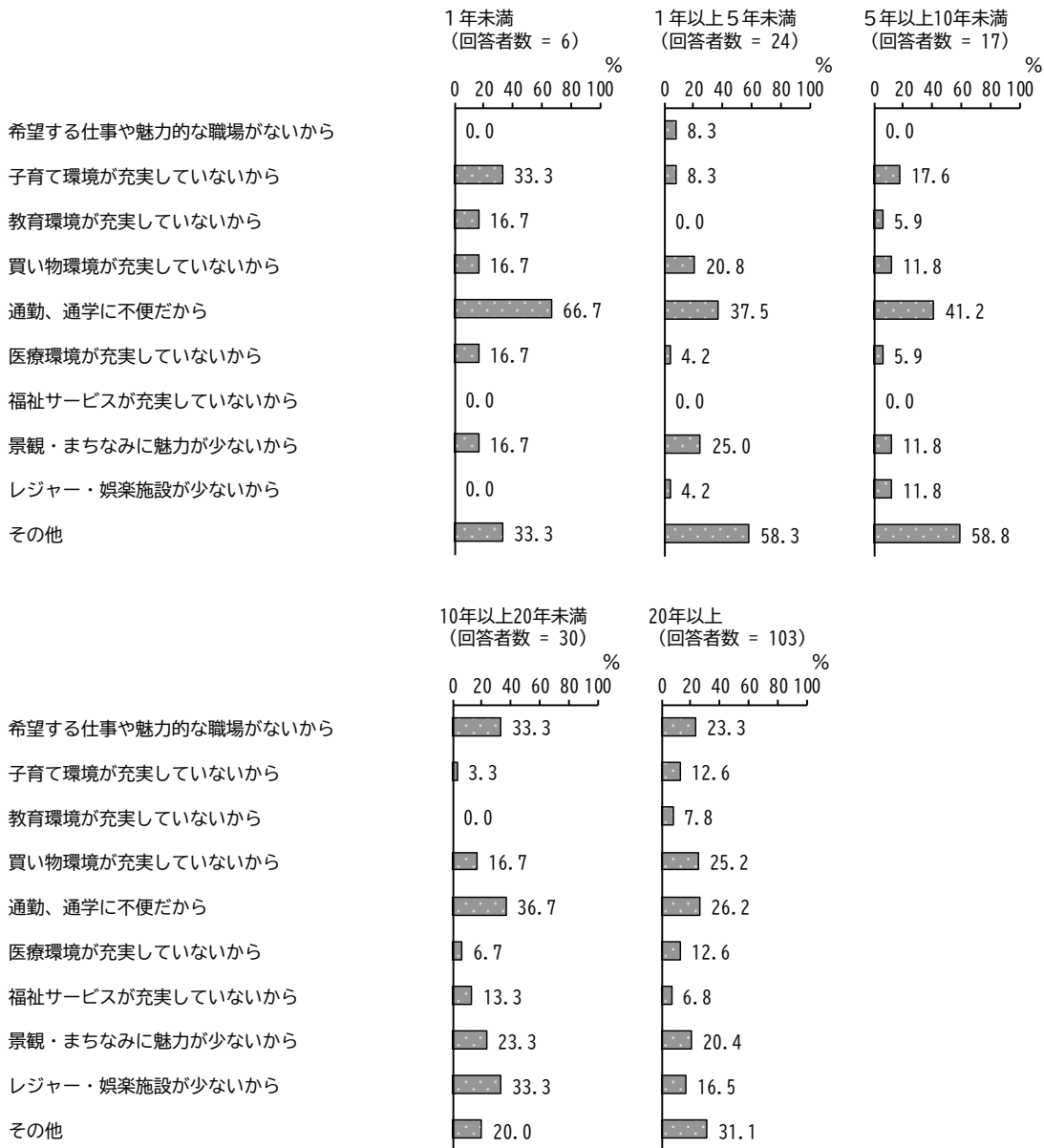
【居住地区別】

居住地区別にみると、加古川北、加古川西で「買い物環境が充実していないから」「通勤、通学に不便だから」、野口で「福祉サービスが充実していないから」、浜の宮で「景観・まちなみに魅力が少ないから」、志方で「レジャー・娯楽施設が少ないから」の割合が高くなっています。



【居住年数別】

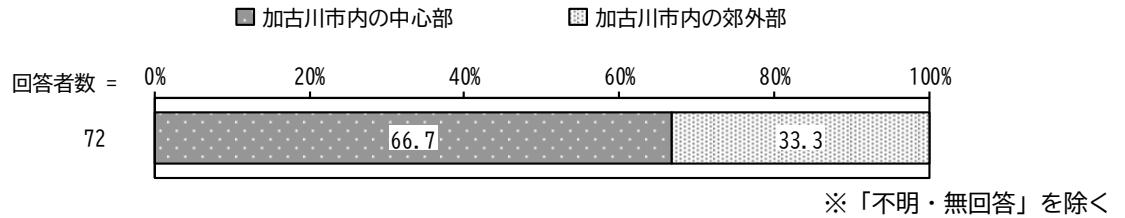
居住年数別にみると、1年未満から10年以上20年未満まで居住年数が高いほど「レジャー・娯楽施設が少ないから」の割合が高く、5年以上10年未満から20年以上まで居住年数が高いほど「買い物環境が充実していないから」「医療環境が充実していないから」の割合が高く、「通勤、通学に不便だから」の割合が低くなっています。また、10年以上20年未満で「希望する仕事や魅力的な職場がないから」の割合が高くなっています。



(3) 市内で希望する居住場所

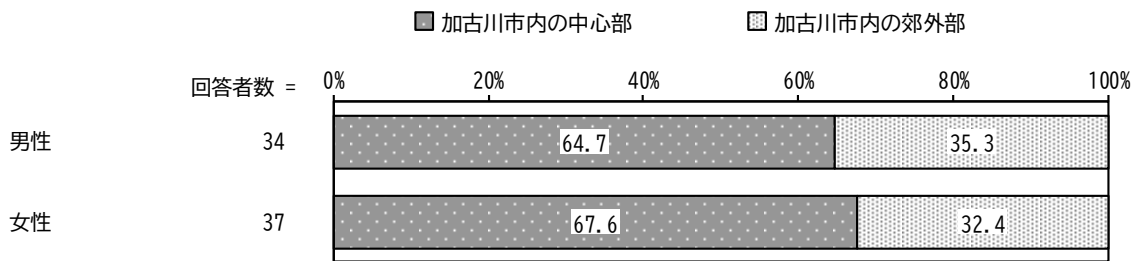
問2-② 問2で「市内の他の場所に移りたい」を選ばれた方におたずねします。今後、どんな場所に住んでみたいと思いますか。(〇は1つ)

「加古川市内の中心部」の割合が66.7%、「加古川市内の郊外部」の割合が33.3%となっています。



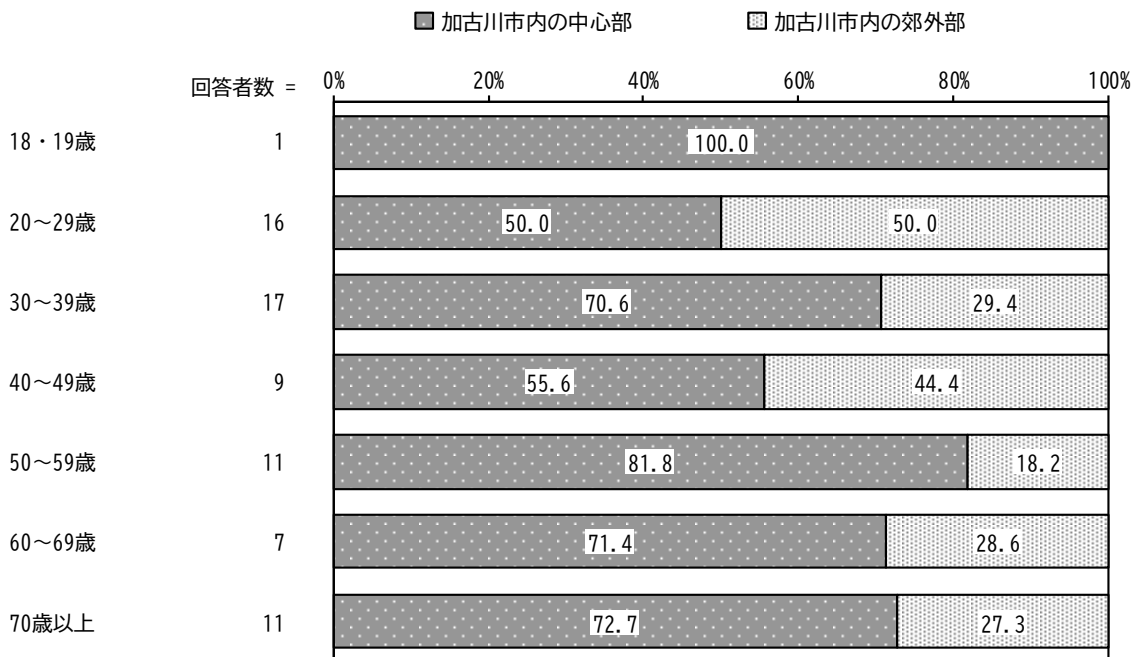
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

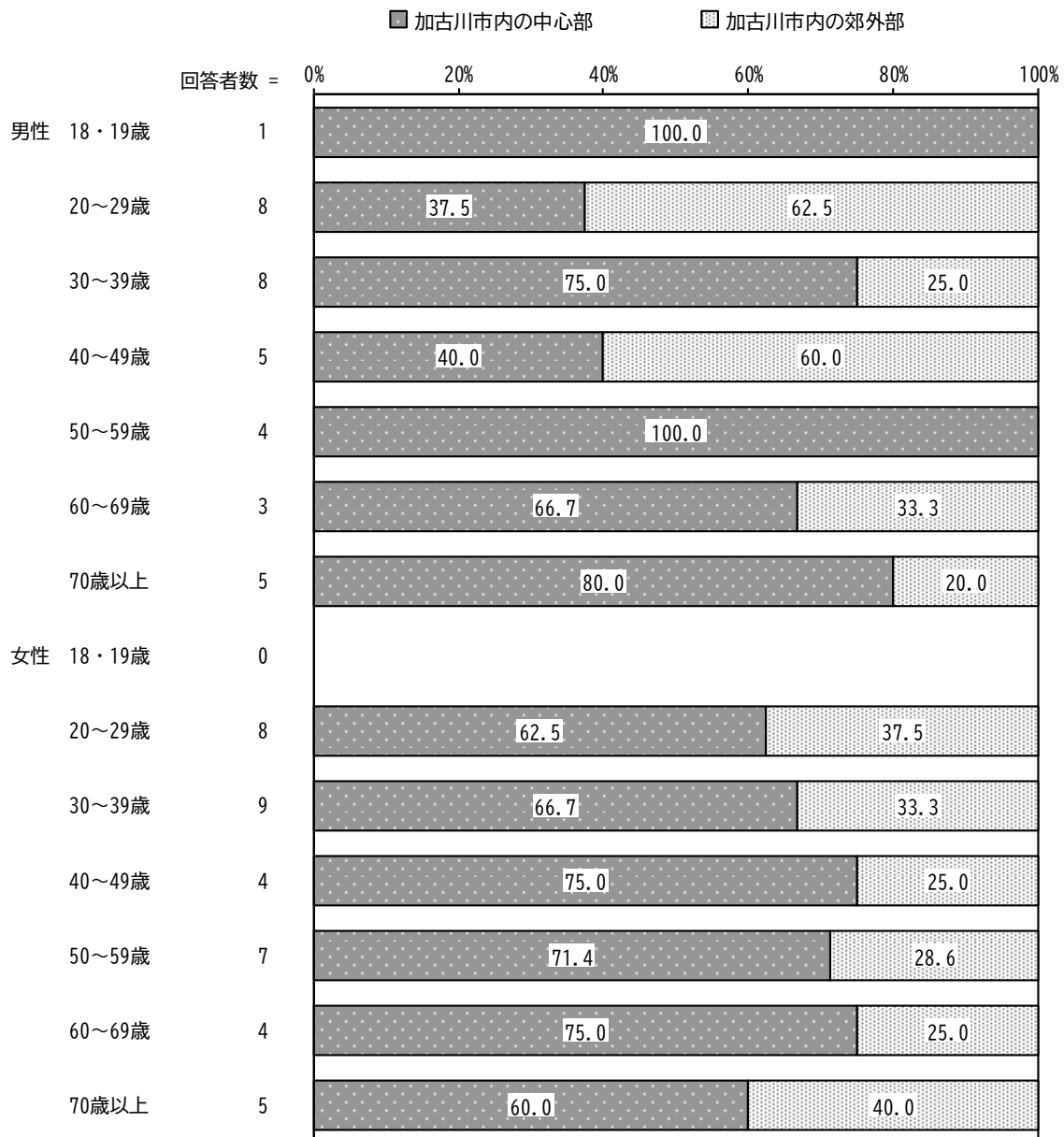


【年代別】

年代別にみると、50～59歳で「加古川市内の中心部」、20～29歳で「加古川市内の郊外部」の割合が高くなっています。

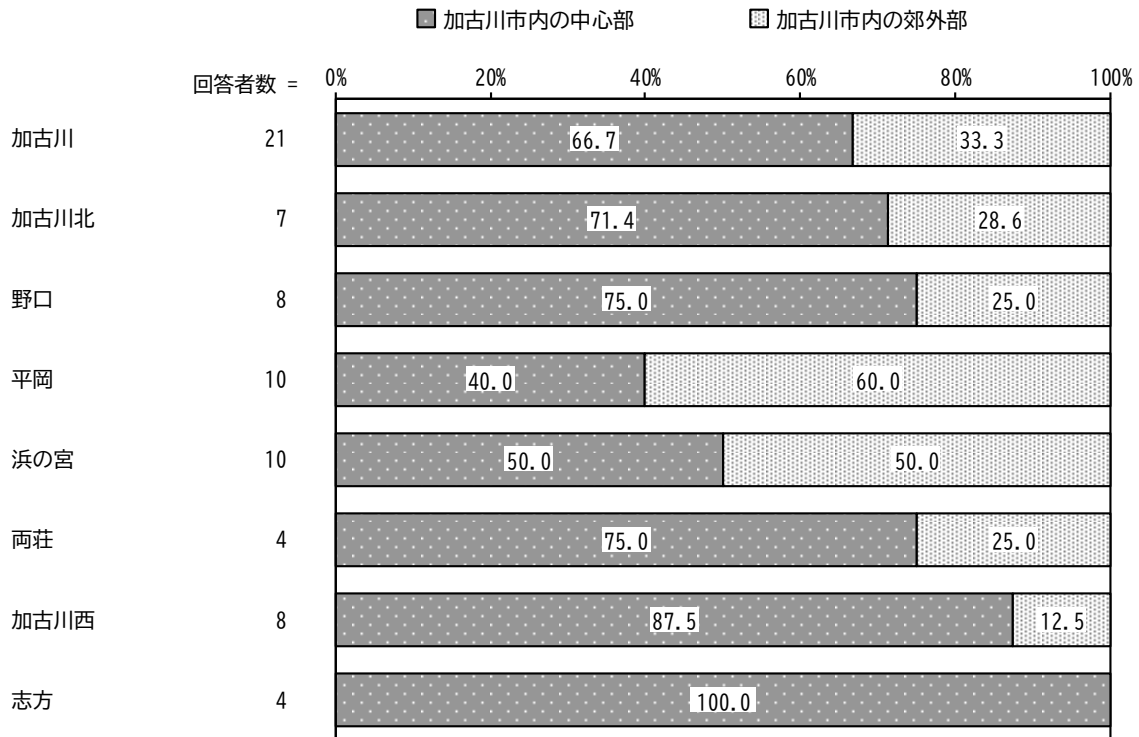


【性・年代別】

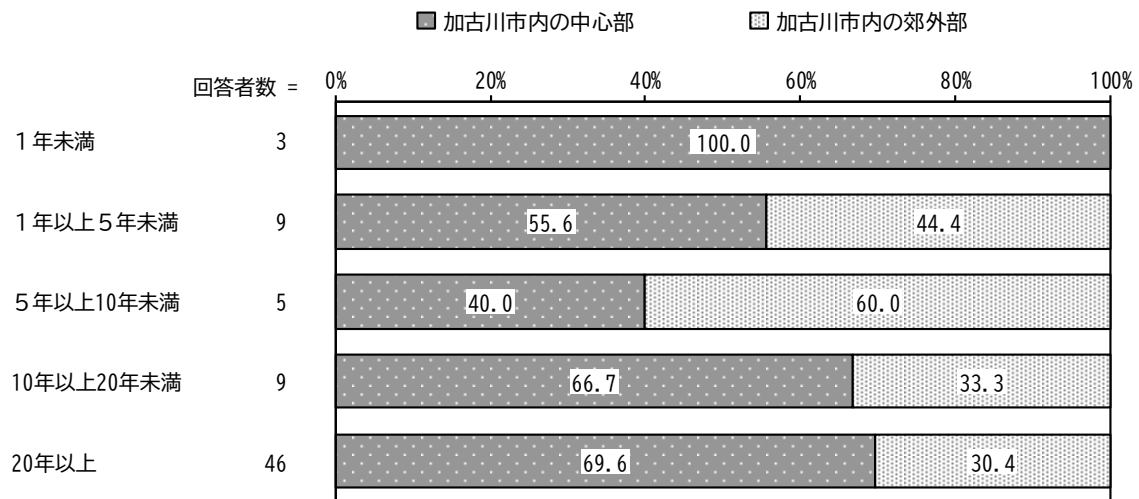


【居住地区別】

居住地区別にみると、平岡で「加古川市内の郊外部」の割合が高くなっています。



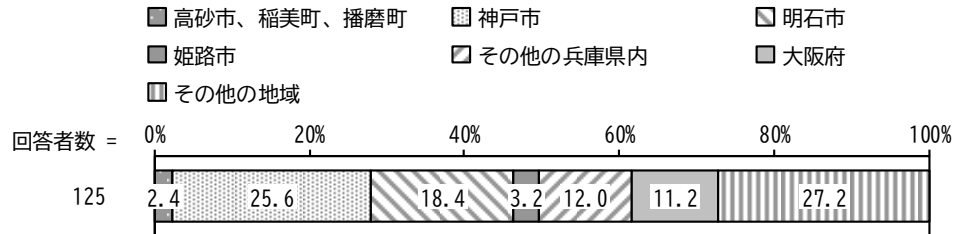
【居住年数別】



(4) 市外で希望する居住場所

問2-③ 問2で「市外に移りたい」を選ばれた方におたずねします。今後、どんな場所に住んでみたいと思いますか。(〇は1つ)

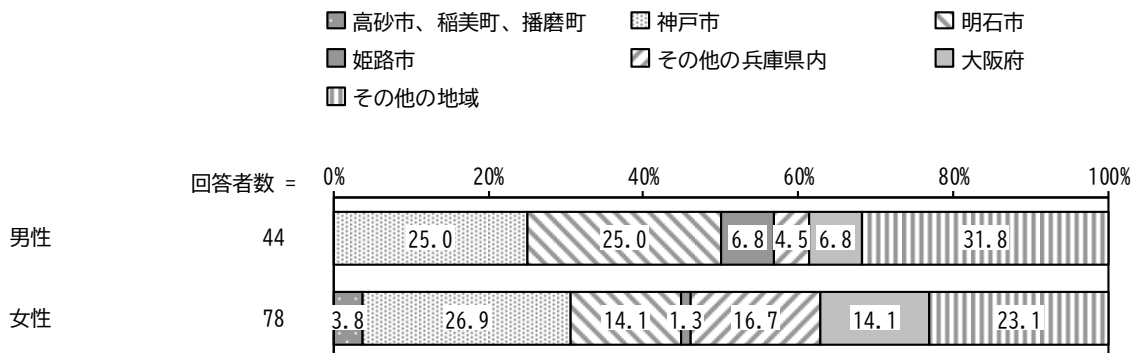
「その他の地域」の割合が27.2%と最も高く、次いで「神戸市」の割合が25.6%、「明石市」の割合が18.4%となっています。



※「不明・無回答」を除く

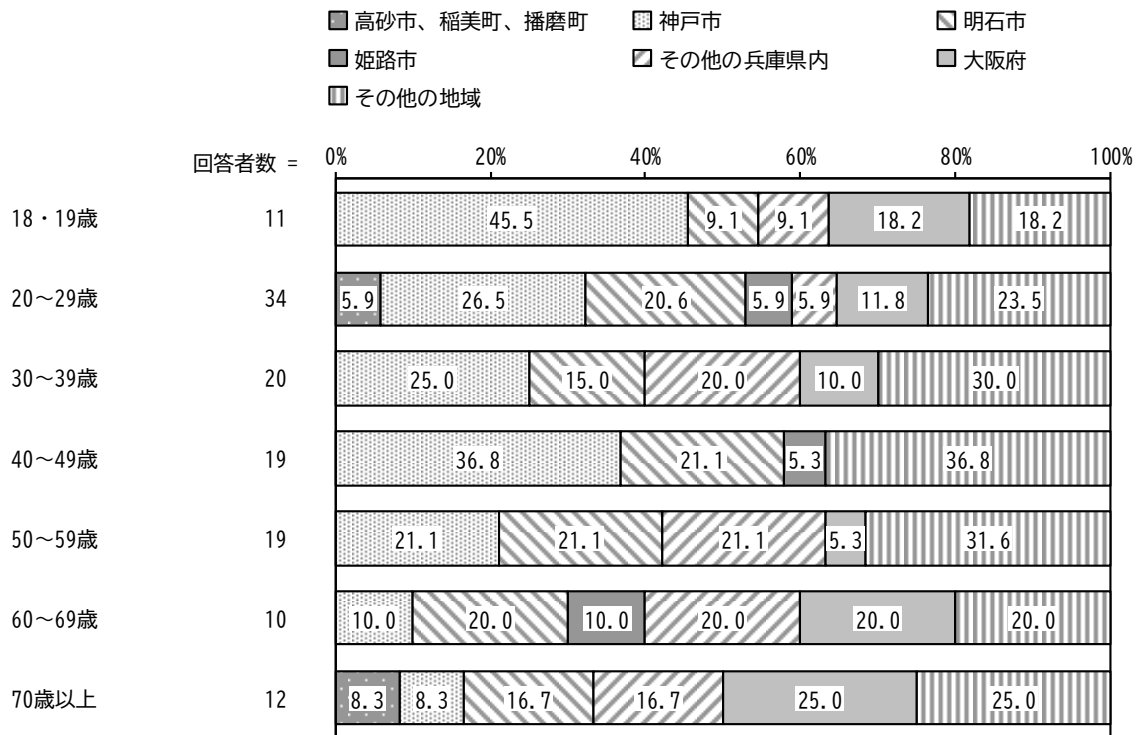
【性別】

性別にみると、男性で「明石市」「姫路市」「その他の地域」の割合が高く、女性で「その他の兵庫県内」「大阪府」の割合が高くなっています。



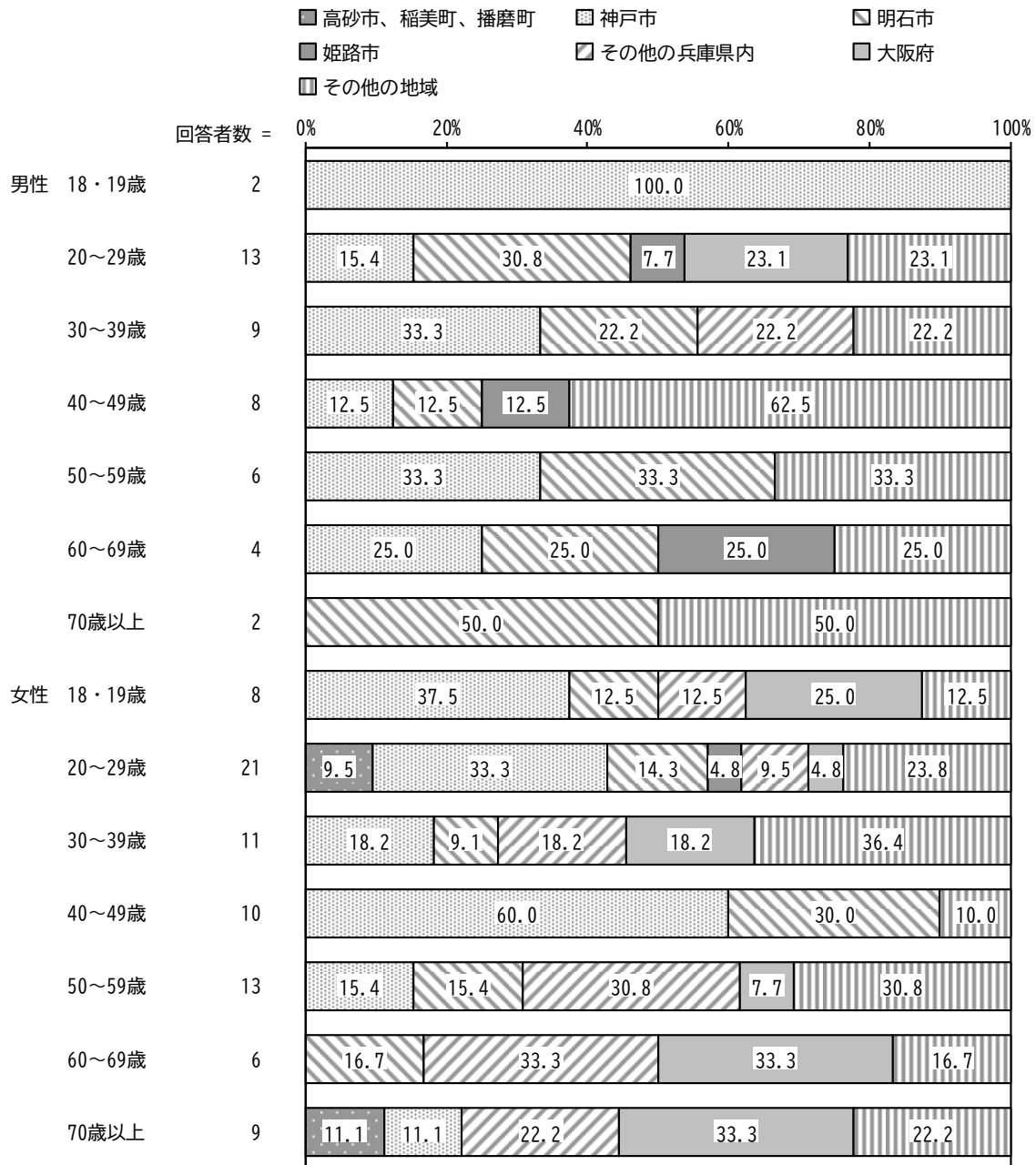
【年代別】

年代別にみると、70歳以上で「高砂市、稲美町、播磨町」「大阪府」、18・19歳で「神戸市」、60～69歳で「姫路市」、30～39歳、50～59歳、60～69歳で「その他の兵庫県内」、40～49歳で「その他の地域」の割合が高くなっています。



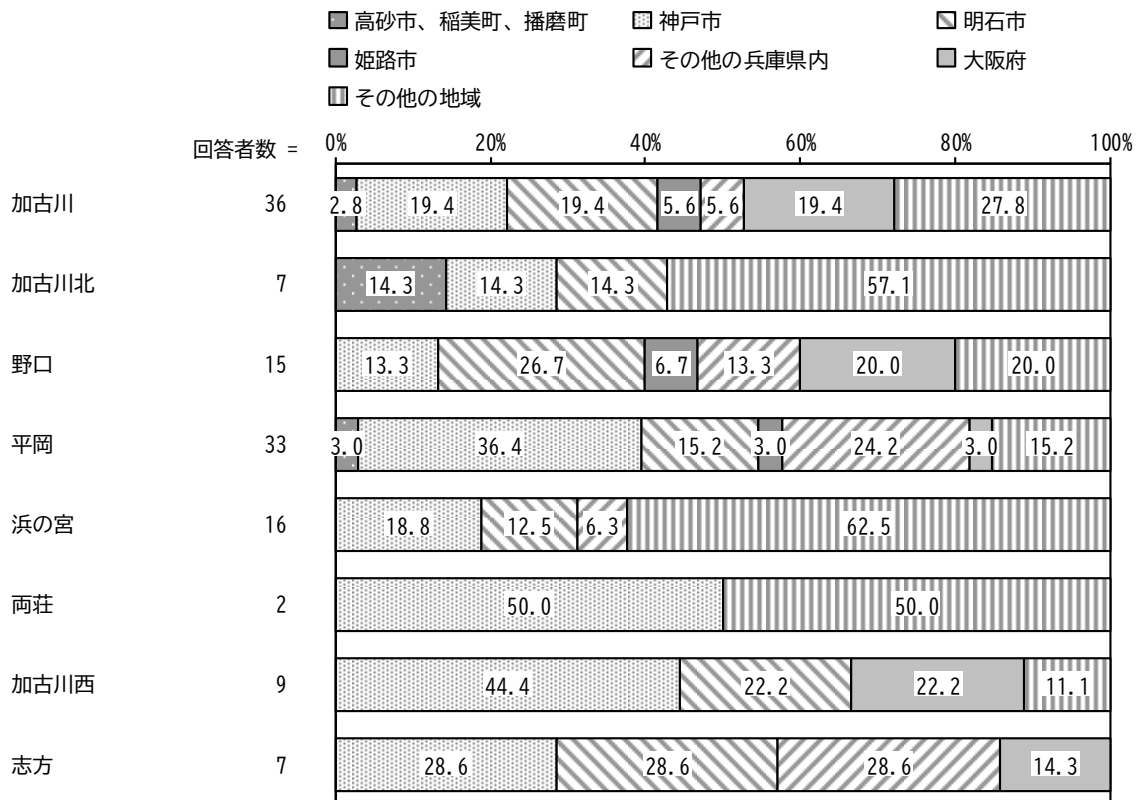
【性・年代別】

性・年代別にみると、女性 40～49 歳で「神戸市」、男性 20～29 歳、女性 40～49 歳で「明石市」、女性 60～69 歳で「その他の兵庫県内」、男性 20～29 歳で「大阪府」の割合が高くなっています。



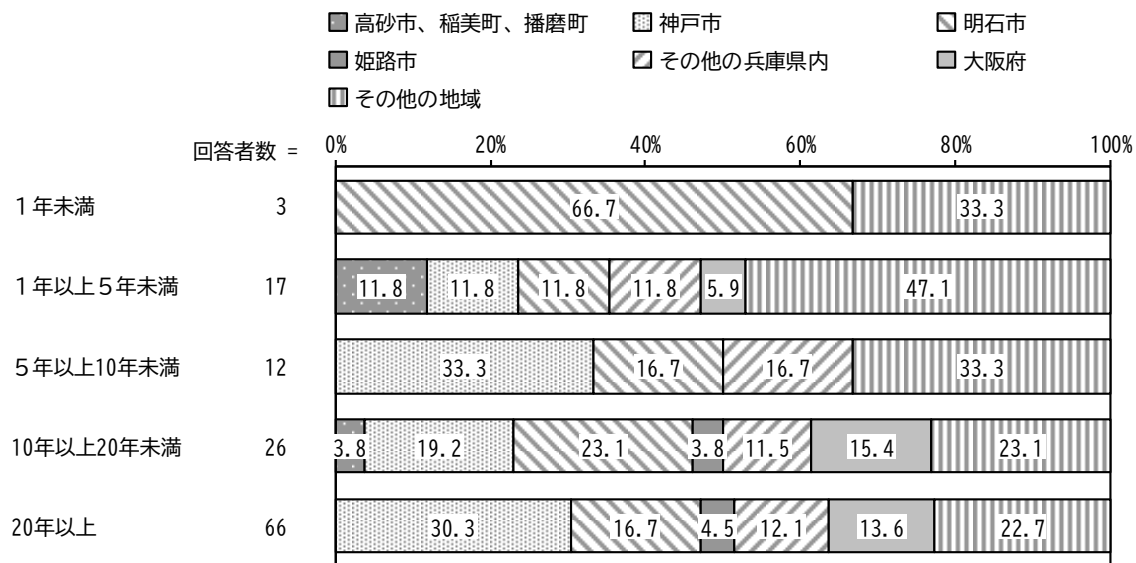
【居住地区別】

居住地区別にみると、平岡で「神戸市」「その他の兵庫県内」、野口で「明石市」の割合が高くなっています。



【居住年数別】

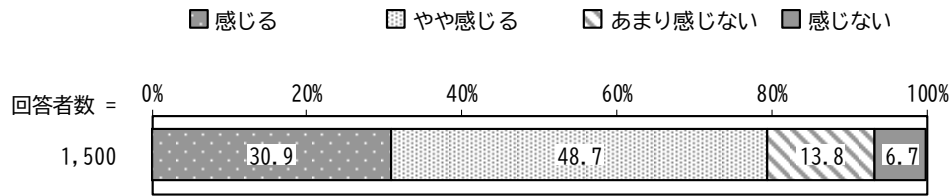
居住年数別にみると、20年以上から1年以上5年未満まで居住年数が短いほど「その他の地域」の割合が高く、1年以上5年未満から10年以上20年未満まで居住年数が高いほど「明石市」の割合が高くなっています。



(5) このまち（加古川市）に対する誇りや愛着の程度

問3 あなたは、このまち（加古川市）に、誇りや愛着を感じていますか。（○は1つ）

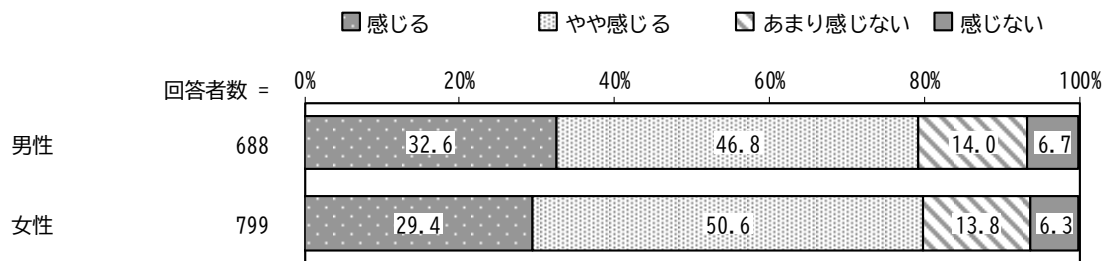
「感じる」「やや感じる」を合わせた“感じる”の割合が79.6%、「あまり感じない」「感じない」を合わせた“感じない”の割合が20.5%となっています。



※「わからない」「不明・無回答」を除く

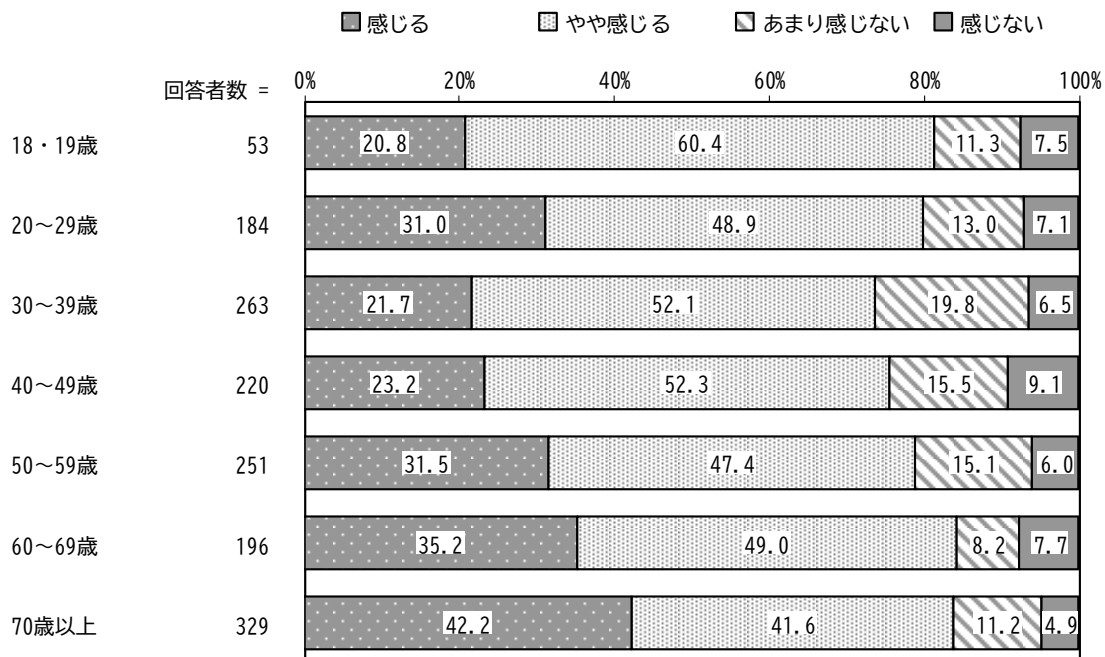
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



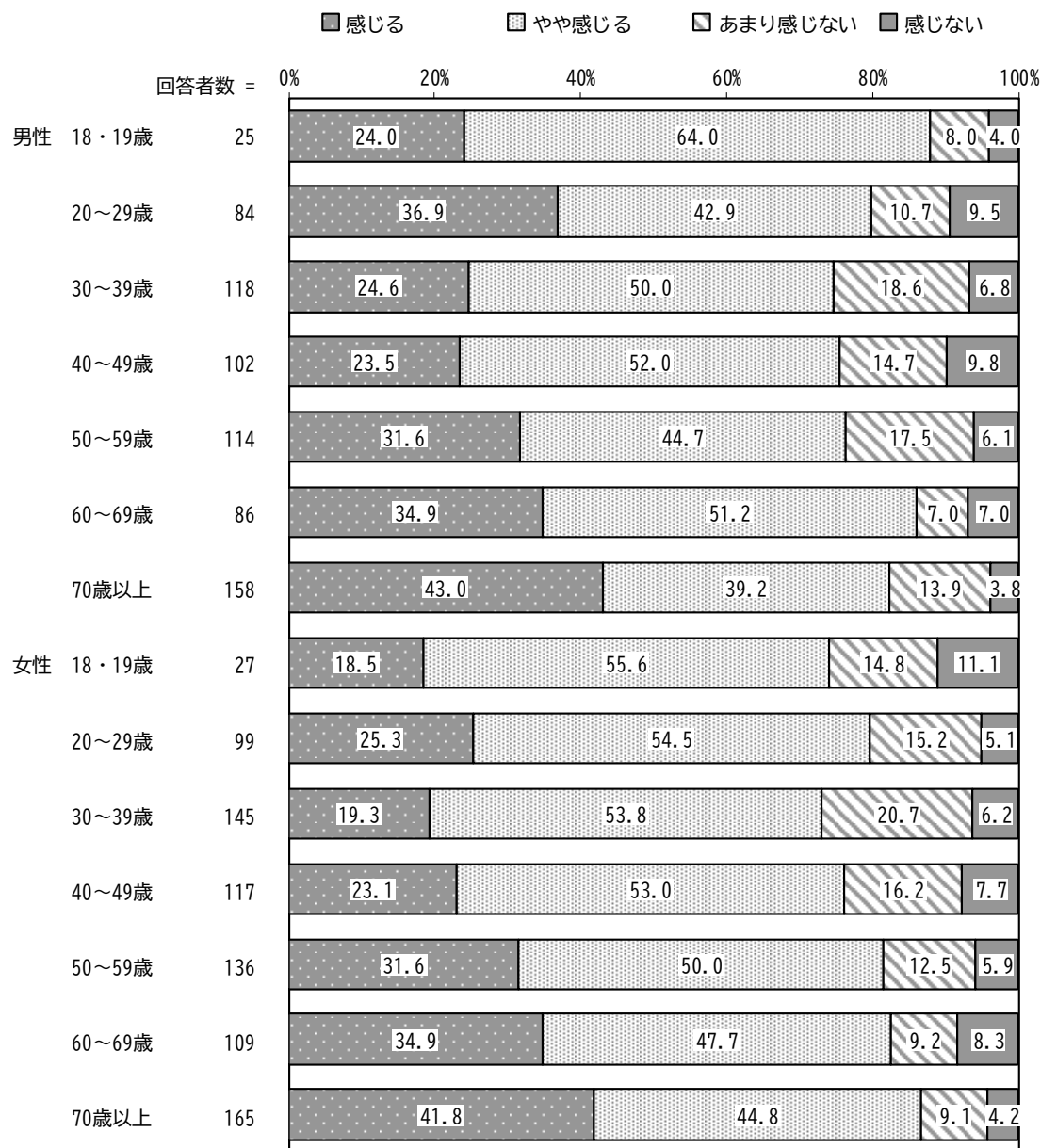
【年代別】

年代別にみると、30～39歳から70歳以上まで年代が上がるほど「感じる」の割合が高くなっています。また、18・19歳で「やや感じる」の割合が高くなっています。



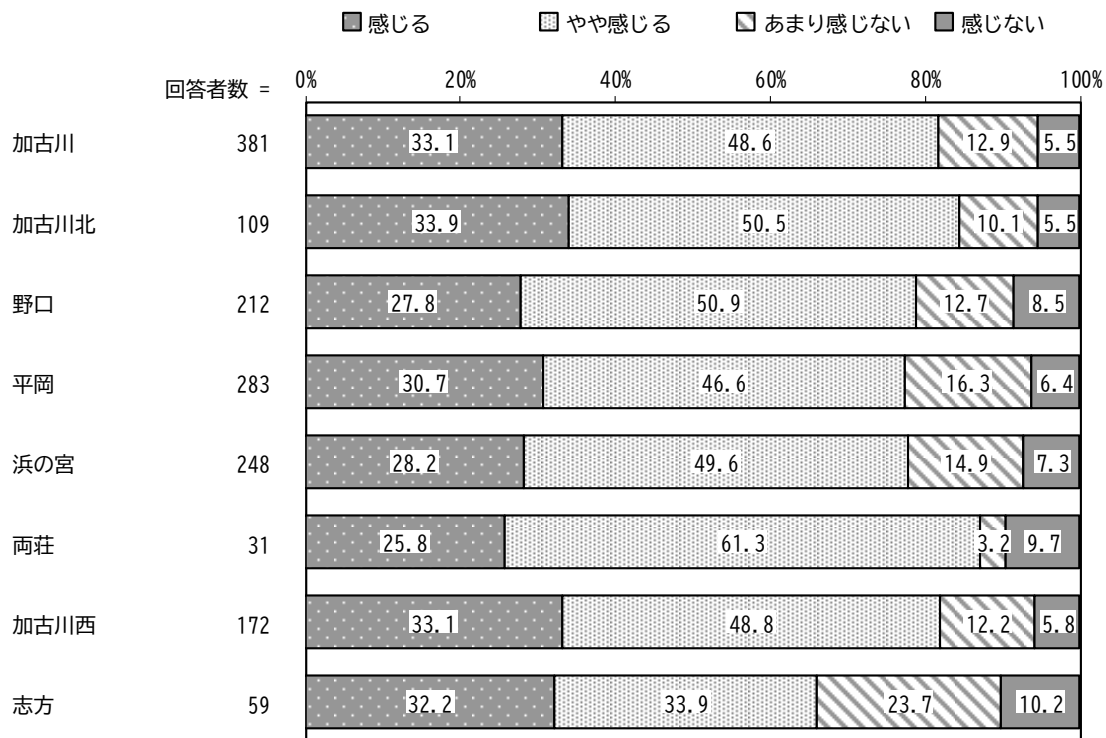
【性・年代別】

性・年代別にみると、男性 18・19 歳で“感じる”、女性 30～39 歳で“感じない”の割合が高くなっています。



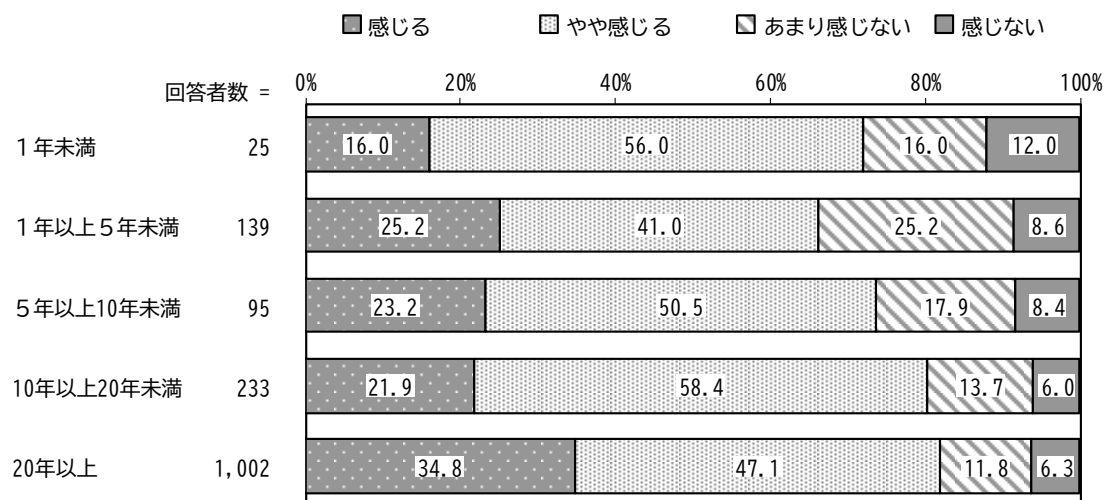
【居住地区別】

居住地区別にみると、両荘で“感じる”、志方で“感じない”の割合が高くなっています。

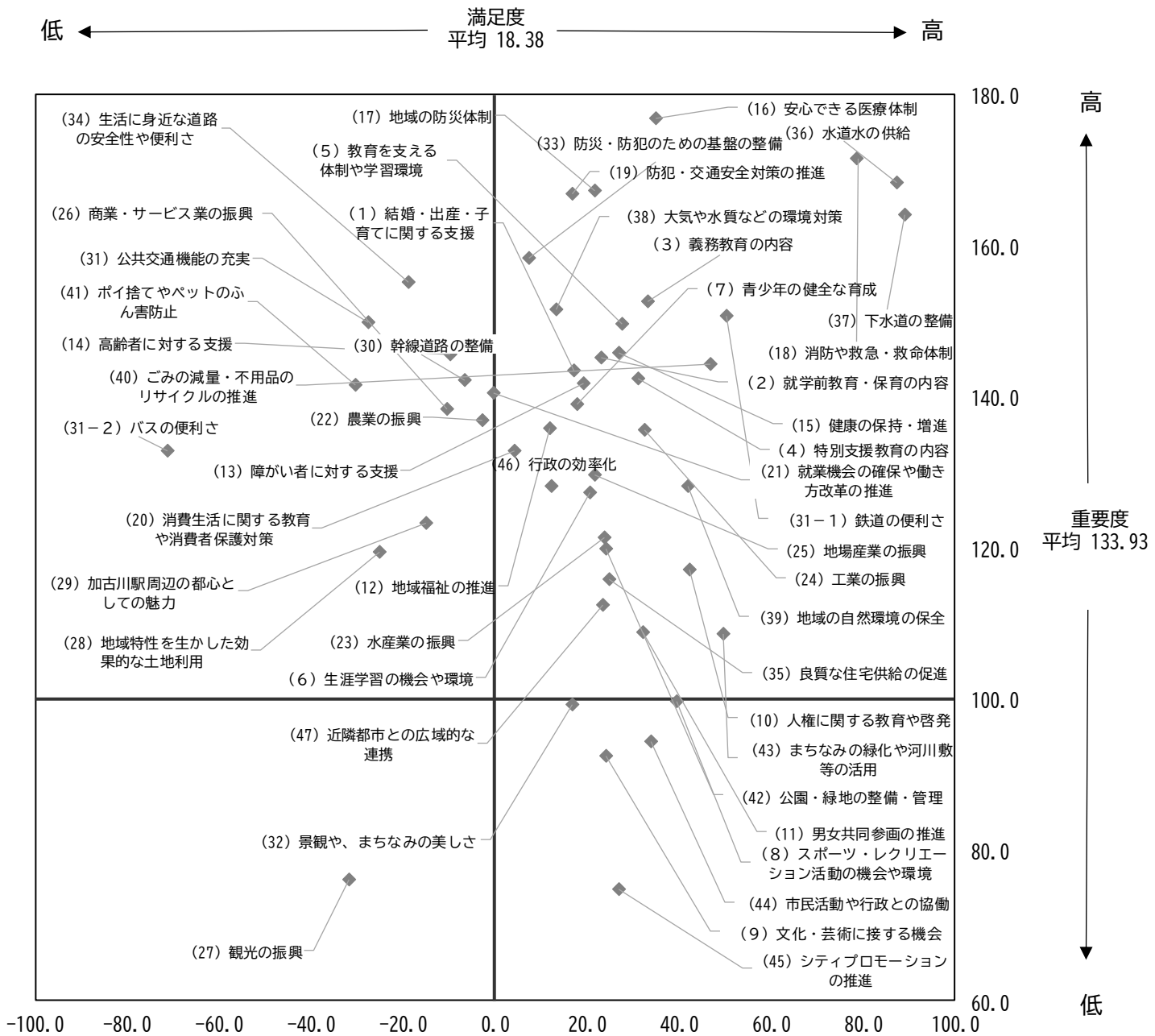


【居住年数別】

居住年数別にみると、居住年数が長いほど“感じる”の割合が高くなっています。また、10年以上20年未満で「やや感じる」、1年以上5年未満で「あまり感じない」の割合が高くなっています。



3 市の施策に対する満足度・重要度



「3 市の施策に対する満足度・重要度」のグラフの見方

政策名
「加古川市総合計画」の「政策」です。

施策名
「加古川市総合計画」の「施策」です。

施策を代表する項目

満足度折れ線グラフ

重要度折れ線グラフ

子どもの健やかな成長を支援する
【結婚・出産・子育ての支援】

(1) 結婚・出産・子育てに関する支援
【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、40～49歳の男女と、18・19歳、20～29歳、30～39歳、50～59歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。
重要度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

<満足度>

性年代別	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
市全体	17.1	17.1	17.1	17.1	17.1	17.1	17.1
男性	7.7	-5.8	0.2	28.7	22.8	10.1	-11.7
女性	72.7	44.1	24.1	18.4	16.0	35.6	17.1

<重要度>

性年代別	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
市全体	143.4	143.4	143.4	143.4	143.4	143.4	143.4
男性	148.0	147.3	162.8	132.2	131.5	128.1	141.4
女性	167.0	164.1	166.4	132.2	135.1	130.9	145.1

○ —○— 市全体のスコアを軸に各折れ線グラフが上下に広がるほど、性年代別や居住地区別などのスコアが高い（もしくは低い）ことを示しています。

【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、加古川北、両荘で市全体平均より高くなっている。
重要度を居住地区別で見ると、加古川北、野口、浜の宮、両荘で市全体平均より高くなっている。

<満足度>

居住地区	加古川	加古川北	野口	平岡	浜の宮	両荘	加古川西	志方
市全体	17.1	17.1	17.1	17.1	17.1	17.1	17.1	17.1
加古川	31.6							
加古川北		18.9						
野口			11.5					
平岡				16.9				
浜の宮					11.2			
両荘						39.0		
加古川西							5.8	
志方								-9.8

<重要度>

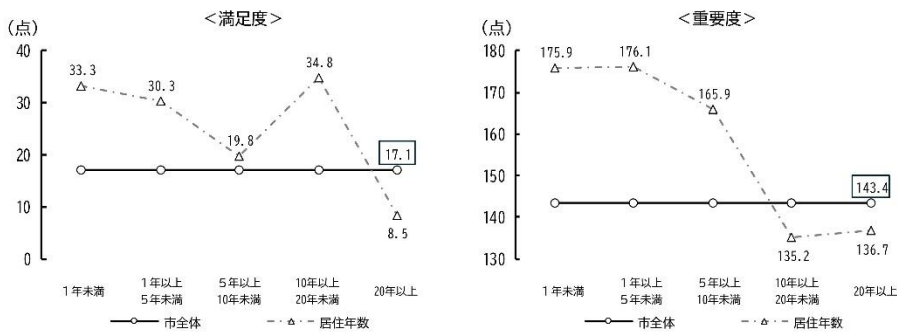
居住地区	加古川	加古川北	野口	平岡	浜の宮	両荘	加古川西	志方
市全体	143.4	143.4	143.4	143.4	143.4	143.4	143.4	143.4
加古川	137.7							
加古川北		143.7						
野口			153.2					
平岡				140.2				
浜の宮					151.4			
両荘						157.2		
加古川西							138.5	
志方								128.1

○ —○— 市全体のスコアを軸に各折れ線グラフが上下に広がるほど、性年代別や居住地区別などのスコアが高い（もしくは低い）ことを示しています。

【居住年数別】

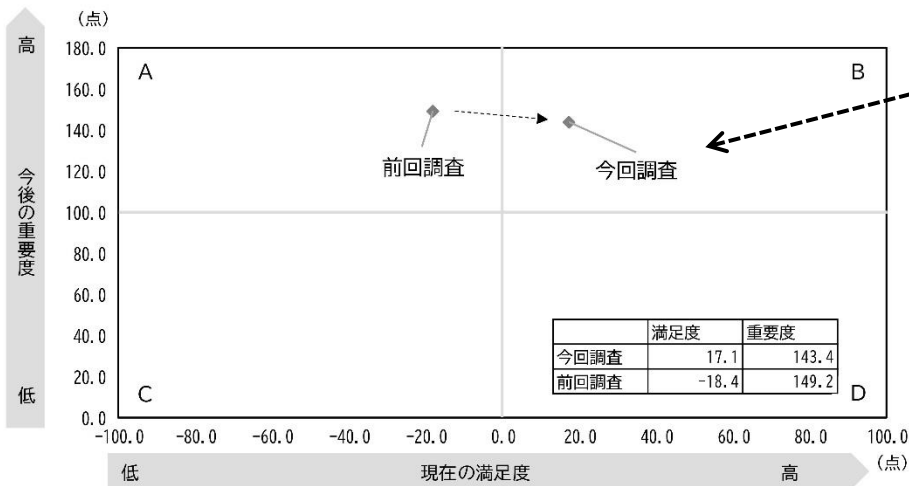
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。



満足度・重要度関係グラフ

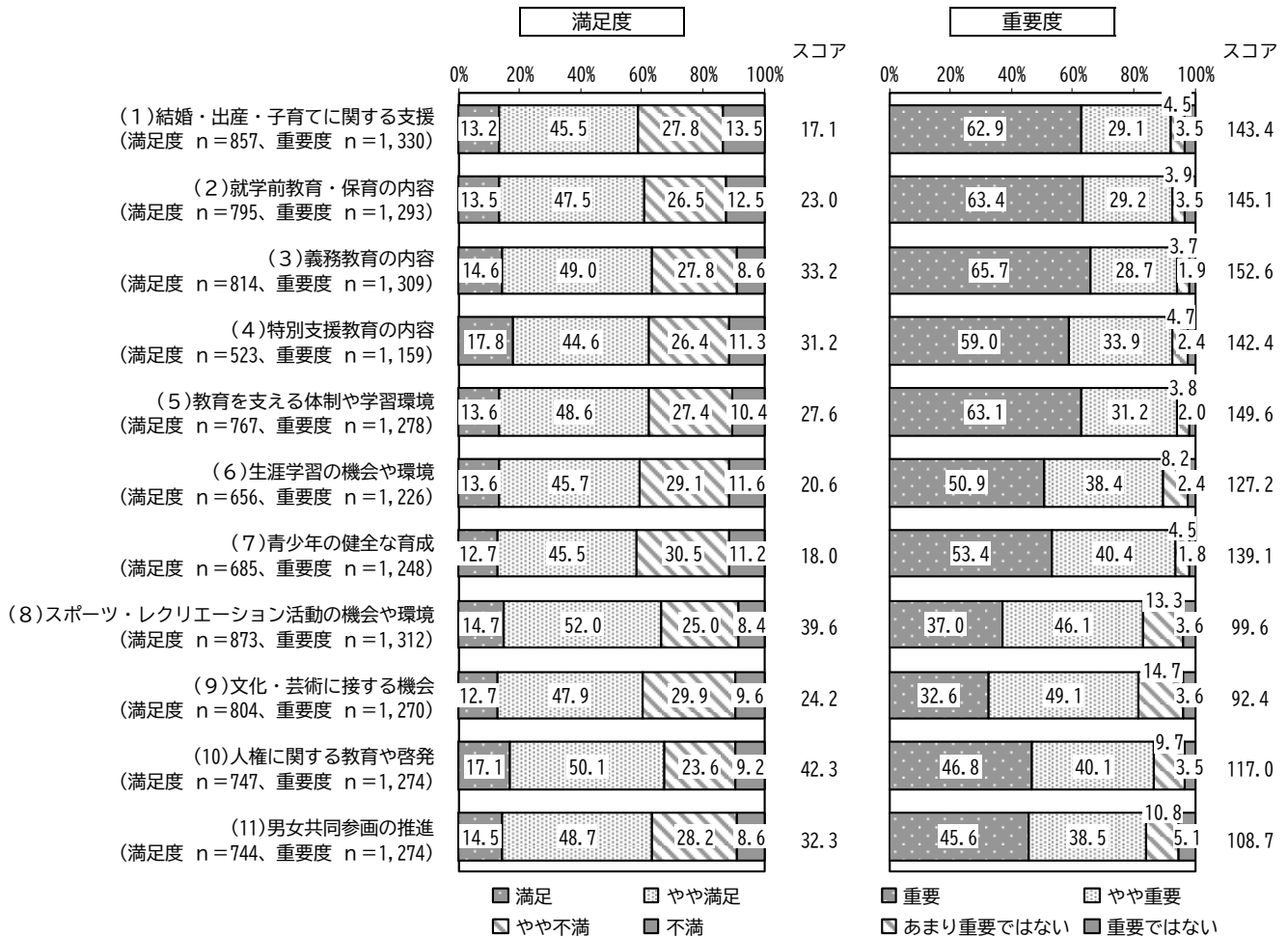
- ある施策の満足度スコアと重要度スコアとの関係を点としてプロット（データを図表上に示すこと）したグラフで、施策の優先度を判断するのに利用します。
- 例えば象限Aに点がある場合、満足度が低く重要度は高いので、今後最優先に取り組むべき施策と判断できます。また、象限Bは、満足度も重要度も高いので、Aに比べると優先度は低く、満足度が低下しないよう取り組む必要のある施策を示しています。
- 過年度のデータをプロットすることで、施策の優先度の推移（満足度・重要度の関係性の変化）をみることができます。

3-1 心豊かに暮らせるまち

施策の満足度スコアが最も高い項目は「(10)人権に関する教育や啓発」、次いで「(8)スポーツ・レクリエーション活動の機会や環境」となっています。一方、最も低い項目は、「(1)結婚・出産・子育てに関する支援」次いで「(7)青少年の健全な育成」となっています。

施策の重要度スコアが最も高い項目は「(3)義務教育の内容」、次いで「(5)教育を支える体制や学習環境」となっています。一方、最も低い項目は「(9)文化・芸術に接する機会」、次いで「(8)スポーツ・レクリエーション活動の機会や環境」となっています。

《全体》※グラフは「わからない」、「無回答」を除いて集計



※スコアは以下の手順で得点化し、算出しています。

〔満足度〕	満足	やや満足	やや不満	不満
	2点	1点	-1点	-2点

$$2点 \times \text{「満足」の割合} + 1点 \times \text{「やや満足」の割合} + (-1点) \times \text{「やや不満」の割合} + (-2点) \times \text{「不満」の割合} = \text{満足度スコア}$$

※ただし、「わからない」、「無回答」は除いて集計

〔重要度〕	重要	やや重要	あまり重要ではない	重要ではない
	2点	1点	-1点	-2点

$$2点 \times \text{「重要」の割合} + 1点 \times \text{「やや重要」の割合} + (-1点) \times \text{「あまり重要ではない」の割合} + (-2点) \times \text{「重要ではない」の割合} = \text{重要度スコア}$$

※ただし、「わからない」、「無回答」は除いて集計

子どもの健やかな成長を支援する

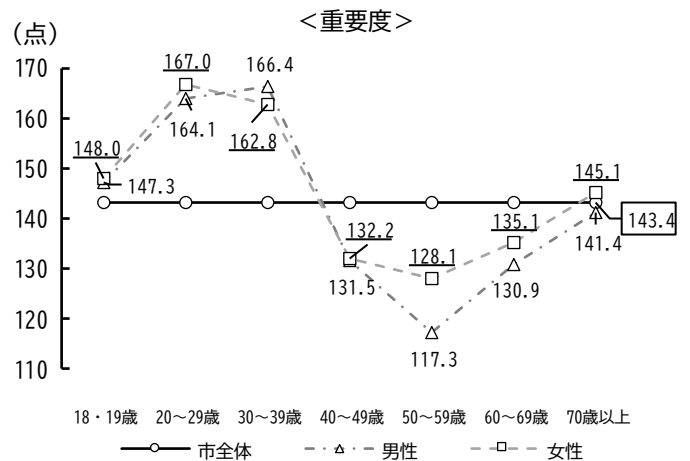
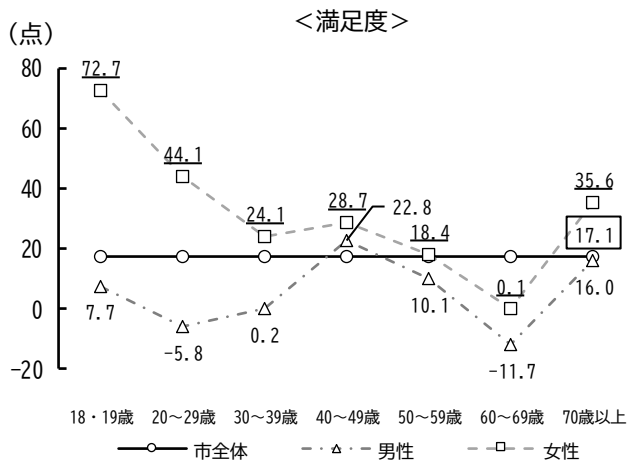
【結婚・出産・子育ての支援】

(1) 結婚・出産・子育てに関する支援

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、40～49歳の男女と、18・19歳、20～29歳、30～39歳、50～59歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

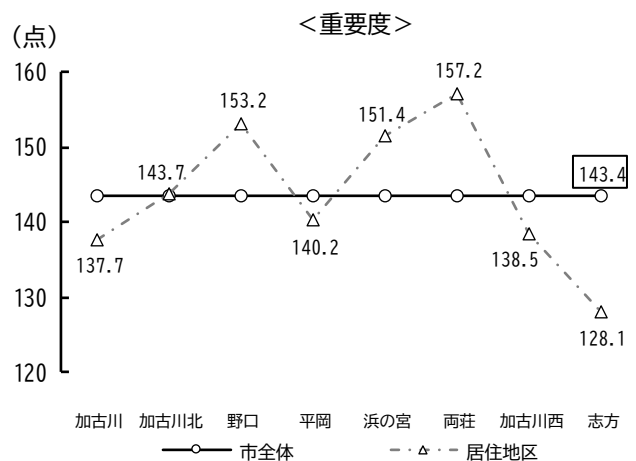
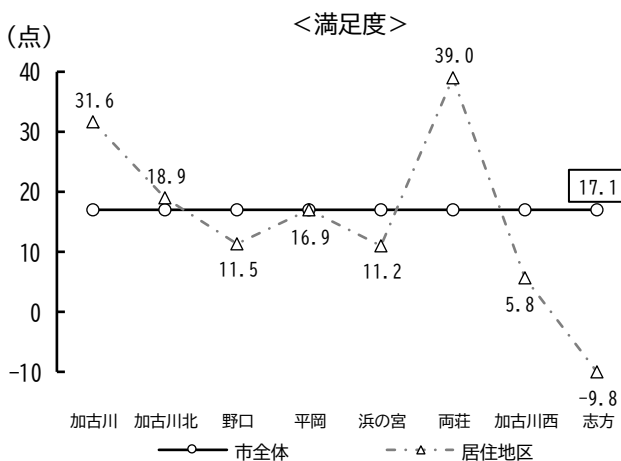
重要度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、加古川北、両荘で市全体平均より高くなっている。

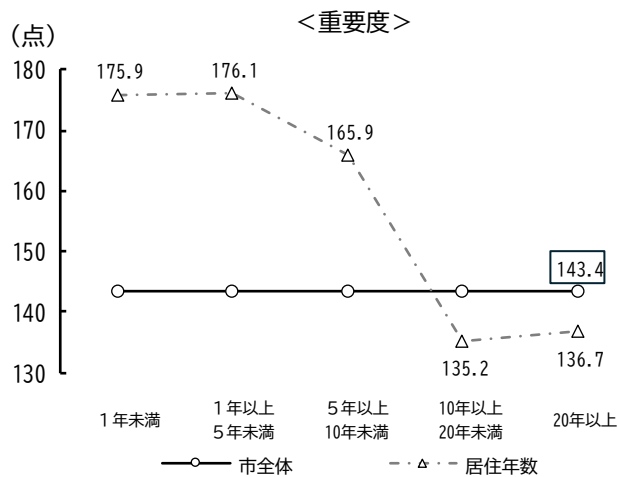
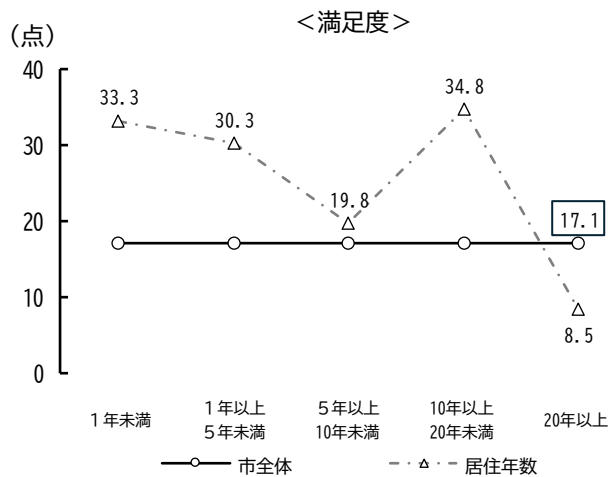
重要度を居住地区別で見ると、加古川北、野口、浜の宮、両荘で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

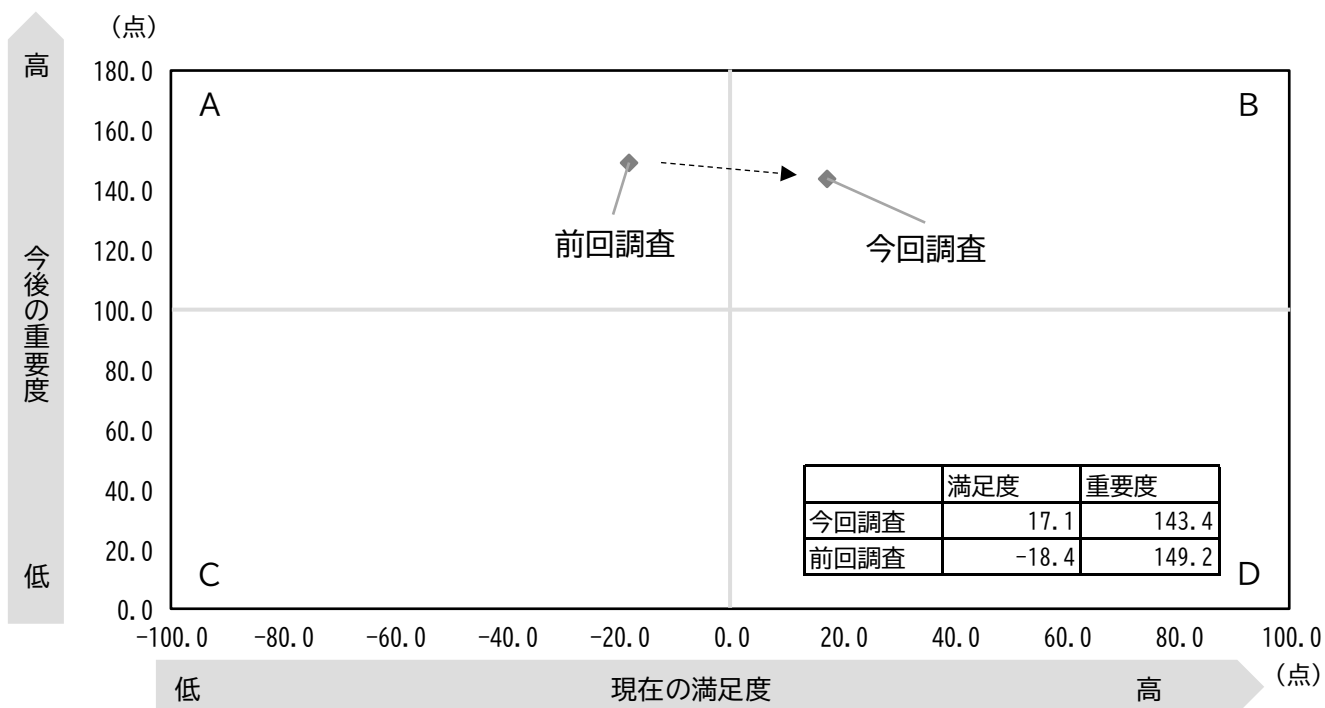
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。



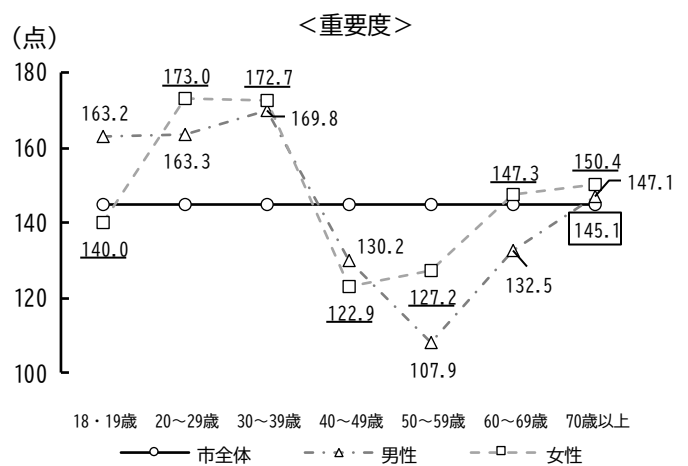
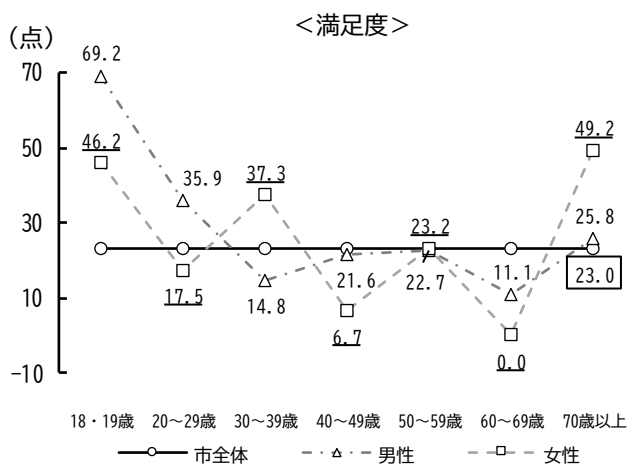
【就学前教育・保育の充実】

(2) 就学前教育・保育の内容

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、70歳以上の男女と、30～39歳、50～59歳の女性と、20～29歳の男性で市全体平均より高くなっている。

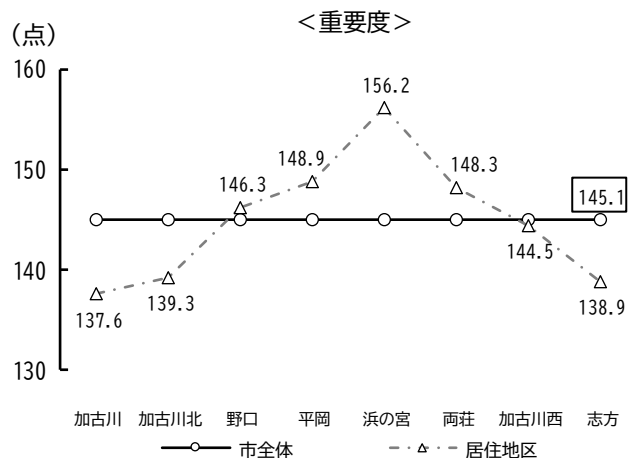
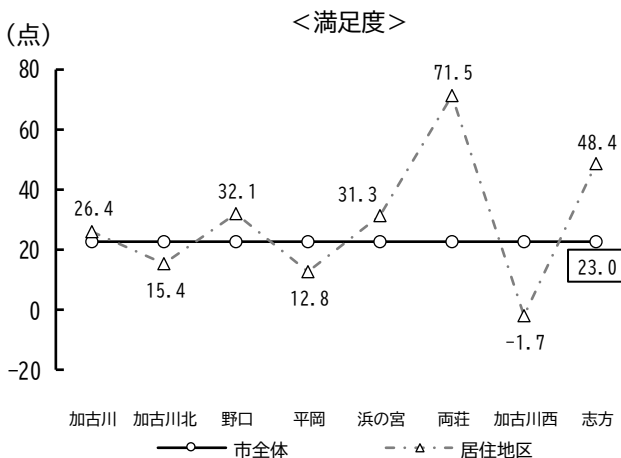
重要度を性年代別で見ると、20～29歳、30～39歳、70歳以上の男女と、60～69歳の女性と、18・19歳の男性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、野口、浜の宮、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。

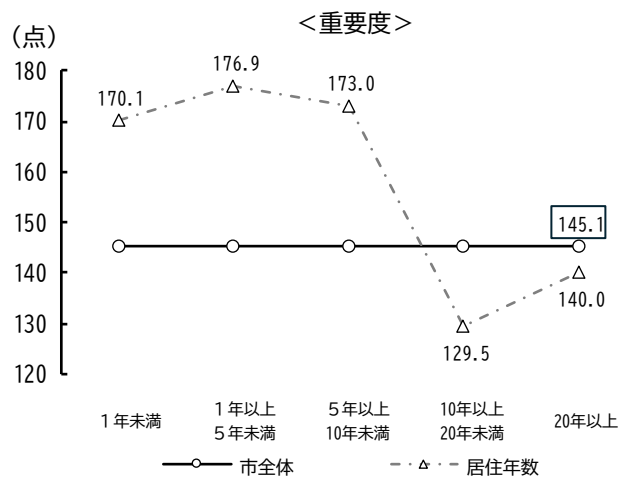
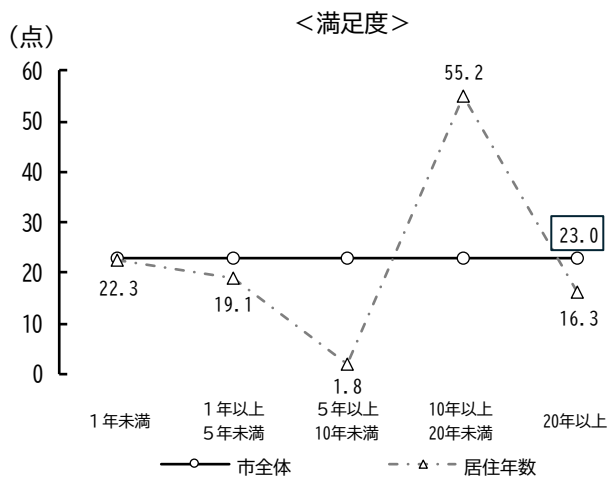
重要度を居住地区別で見ると、野口、平岡、浜の宮、両荘で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

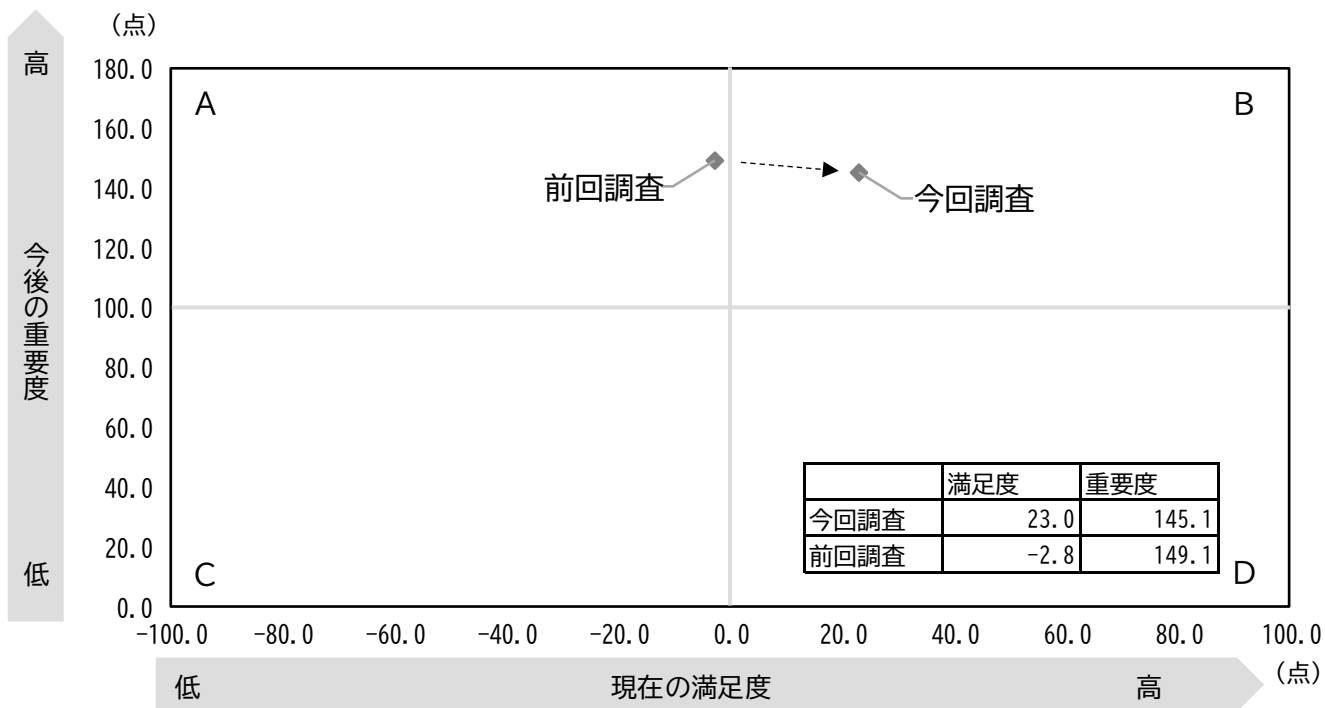
満足度を居住年数別で見ると、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。



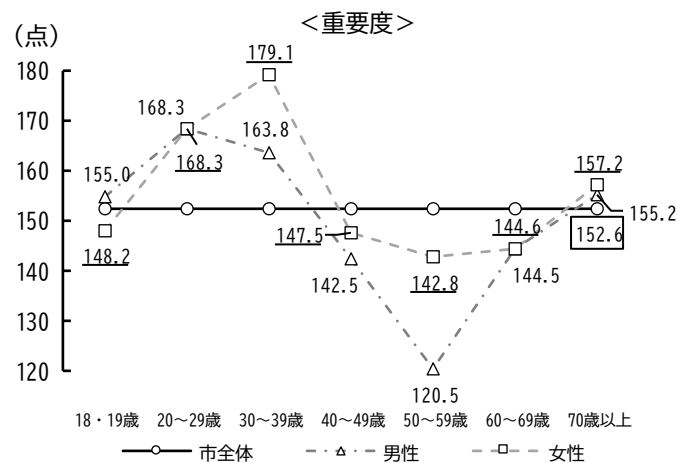
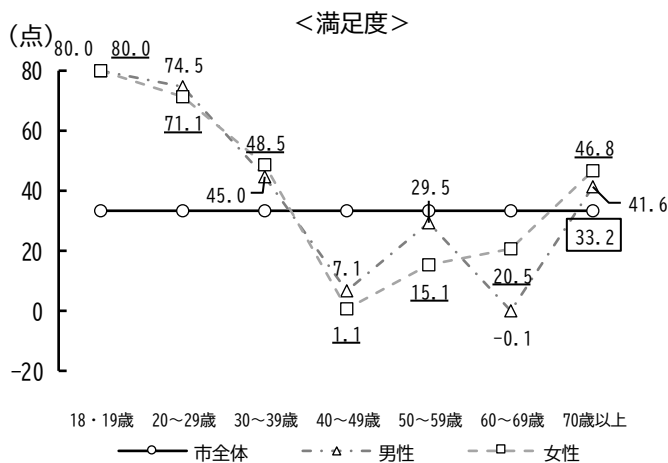
〔義務教育の充実〕

(3) 義務教育の内容

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳、70歳以上の男女で市全体平均より高くなっている。

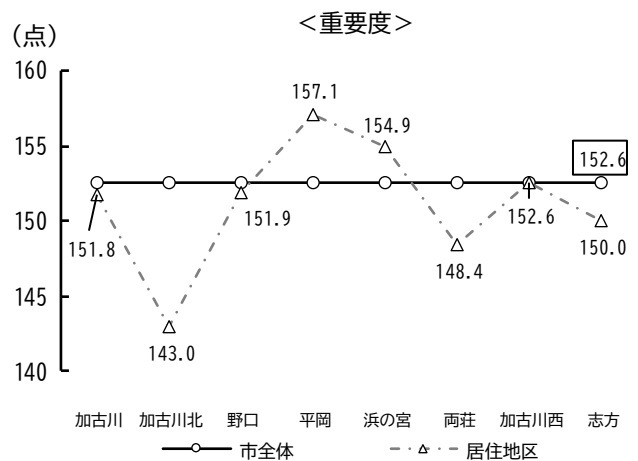
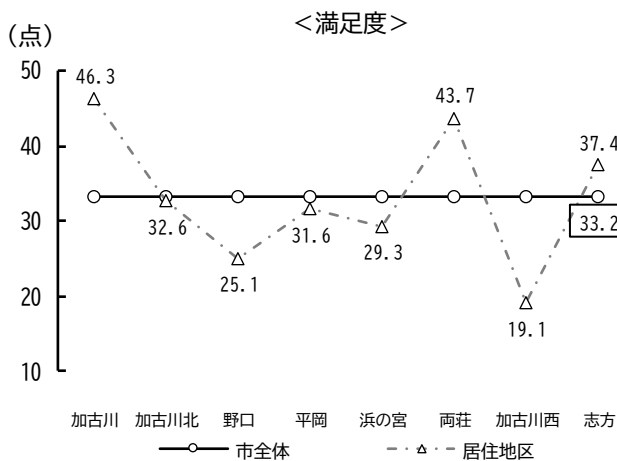
重要度を性年代別で見ると、20～29歳、30～39歳、70歳以上の男女と、18・19歳の男性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。

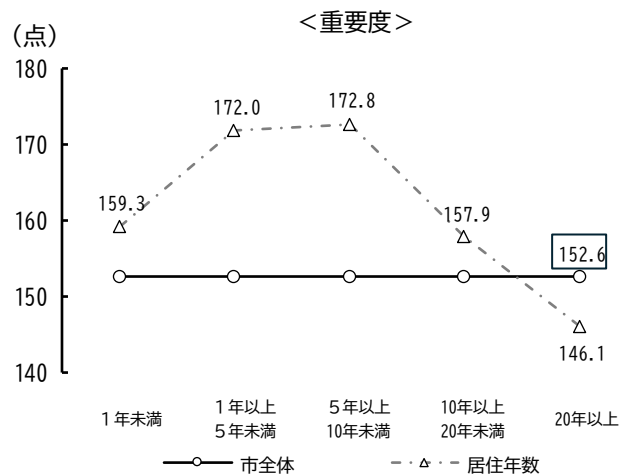
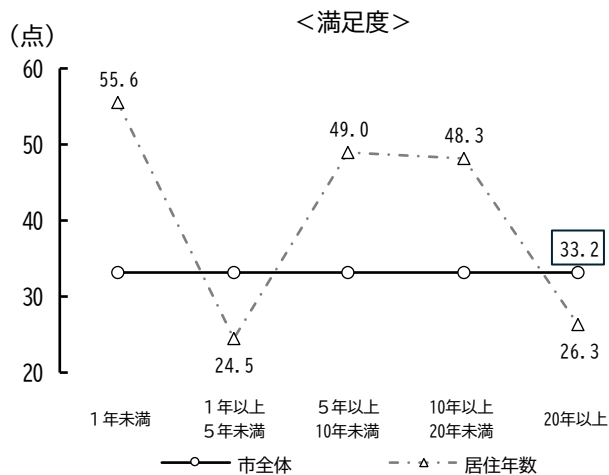
重要度を居住地区別で見ると、平岡、浜の宮で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

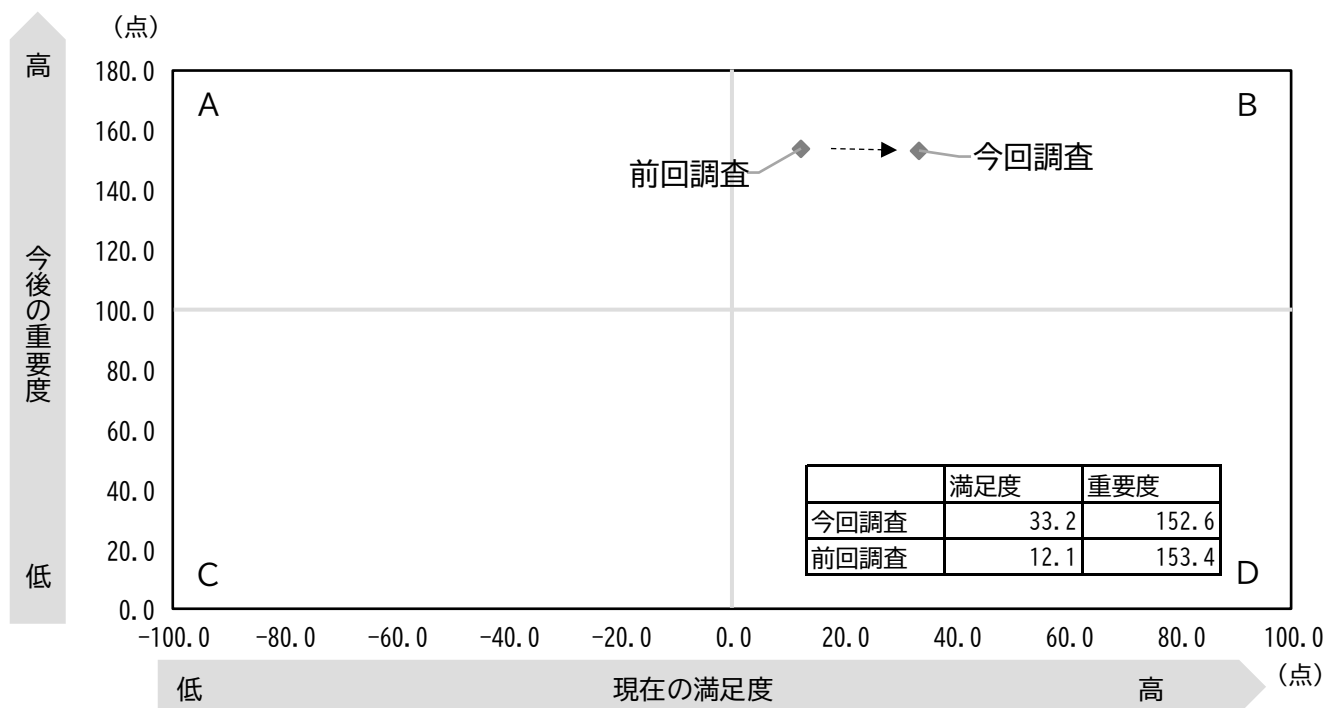
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。



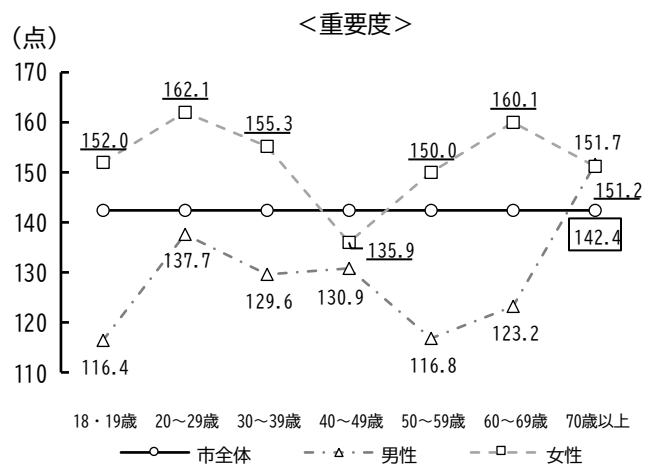
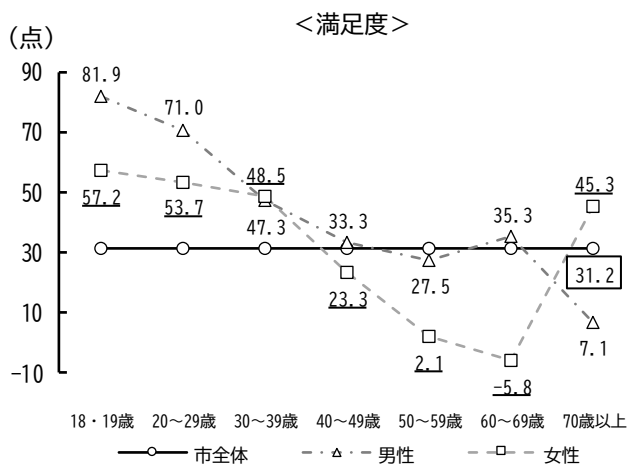
【特別支援教育の充実】

(4) 特別支援教育の内容

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、70歳以上の女性と、40～49歳、60～69歳の男性で市全体平均より高くなっている。

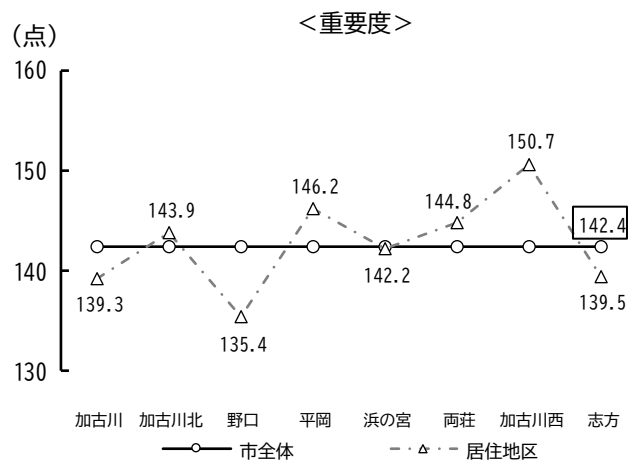
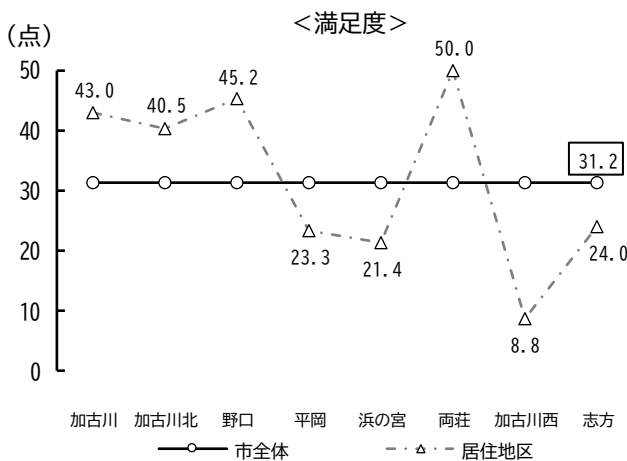
重要度を性年代別で見ると、70歳以上の男女と、18・19歳、20～29歳、30～39歳、50～59歳、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、加古川北、野口、両荘で市全体平均より高くなっている。

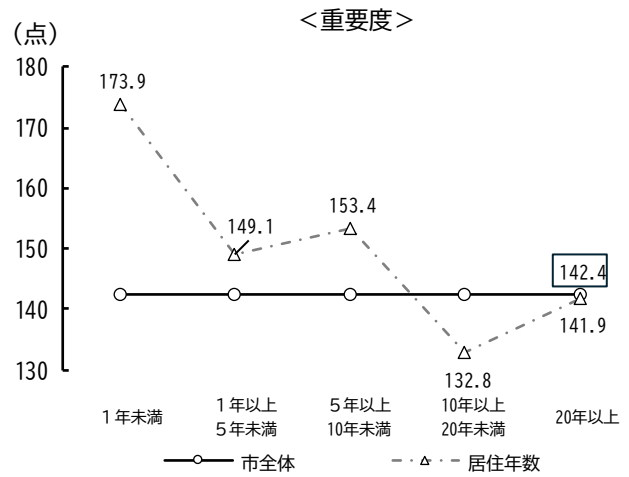
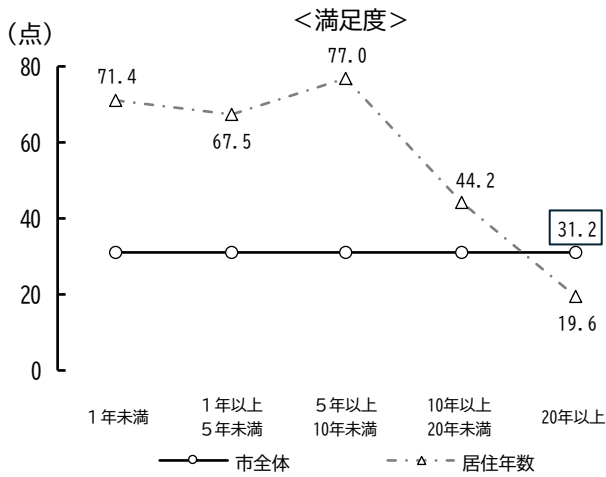
重要度を居住地区別で見ると、加古川北、平岡、両荘、加古川西で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

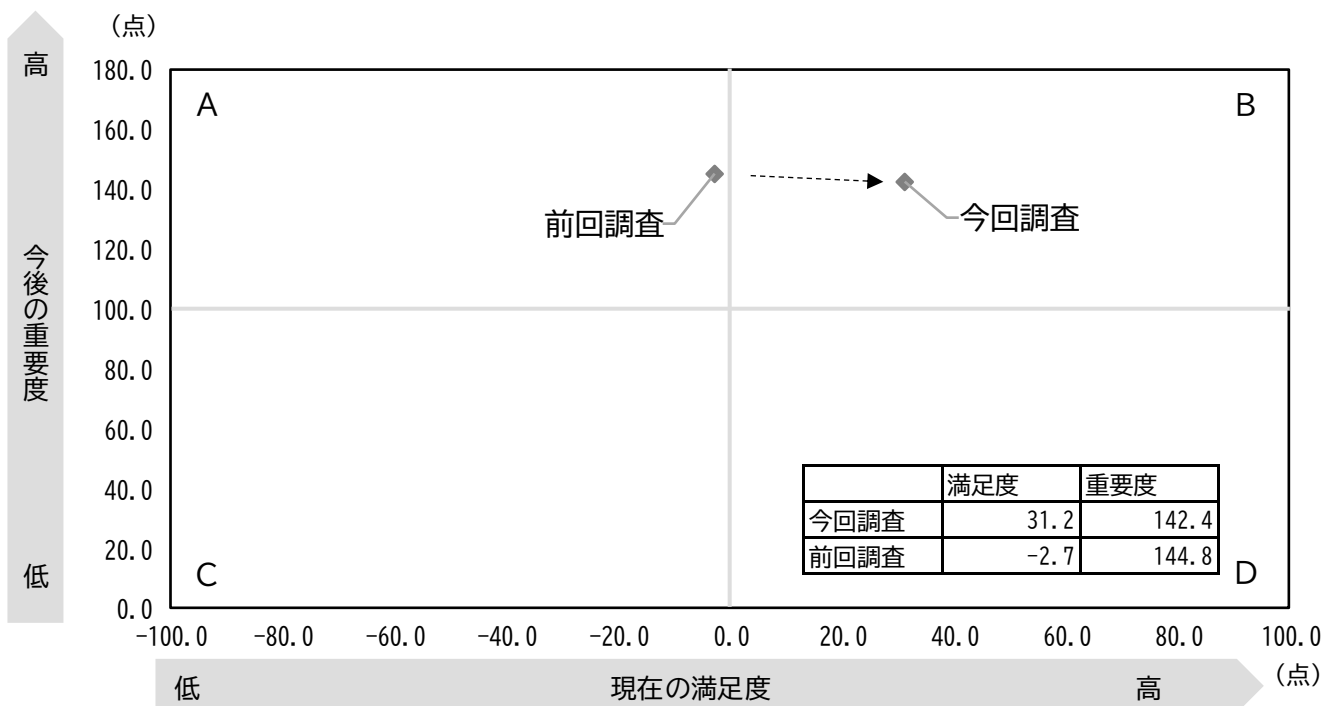
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。



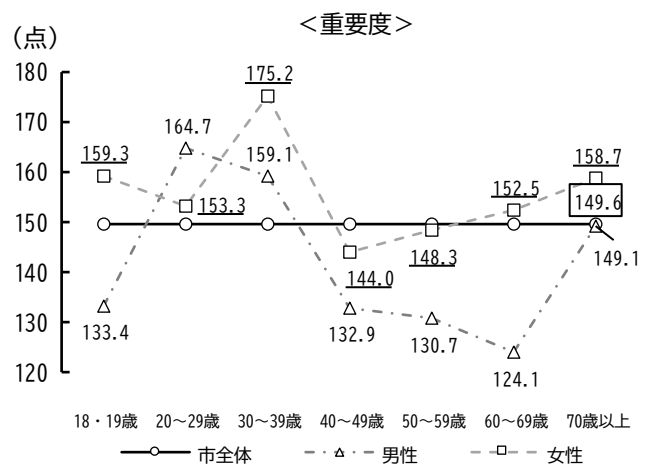
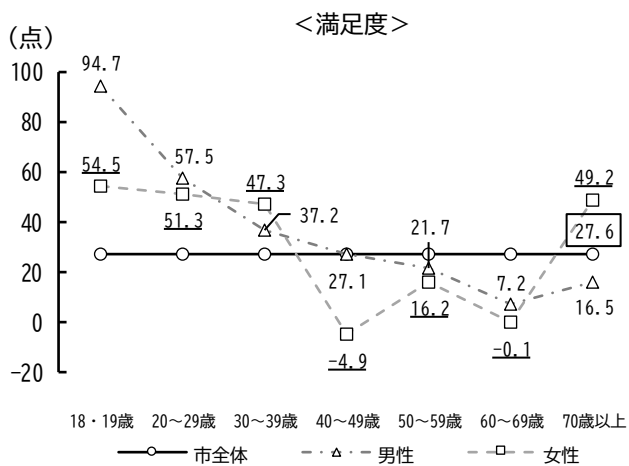
〔教育環境の充実〕

(5) 教育を支える体制や学習環境

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

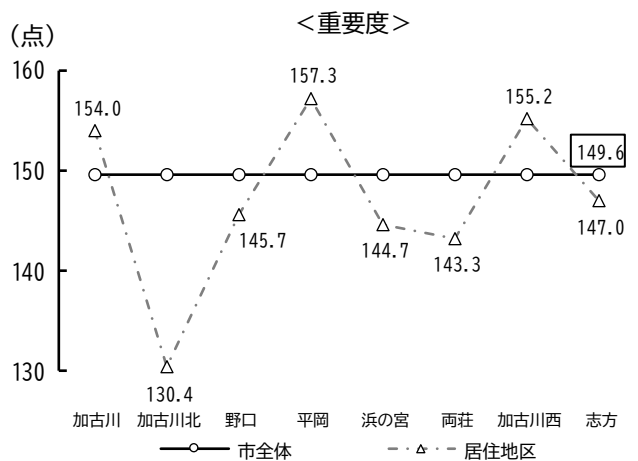
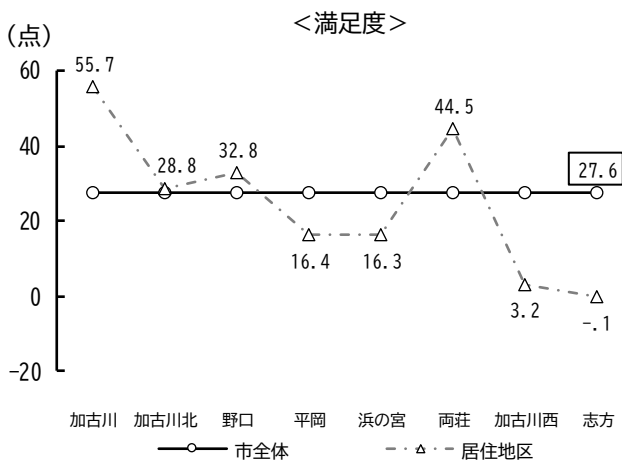
重要度を性年代別で見ると、20～29歳、30～39歳の男女と、18・19歳、60～69歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、加古川北、野口、両荘で市全体平均より高くなっている。

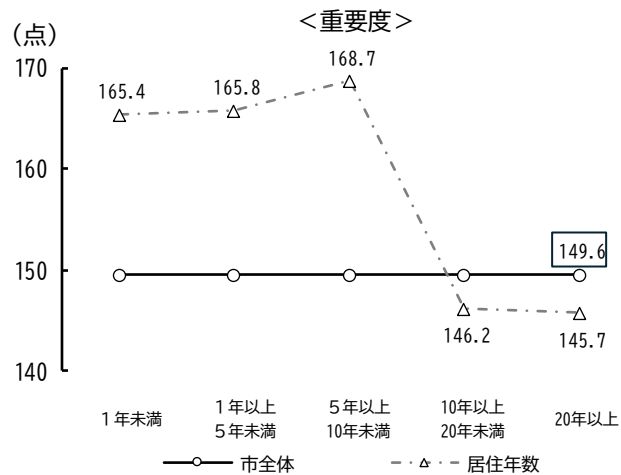
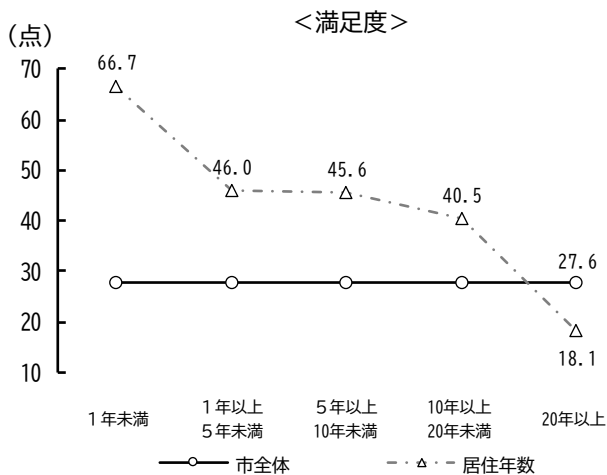
重要度を居住地区別で見ると、加古川、平岡、加古川西で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

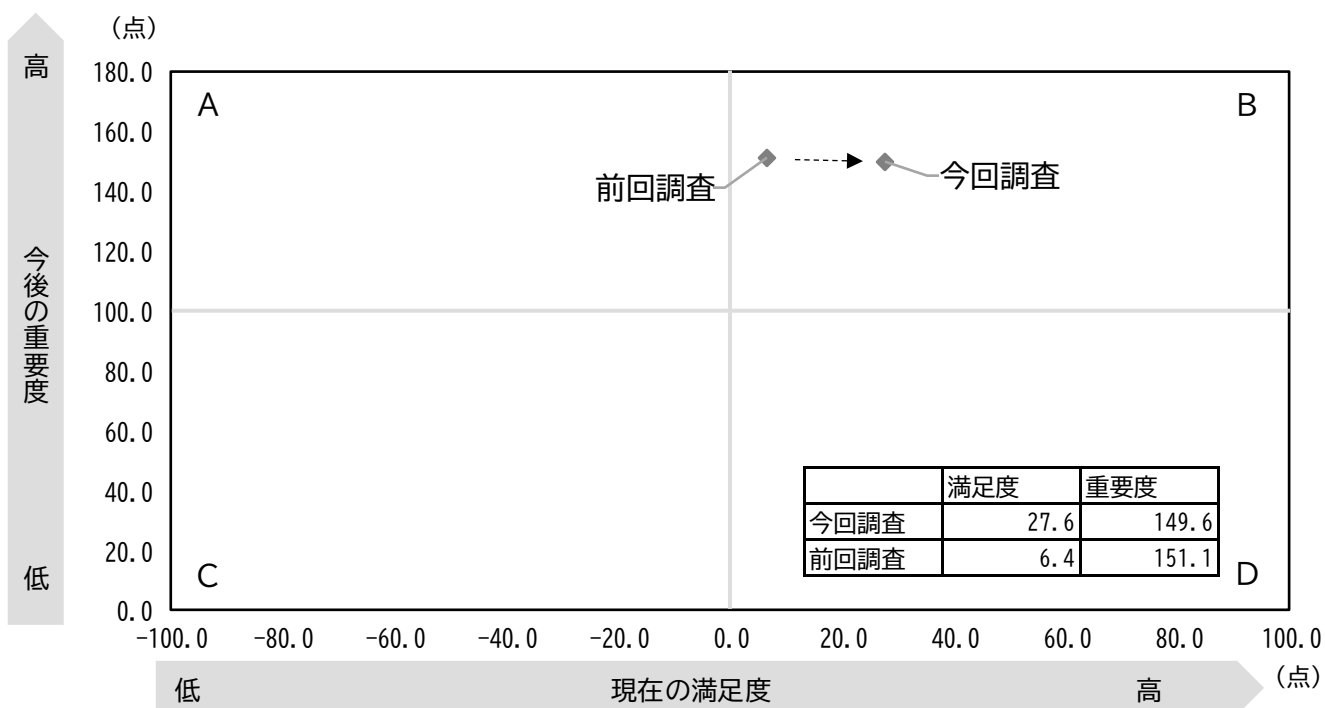
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。



地域における教育・学習環境を整備する

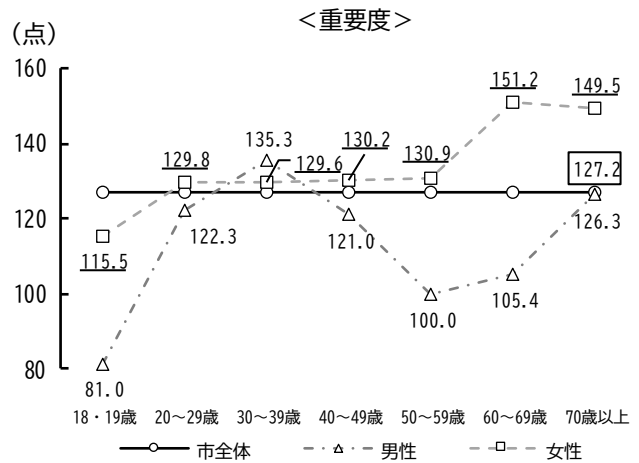
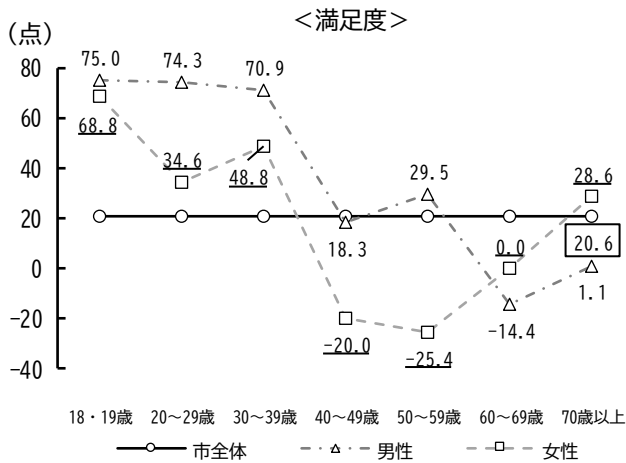
〔生涯学習の推進〕

(6) 生涯学習の機会や環境

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、70歳以上の女性と、50～59歳の男性で市全体平均より高くなっている。

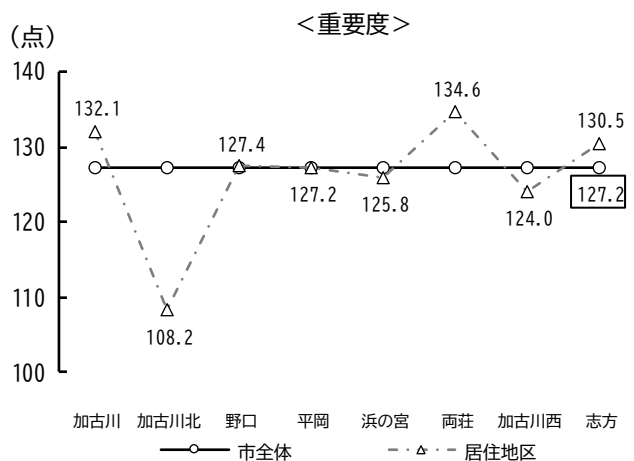
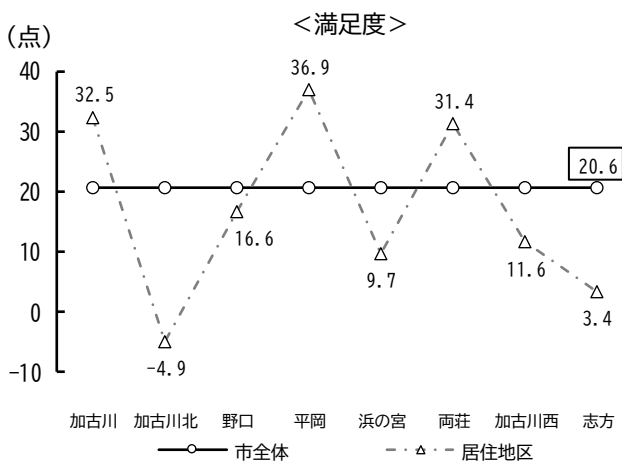
重要度を性年代別で見ると、30～39歳の男女と、20～29歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、平岡、両荘で市全体平均より高くなっている。

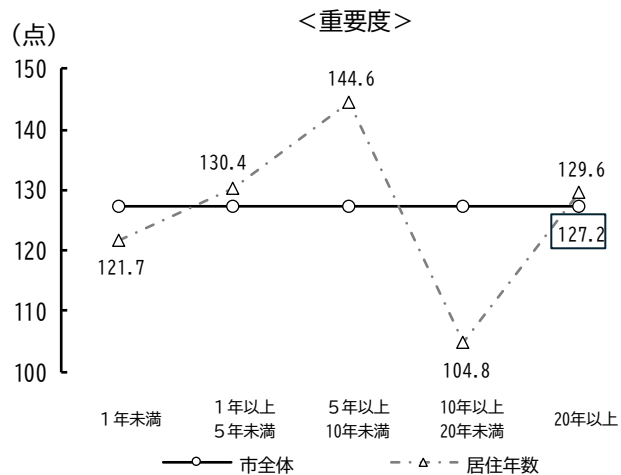
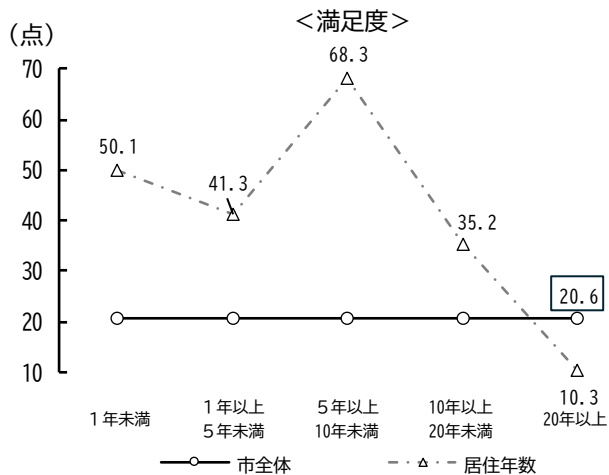
重要度を居住地区別で見ると、加古川、野口、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

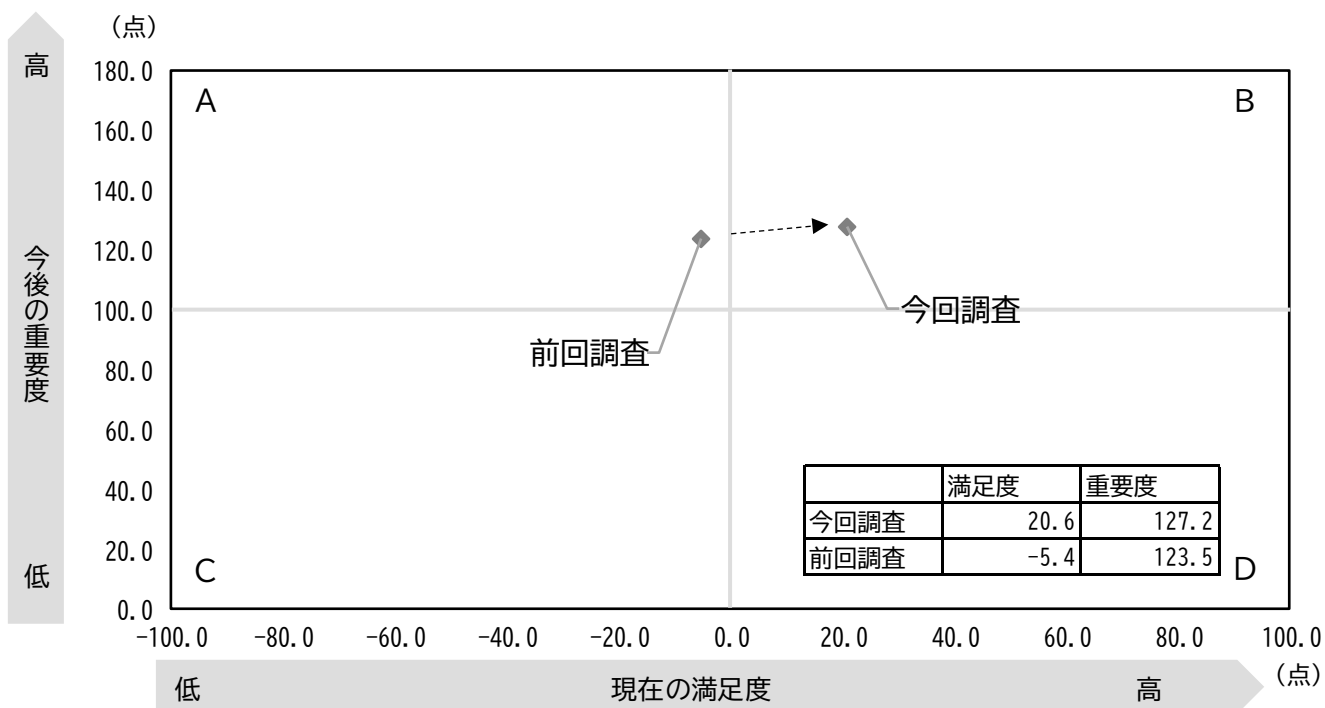
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年以上5年未満、5年以上10年未満、20年以上で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



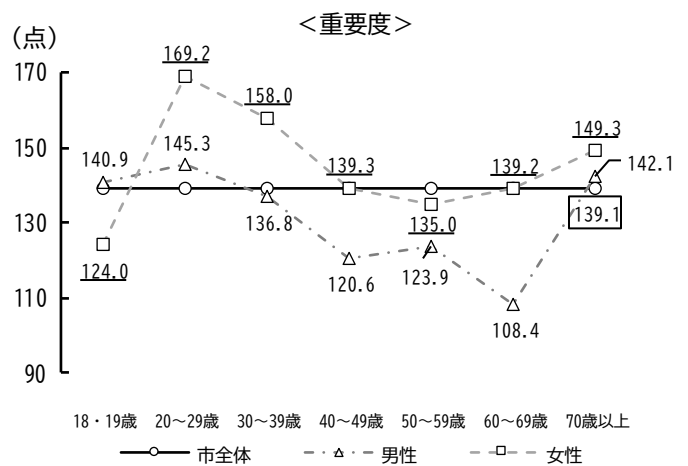
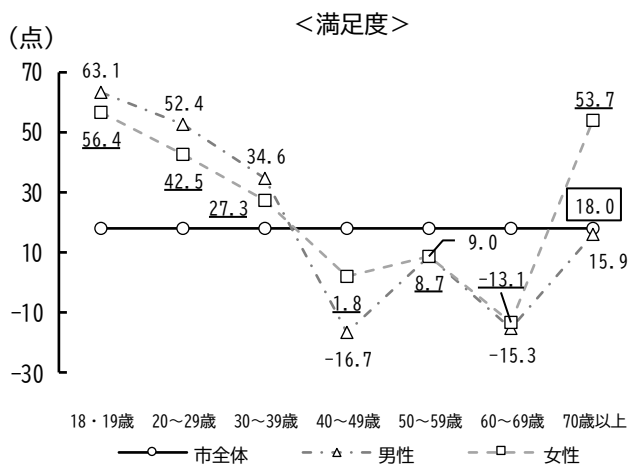
【青少年の健全育成】

(7) 青少年の健全な育成

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

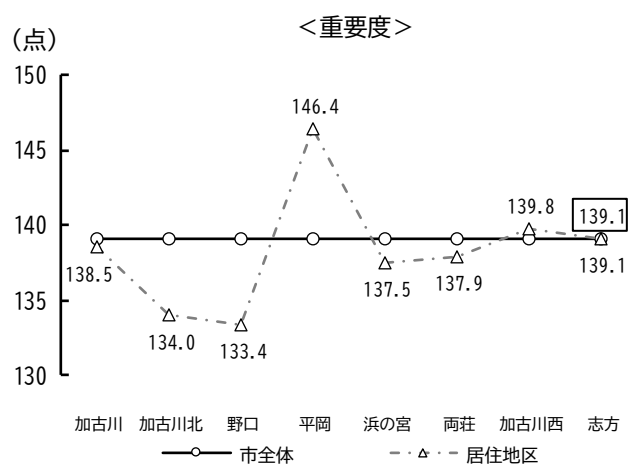
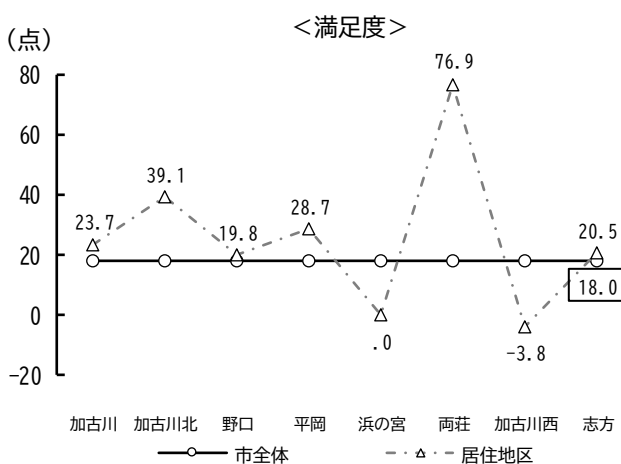
重要度を性年代別で見ると、20～29歳、70歳以上の男女と、30～39歳、40～49歳、60～69歳の女性と、18・19歳の男性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、加古川北、野口、平岡、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。

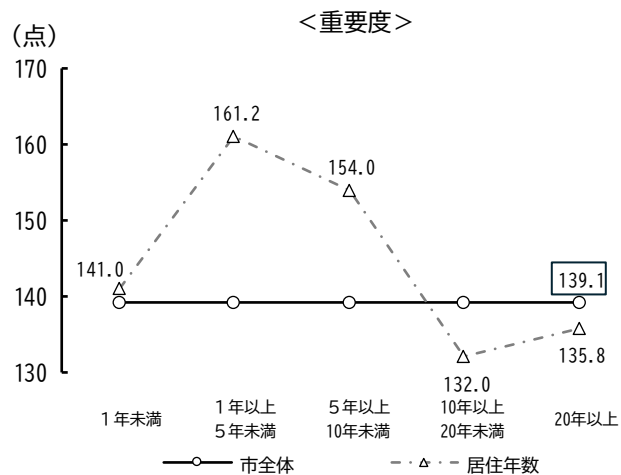
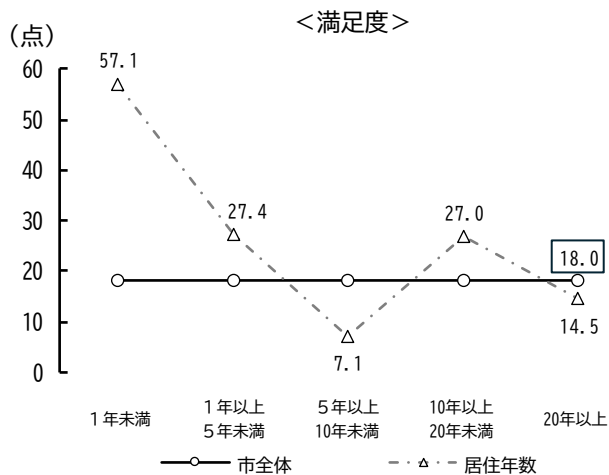
重要度を居住地区別で見ると、平岡、加古川西で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

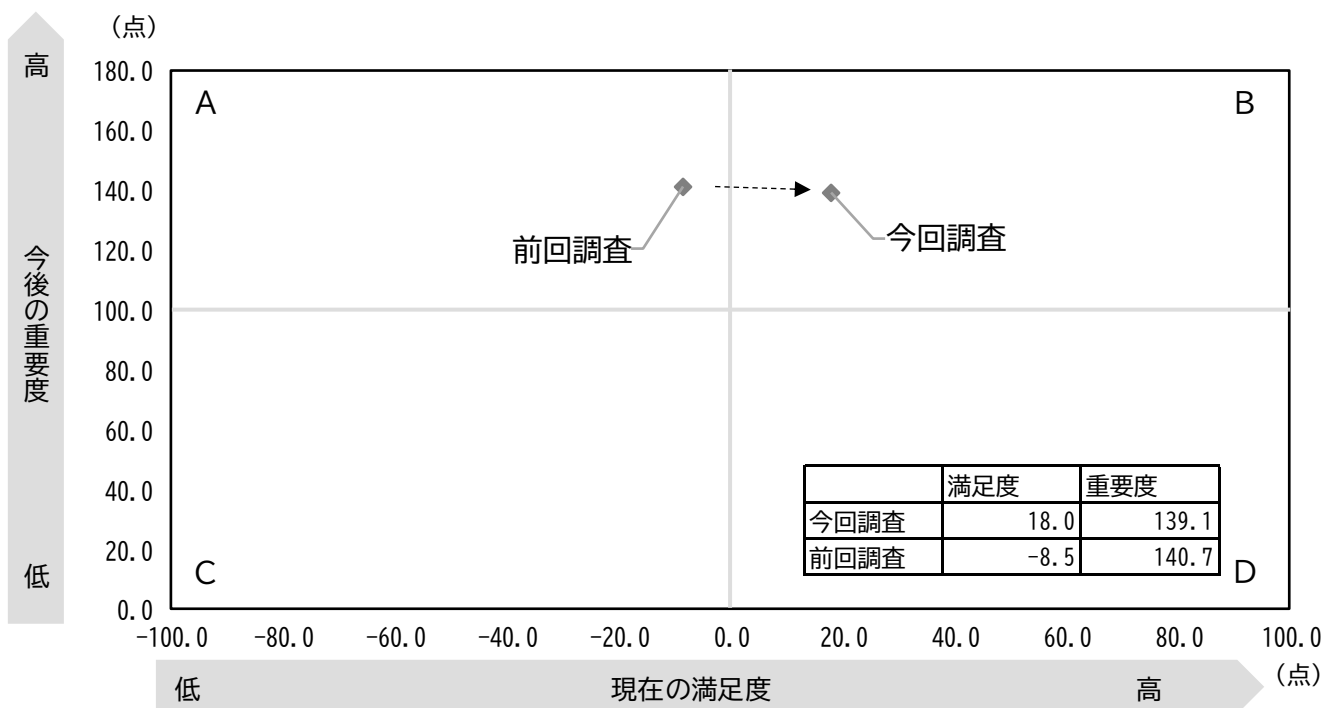
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。



スポーツや文化・芸術を振興する

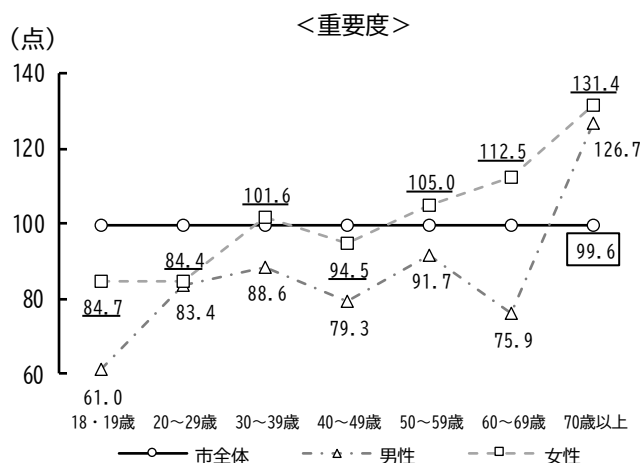
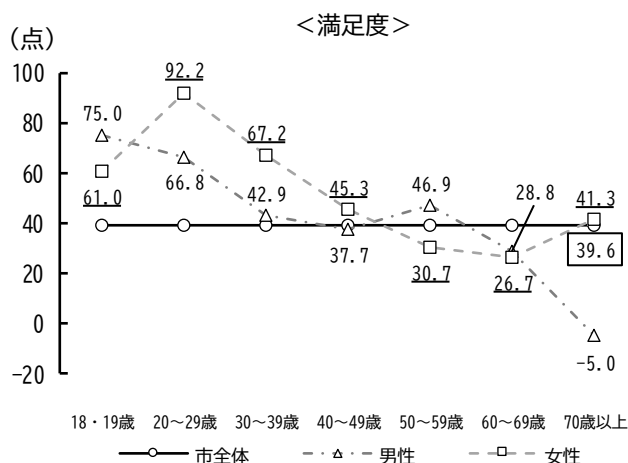
〔スポーツ・レクリエーション活動の推進〕

(8) スポーツ・レクリエーション活動の機会や環境

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、40～49歳、70歳以上の女性と、50～59歳の男性で市全体平均より高くなっている。

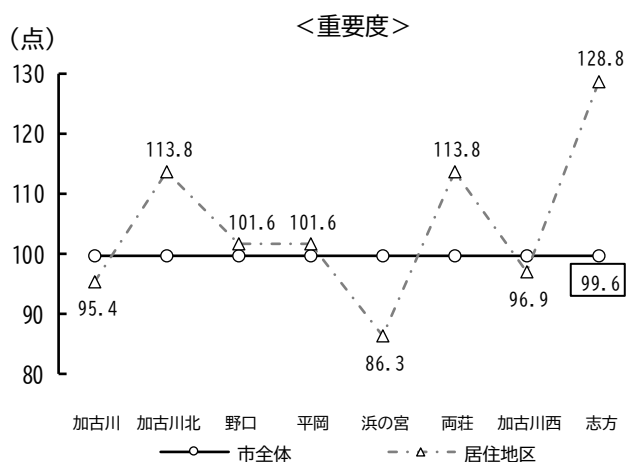
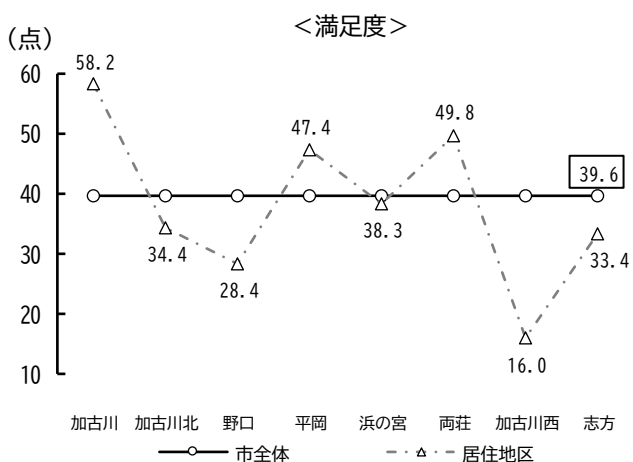
重要度を性年代別で見ると、70歳以上の男女と、30～39歳、50～59歳、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、平岡、両荘で市全体平均より高くなっている。

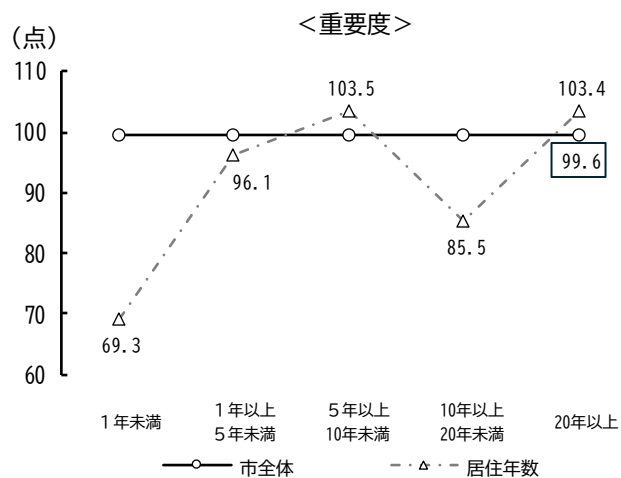
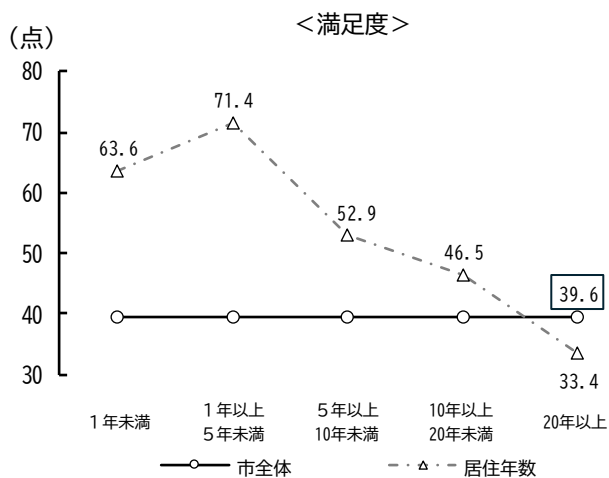
重要度を居住地区別で見ると、加古川北、野口、平岡、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

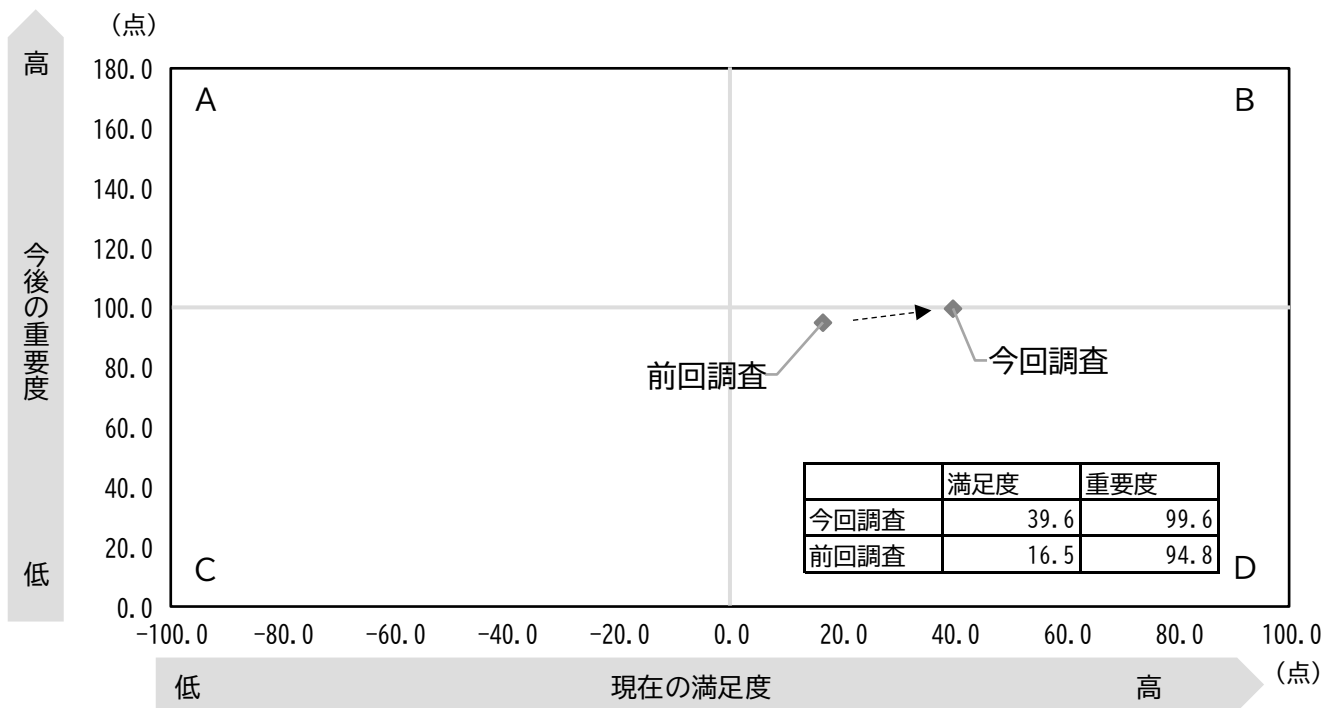
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、5年以上10年未満、20年以上で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



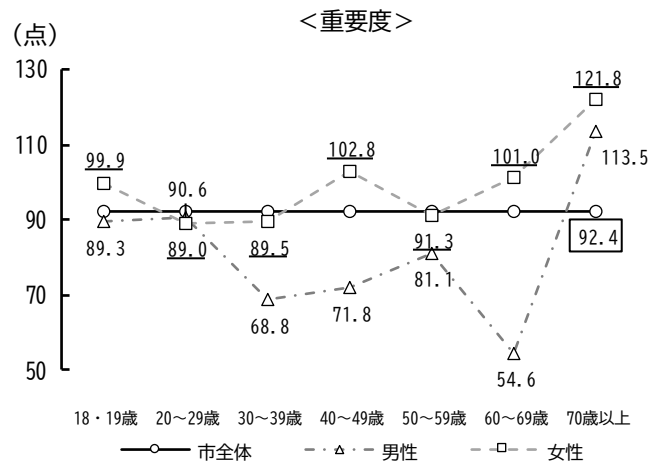
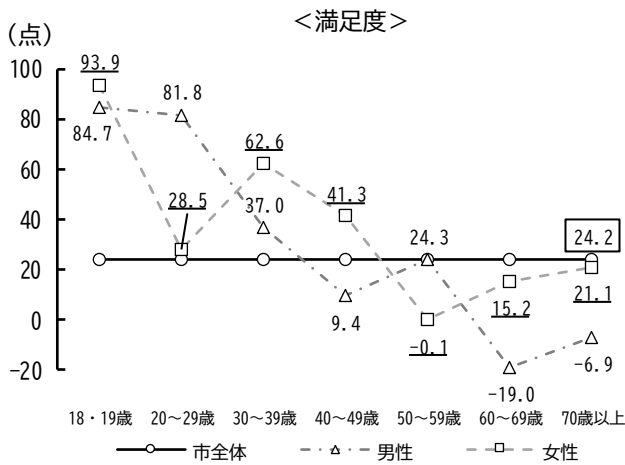
【文化・芸術の振興】

(9) 文化・芸術に接する機会

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、40～49歳の女性と、50～59歳の男性で市全体平均より高くなっている。

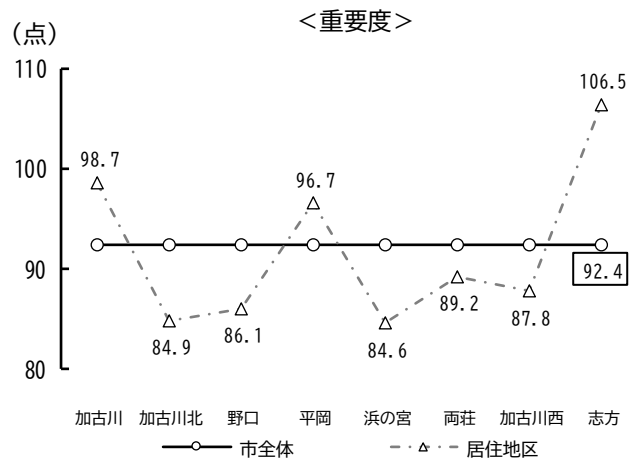
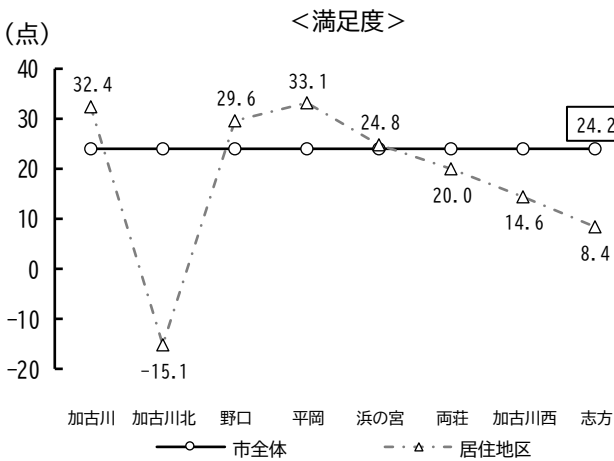
重要度を性年代別で見ると、70歳以上の男女と、18・19歳、40～49歳、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、野口、平岡、浜の宮で市全体平均より高くなっている。

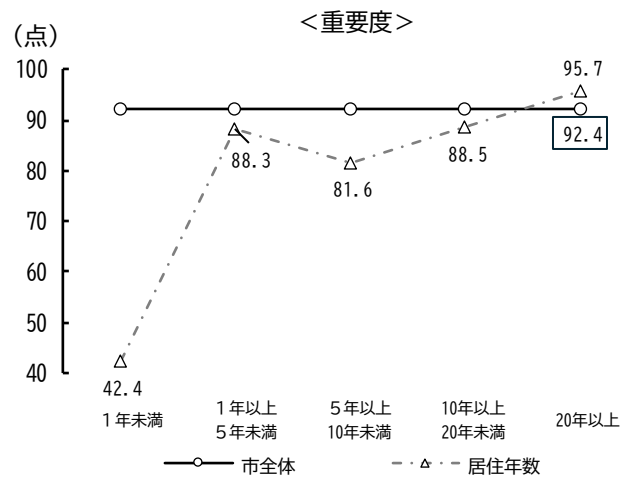
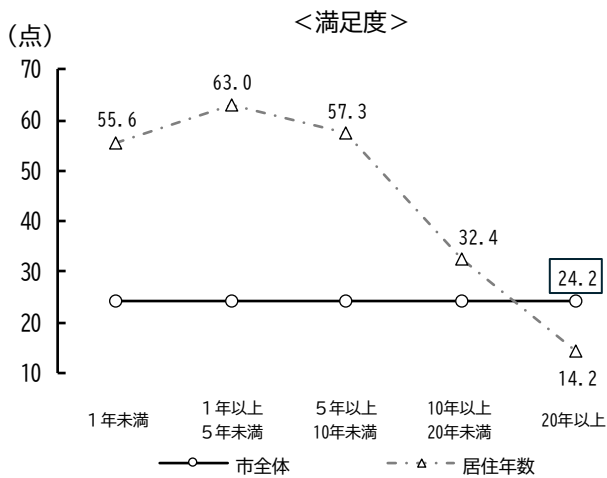
重要度を居住地区別で見ると、加古川、平岡、志方で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

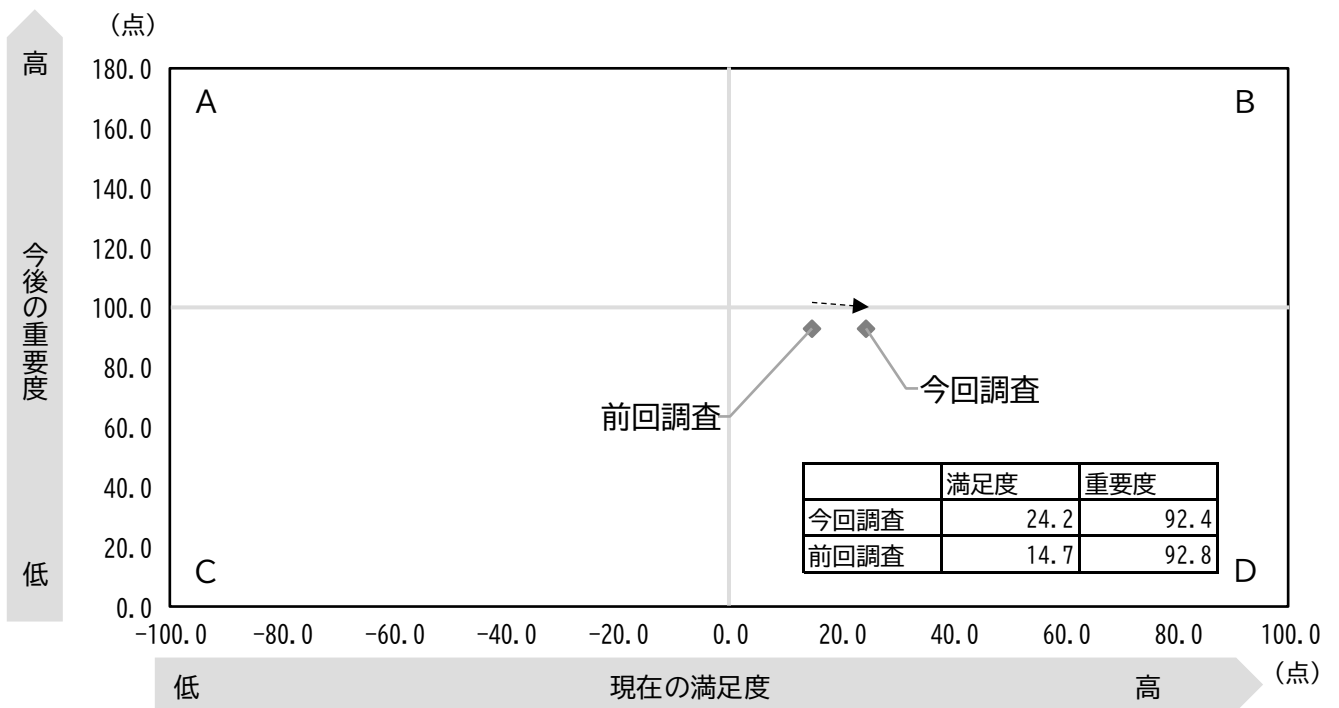
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、20年以上で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。



互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する

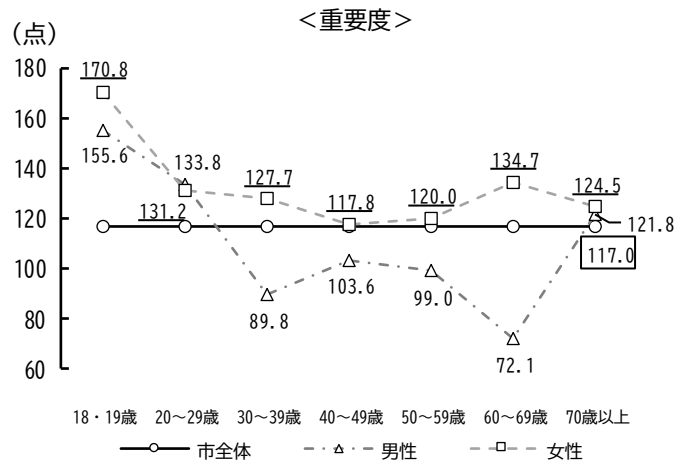
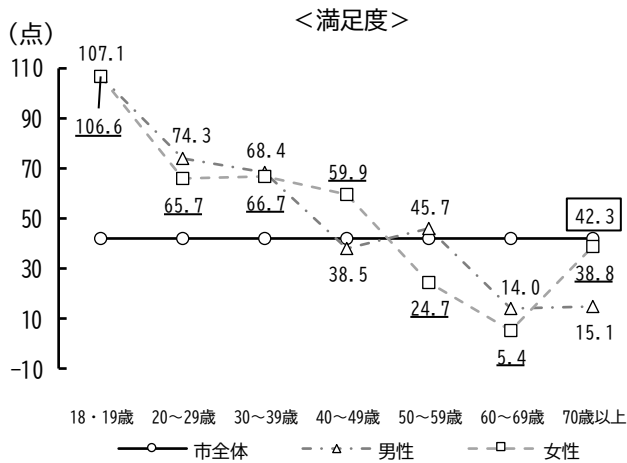
【人権文化の確立】

(10) 人権に関する教育や啓発

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、40～49歳の女性と、50～59歳の男性で市全体平均より高くなっている。

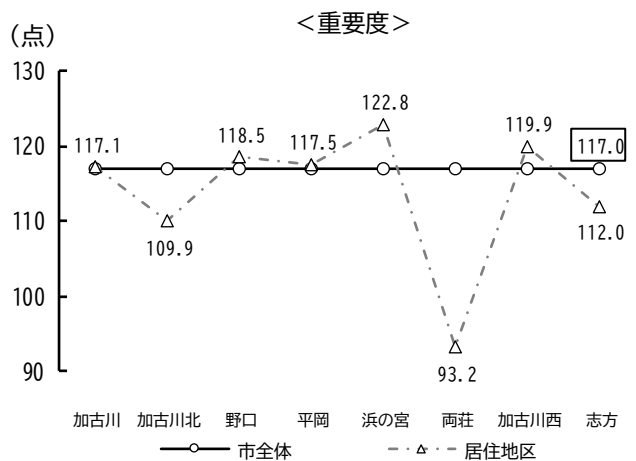
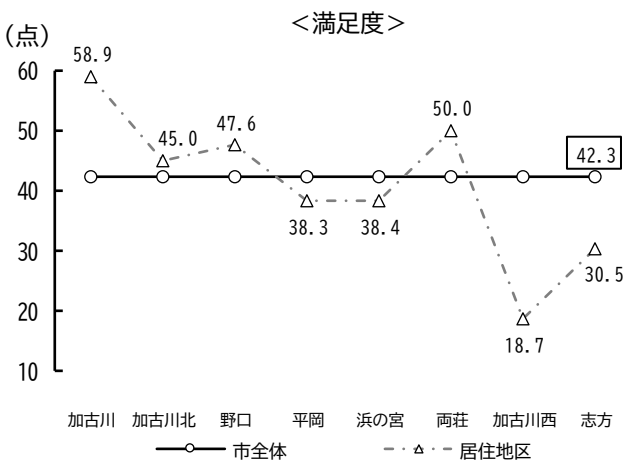
重要度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、70歳以上の男女と、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、加古川北、野口、両荘で市全体平均より高くなっている。

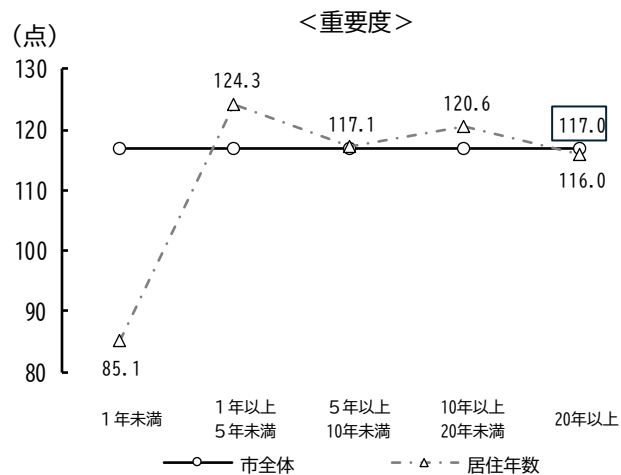
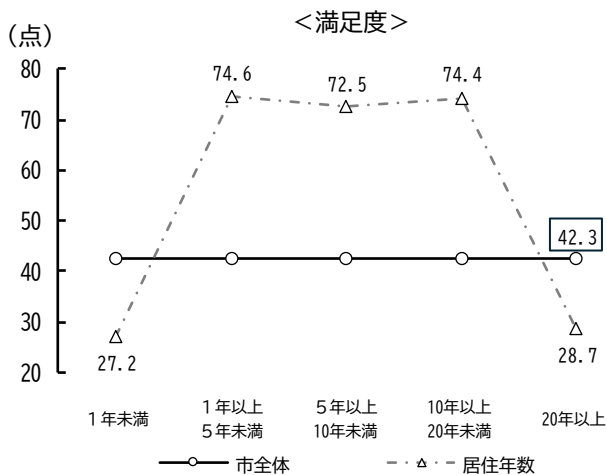
重要度を居住地区別で見ると、加古川、野口、平岡、浜の宮、加古川西で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

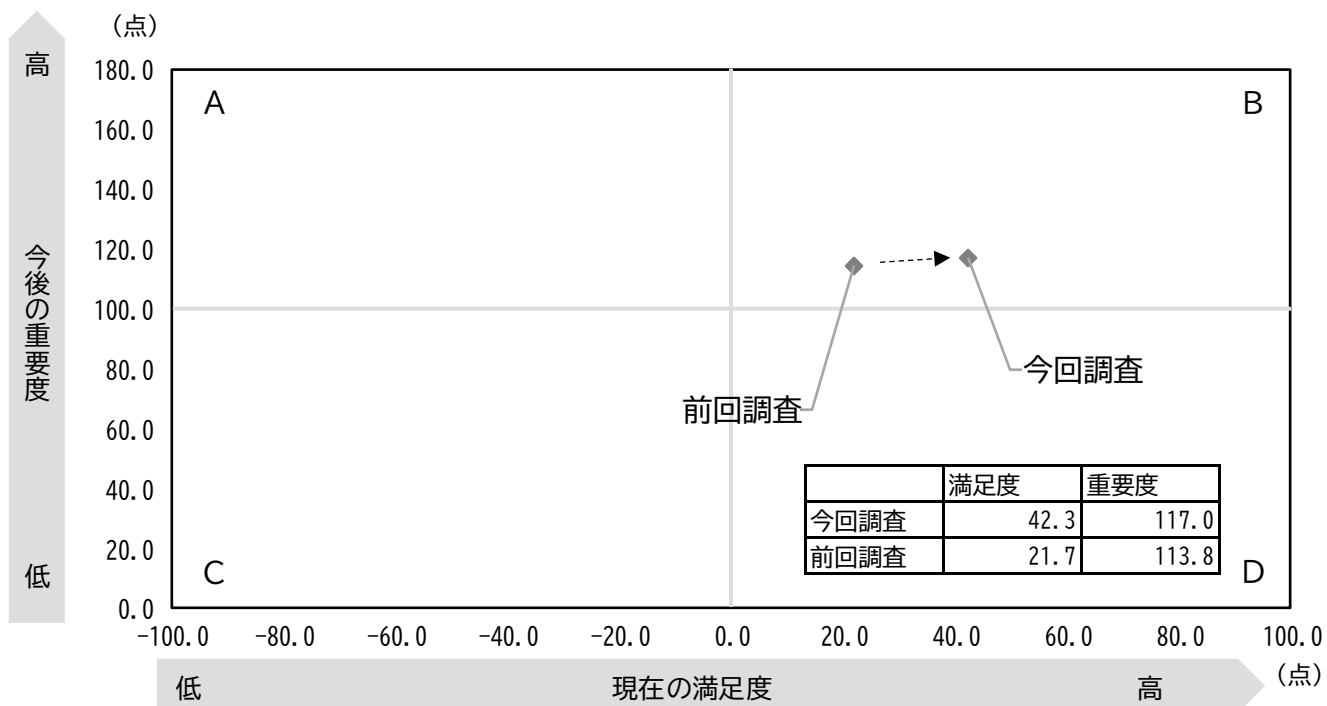
満足度を居住年数別で見ると、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



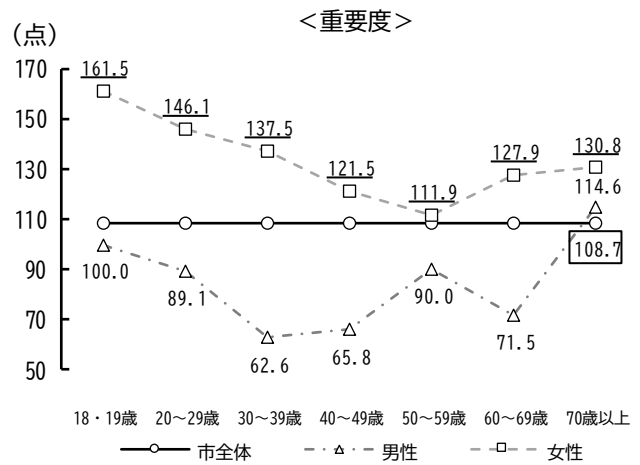
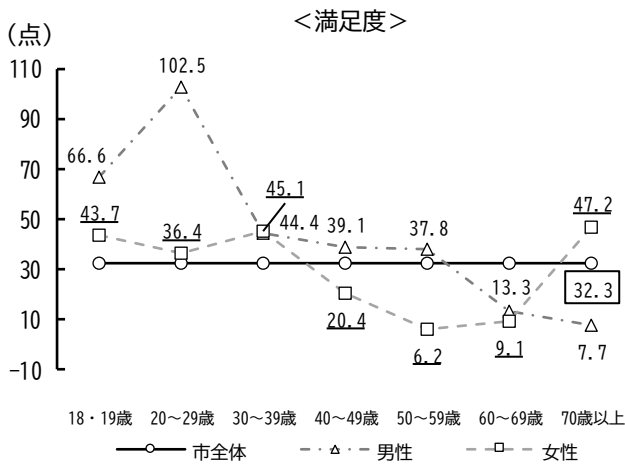
【男女共同参画社会の形成】

(11) 男女共同参画の推進

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、70歳以上の女性と、40～49歳、50～59歳の男性で市全体平均より高くなっている。

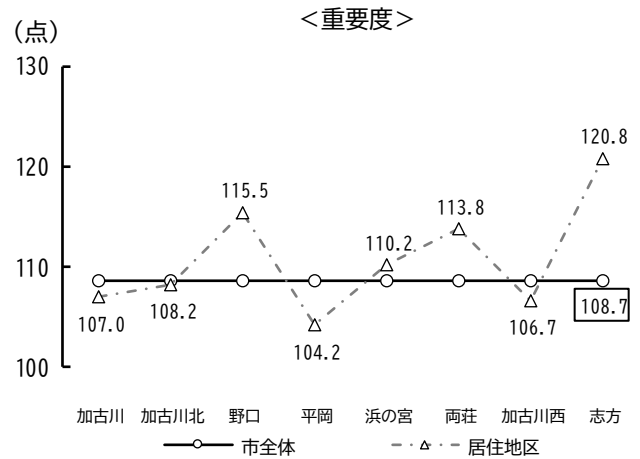
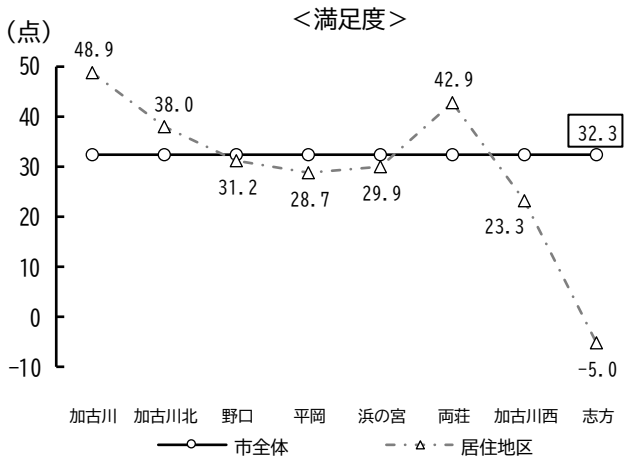
重要度を性年代別で見ると、70歳以上の男女と、18・19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、加古川北、両荘で市全体平均より高くなっている。

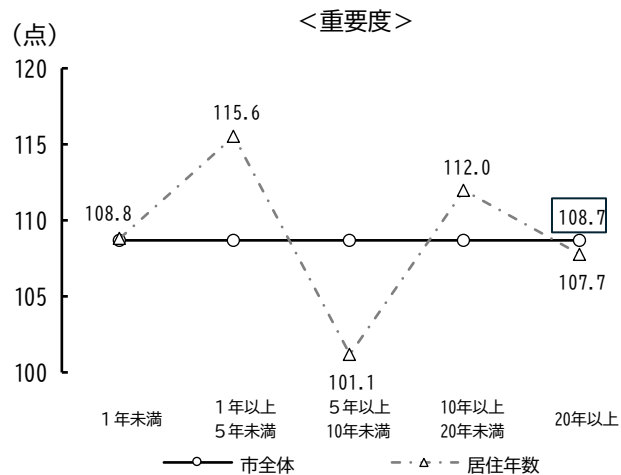
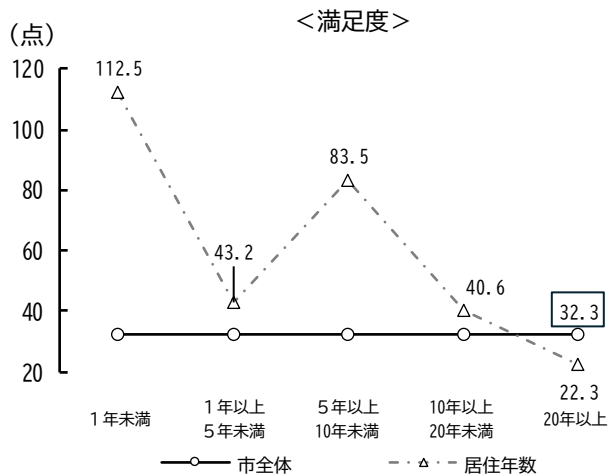
重要度を居住地区別で見ると、野口、浜の宮、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

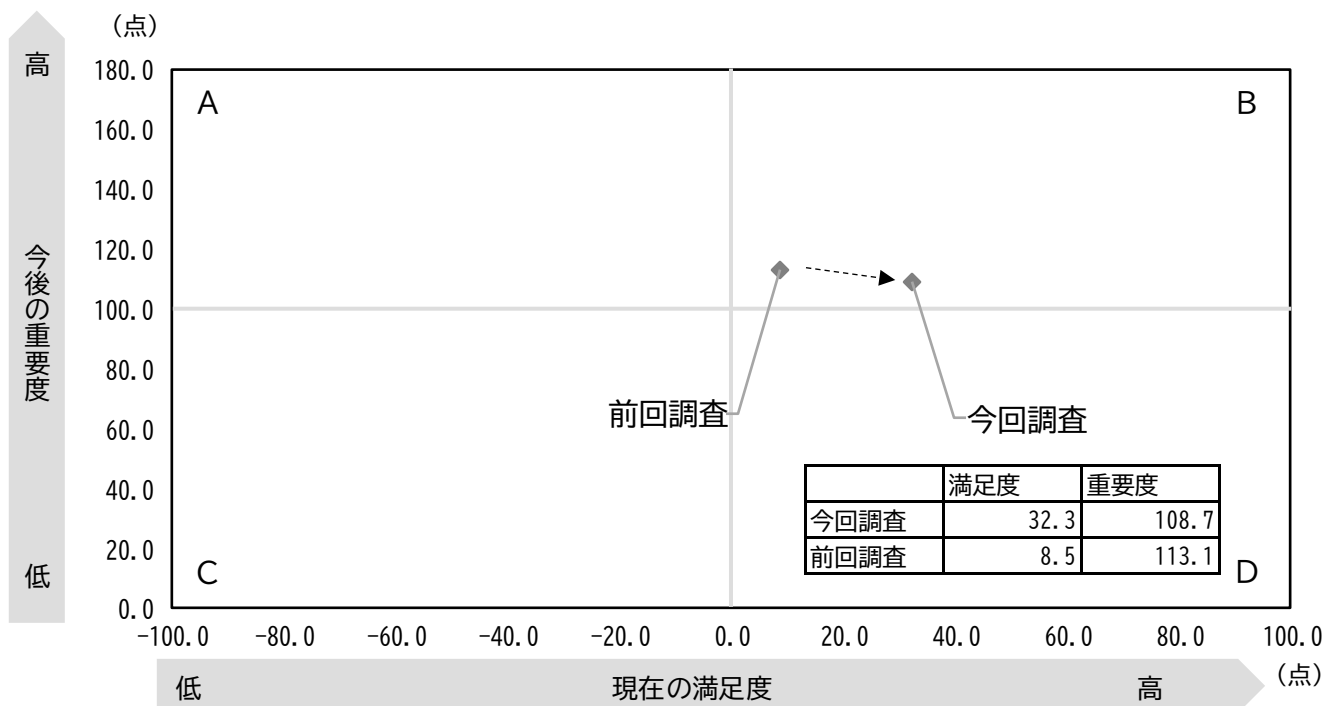
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。

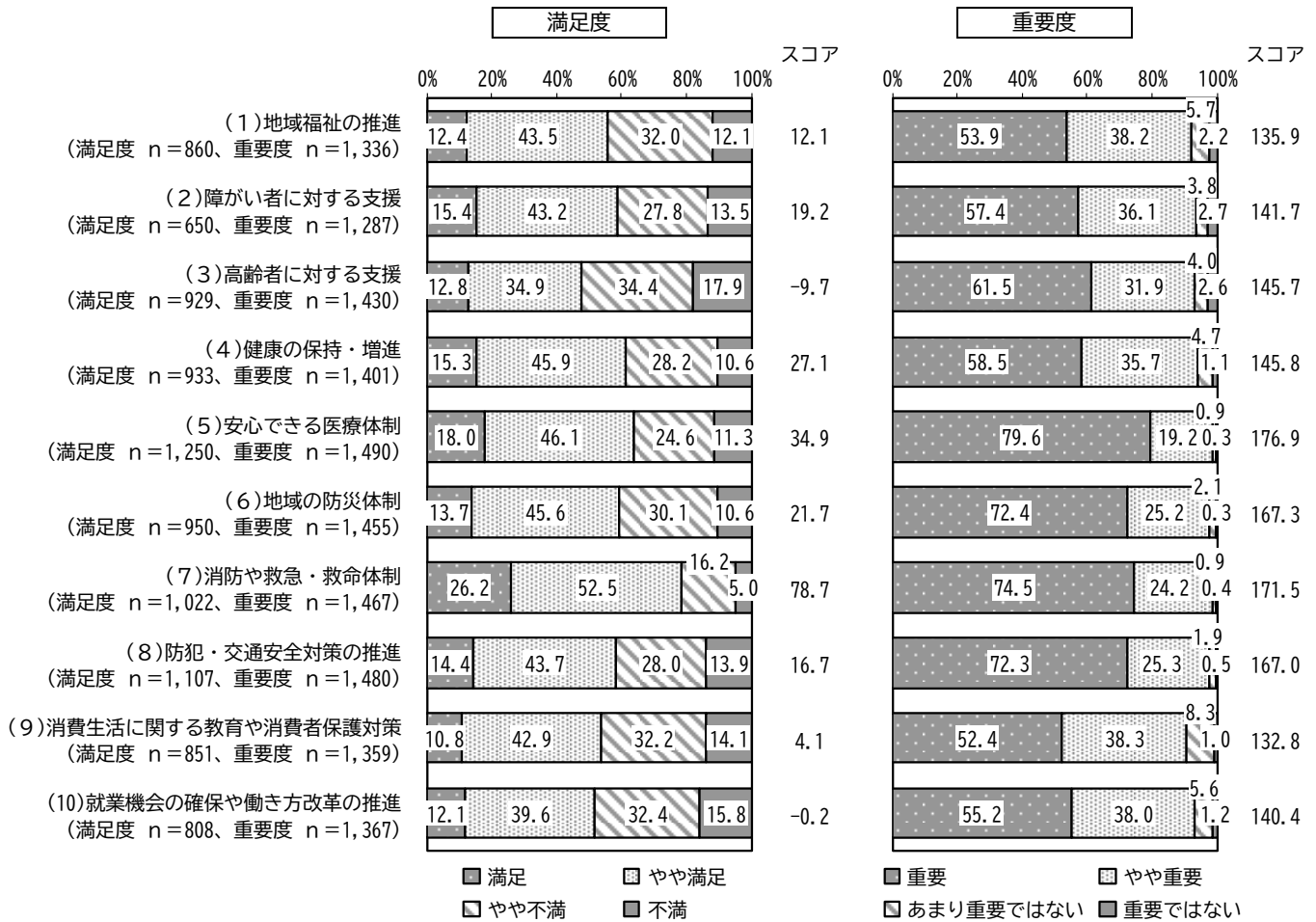


3-2 安心して暮らせるまち

施策の満足度スコアが最も高い項目は「(7)消防や救急・救命体制」、次いで「(5)安心できる医療体制」となっています。一方、最も低い項目は「(3)高齢者に対する支援」、次いで「(10)就業機会の確保や働き方改革の推進」となっています。

施策の重要度スコアが最も高い項目は「(5)安心できる医療体制」、次いで「(7)消防や救急・救命体制」となっています。一方、最も低い項目は「(9)消費生活に関する教育や消費者保護対策」、次いで「(1)地域福祉の推進」となっています。

《全体》 ※グラフは「わからない」、「無回答」を除いて集計



ともに支えあう福祉社会を実現する

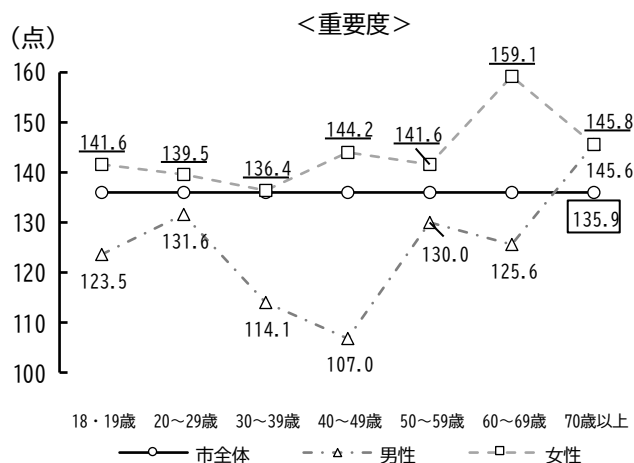
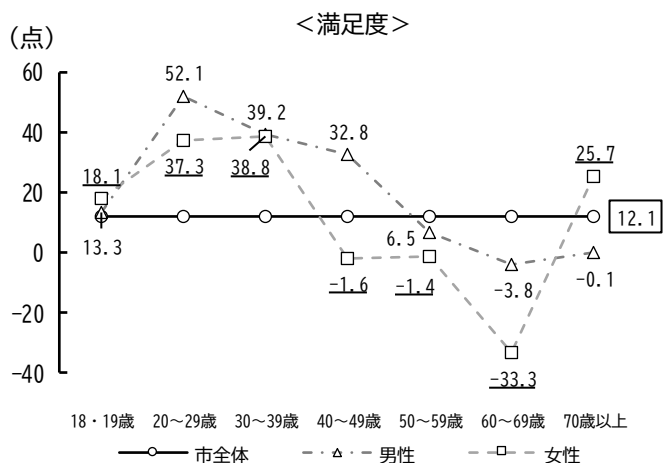
【地域福祉の充実】

(12) 地域福祉の推進

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、70歳以上の女性と、40～49歳の男性で市全体平均より高くなっている。

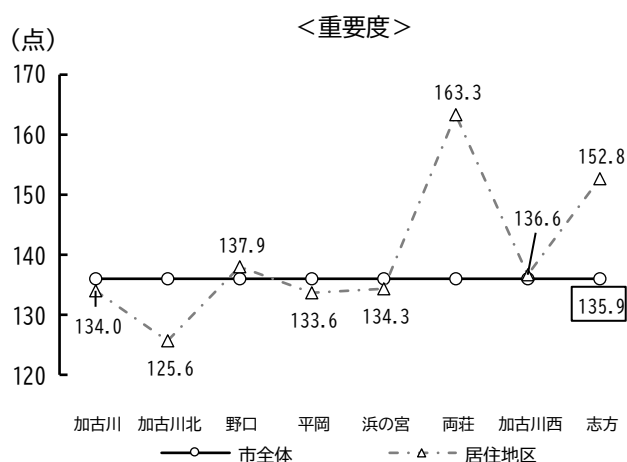
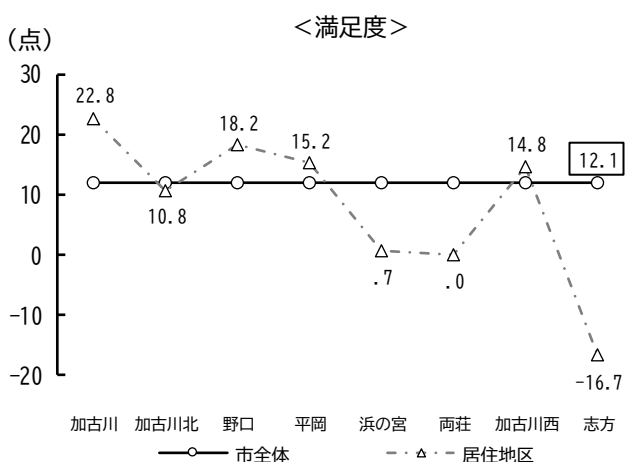
重要度を性年代別で見ると、70歳以上の男女と、18・19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、野口、平岡、加古川西で市全体平均より高くなっている。

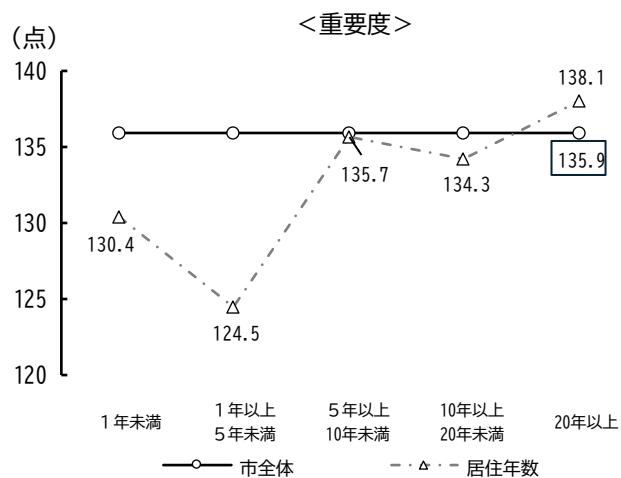
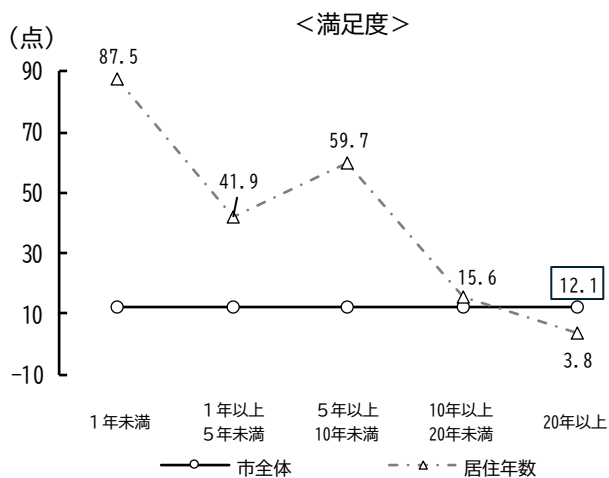
重要度を居住地区別で見ると、野口、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

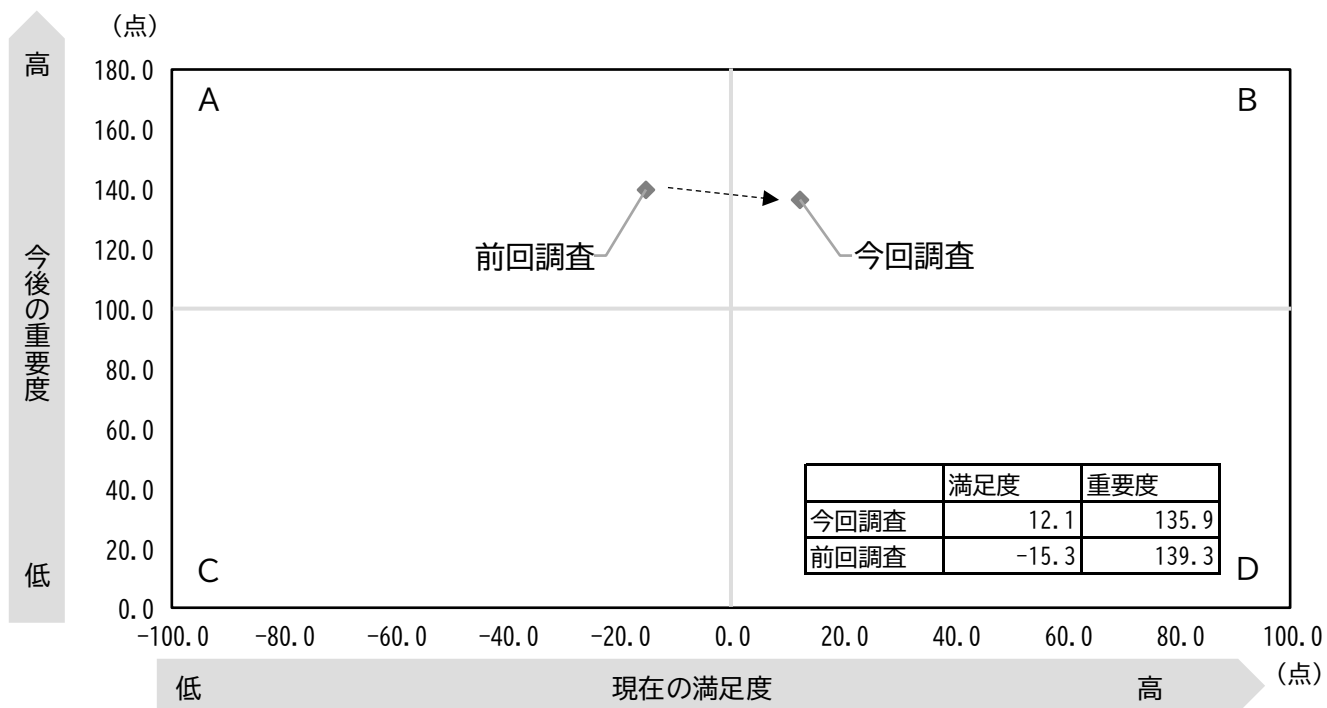
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、20年以上で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。



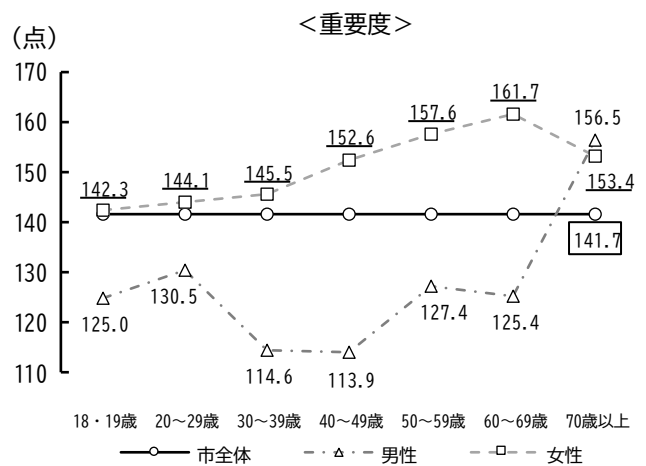
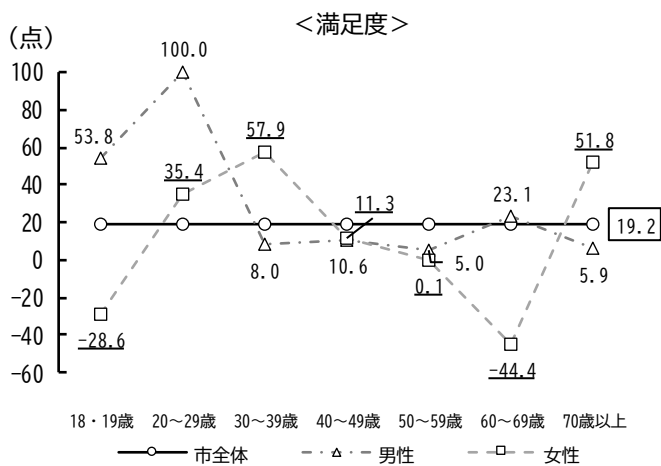
【障がい者福祉の充実】

(13) 障がい者に対する支援

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、20～29歳の男女と、30～39歳、70歳以上の女性と、18・19歳、60～69歳の男性で市全体平均より高くなっている。

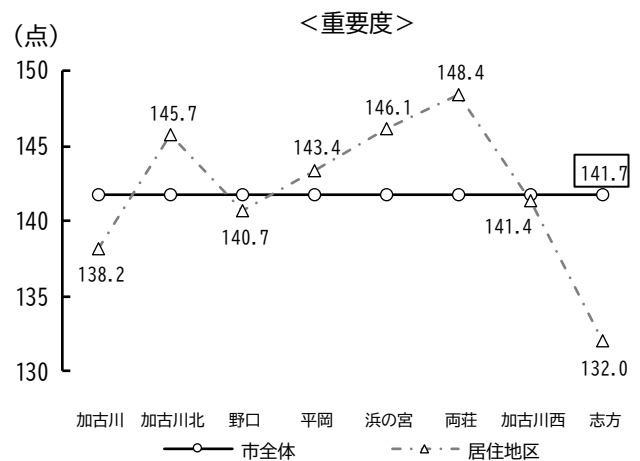
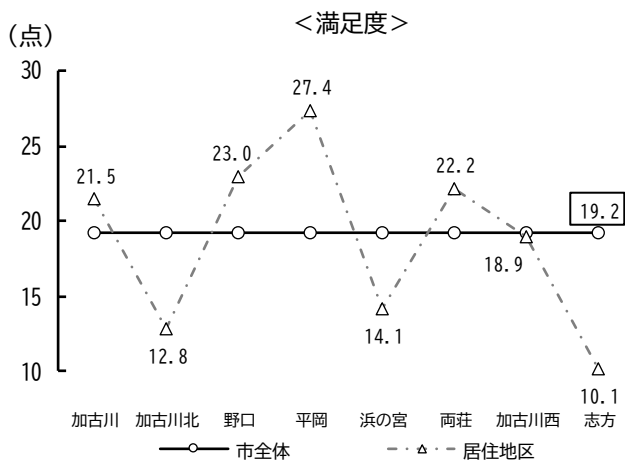
重要度を性年代別で見ると、70歳以上の男女と、18・19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、野口、平岡、両荘で市全体平均より高くなっている。

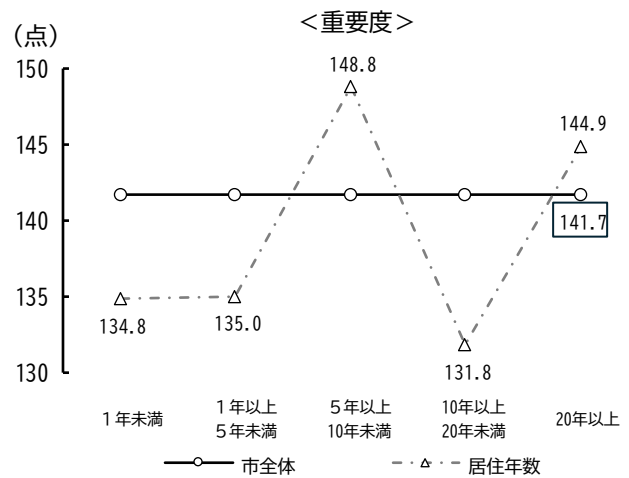
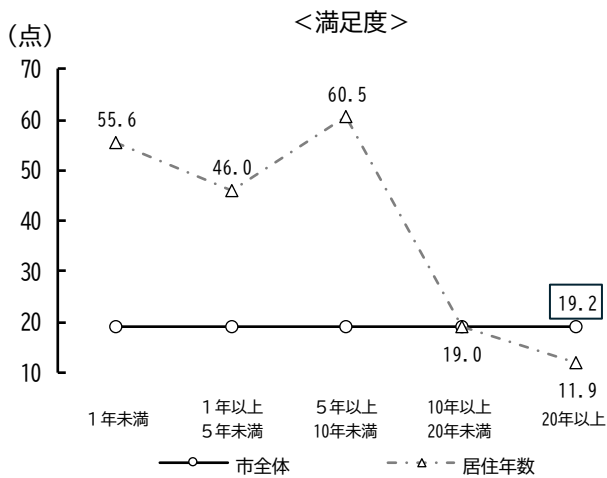
重要度を居住地区別で見ると、加古川北、平岡、浜の宮、両荘で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

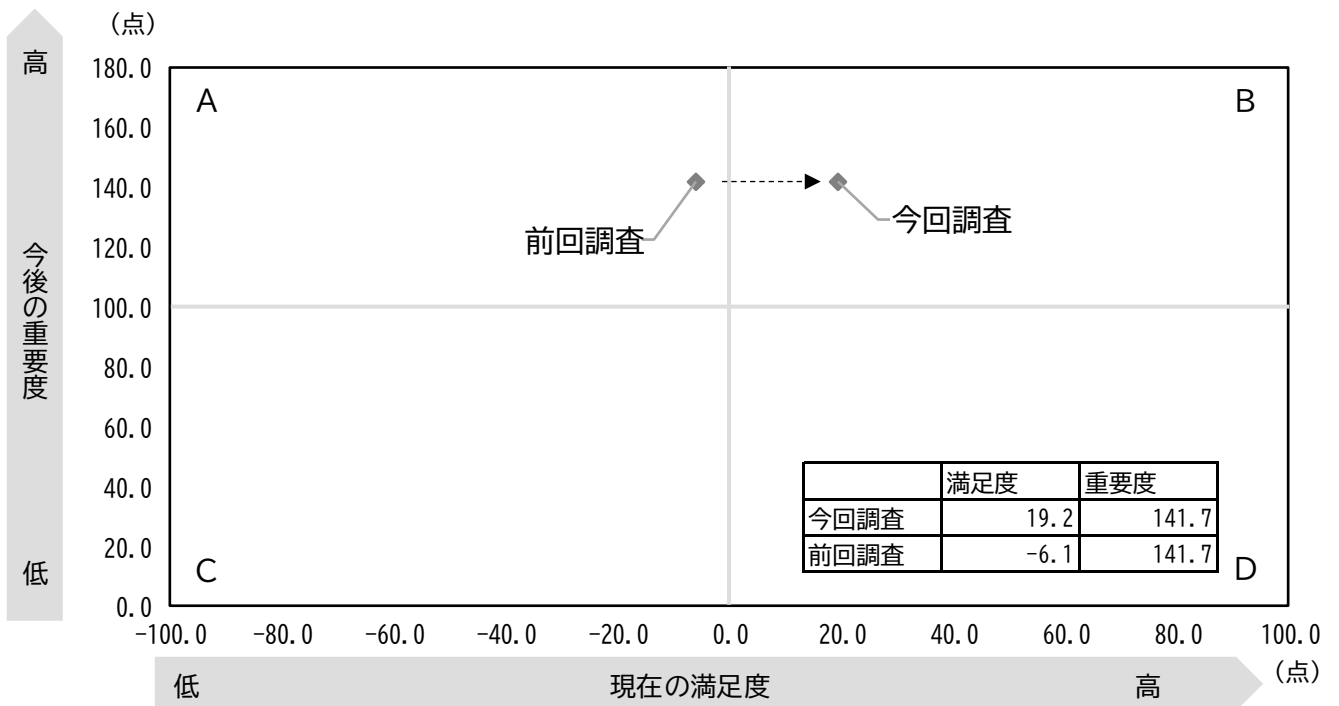
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、5年以上10年未満、20年以上で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高くなっている。



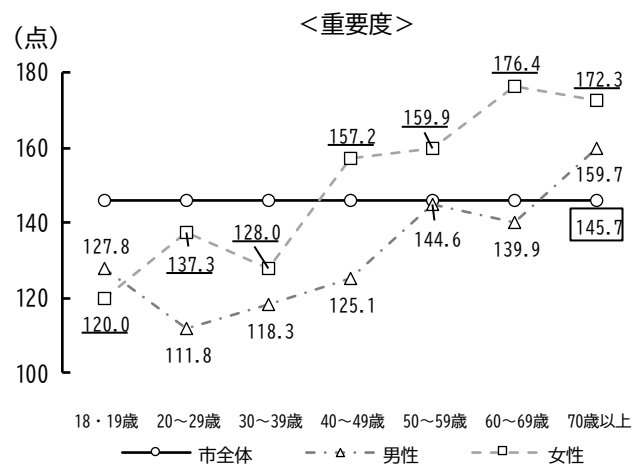
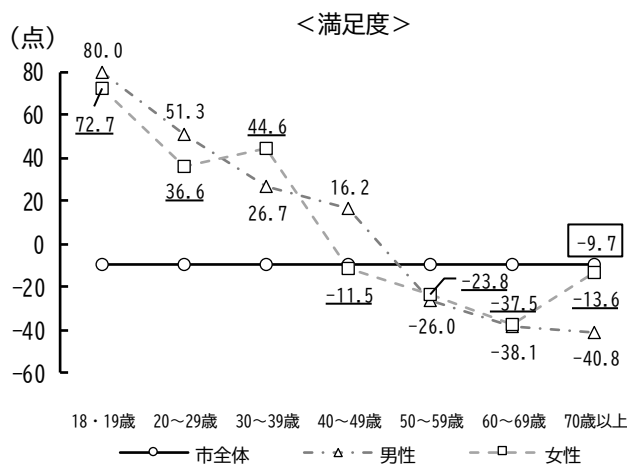
【高齢者福祉の充実】

(14) 高齢者に対する支援

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、40～49歳の男性で市全体平均より高くなっている。

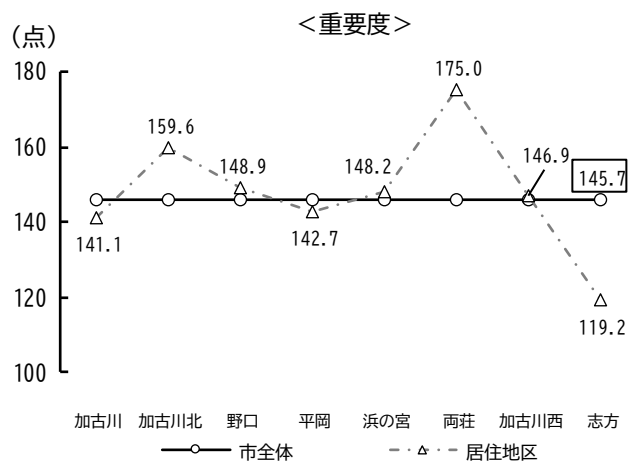
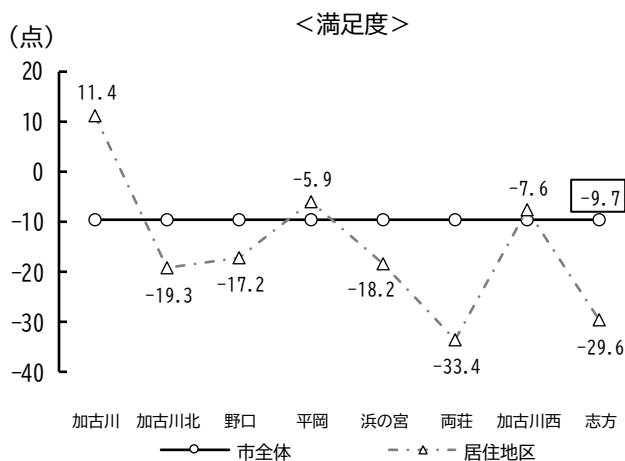
重要度を性年代別で見ると、70歳以上の男女と、40～49歳、50～59歳、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、平岡、加古川西で市全体平均より高くなっている。

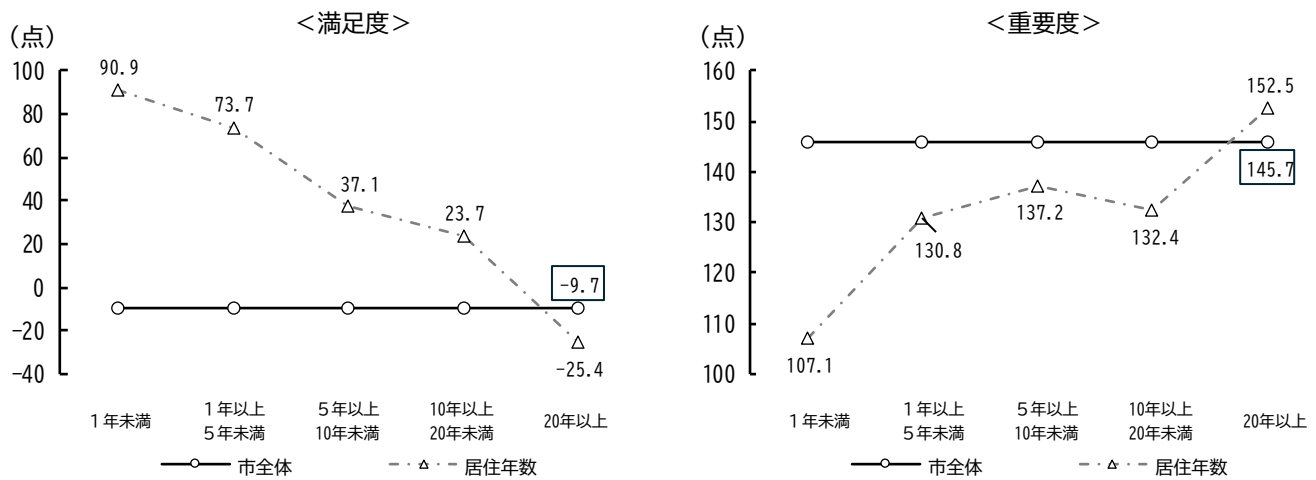
重要度を居住地区別で見ると、加古川北、野口、浜の宮、両荘、加古川西で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

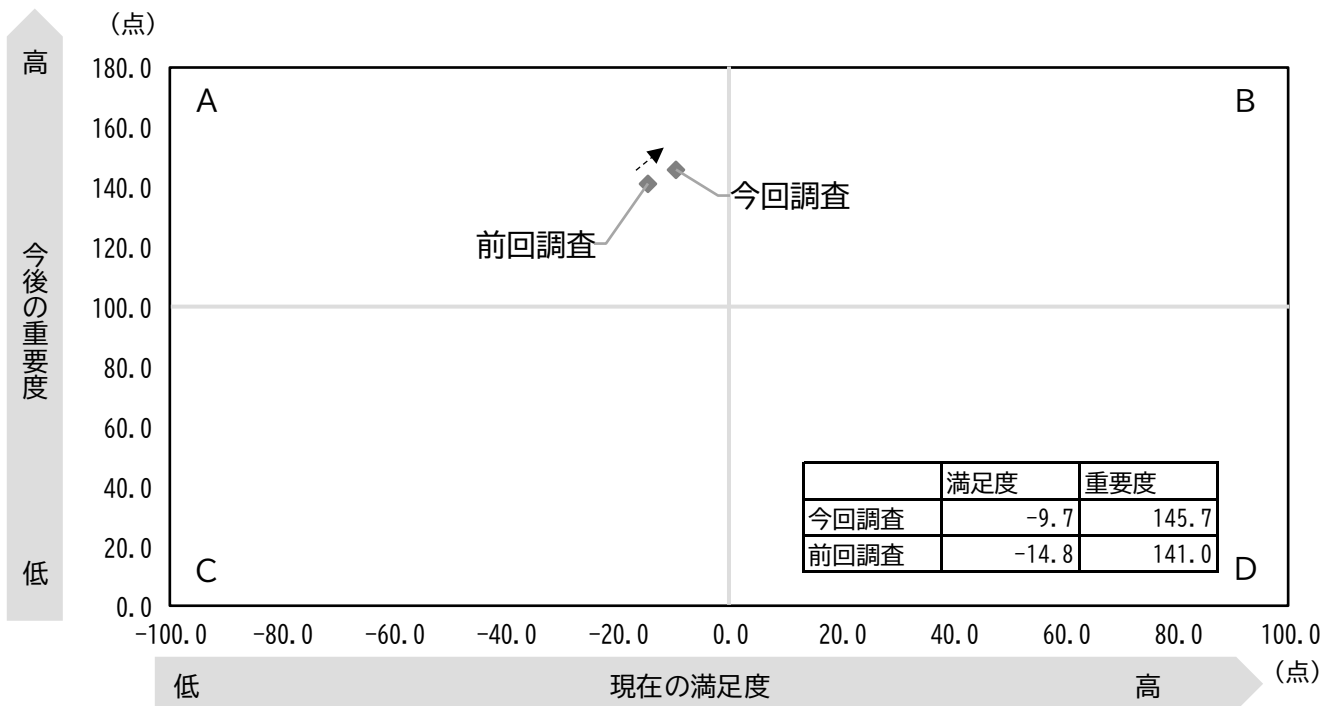
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、20年以上で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



健康づくりや地域医療を充実する

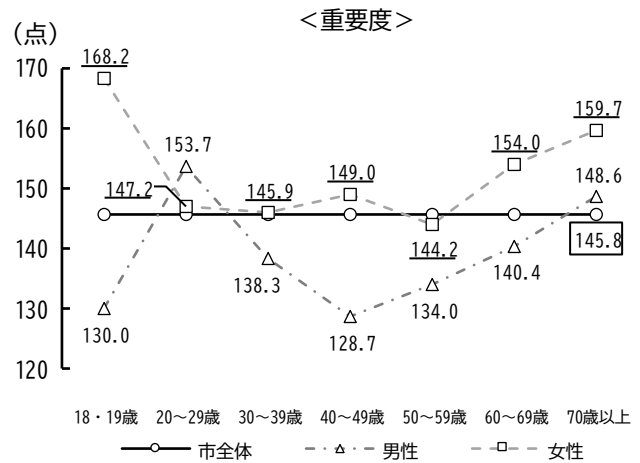
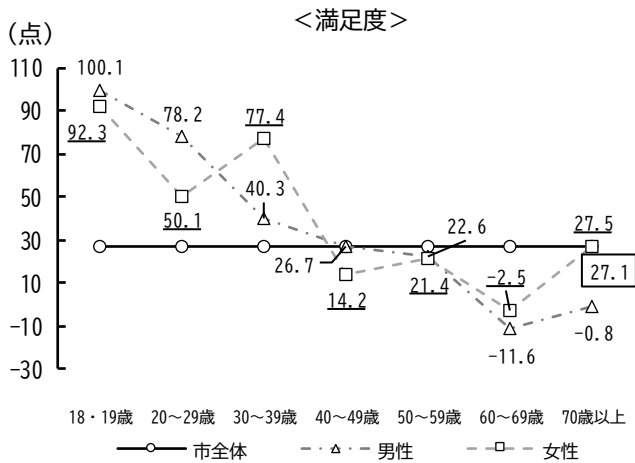
【健康の保持・増進】

(15) 健康の保持・増進

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

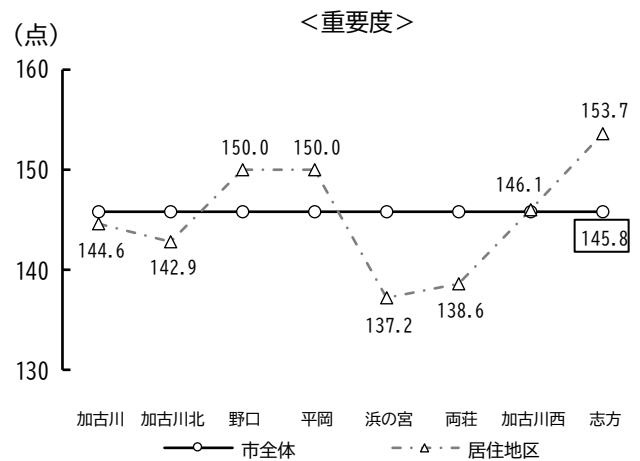
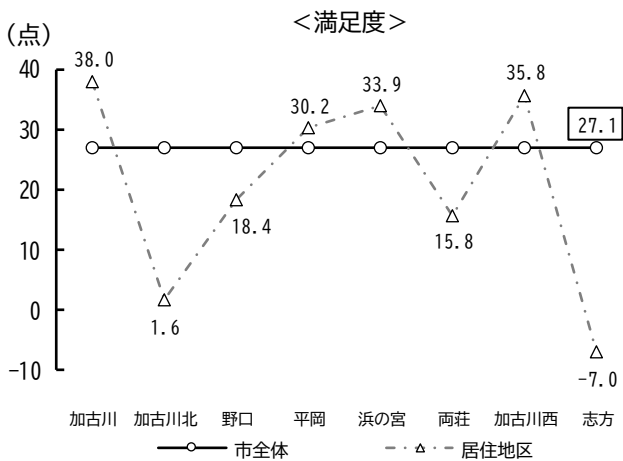
重要度を性年代別で見ると、20～29歳、70歳以上の男女と、18・19歳、30～39歳、40～49歳、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、平岡、浜の宮、加古川西で市全体平均より高くなっている。

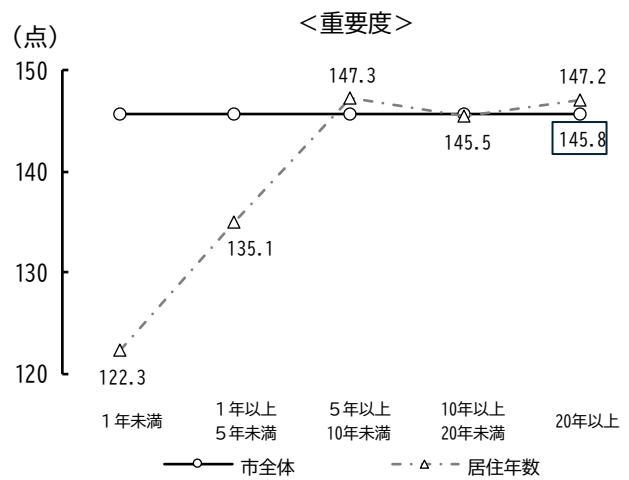
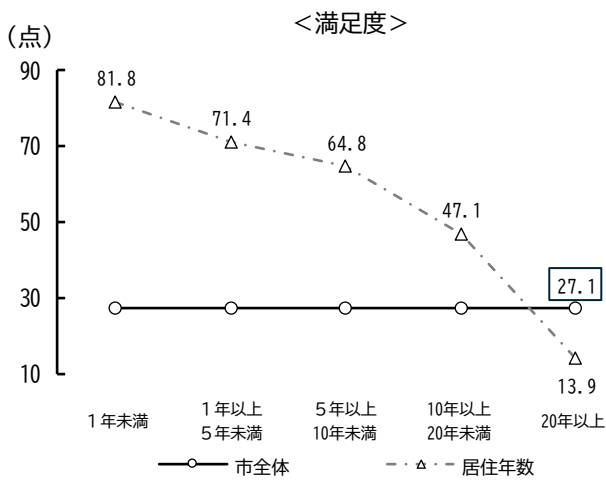
重要度を居住地区別で見ると、野口、平岡、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

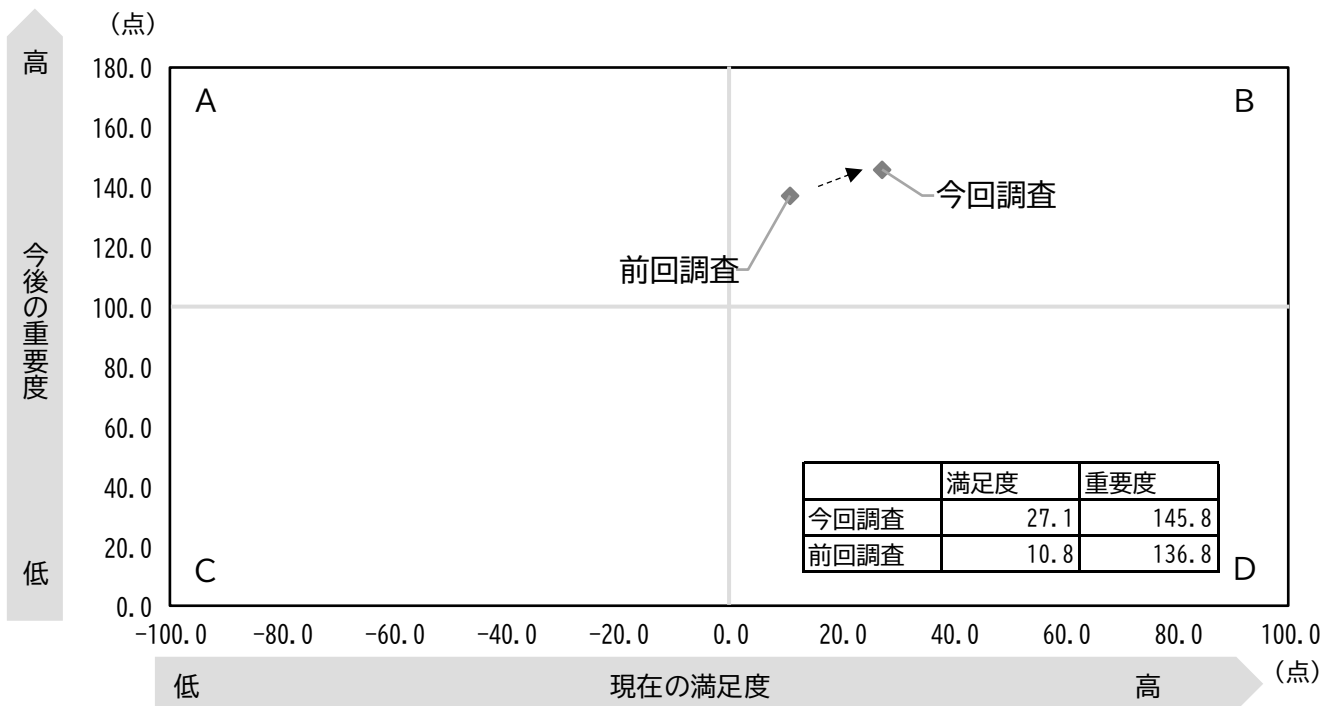
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、5年以上10年未満、20年以上で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



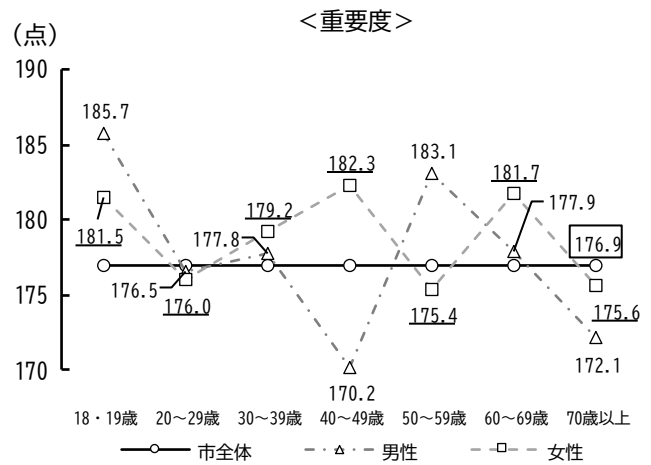
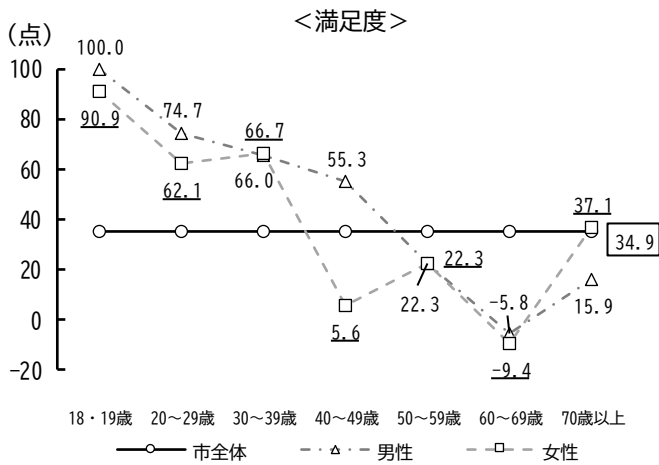
〔地域医療の充実〕

(16) 安心できる医療体制

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、70歳以上の女性と、40～49歳の男性で市全体平均より高くなっている。

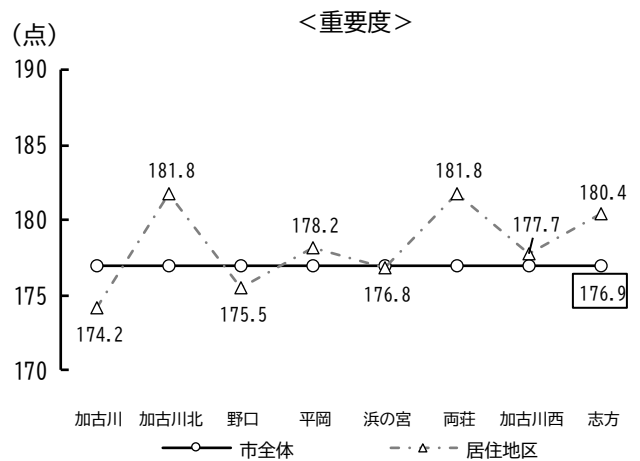
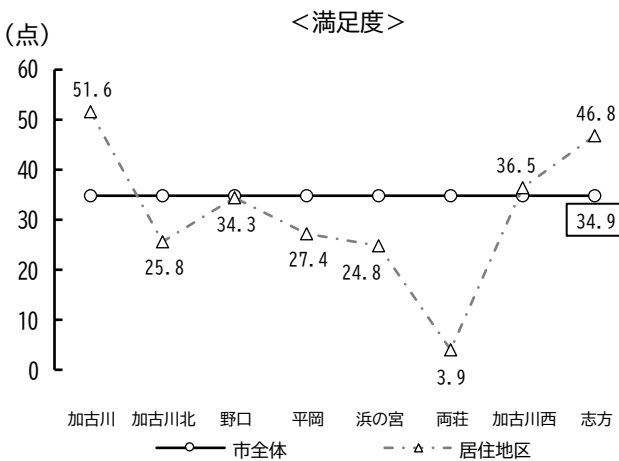
重要度を性年代別で見ると、18・19歳、30～39歳、60～69歳の男女と、40～49歳の女性と、50～59歳の男性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

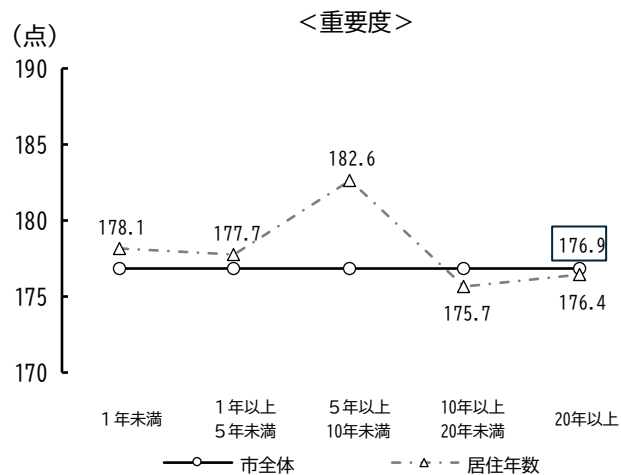
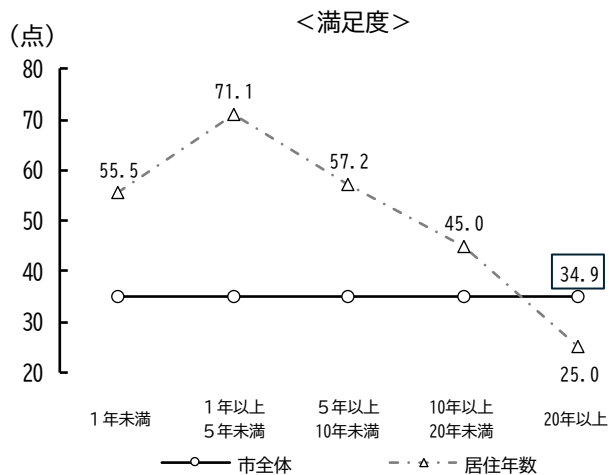
重要度を居住地区別で見ると、加古川北、平岡、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

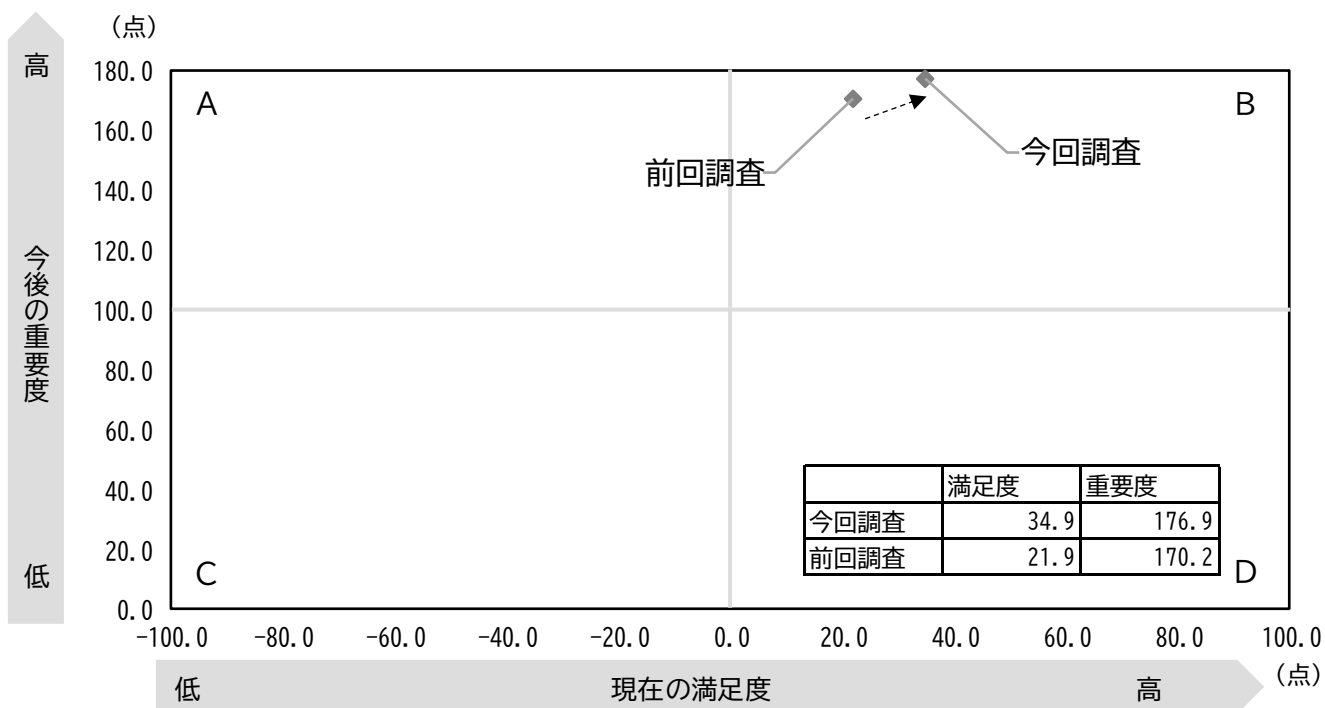
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



市民生活の安全・安定を確保する

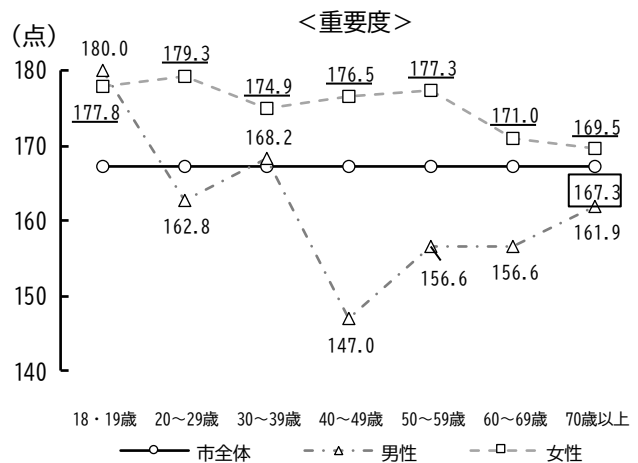
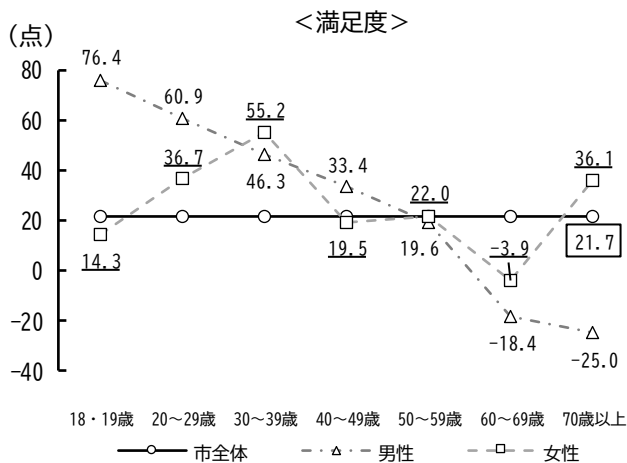
〔危機管理体制の充実〕

(17) 地域の防災体制

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、20～29歳、30～39歳の男女と、50～59歳、70歳以上の女性と、18・19歳、40～49歳の男性で市全体平均より高くなっている。

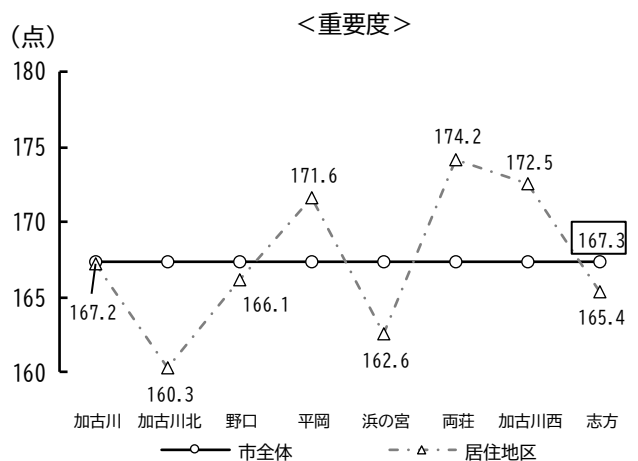
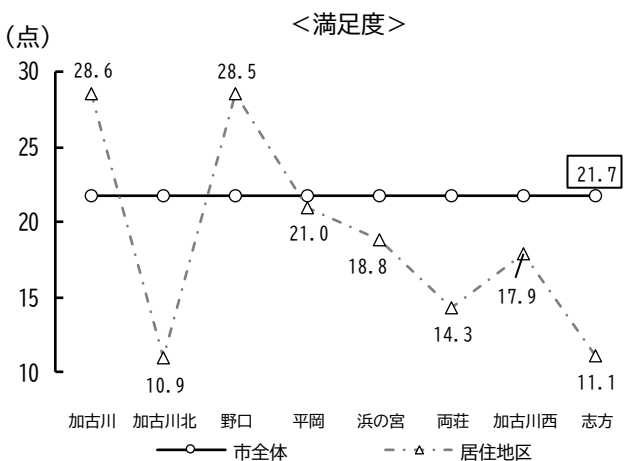
重要度を性年代別で見ると、18・19歳、30～39歳の男女と、20～29歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、野口で市全体平均より高くなっている。

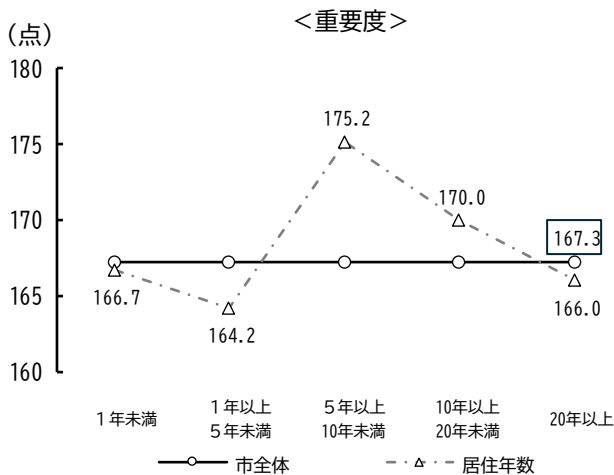
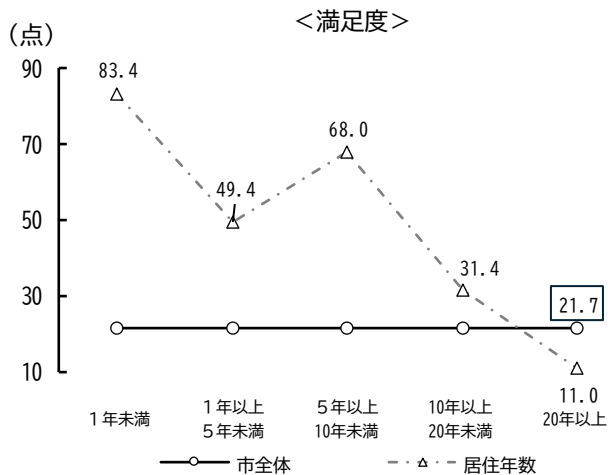
重要度を居住地区別で見ると、平岡、両荘、加古川西で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

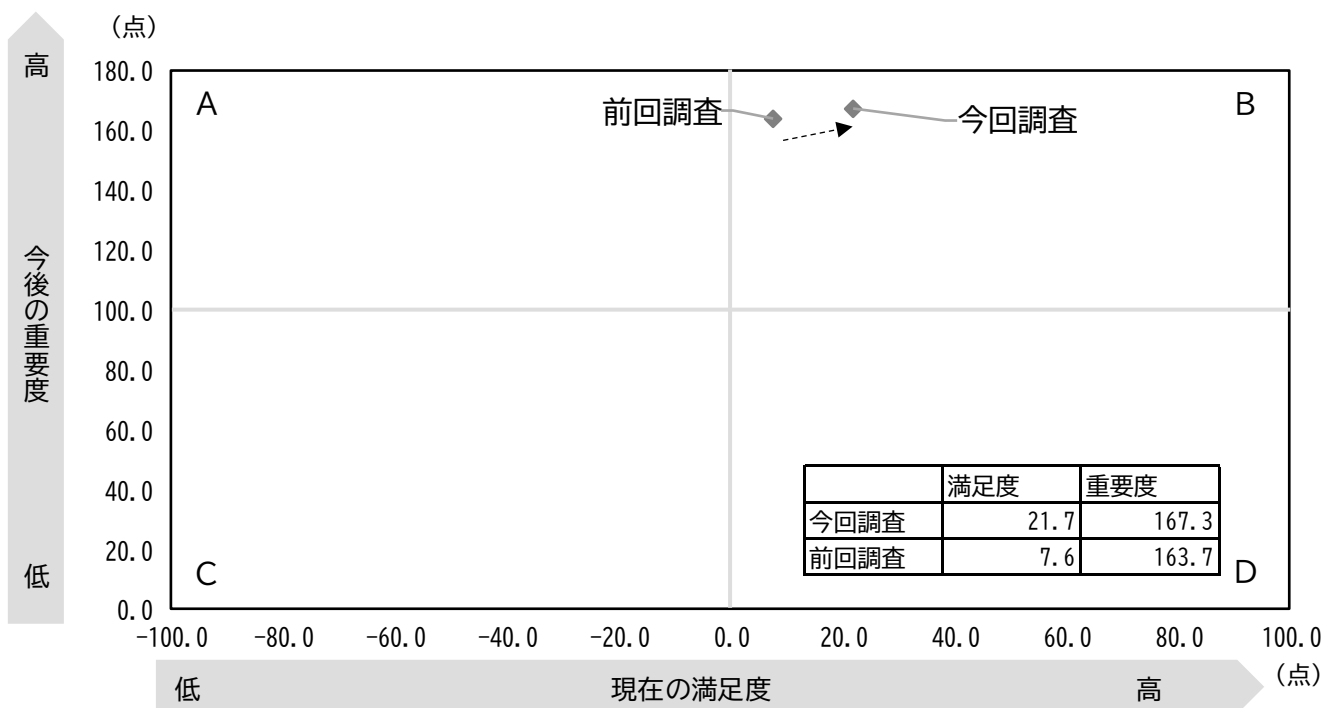
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



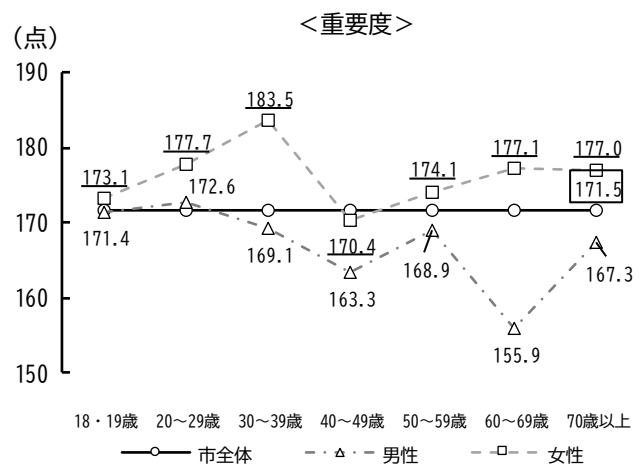
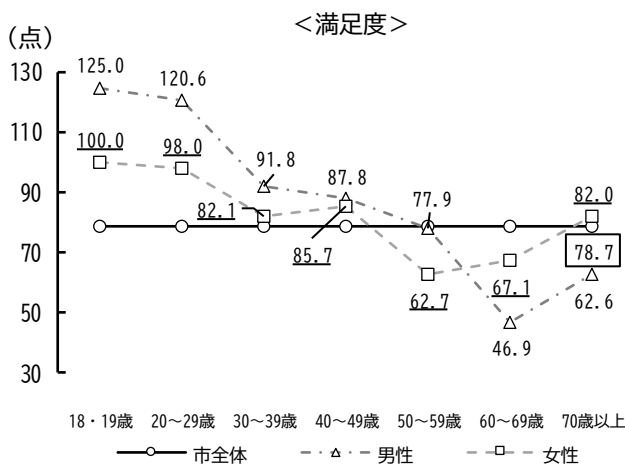
〔消防・救急体制の充実〕

(18) 消防や救急・救命体制

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳の男女と、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

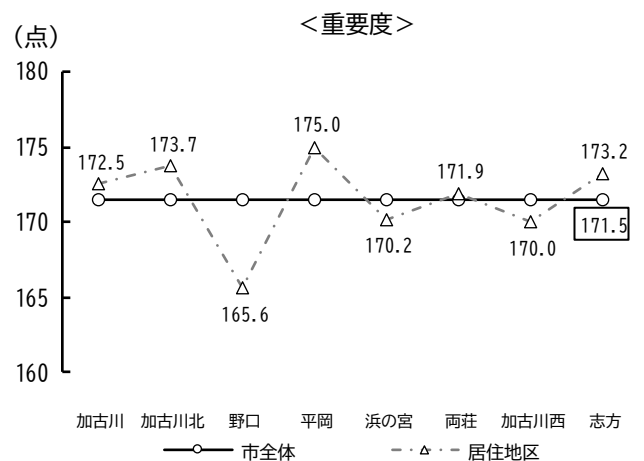
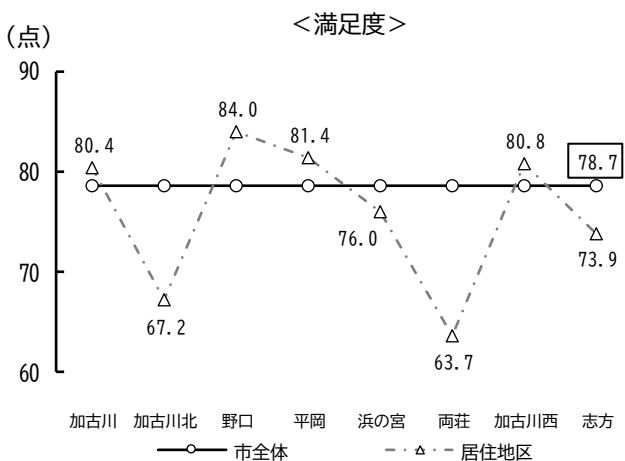
重要度を性年代別で見ると、20～29歳の男女と、18・19歳、30～39歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、野口、平岡、加古川西で市全体平均より高くなっている。

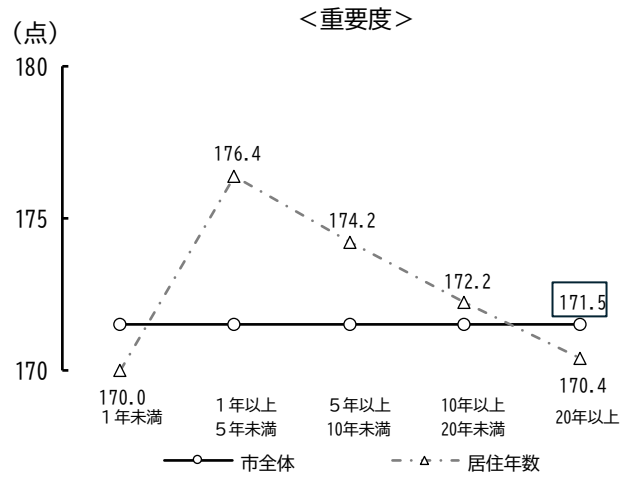
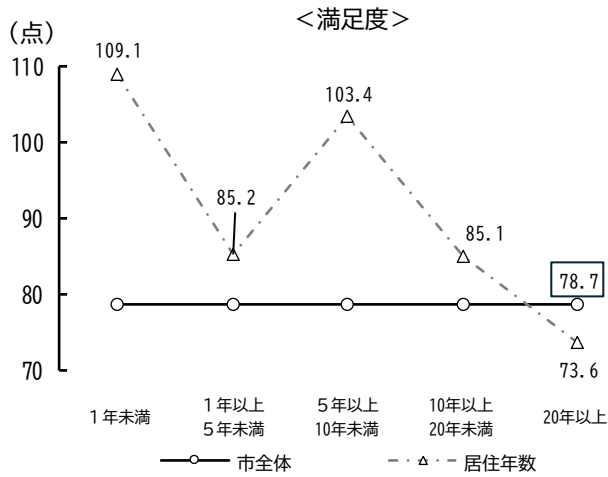
重要度を居住地区別で見ると、加古川、加古川北、平岡、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

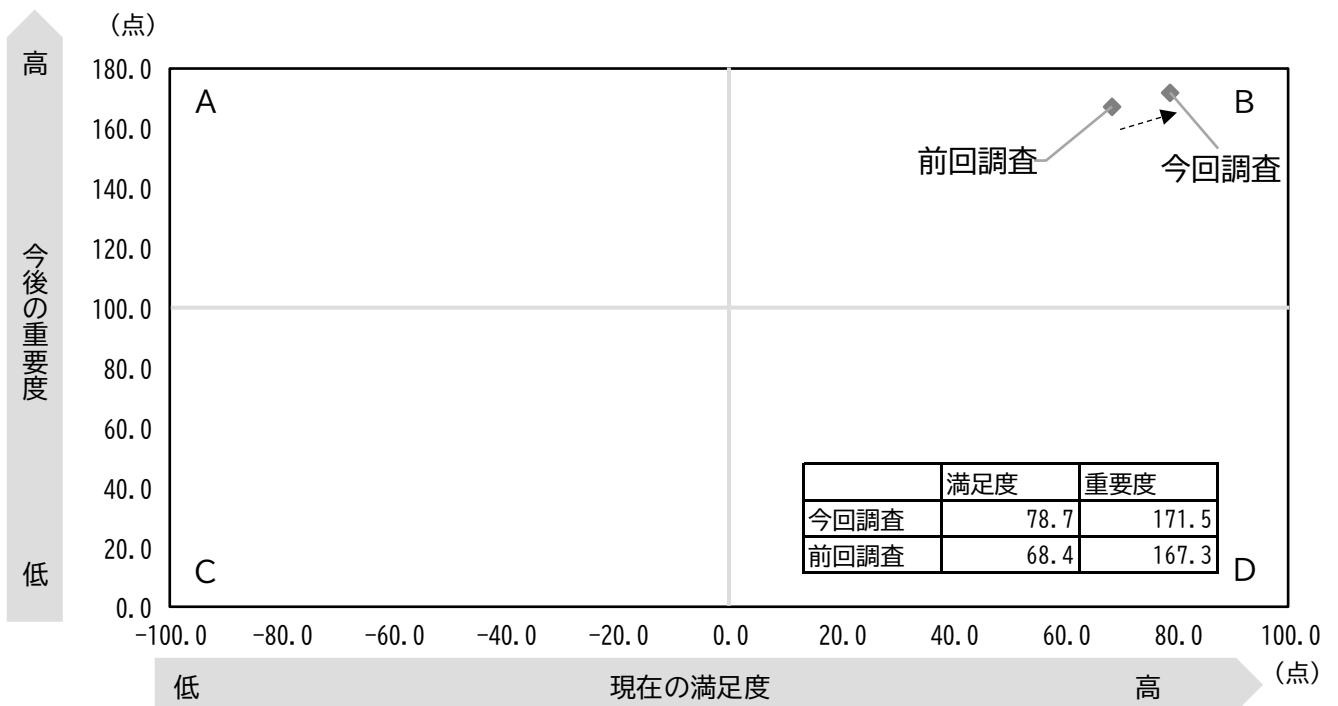
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



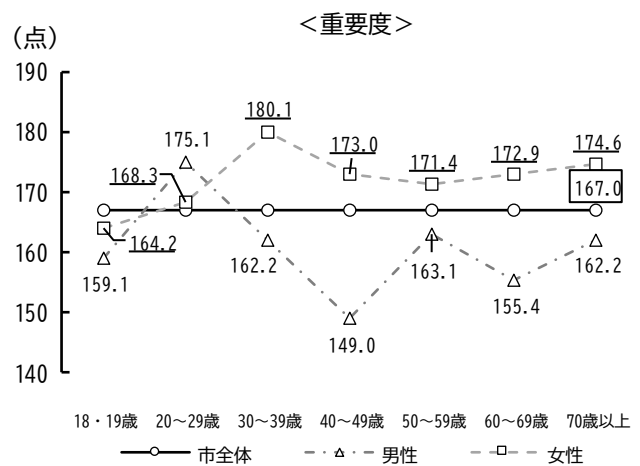
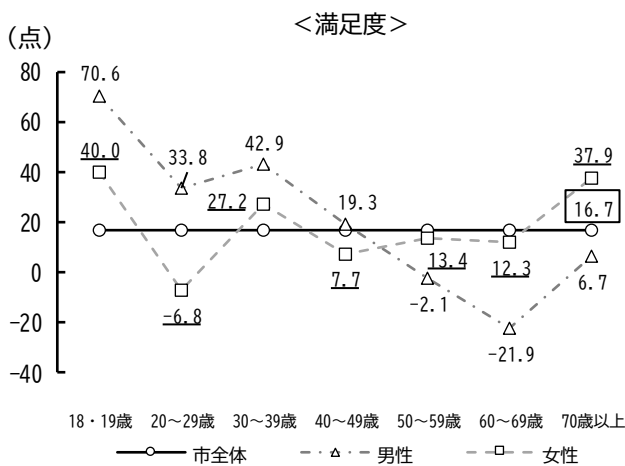
〔防犯・交通安全対策の推進〕

(19) 防犯・交通安全対策の推進

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、30～39歳の男女と、70歳以上の女性と、20～29歳、40～49歳の男性で市全体平均より高くなっている。

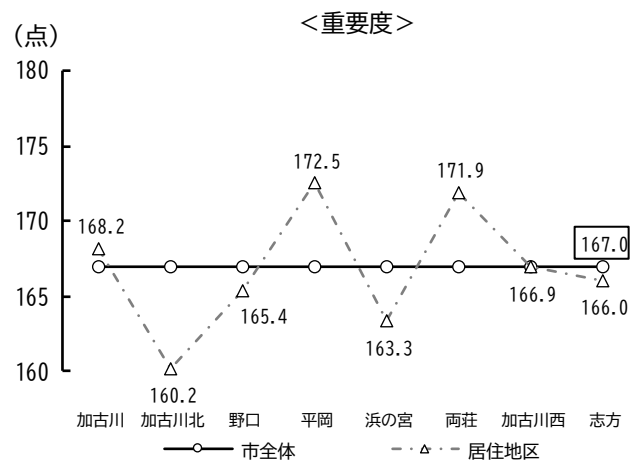
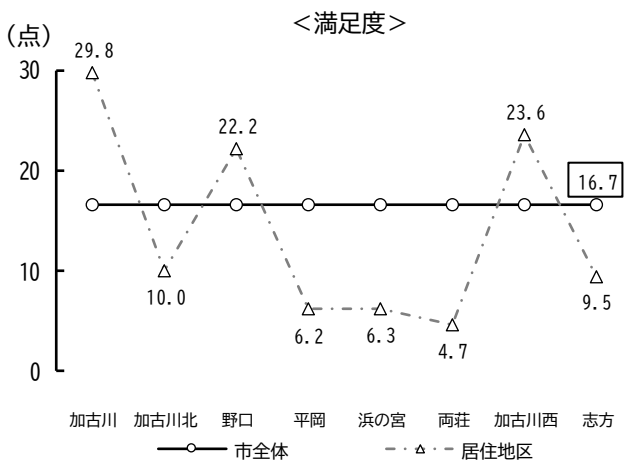
重要度を性年代別で見ると、20～29歳の男女と、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、野口、加古川西で市全体平均より高くなっている。

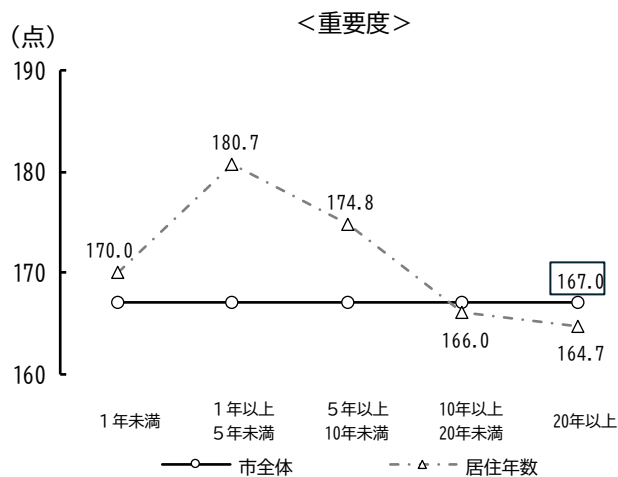
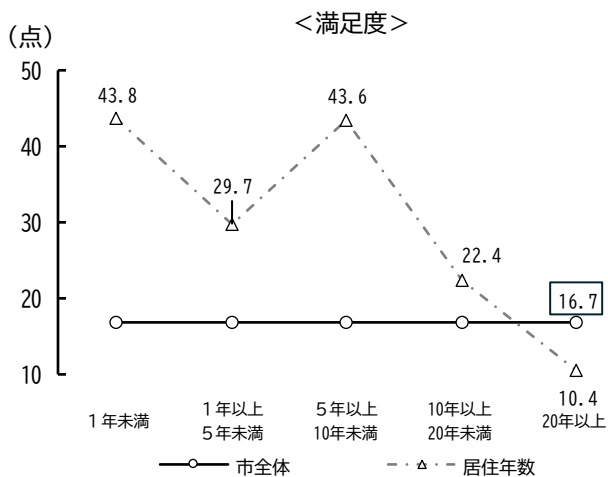
重要度を居住地区別で見ると、加古川、平岡、両荘で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

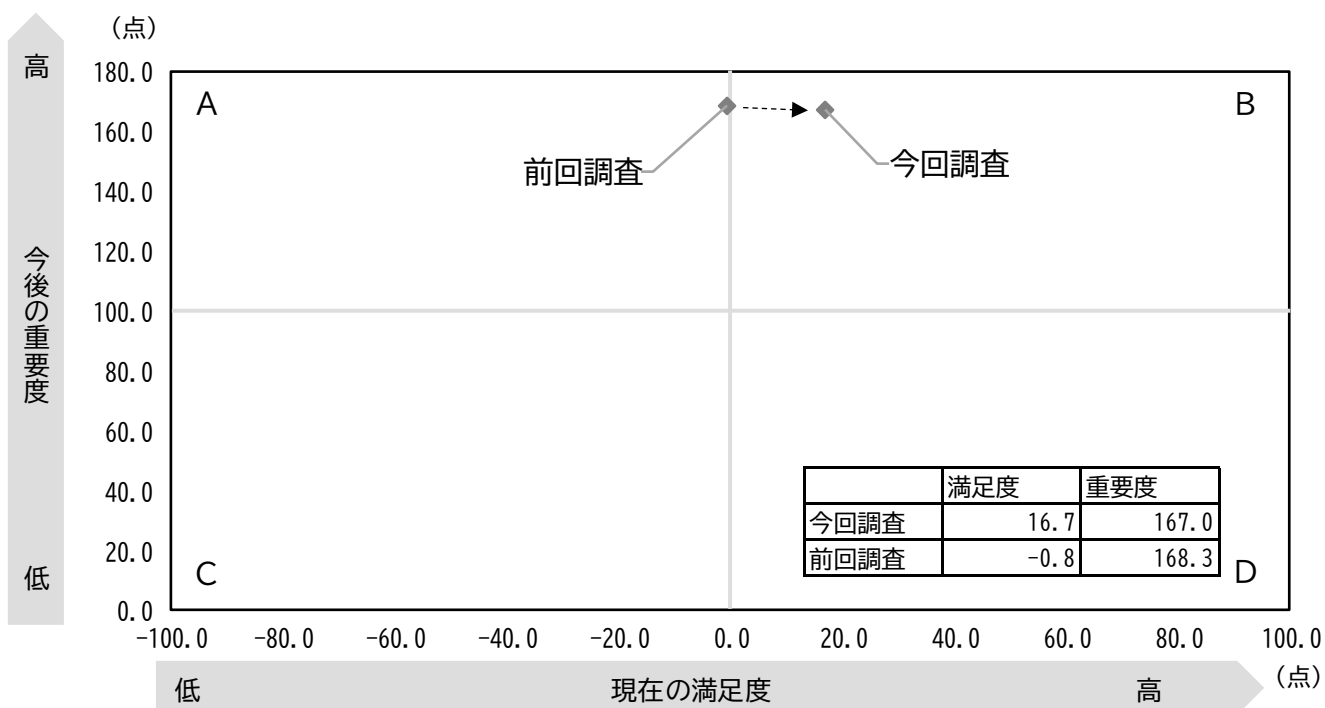
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。



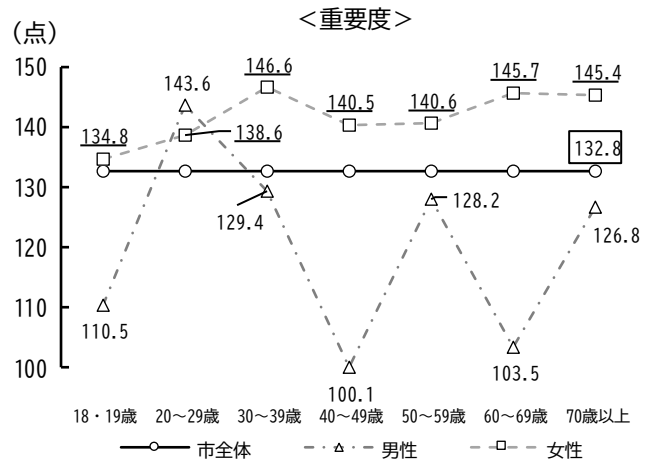
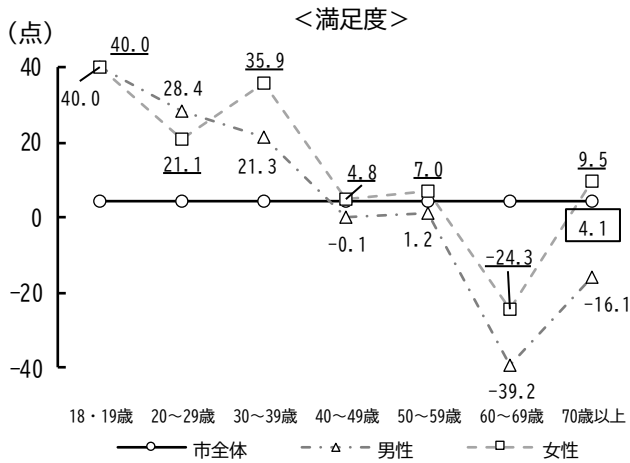
【安全・安心な消費生活の推進】

(20) 消費生活に関する教育や消費者保護対策

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、40～49歳、50～59歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

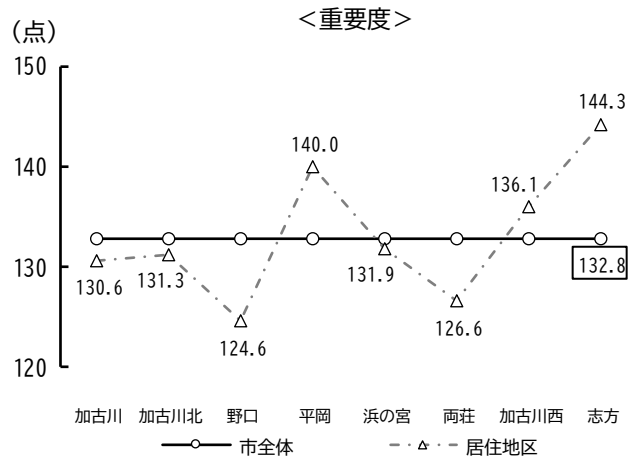
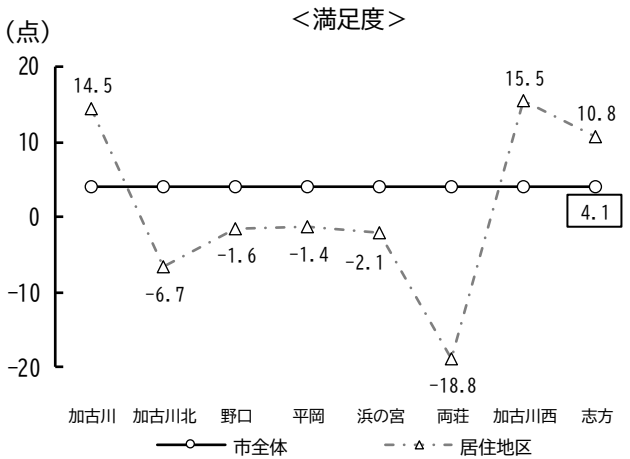
重要度を性年代別で見ると、20～29歳の男女と、18・19歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

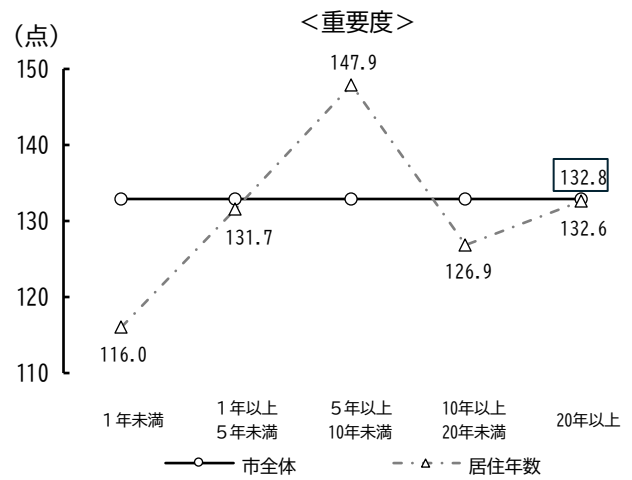
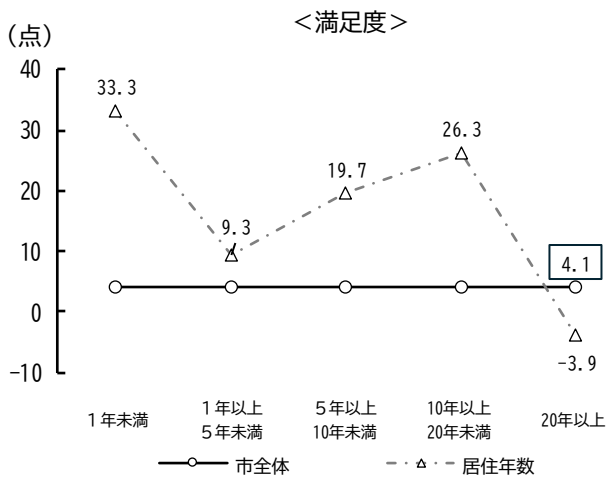
重要度を居住地区別で見ると、平岡、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

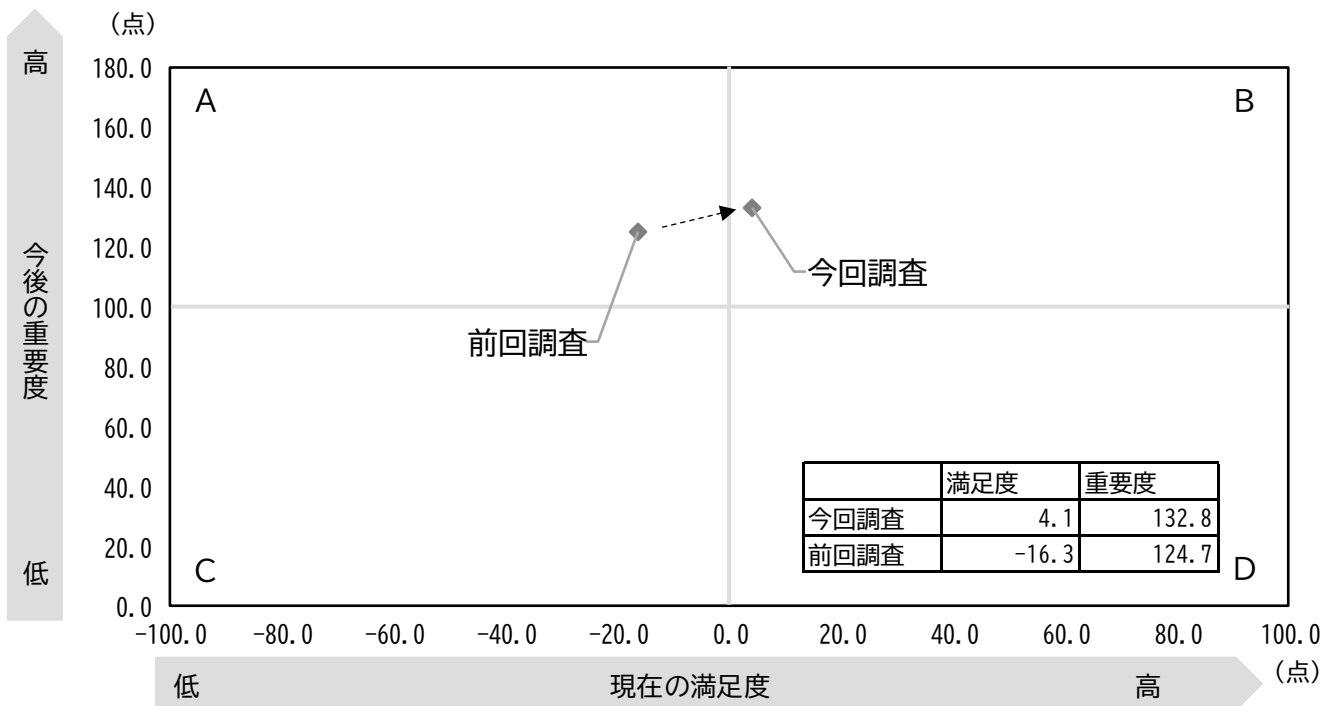
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、5年以上10年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



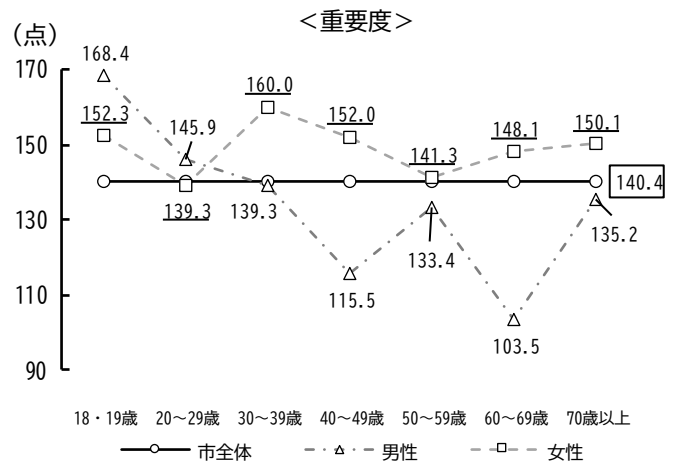
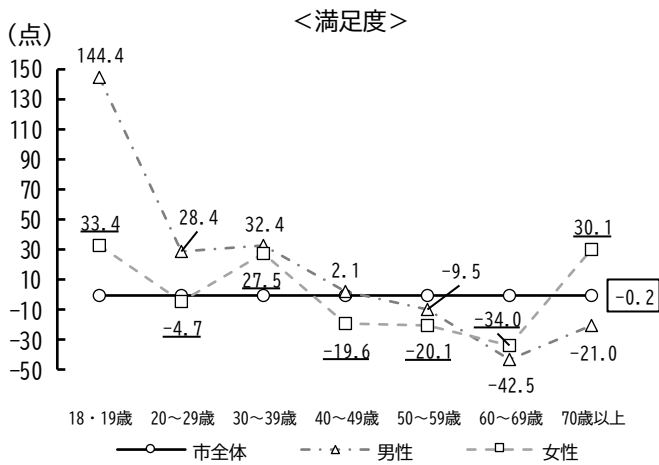
【就業機会の確保と労働環境の向上】

(21) 就業機会の確保や働き方改革の推進

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、30～39歳の男女と、70歳以上の女性と、20～29歳、40～49歳の男性で市全体平均より高くなっている。

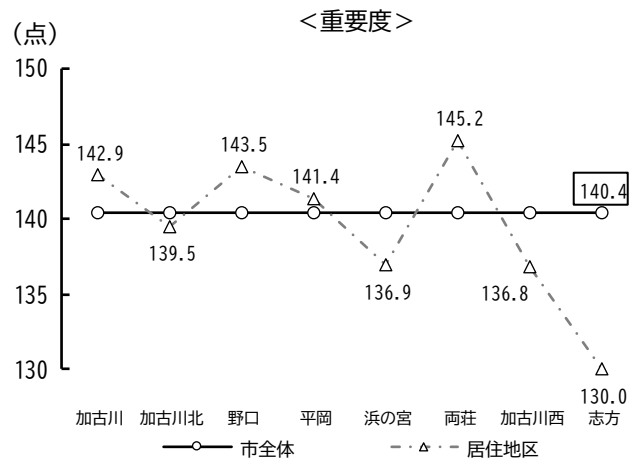
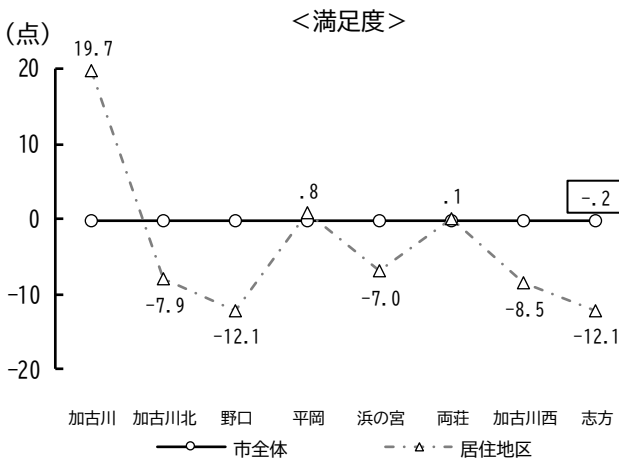
重要度を性年代別で見ると、18・19歳の男女と、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上の女性と、20～29歳の男性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、平岡、両荘で市全体平均より高くなっている。

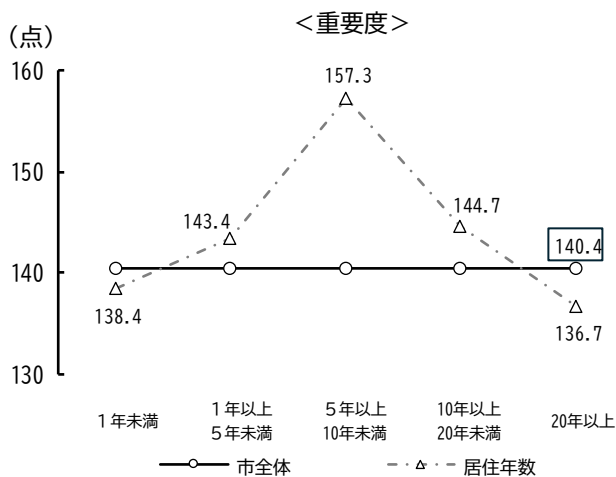
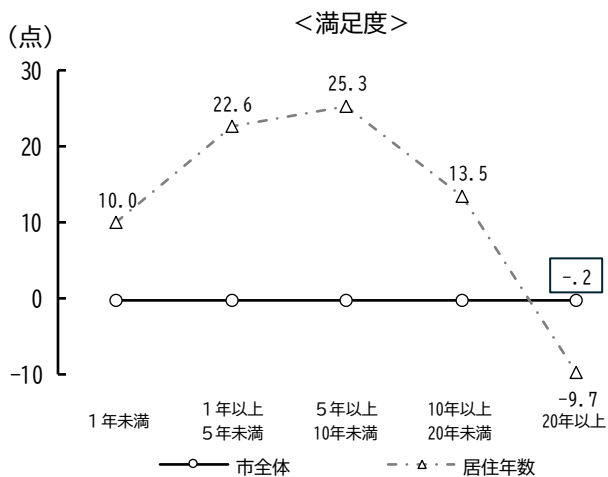
重要度を居住地区別で見ると、加古川、野口、平岡、両荘で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

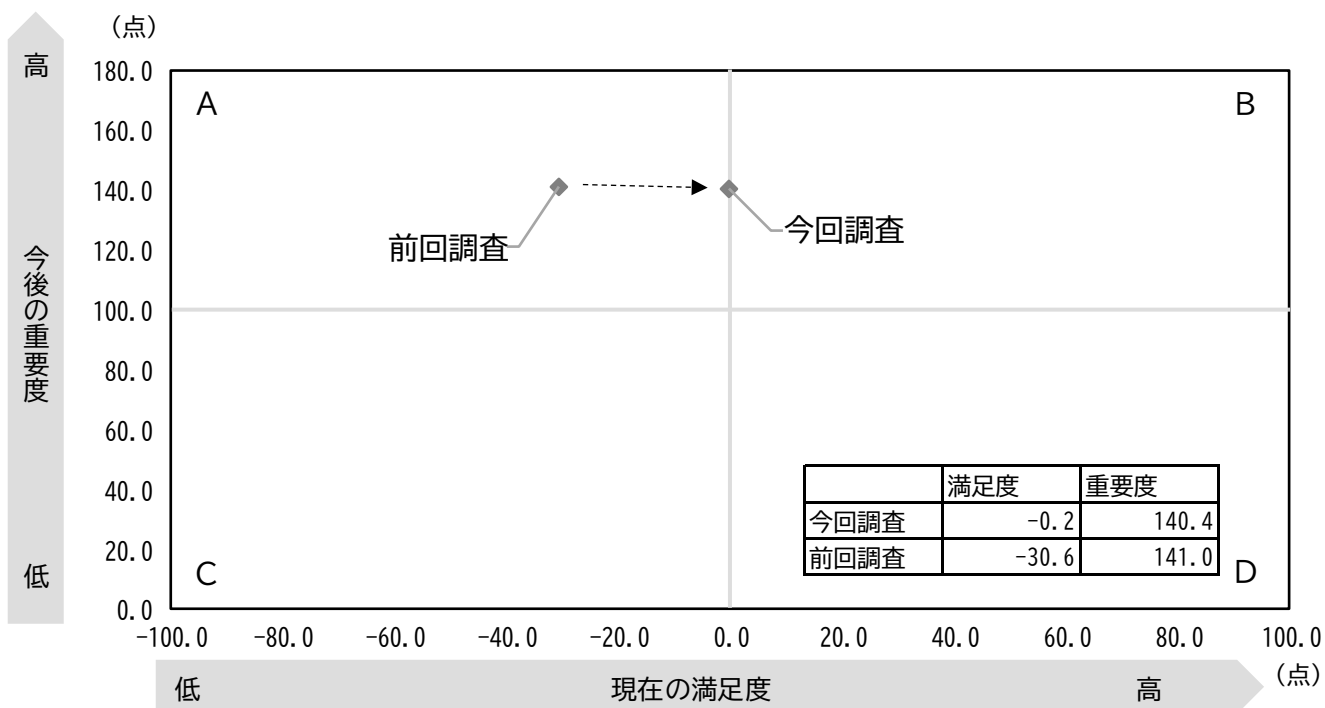
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。

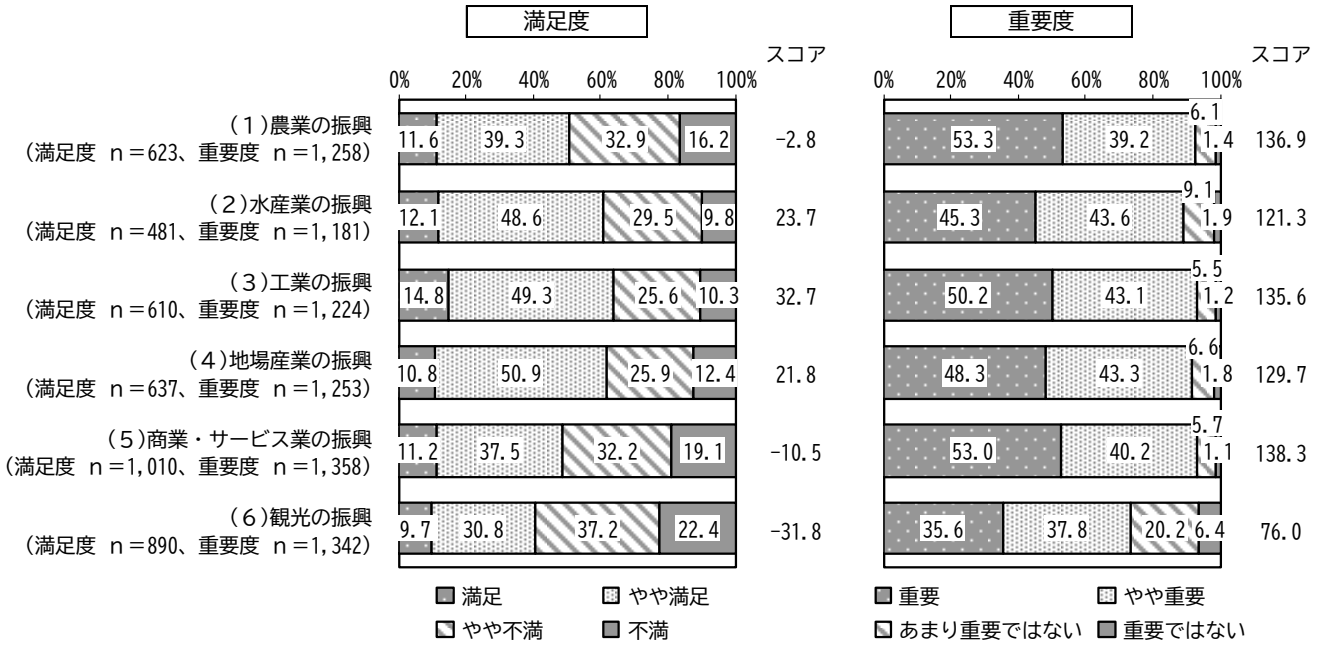


3-3 活力とにぎわいのあるまち

施策の満足度スコアが最も高い項目は「(3)工業の振興」、次いで「(2)水産業の振興」となっています。一方、最も低い項目は「(6)観光の振興」、次いで「(5)商業・サービス業の振興」となっています。

施策の重要度スコアが最も高い項目は「(5)商業・サービス業の振興」、次いで「(1)農業の振興」となっています。一方、最も低い項目は「(6)観光の振興」、次いで「(2)水産業の振興」となっています。

《全体》※グラフは「わからない」、「無回答」を除いて集計



農業・水産業を振興する

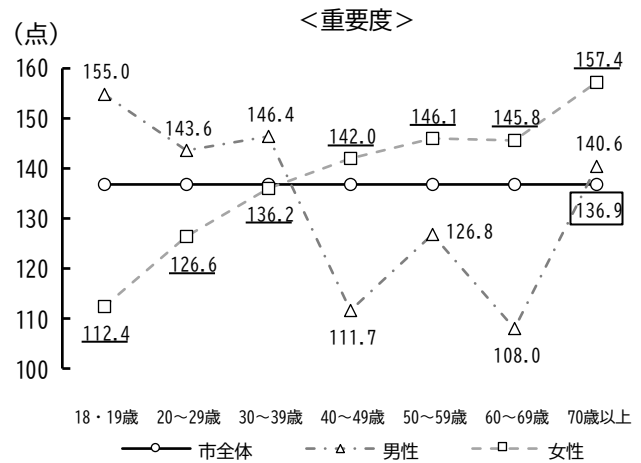
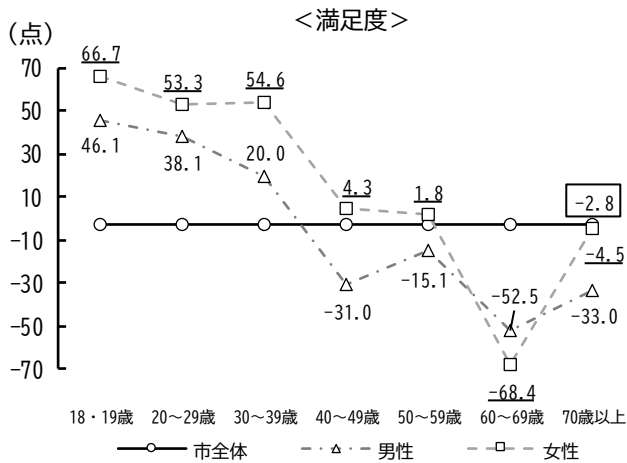
【農業の振興】

(22) 農業の振興

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、40～49歳、50～59歳の女性で市全体平均より高くなっている。

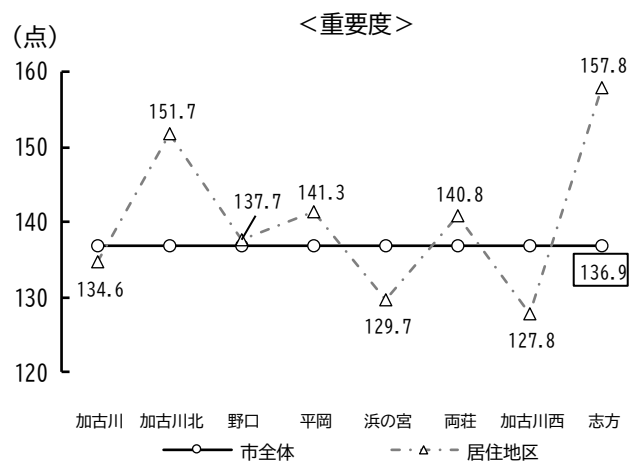
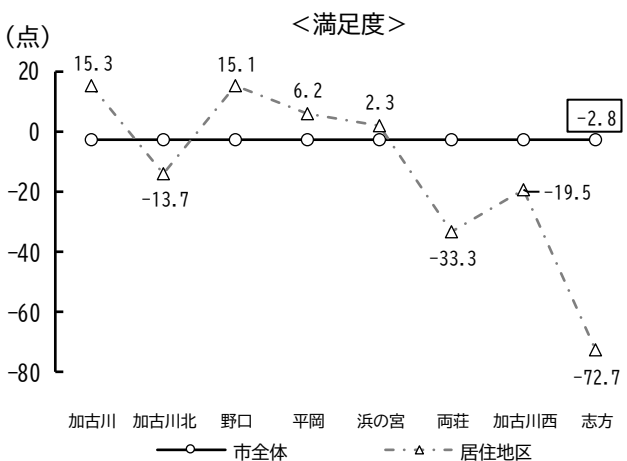
重要度を性年代別で見ると、70歳以上の男女と、40～49歳、50～59歳、60～69歳の女性と、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、野口、平岡、浜の宮で市全体平均より高くなっている。

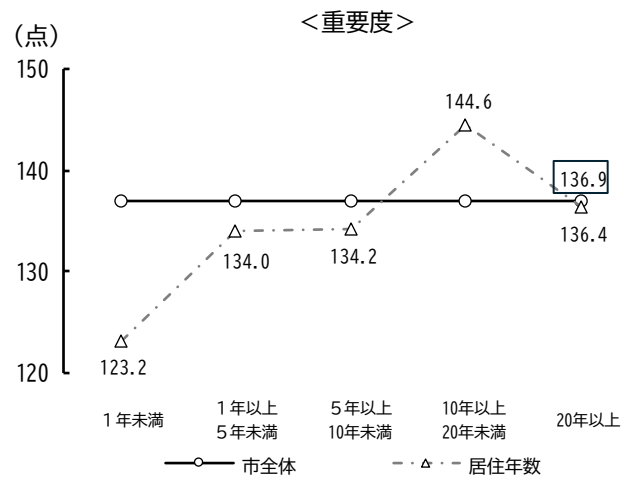
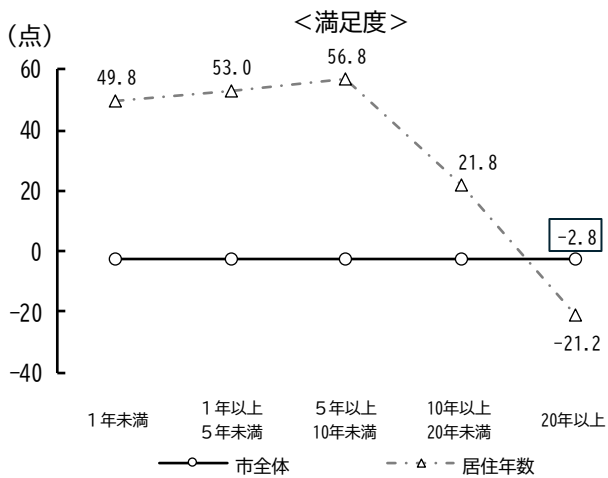
重要度を居住地区別で見ると、加古川北、野口、平岡、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

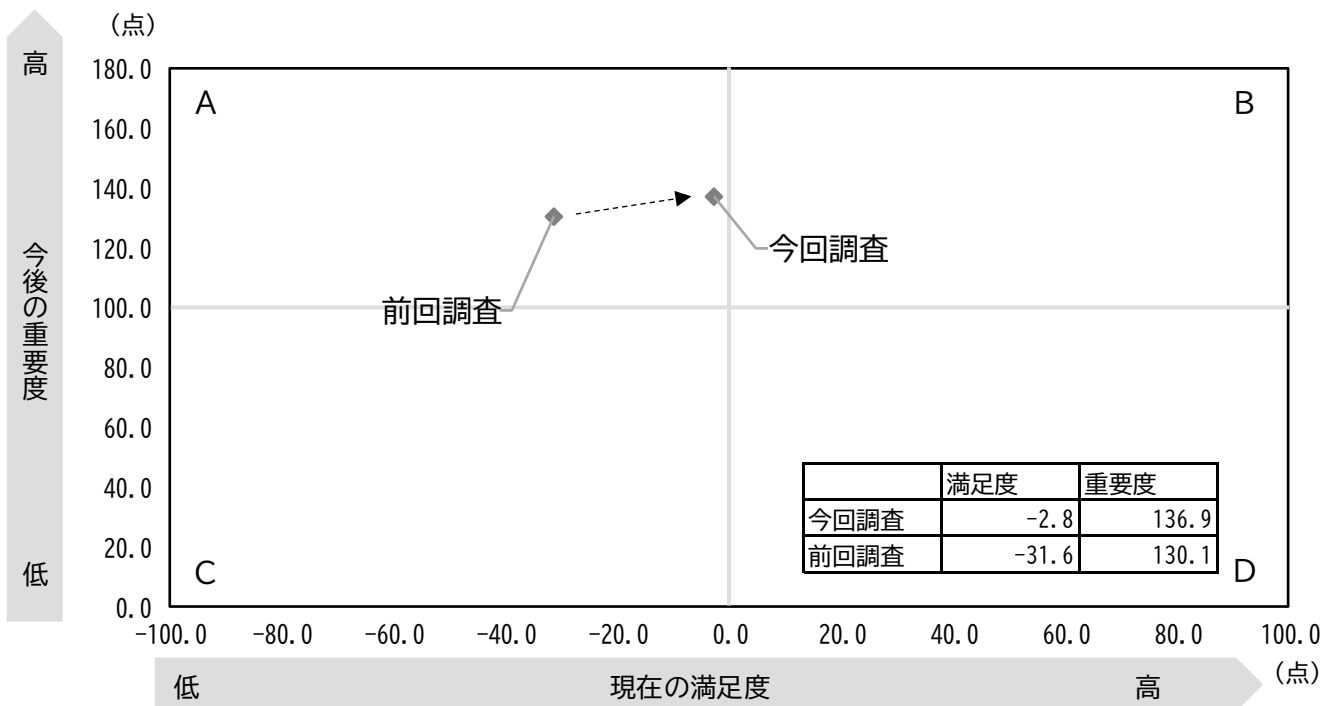
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



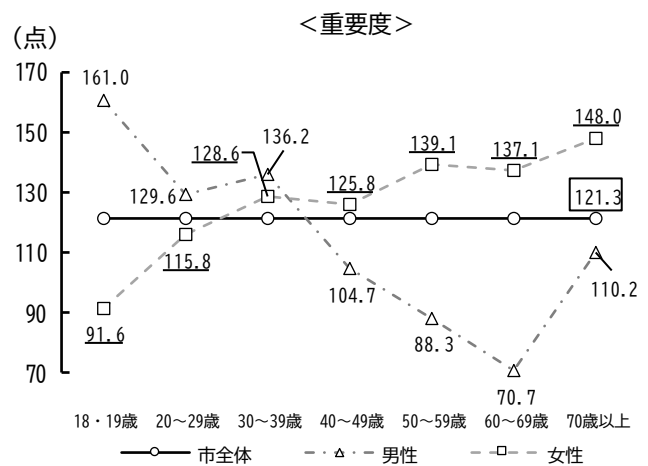
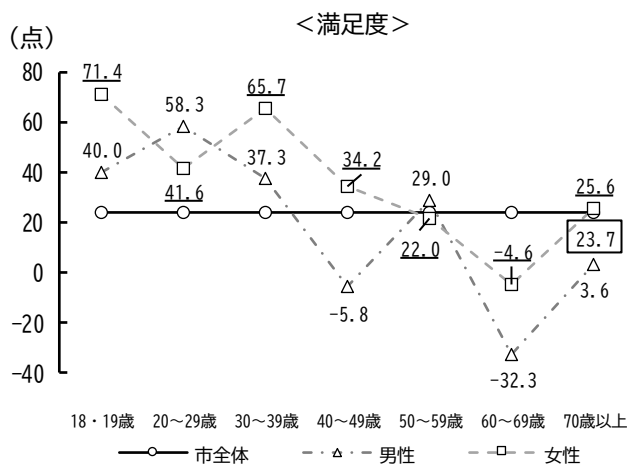
【水産業の振興】

(23) 水産業の振興

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、40～49歳、70歳以上の女性と、50～59歳の男性で市全体平均より高くなっている。

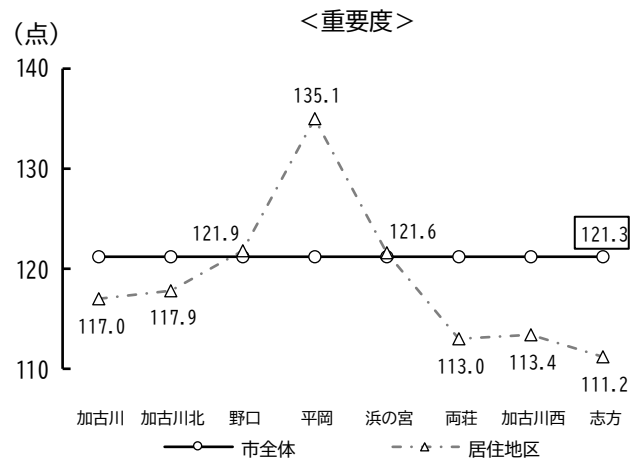
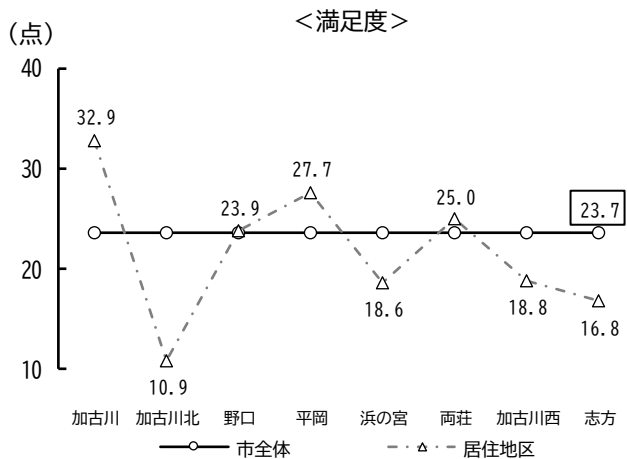
重要度を性年代別で見ると、30～39歳の男女と、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上の女性と、18・19歳、20～29歳の男性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、野口、平岡、両荘で市全体平均より高くなっている。

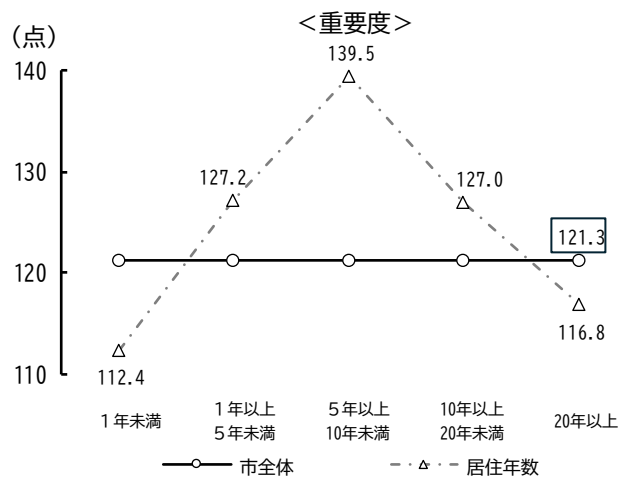
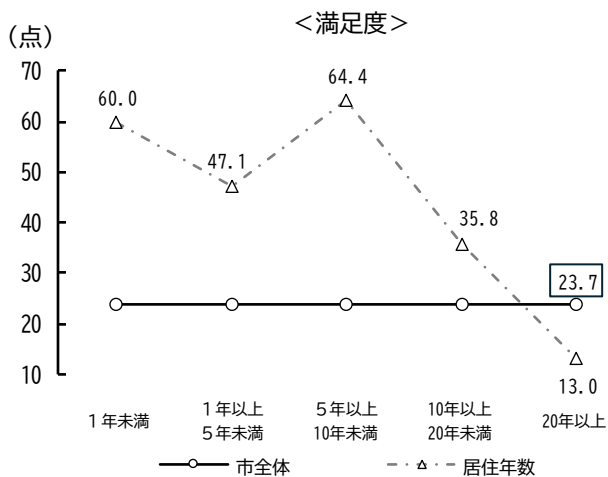
重要度を居住地区別で見ると、野口、平岡、浜の宮で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

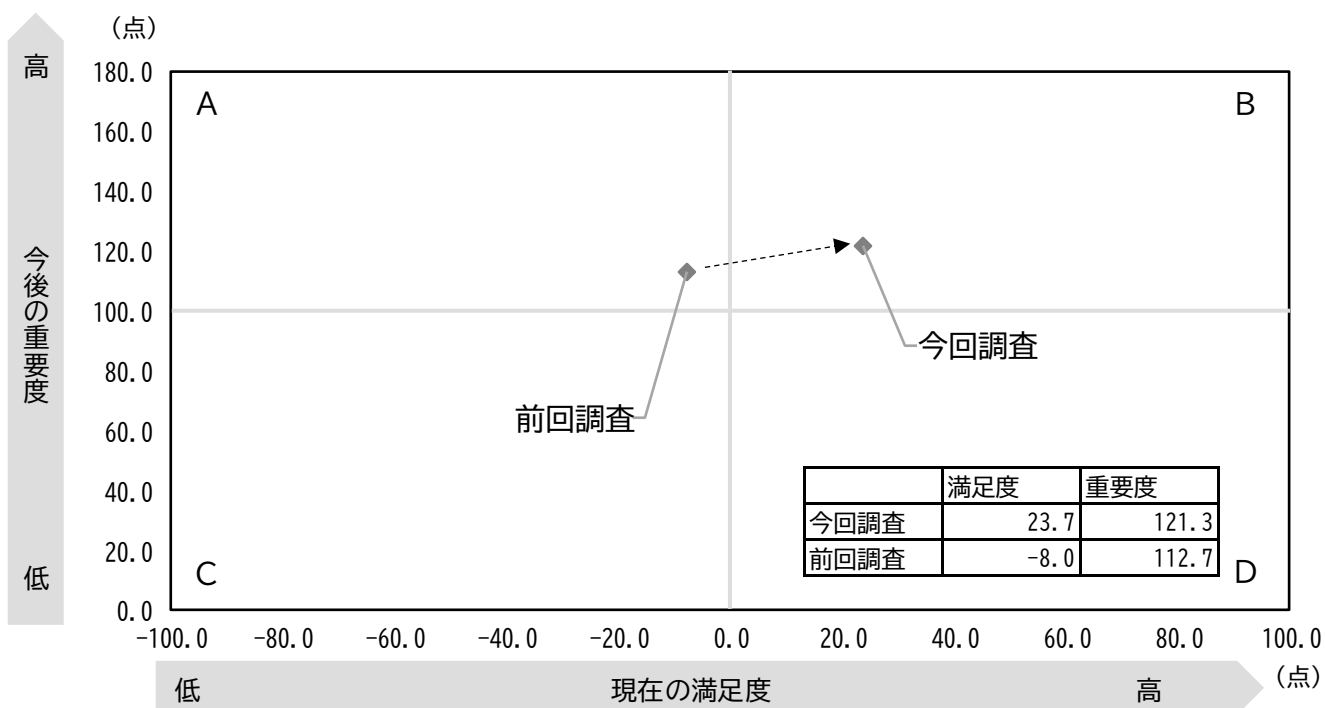
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



工業・地場産業を振興する

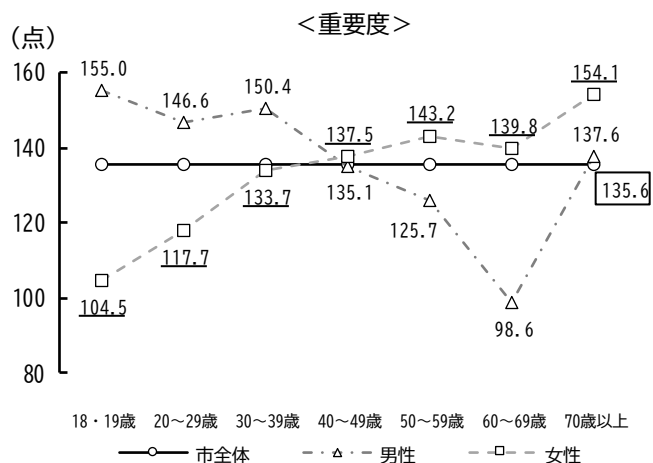
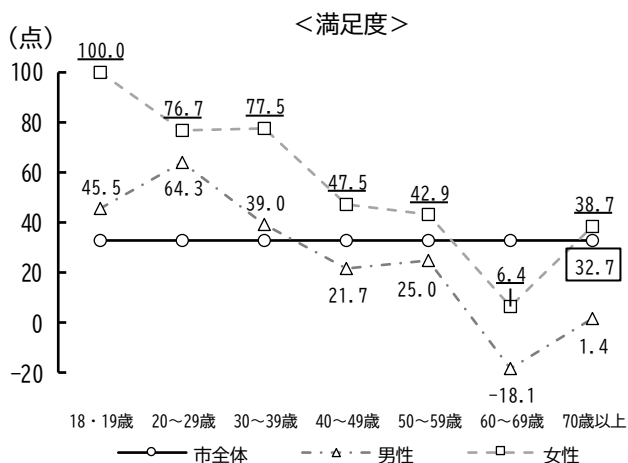
【工業の振興】

(24) 工業の振興

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、40～49歳、50～59歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

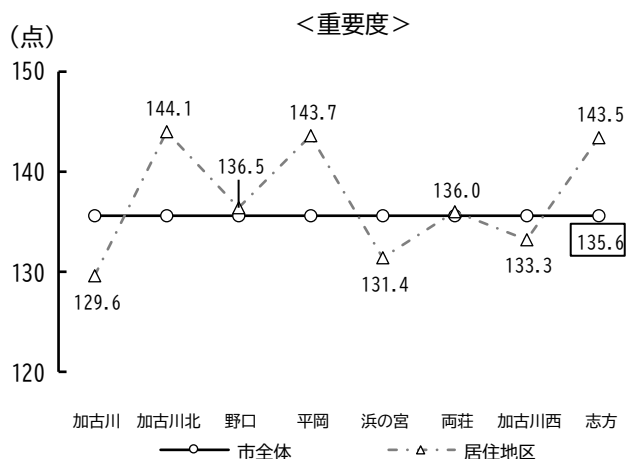
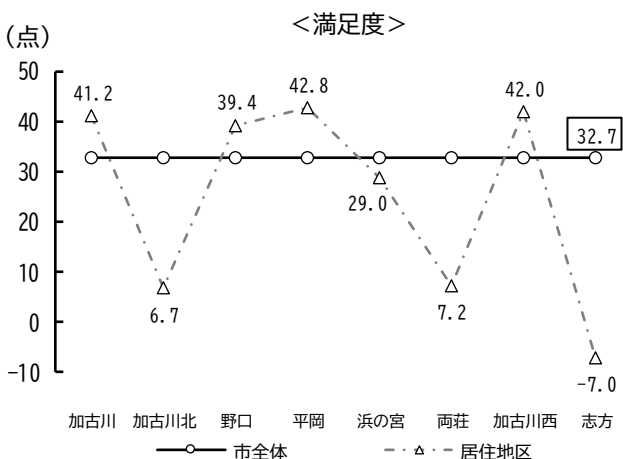
重要度を性年代別で見ると、70歳以上の男女と、40～49歳、50～59歳、60～69歳の女性と、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、野口、平岡、加古川西で市全体平均より高くなっている。

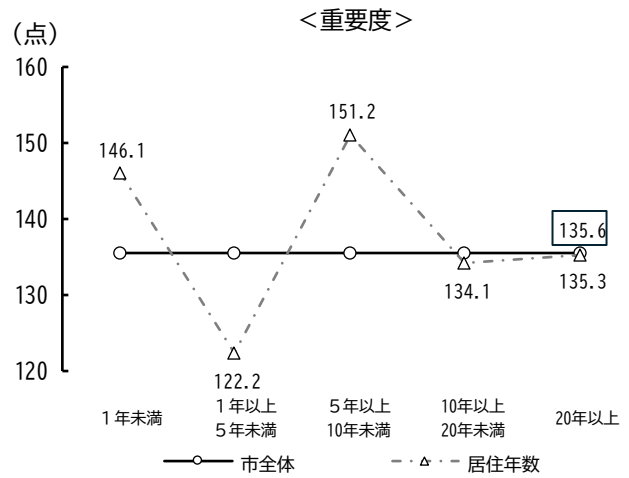
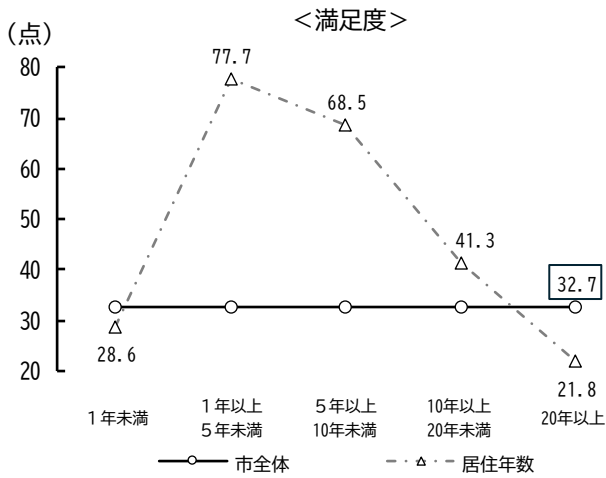
重要度を居住地区別で見ると、加古川北、野口、平岡、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

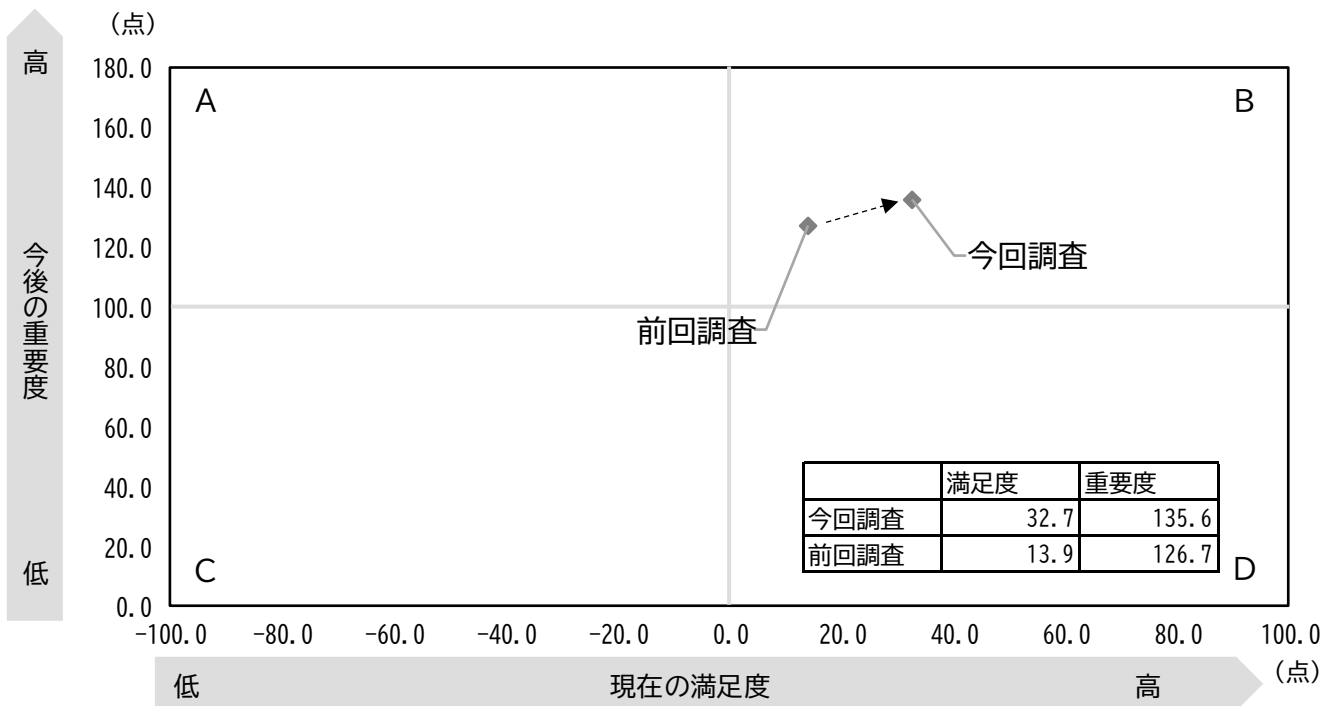
満足度を居住年数別で見ると、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年未満、5年以上10年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



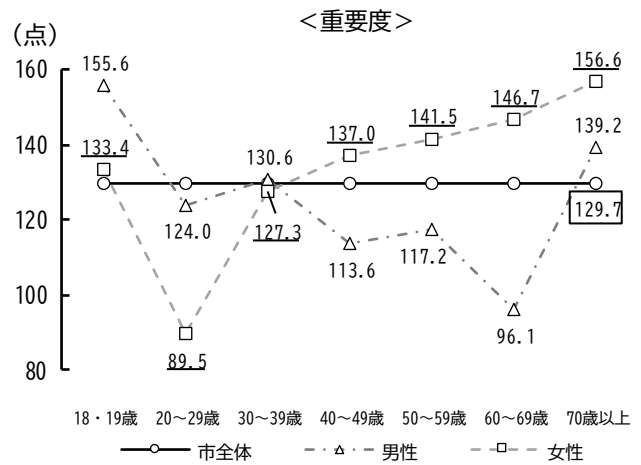
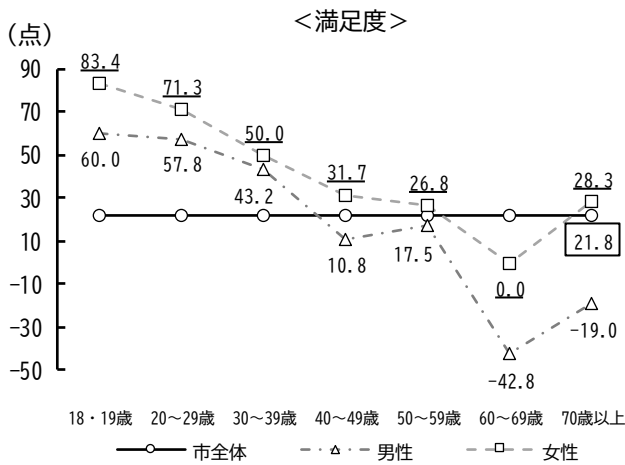
【地場産業の振興】

(25) 地場産業の振興

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、40～49歳、50～59歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

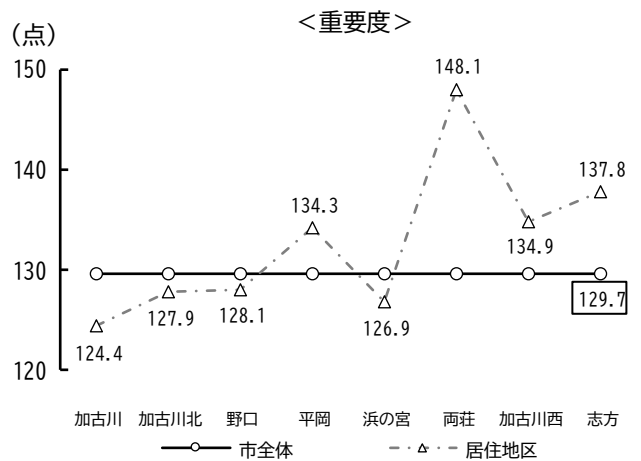
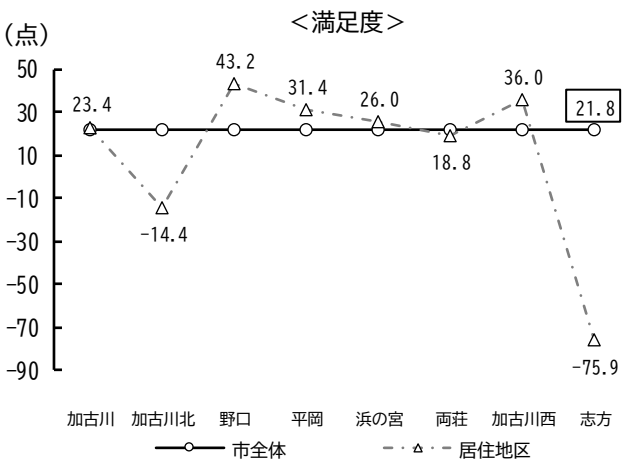
重要度を性年代別で見ると、18・19歳、70歳以上の男女と、40～49歳、50～59歳、60～69歳の女性と、30～39歳の男性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、野口、平岡、浜の宮、加古川西で市全体平均より高くなっている。

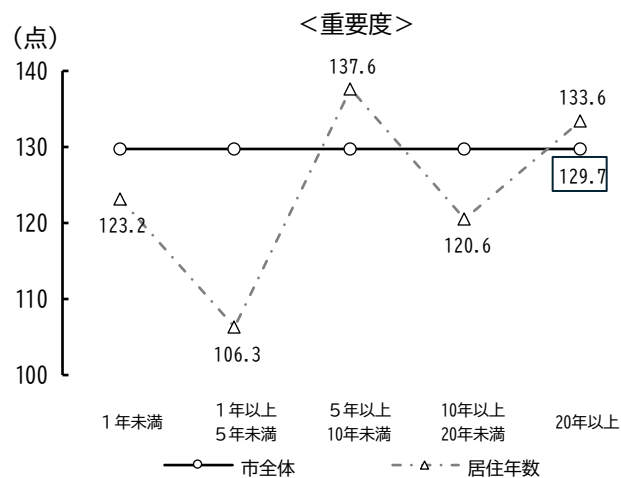
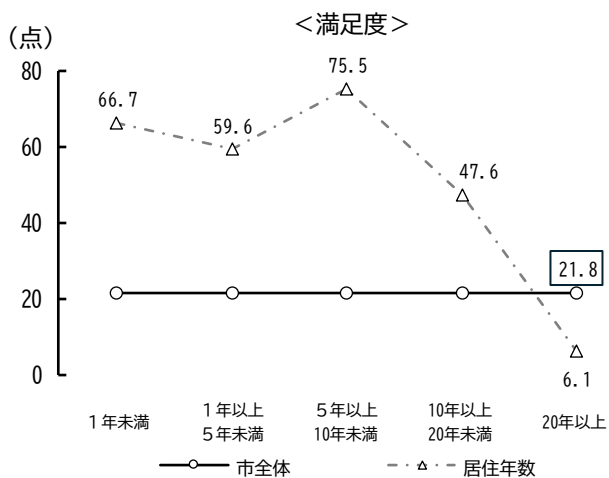
重要度を居住地区別で見ると、平岡、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

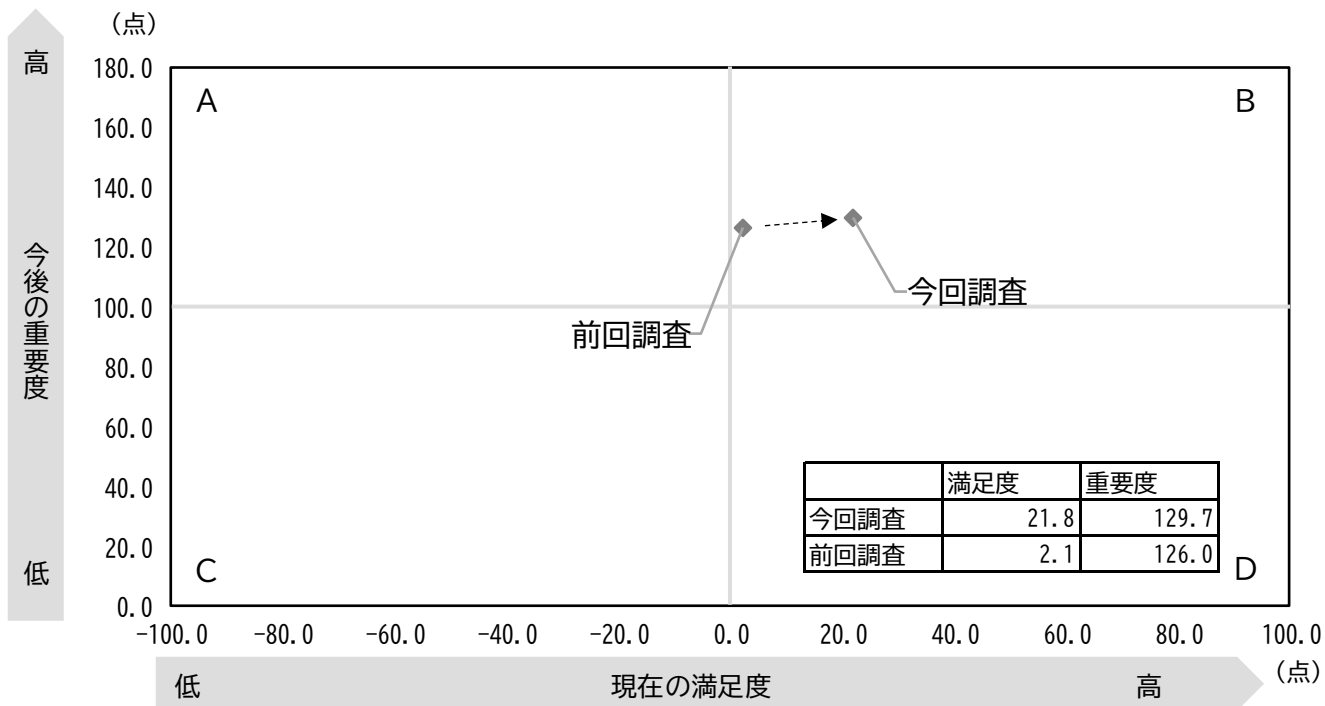
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、5年以上10年未満、20年以上で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



商業・観光を振興する

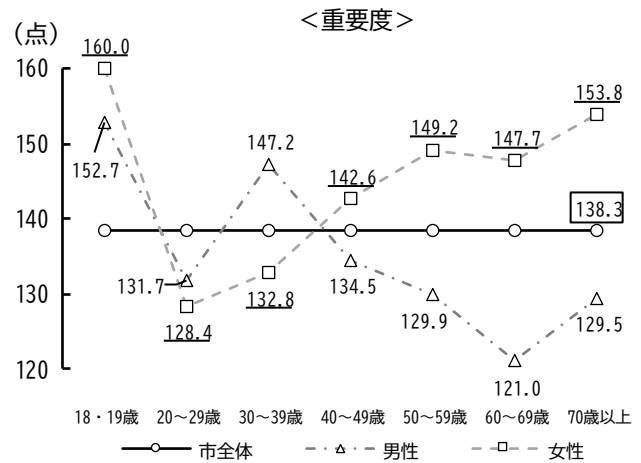
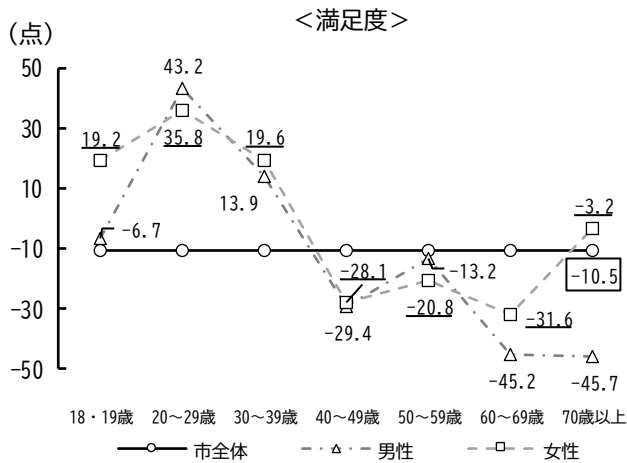
〔商業・サービス業の振興〕

(26) 商業・サービス業の振興

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

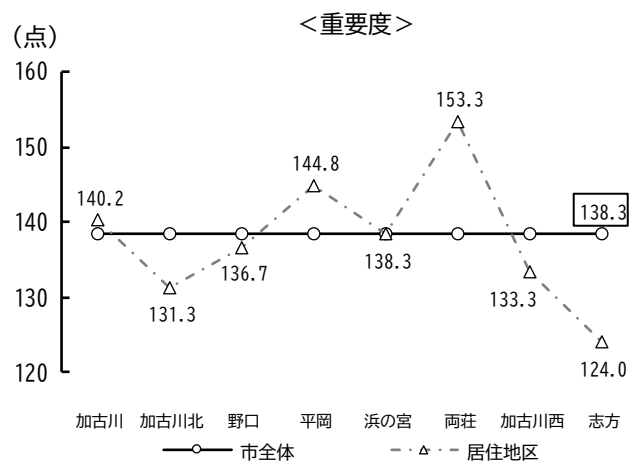
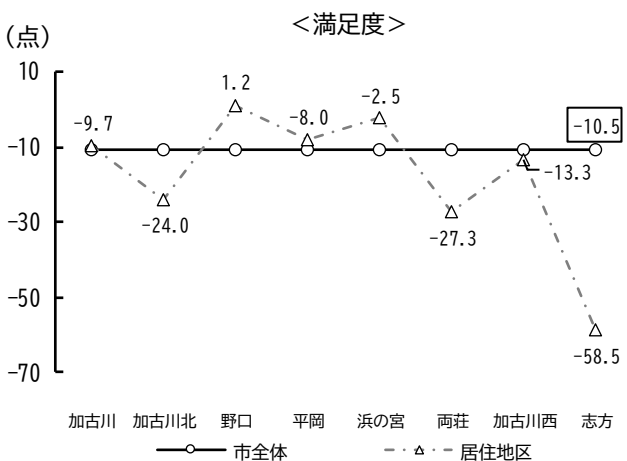
重要度を性年代別で見ると、18・19歳の男女と、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上の女性と、30～39歳の男性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、野口、平岡、浜の宮で市全体平均より高くなっている。

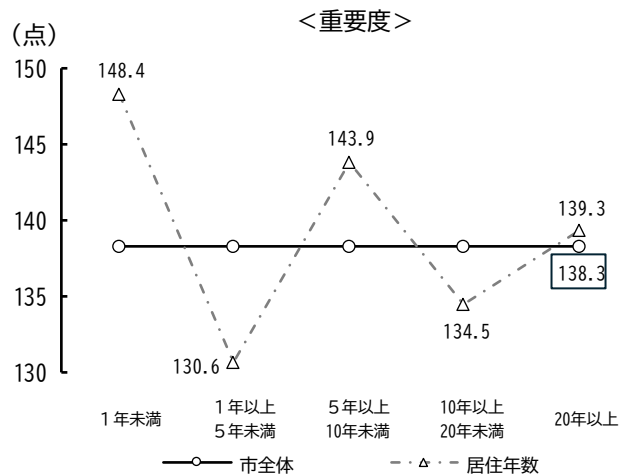
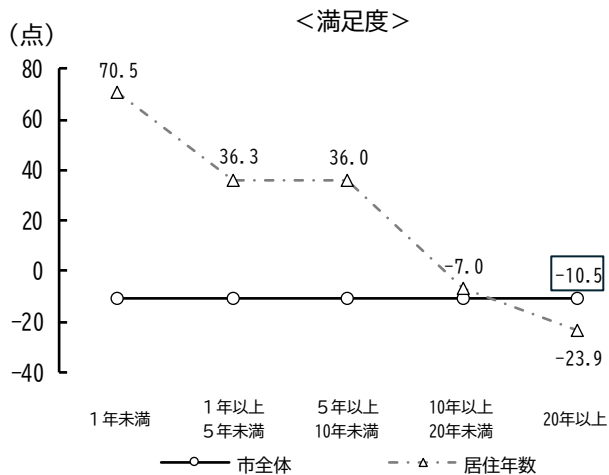
重要度を居住地区別で見ると、加古川、平岡、両荘で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

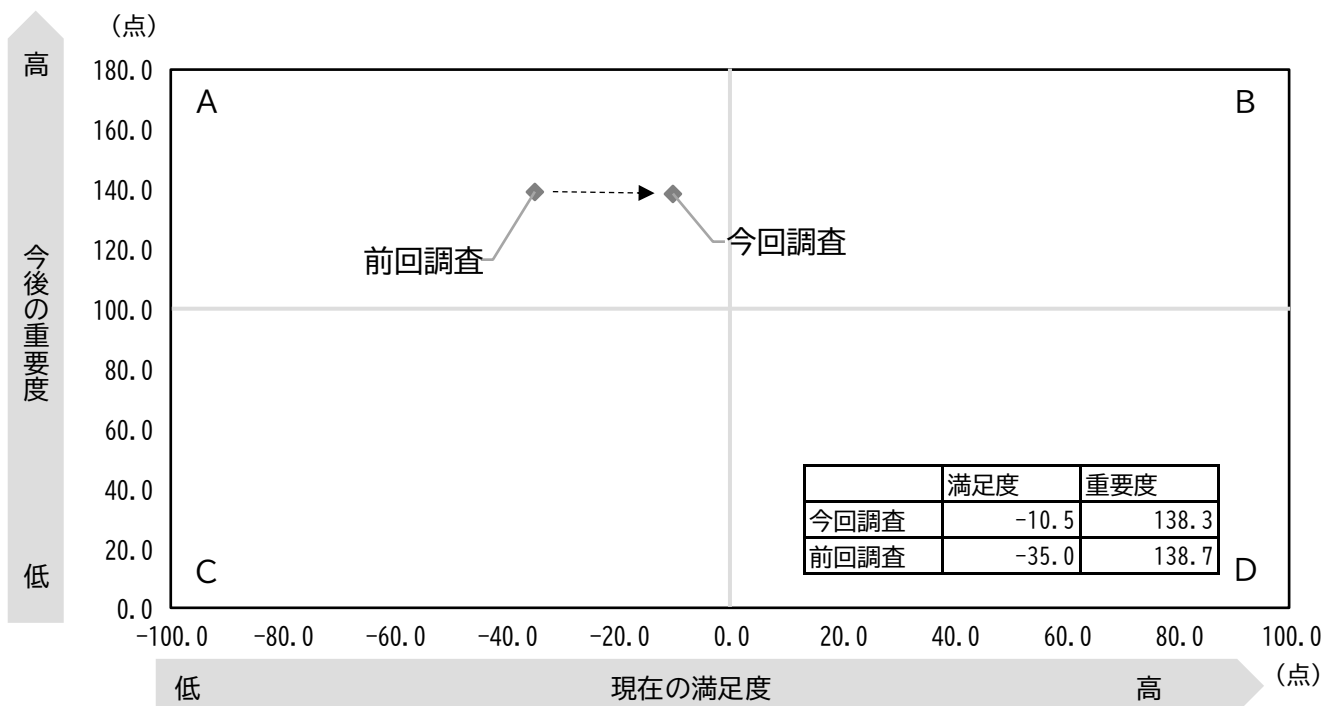
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年未満、5年以上10年未満、20年以上で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。



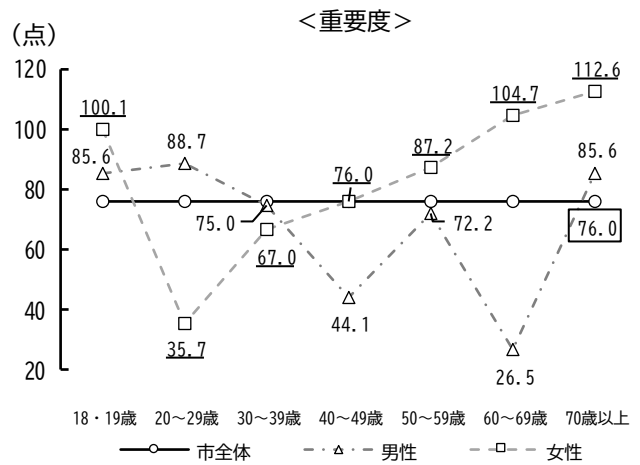
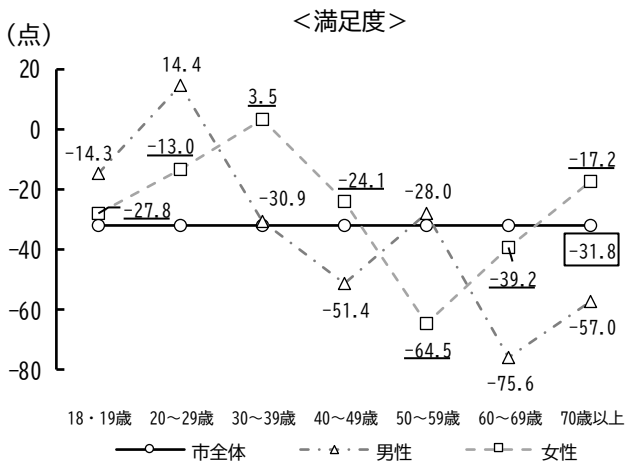
【観光の振興】

(27) 観光の振興

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、40～49歳、70歳以上の女性と、50～59歳の男性で市全体平均より高くなっている。

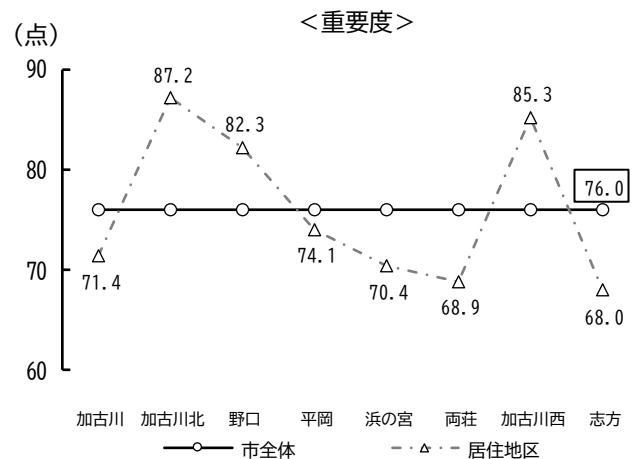
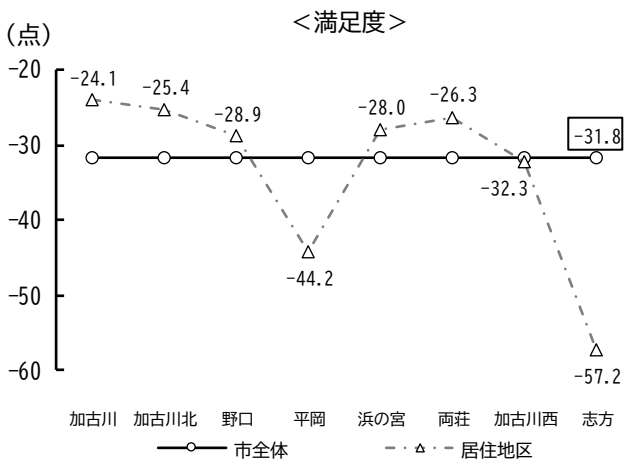
重要度を性年代別で見ると、18・19歳、70歳以上の男女と、50～59歳、60～69歳の女性と、20～29歳の男性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、加古川北、野口、浜の宮、両荘で市全体平均より高くなっている。

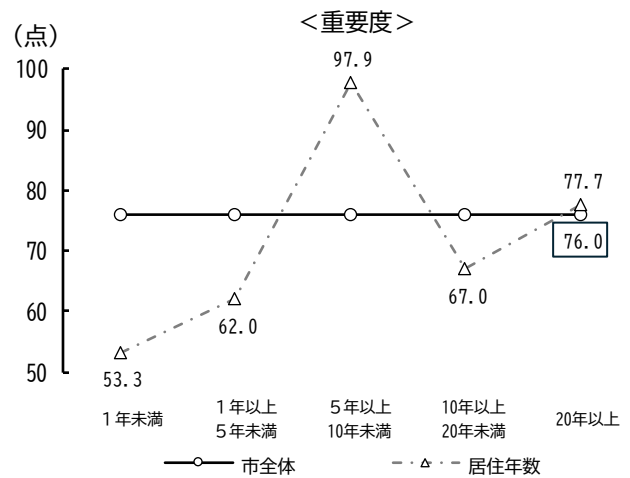
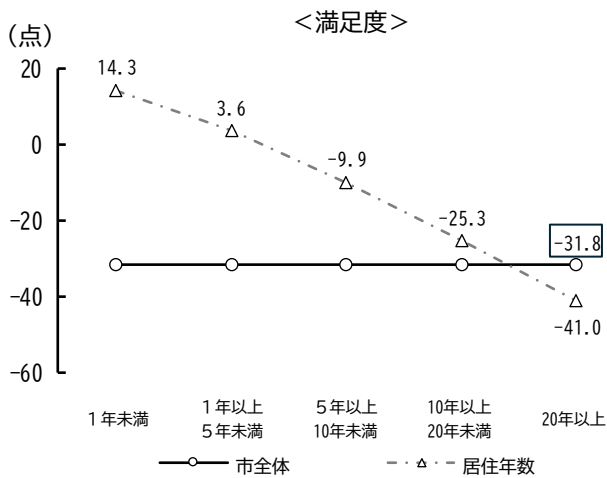
重要度を居住地区別で見ると、加古川北、野口、加古川西で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

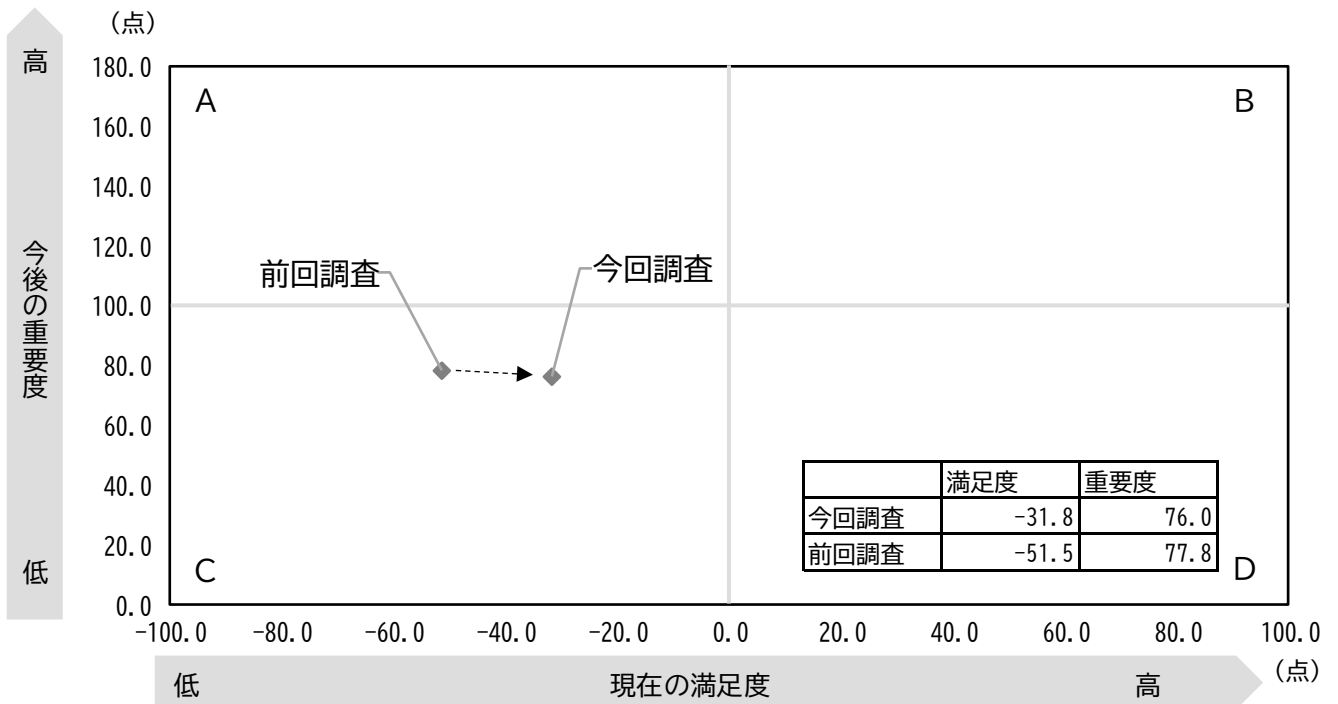
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、5年以上10年未満、20年以上で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。

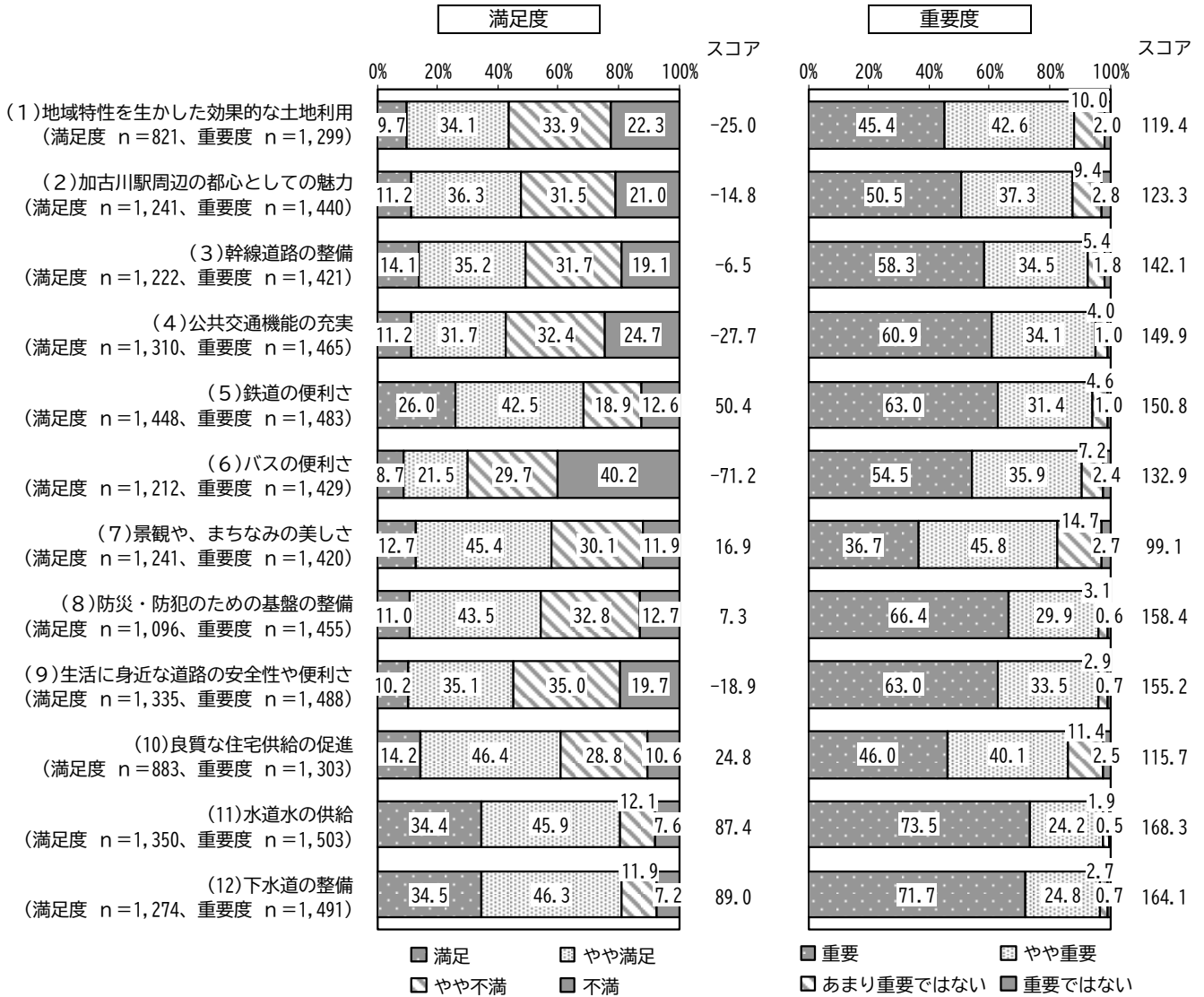


3-4 快適なまち

施策の満足度スコアが最も高い項目は「(12)下水道の整備」、次いで「(11)水道水の供給」となっています。一方、最も低い項目は「(6)バスの便利さ」、次いで「(4)公共交通機能の充実」となっています。

施策の重要度スコアが最も高い項目は「(11)水道水の供給」、次いで「(12)下水道の整備」「(8)防災・防犯のための基盤の整備」となっています。一方、最も低い項目は「(7)景観や、まちなみの美しさ」、次いで「(10)良質な住宅供給の促進」となっています。

《全体》※グラフは「わからない」、「無回答」を除いて集計



機能的・効率的なまちを形成する

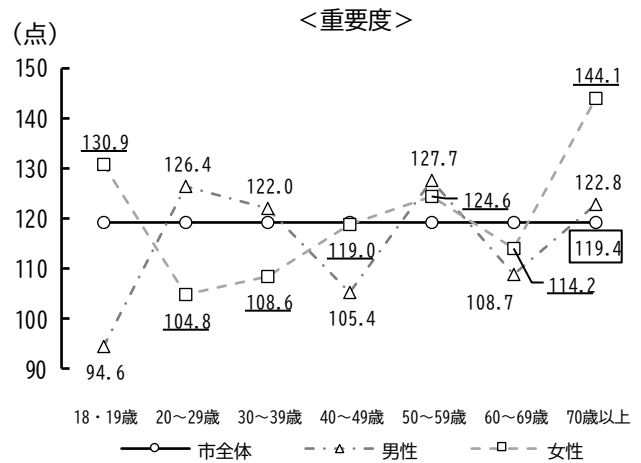
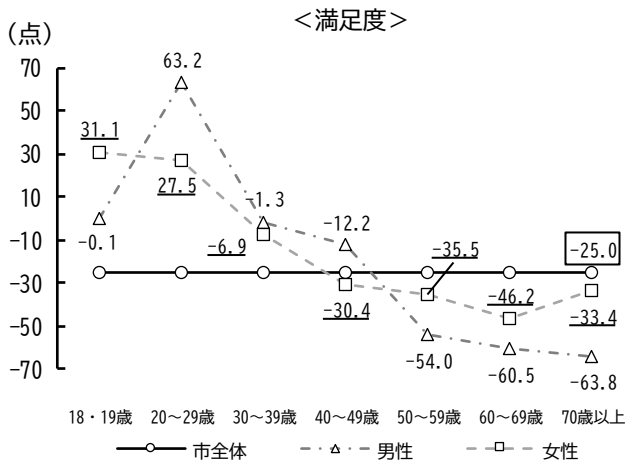
【計画的な土地利用】

(28) 地域特性を生かした効果的な土地利用

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、40～49歳の男性で市全体平均より高くなっている。

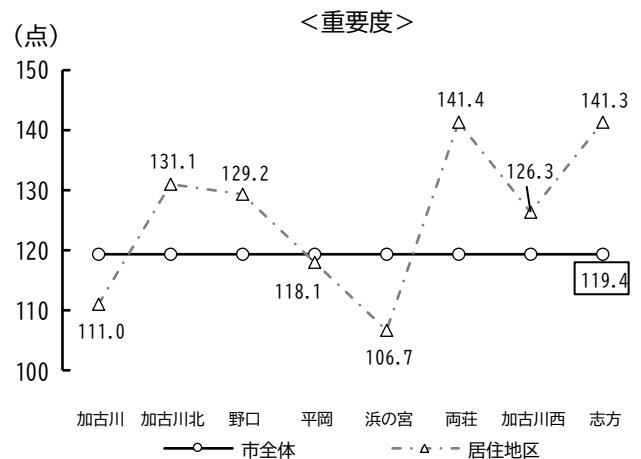
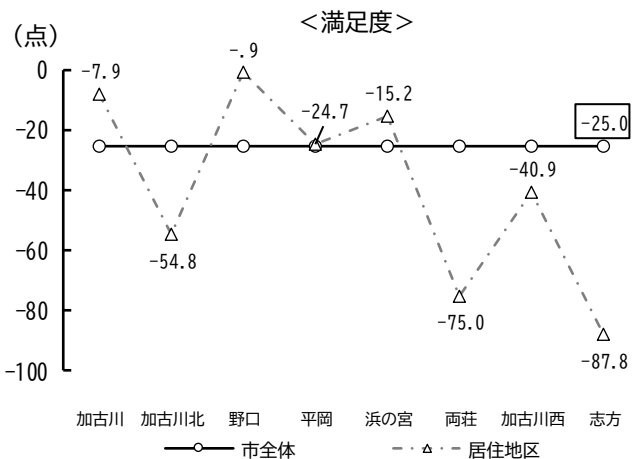
重要度を性年代別で見ると、50～59歳、70歳以上の男女と、18・19歳の女性と、20～29歳、30～39歳の男性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、野口、平岡、浜の宮で市全体平均より高くなっている。

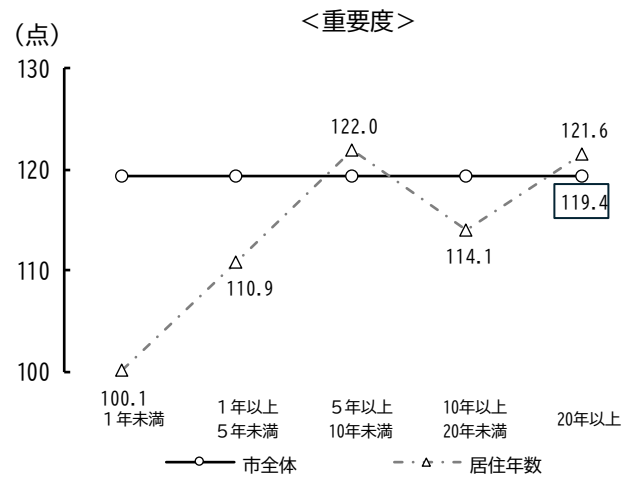
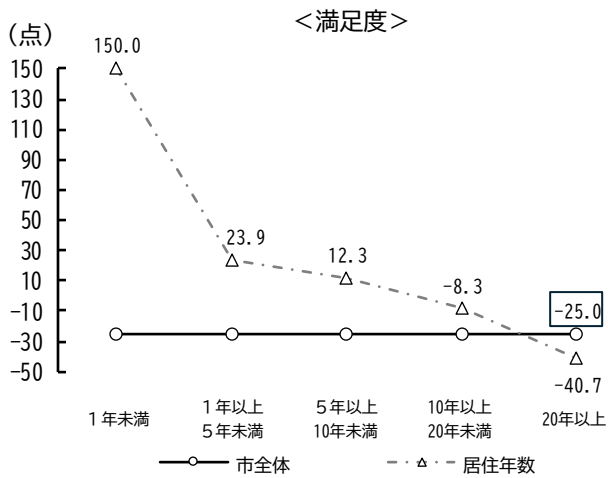
重要度を居住地区別で見ると、加古川北、野口、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

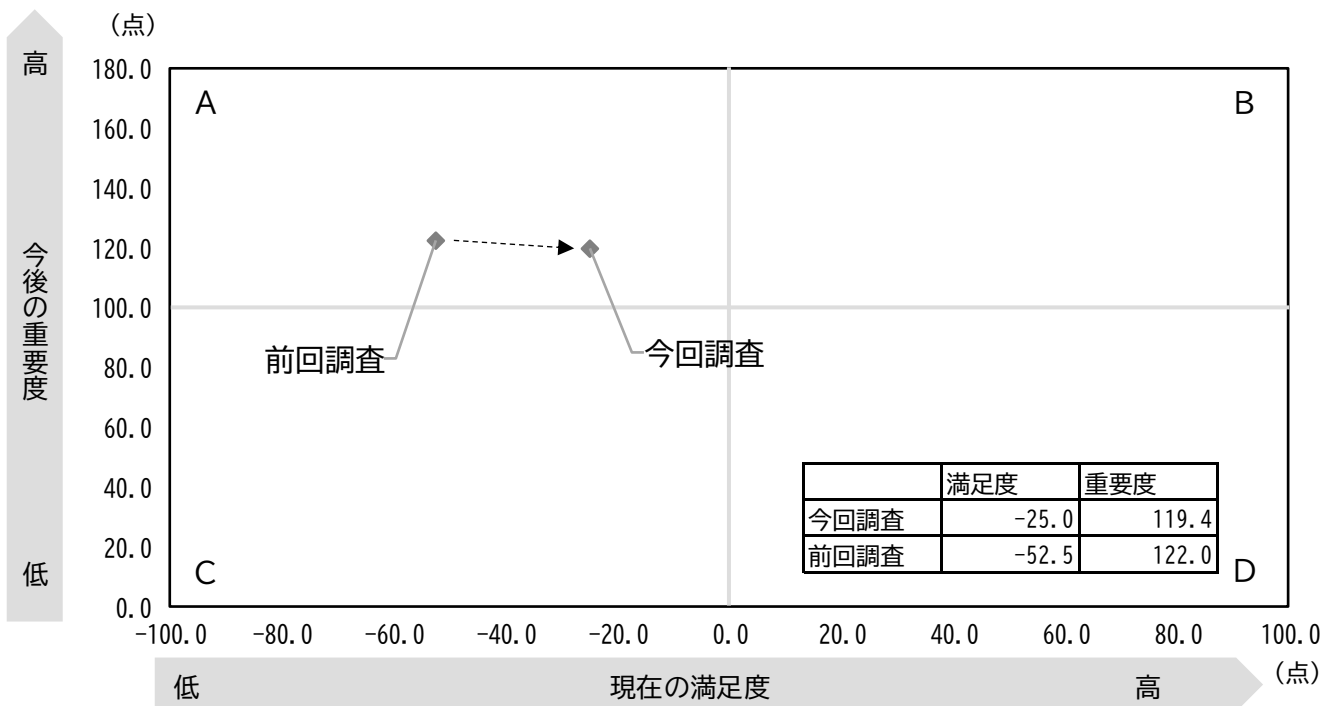
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、5年以上10年未満、20年以上で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。



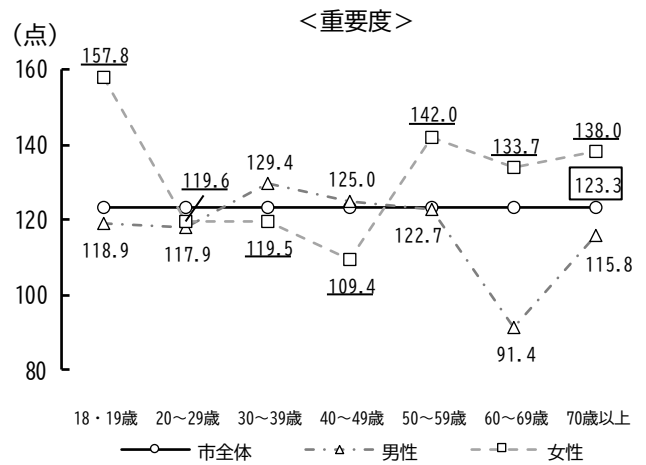
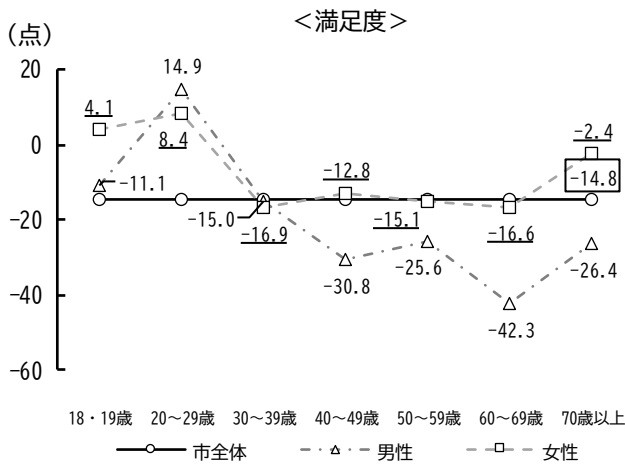
〔都市拠点機能の充実〕

(29) 加古川駅周辺の都心としての魅力

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳の男女と、40～49歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

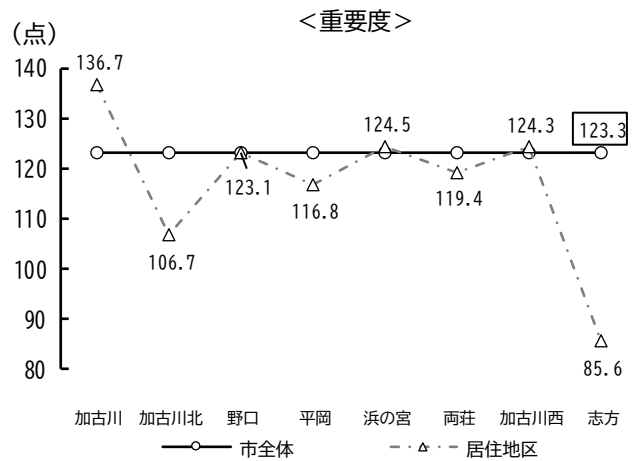
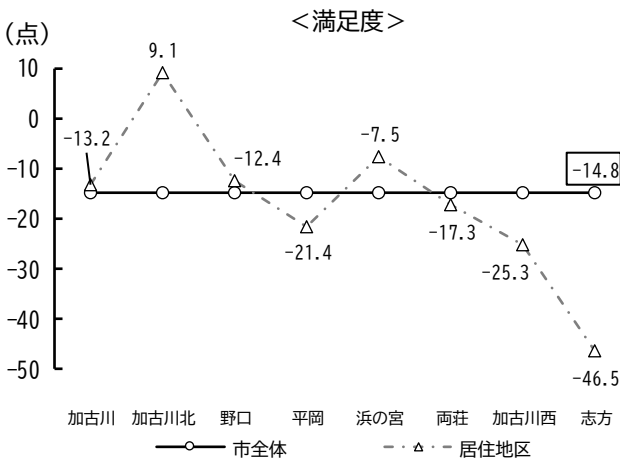
重要度を性年代別で見ると、18・19歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上の女性と、30～39歳、40～49歳の男性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、加古川北、野口、浜の宮で市全体平均より高くなっている。

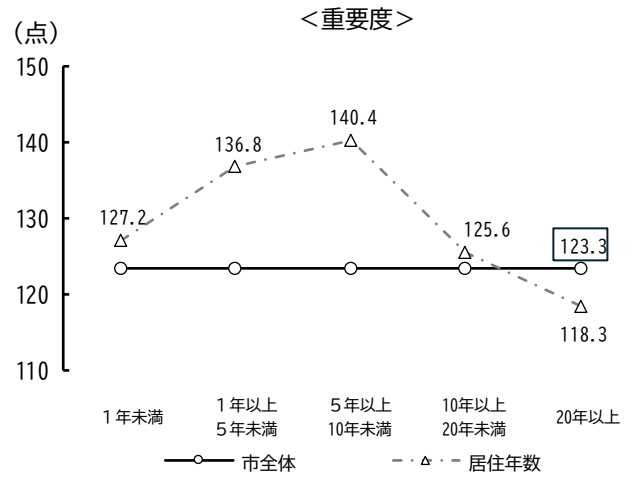
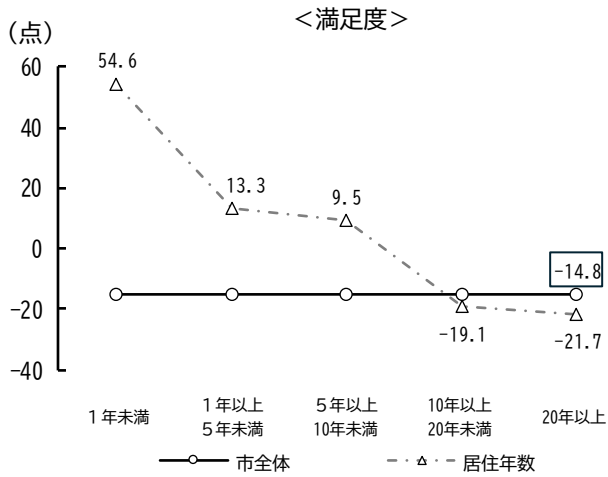
重要度を居住地区別で見ると、加古川、浜の宮、加古川西で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

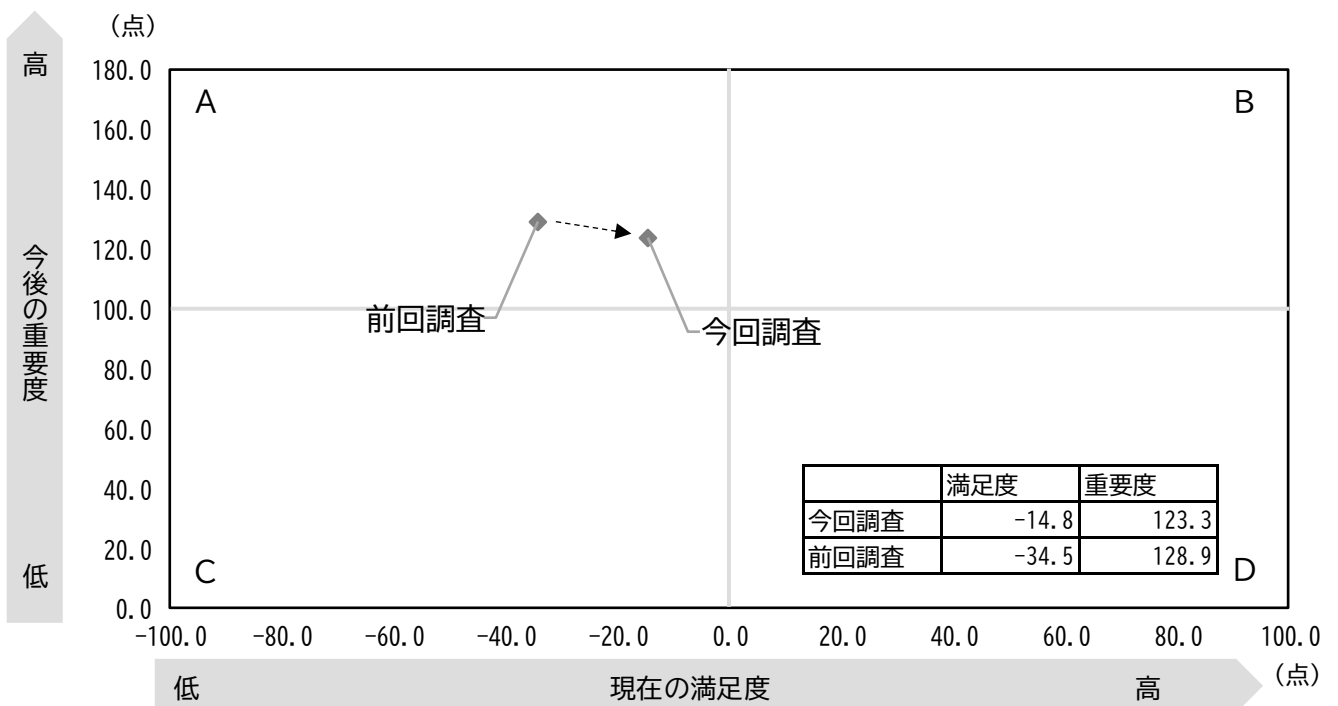
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。



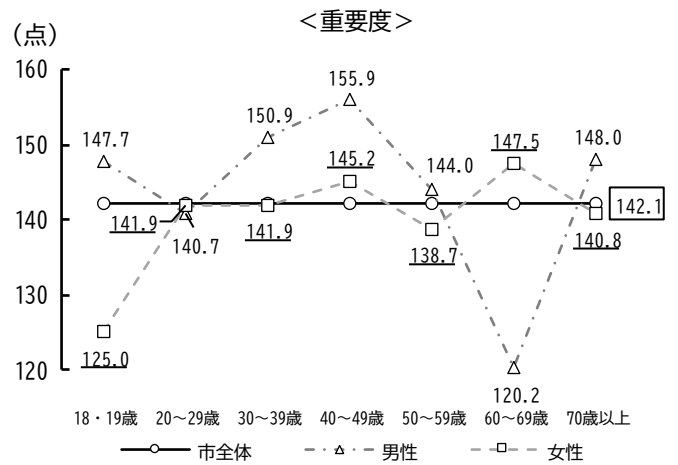
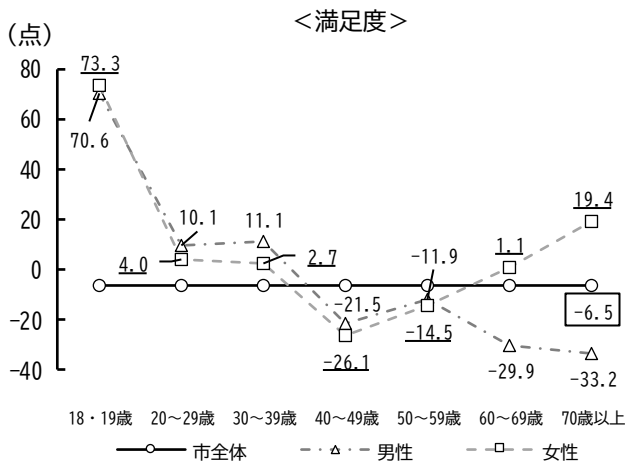
【幹線道路・港湾機能の充実】

(30) 幹線道路の整備

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、60～69歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

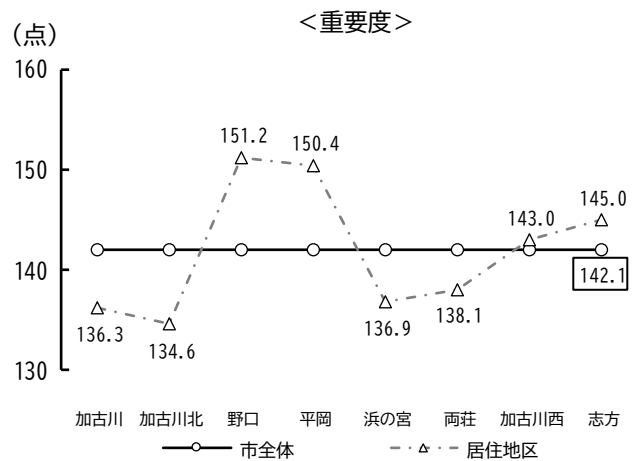
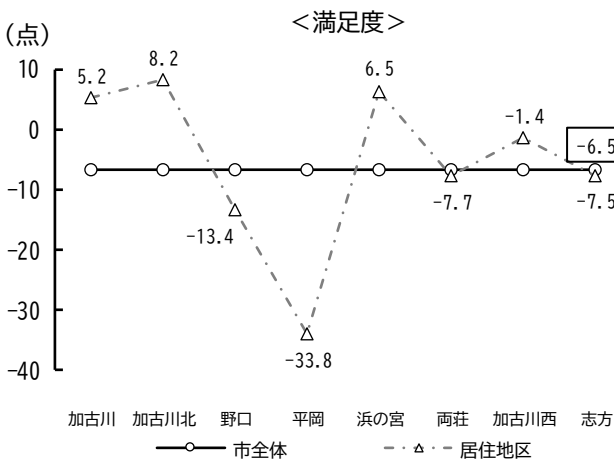
重要度を性年代別で見ると、40～49歳の男女と、60～69歳の女性と、18・19歳、30～39歳、50～59歳、70歳以上の男性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、加古川北、浜の宮、加古川西で市全体平均より高くなっている。

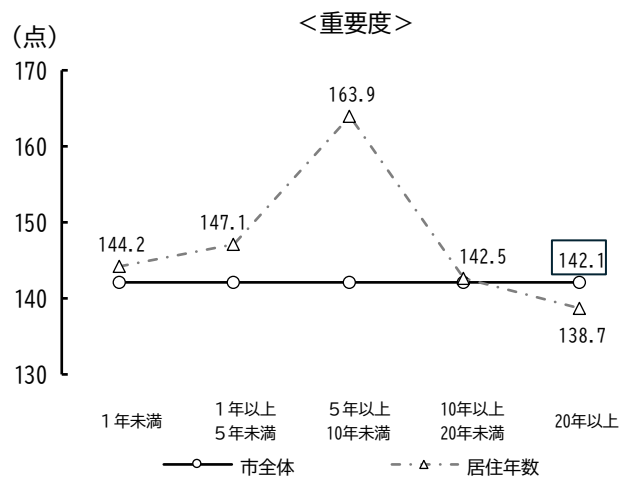
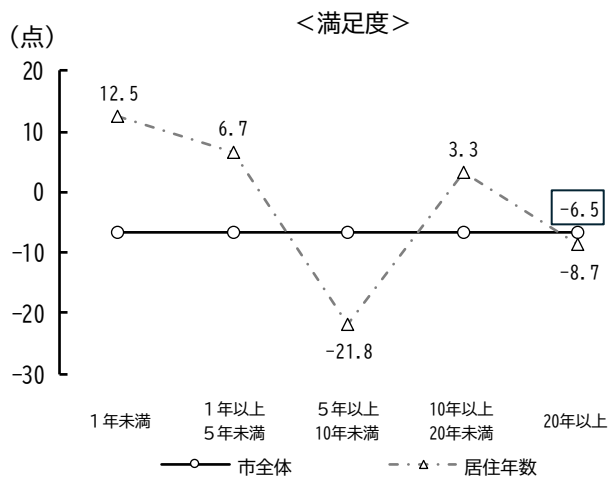
重要度を居住地区別で見ると、野口、平岡、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

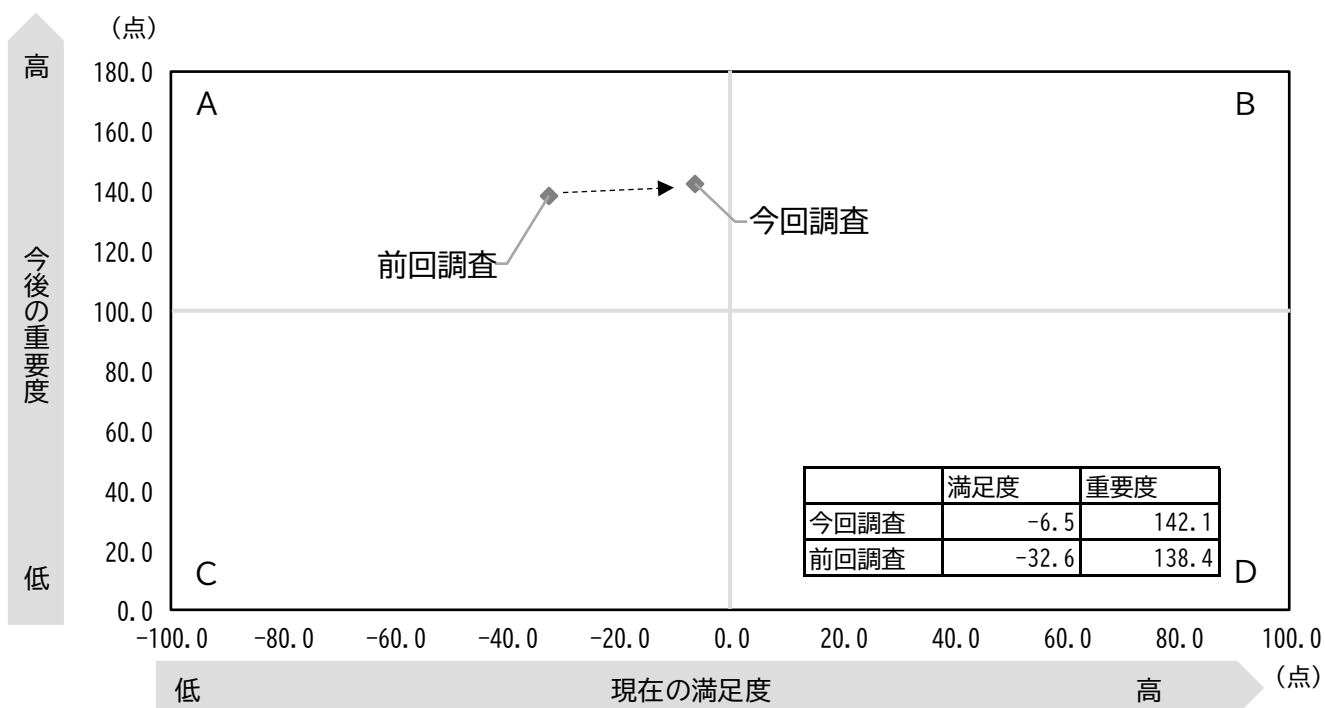
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



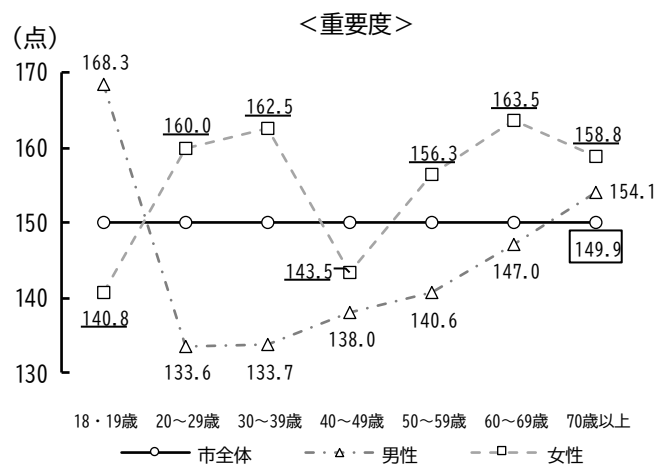
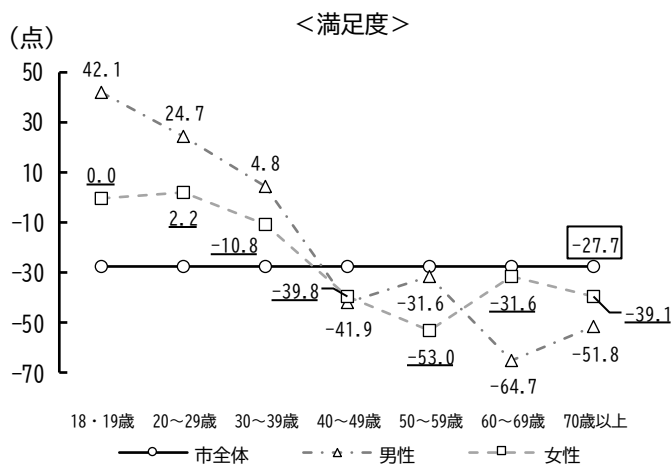
〔公共交通機能の充実〕

(31) 公共交通機能の充実

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女で市全体平均より高くなっている。

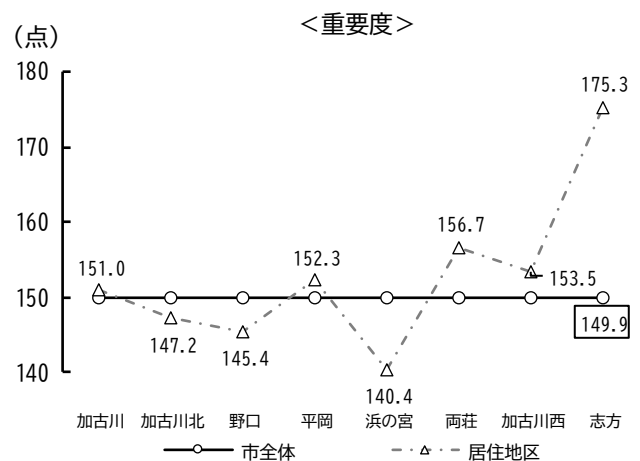
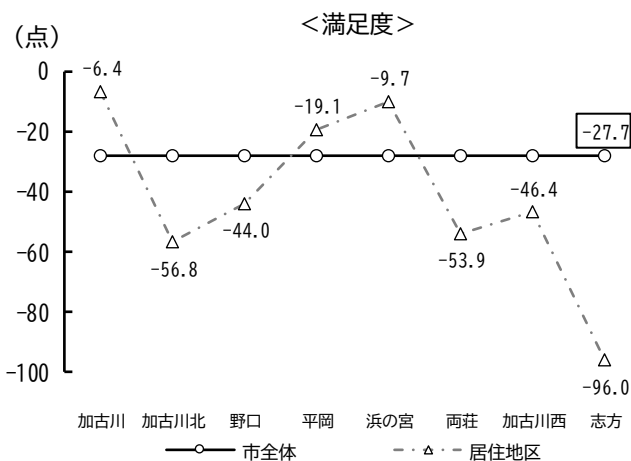
重要度を性年代別で見ると、70歳以上の男女と、20～29歳、30～39歳、50～59歳、60～69歳の女性と、18・19歳の男性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、平岡、浜の宮で市全体平均より高くなっている。

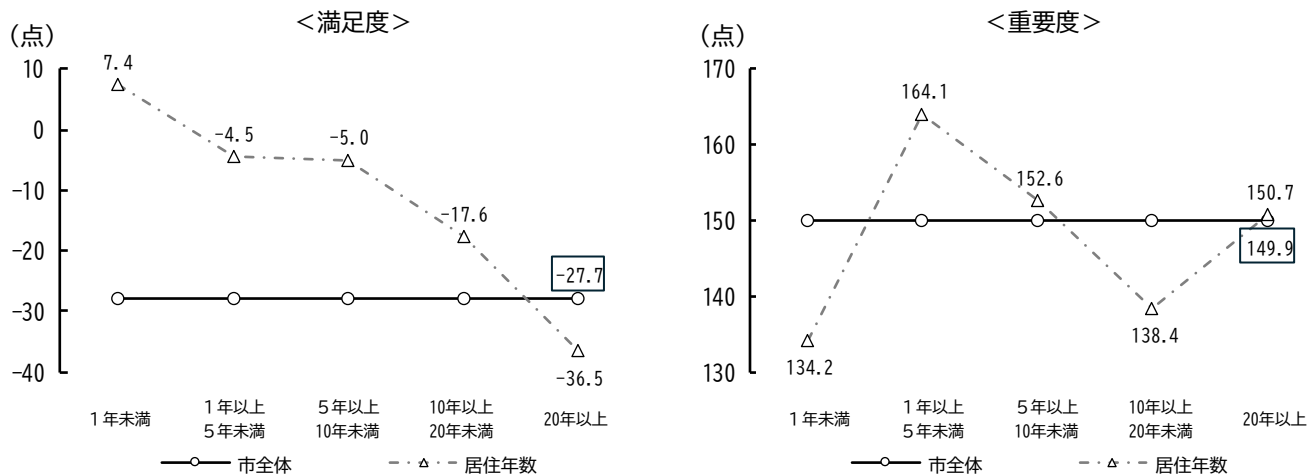
重要度を居住地区別で見ると、加古川、平岡、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

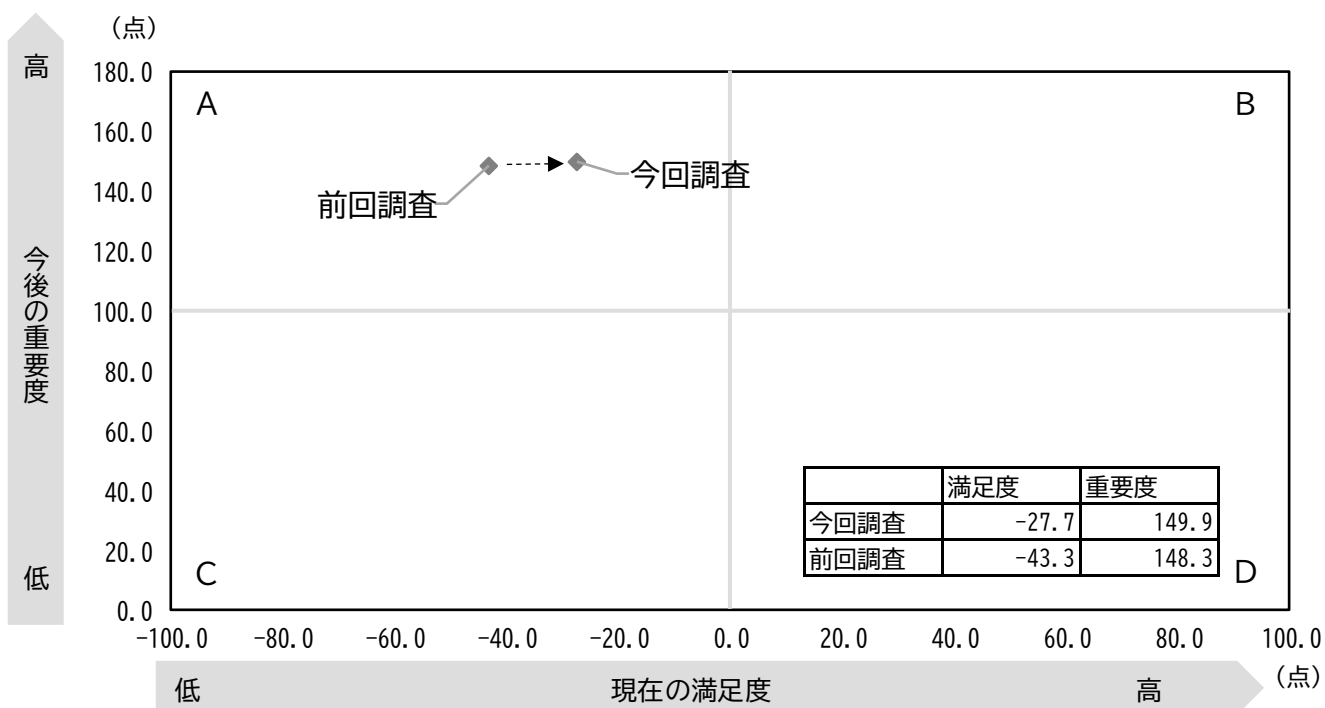
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年以上5年未満、5年以上10年未満、20年以上で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。

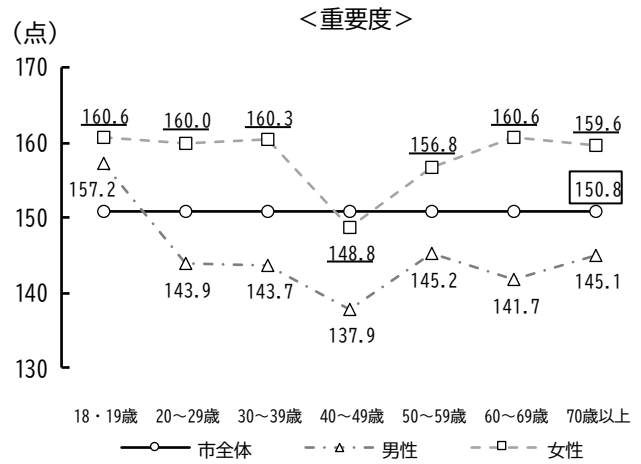
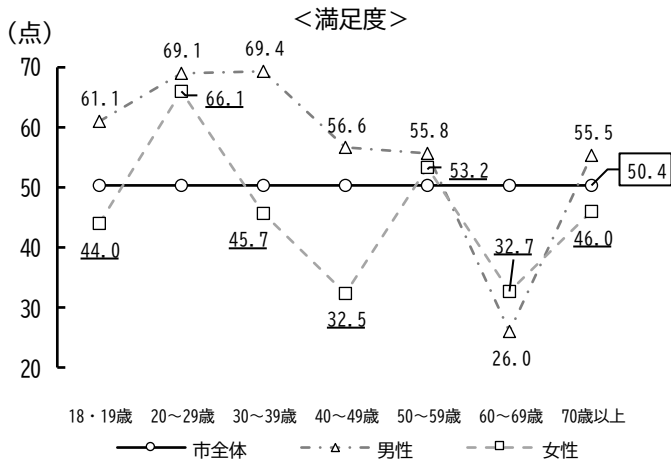


(31-1) 鉄道の便利さ

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、20～29歳、50～59歳の男女と、18・19歳、30～39歳、40～49歳、70歳以上の男性で市全体平均より高くなっている。

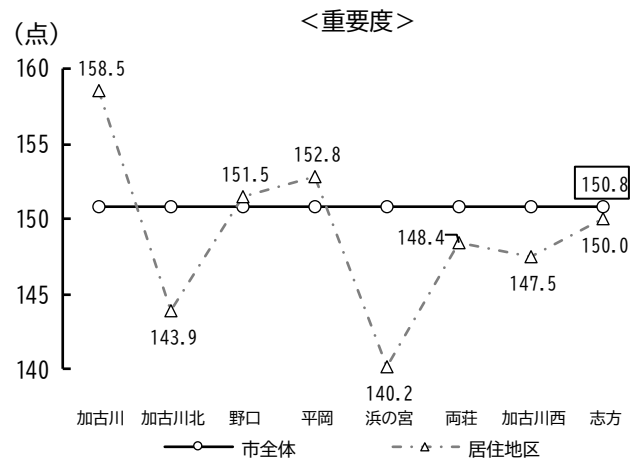
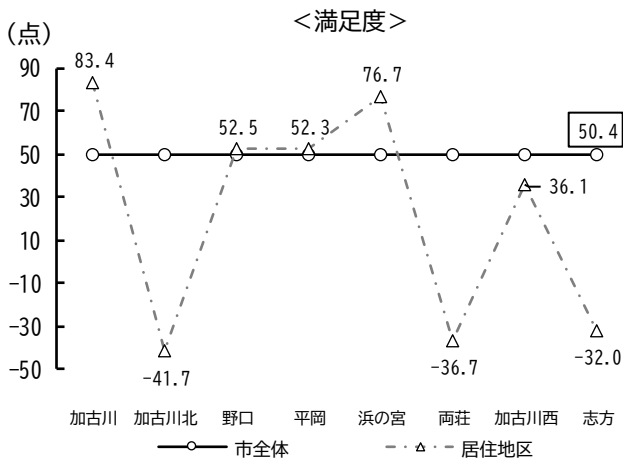
重要度を性年代別で見ると、18・19歳の男女と、20～29歳、30～39歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、野口、平岡、浜の宮で市全体平均より高くなっている。

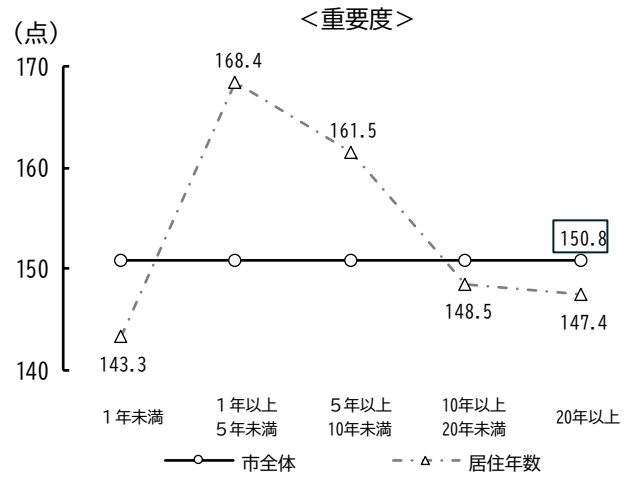
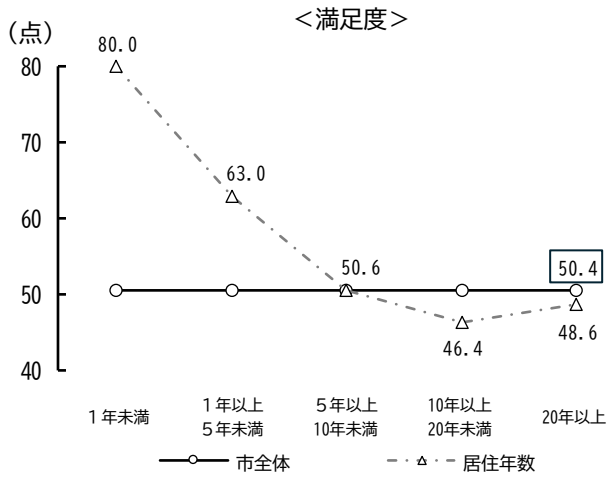
重要度を居住地区別で見ると、加古川、野口、平岡で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

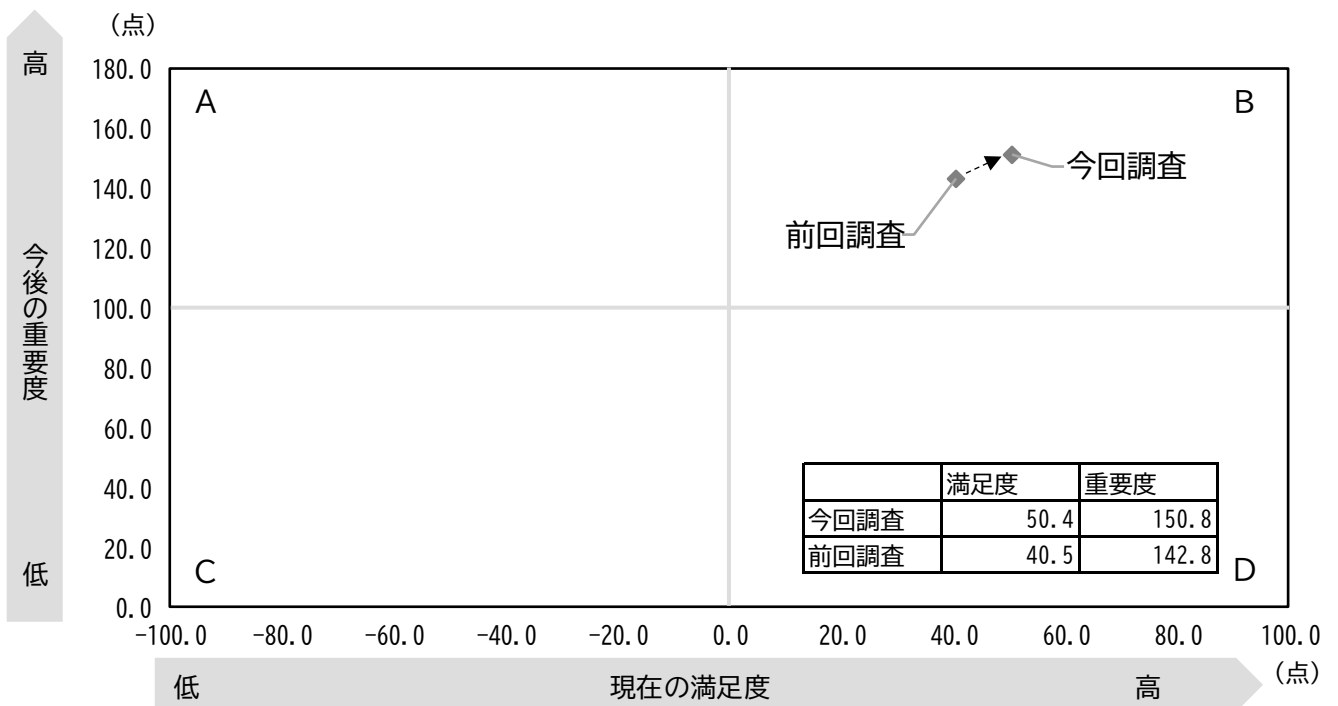
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年以上5年未満、5年以上10年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。

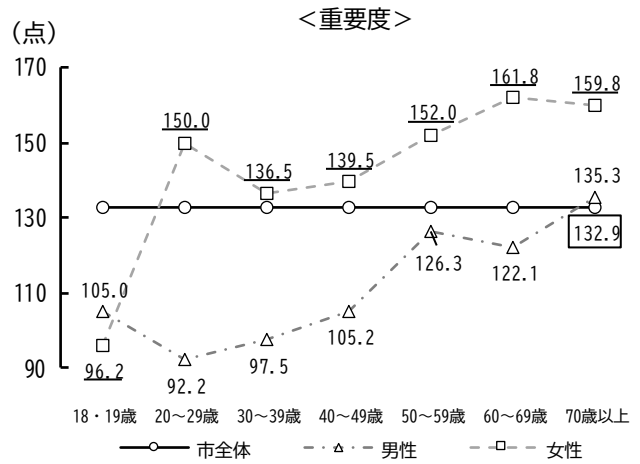
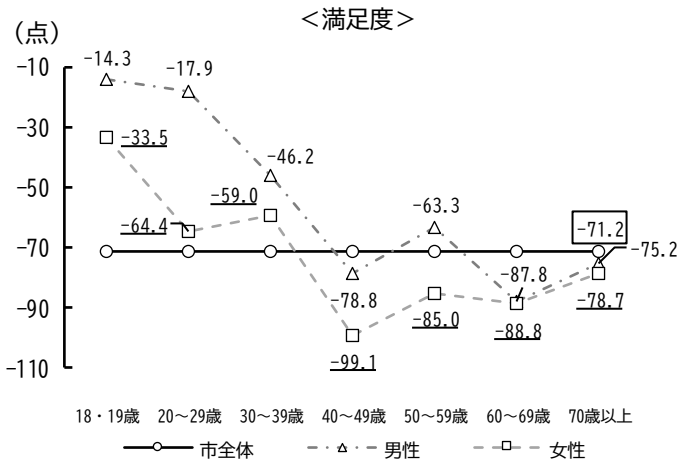


(31-2) バスの便利さ

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、50～59歳の男性で市全体平均より高くなっている。

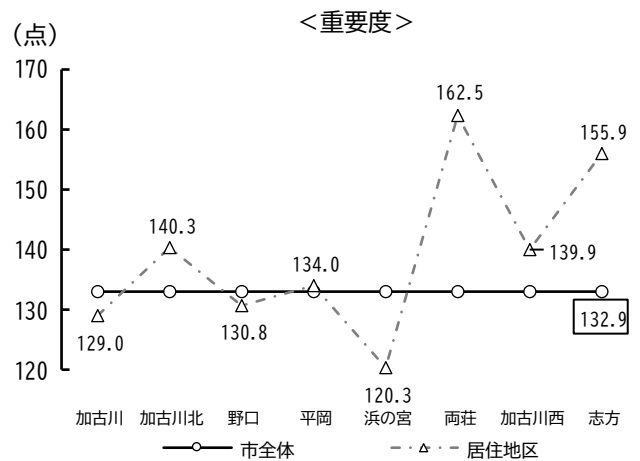
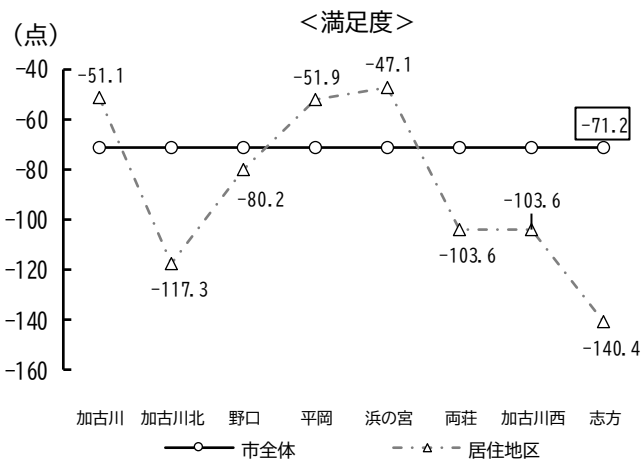
重要度を性年代別で見ると、70歳以上の男女と、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、平岡、浜の宮で市全体平均より高くなっている。

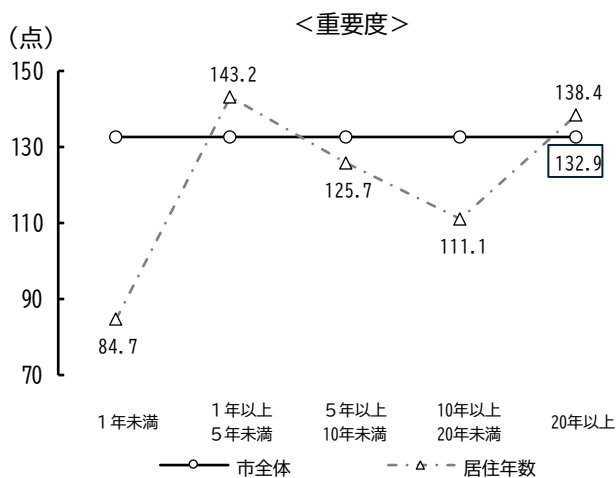
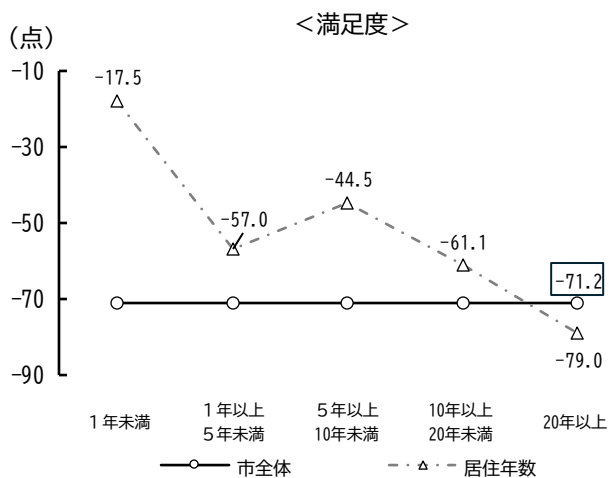
重要度を居住地区別で見ると、加古川北、平岡、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

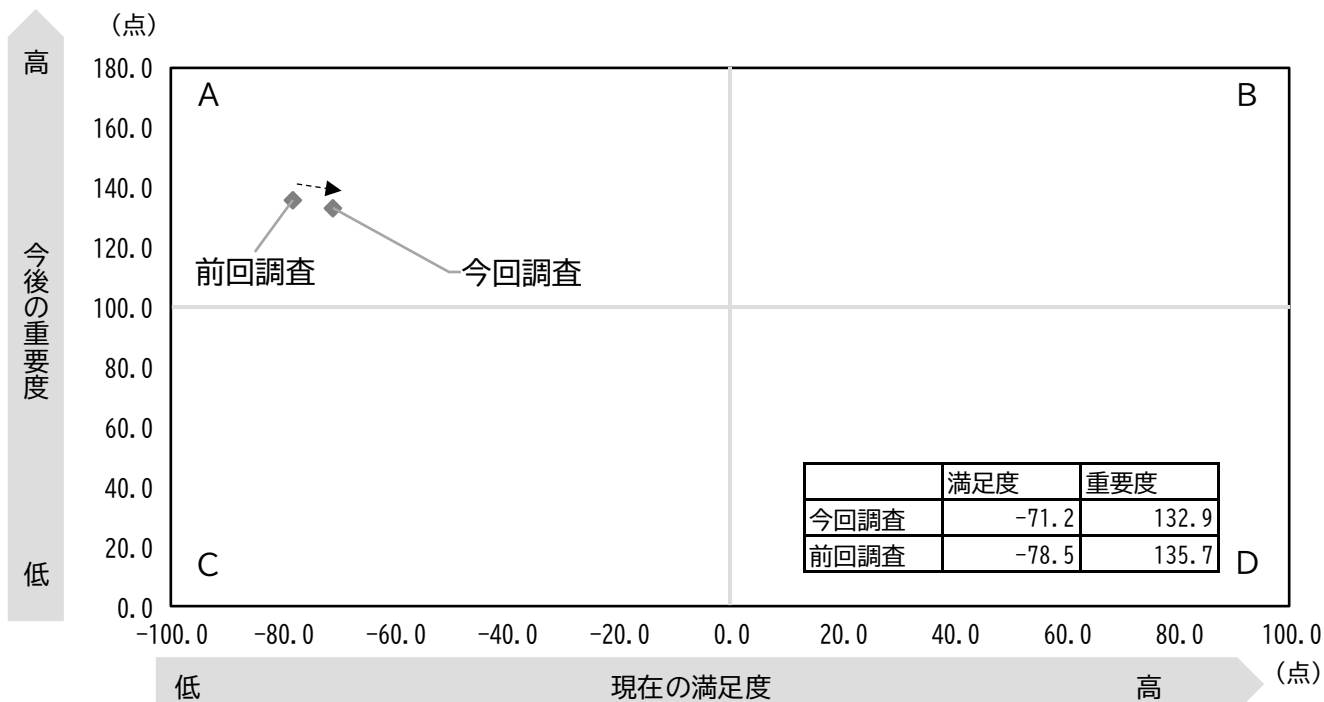
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年以上5年未満、20年以上で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。



安全で快適な暮らしの基盤を整備する

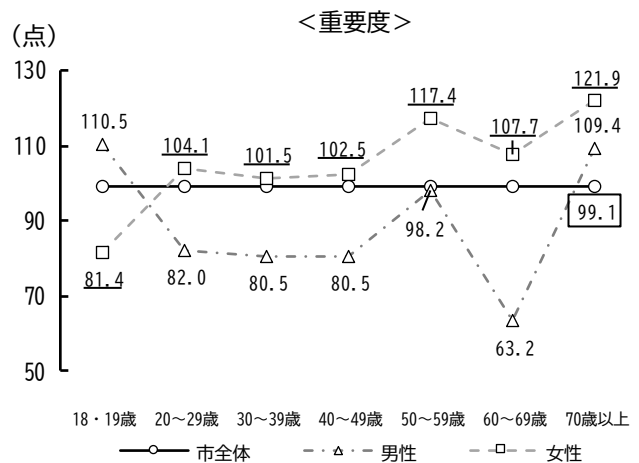
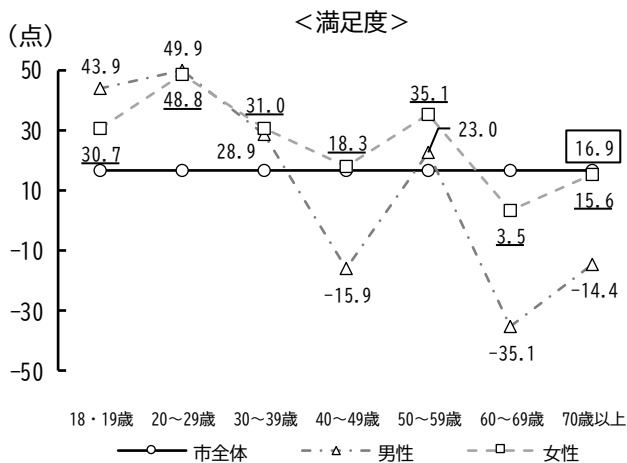
〔秩序あるまちなみの形成〕

(32) 景観や、まちなみの美しさ

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳、50～59歳の男女と、40～49歳の女性で市全体平均より高くなっている。

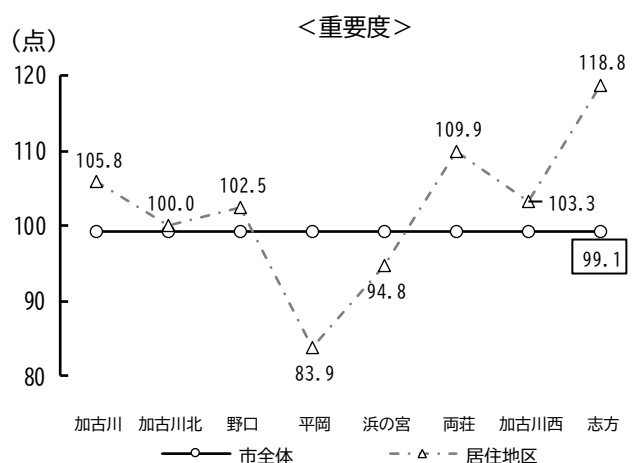
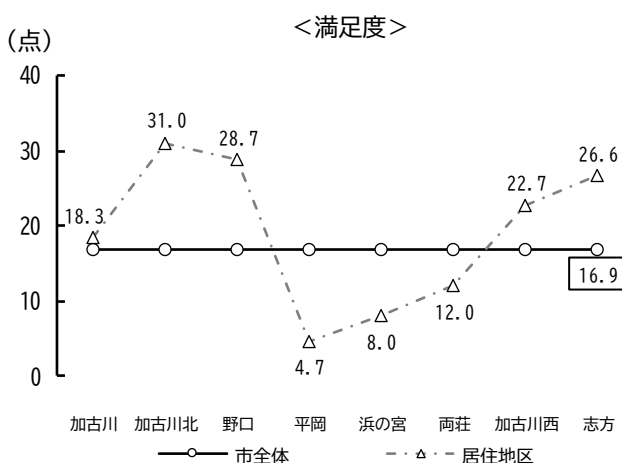
重要度を性年代別で見ると、70歳以上の男女と、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳の女性と、18・19歳の男性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、加古川北、野口、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

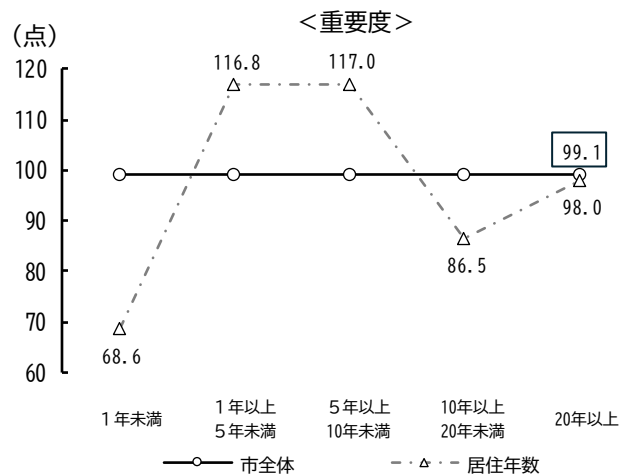
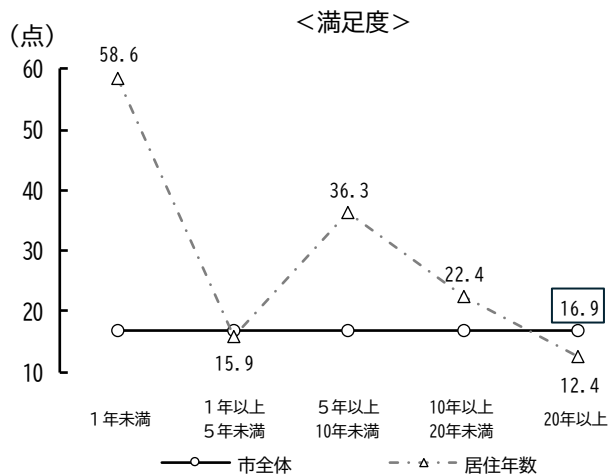
重要度を居住地区別で見ると、加古川、加古川北、野口、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

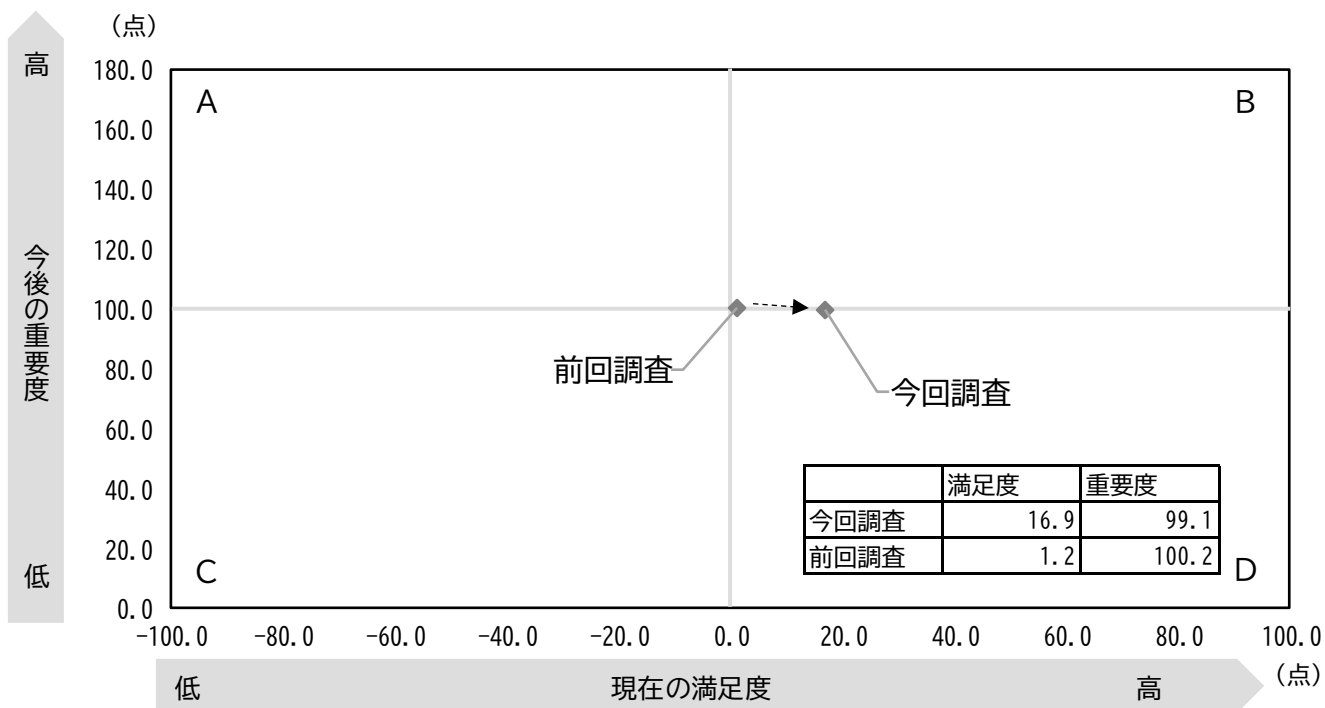
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年以上5年未満、5年以上10年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。



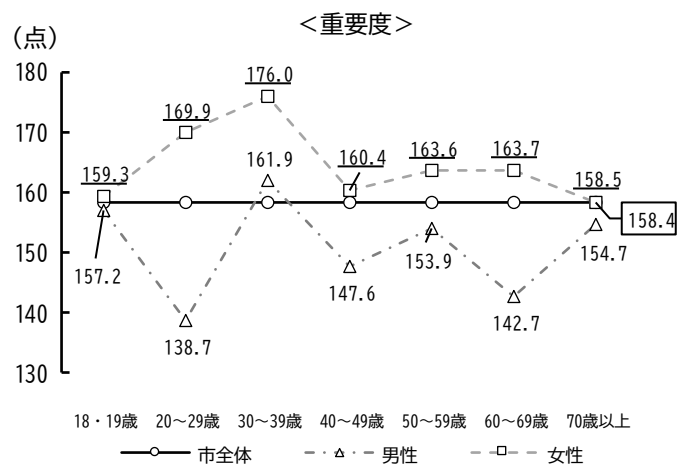
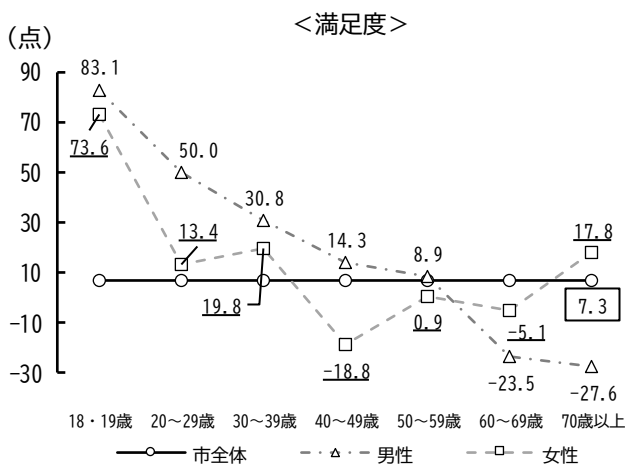
【防災・防犯のための基盤の整備】

(33) 防災・防犯のための基盤の整備

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、70歳以上の女性と、40～49歳、50～59歳の男性で市全体平均より高くなっている。

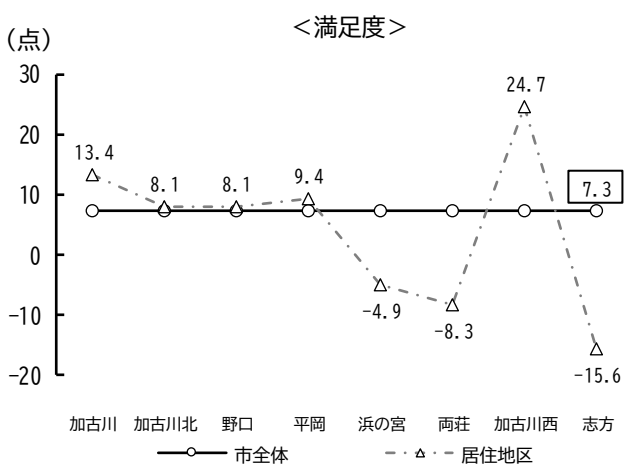
重要度を性年代別で見ると、30～39歳の男女と、18・19歳、20～29歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、加古川北、野口、平岡、加古川西で市全体平均より高くなっている。

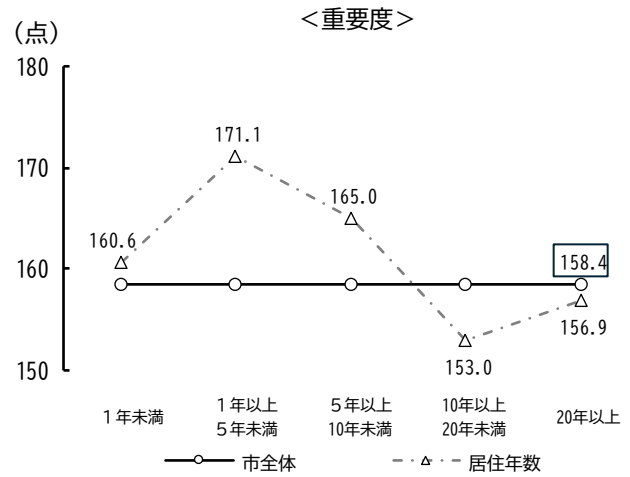
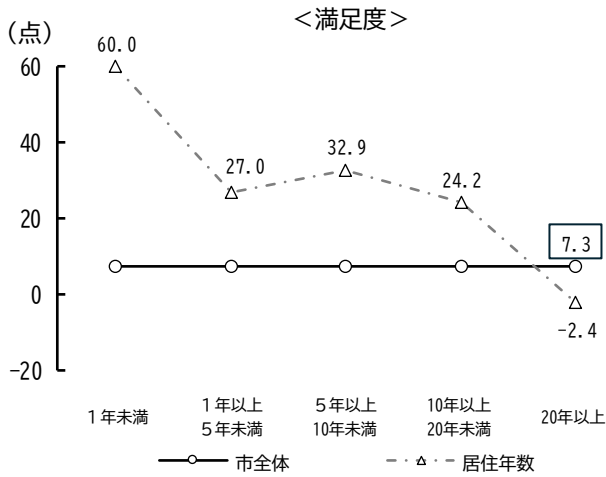
重要度を居住地区別で見ると、加古川、平岡、浜の宮で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

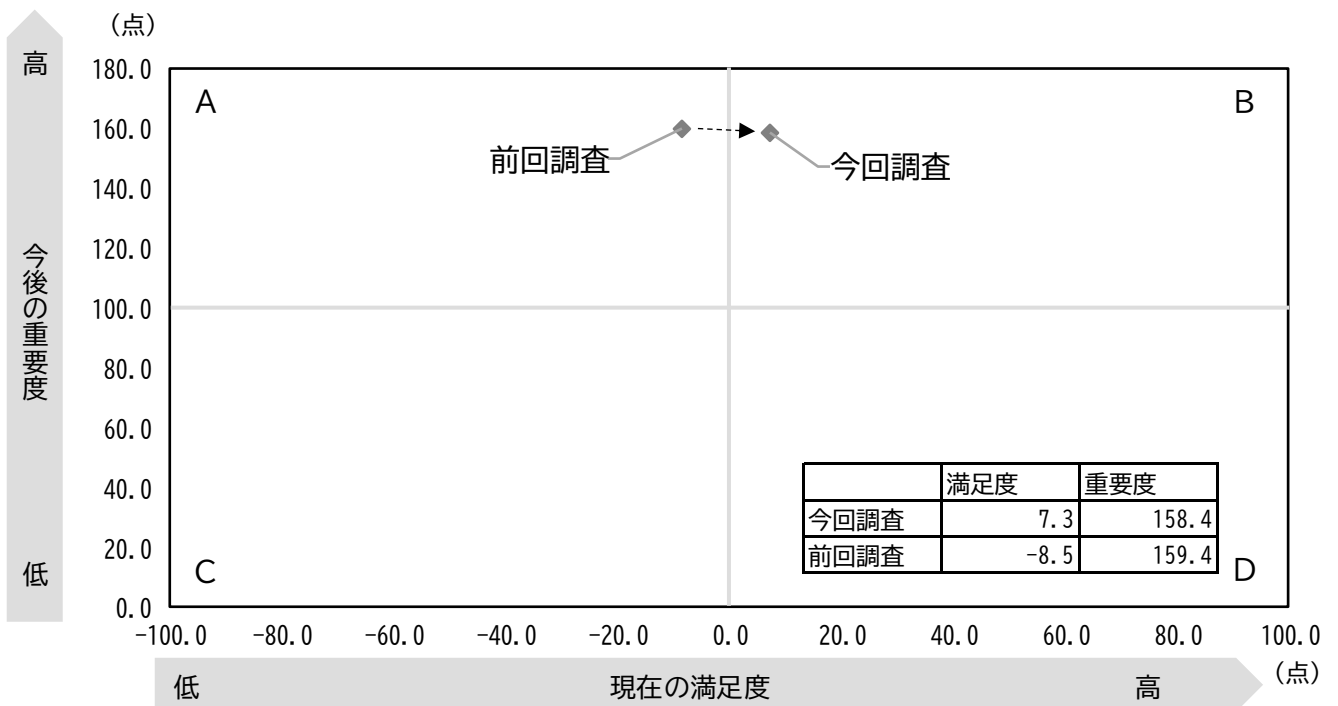
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。



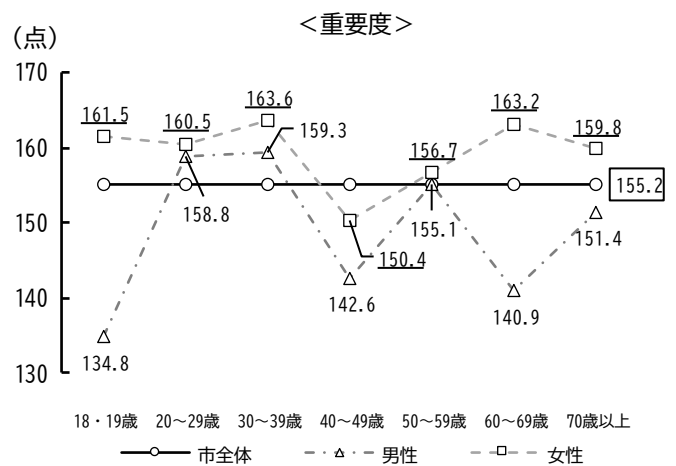
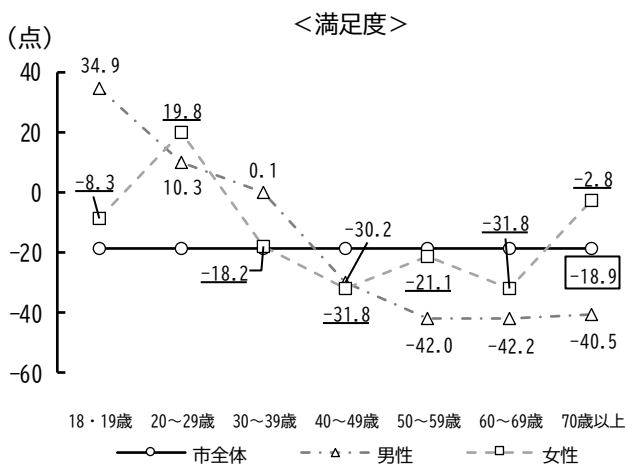
〔生活に身近な道路の整備〕

(34) 生活に身近な道路の安全性や便利さ

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

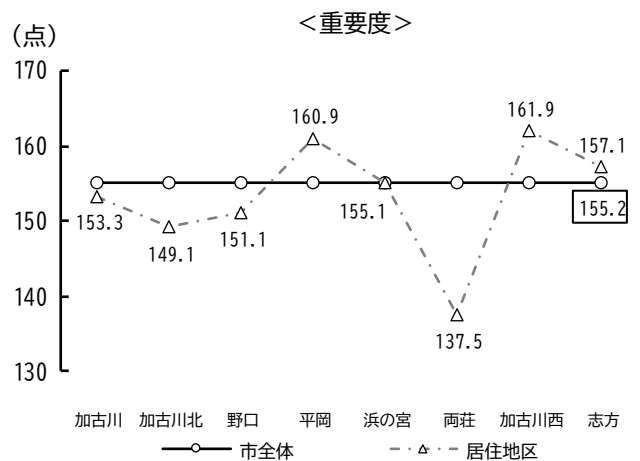
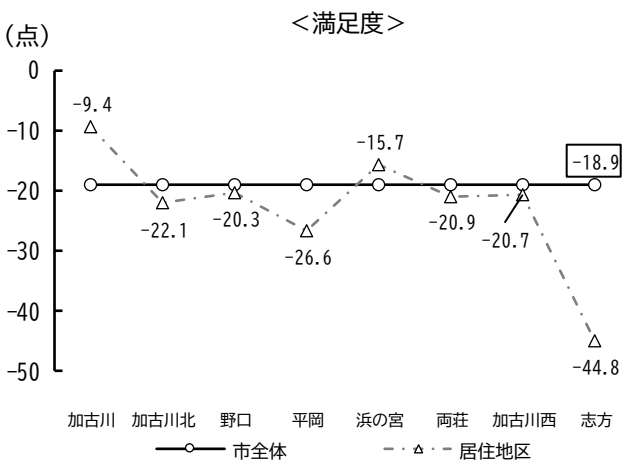
重要度を性年代別で見ると、20～29歳、30～39歳の男女と、18・19歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、浜の宮で市全体平均より高くなっている。

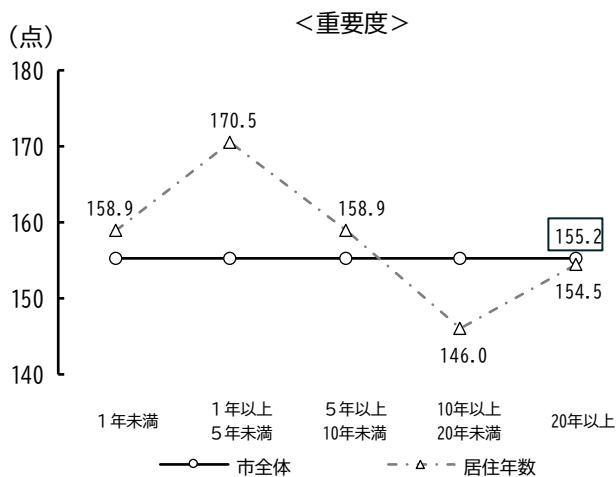
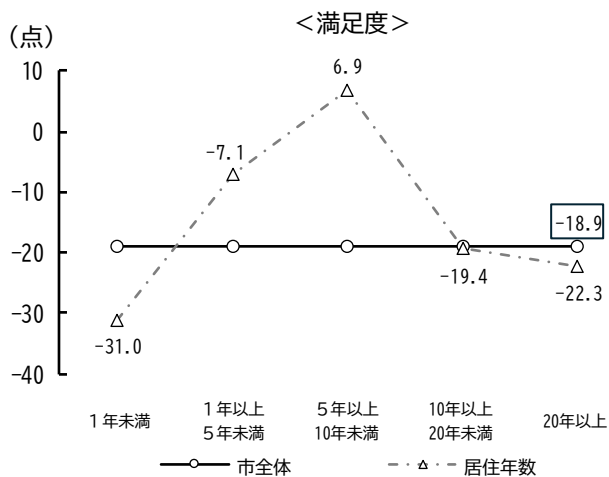
重要度を居住地区別で見ると、平岡、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

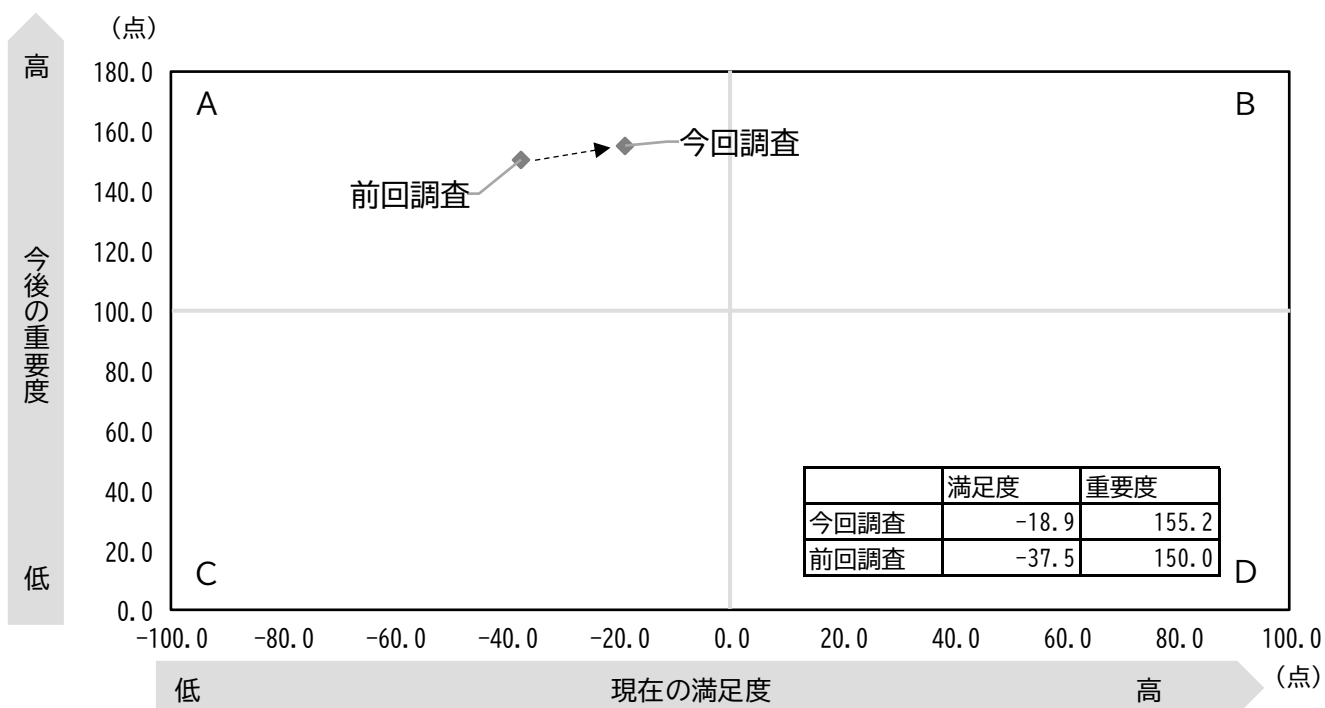
満足度を居住年数別で見ると、1年以上5年未満、5年以上10年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



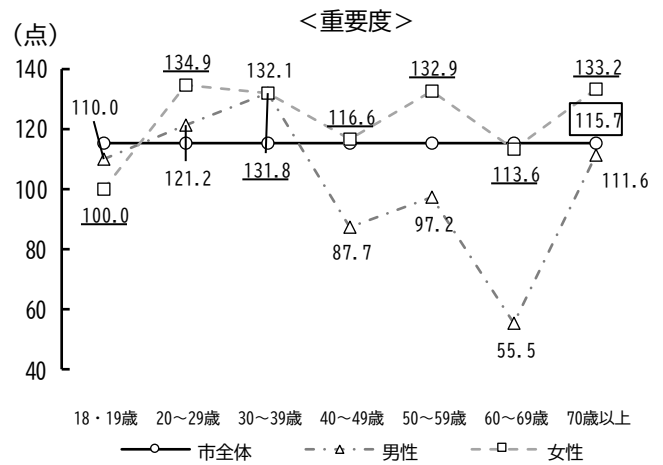
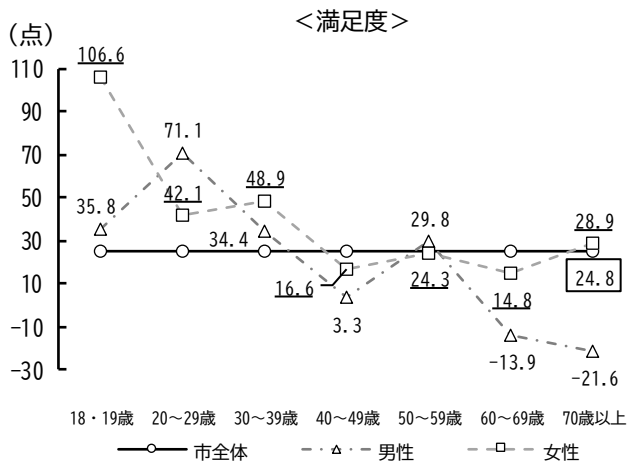
【良質な住宅供給の促進】

(35) 良質な住宅供給の促進

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、70歳以上の女性と、50～59歳の男性で市全体平均より高くなっている。

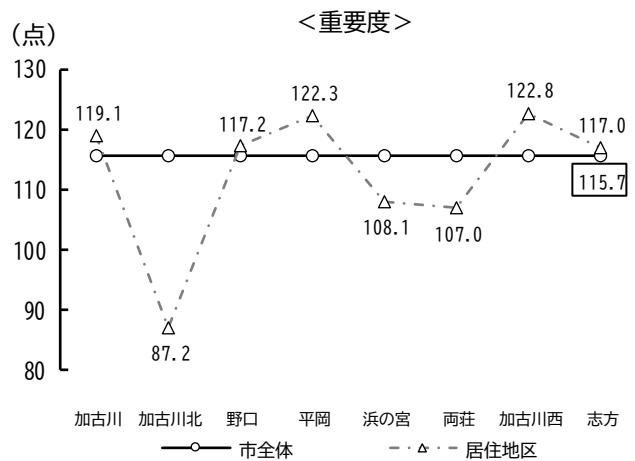
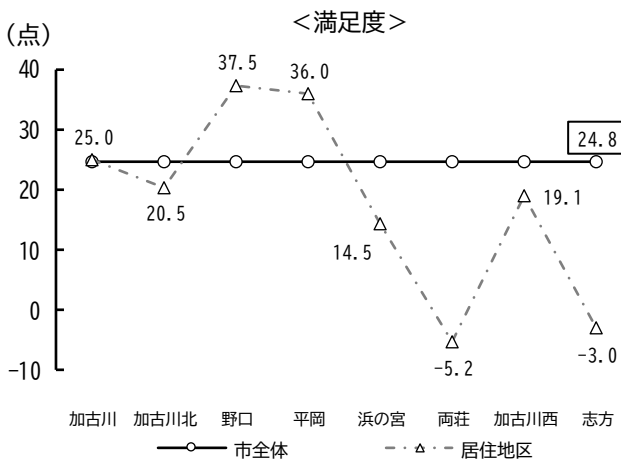
重要度を性年代別で見ると、20～29歳、30～39歳の男女と、40～49歳、50～59歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、野口、平岡で市全体平均より高くなっている。

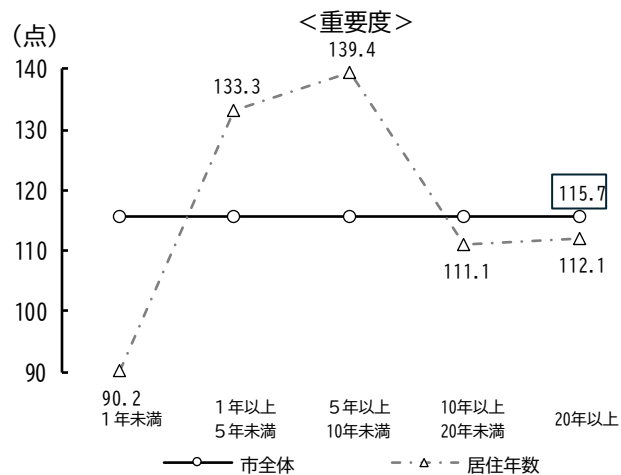
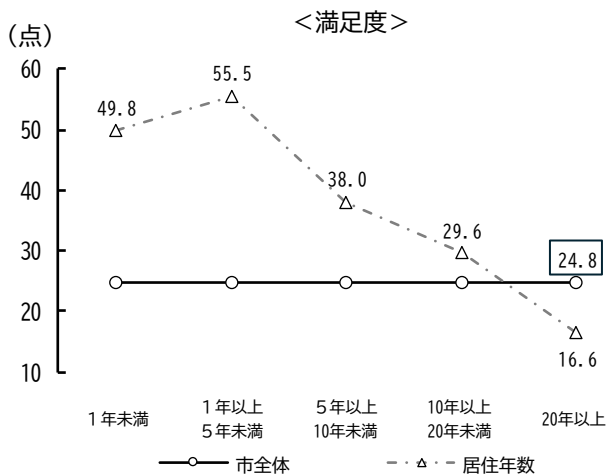
重要度を居住地区別で見ると、加古川、野口、平岡、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

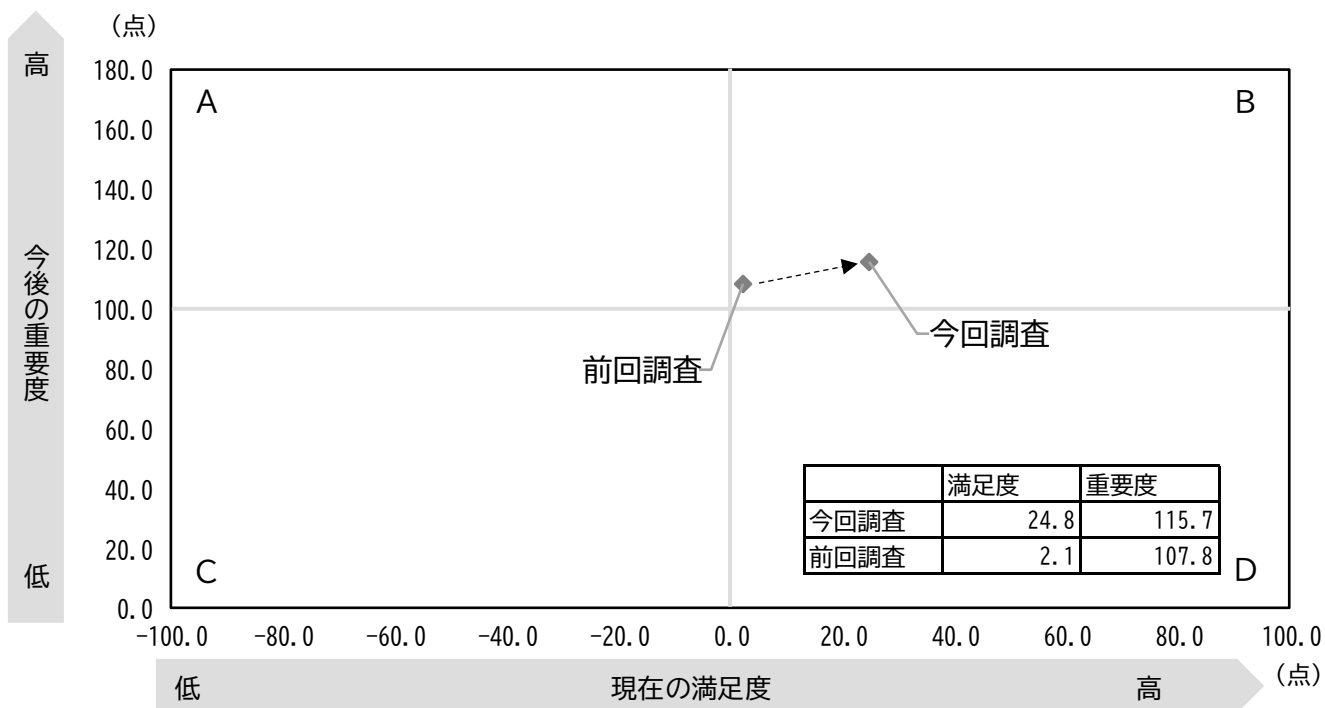
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年以上5年未満、5年以上10年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



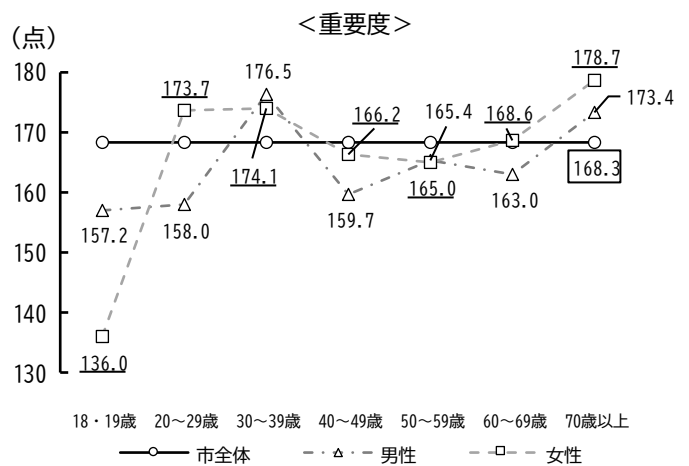
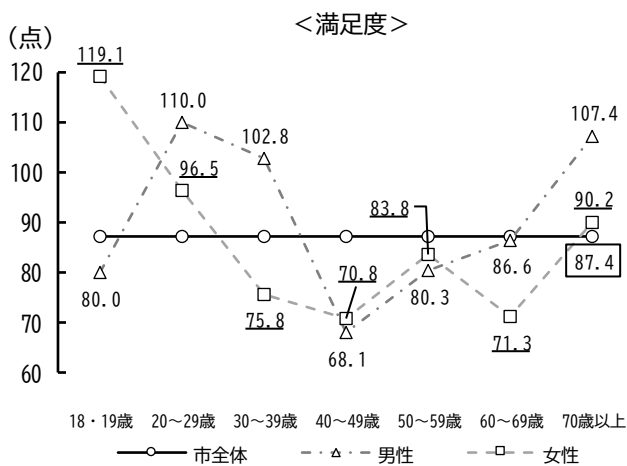
〔安全で良質な水道水の供給〕

(36) 水道水の供給

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、20～29歳、70歳以上の男女と、18・19歳の女性と、30～39歳の男性で市全体平均より高くなっている。

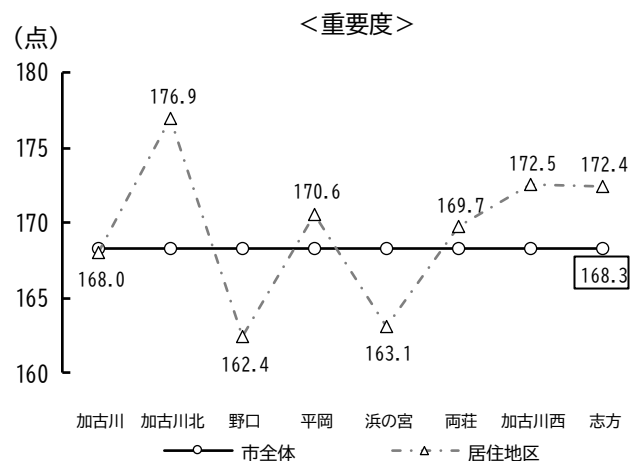
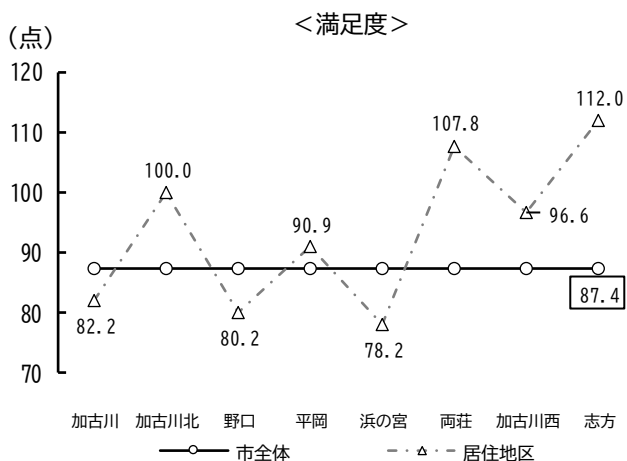
重要度を性年代別で見ると、30～39歳、70歳以上の男女と、20～29歳、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川北、平岡、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

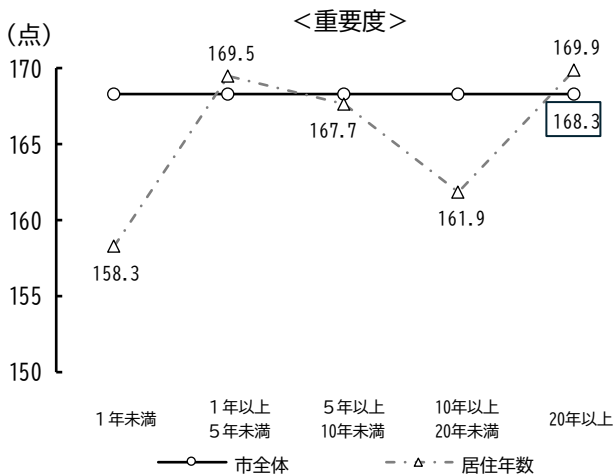
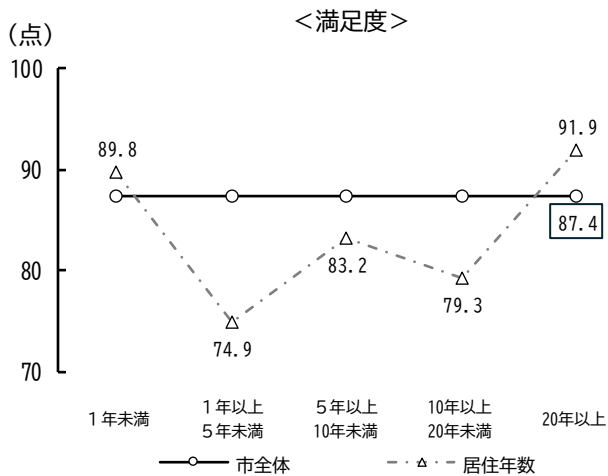
重要度を居住地区別で見ると、加古川北、平岡、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

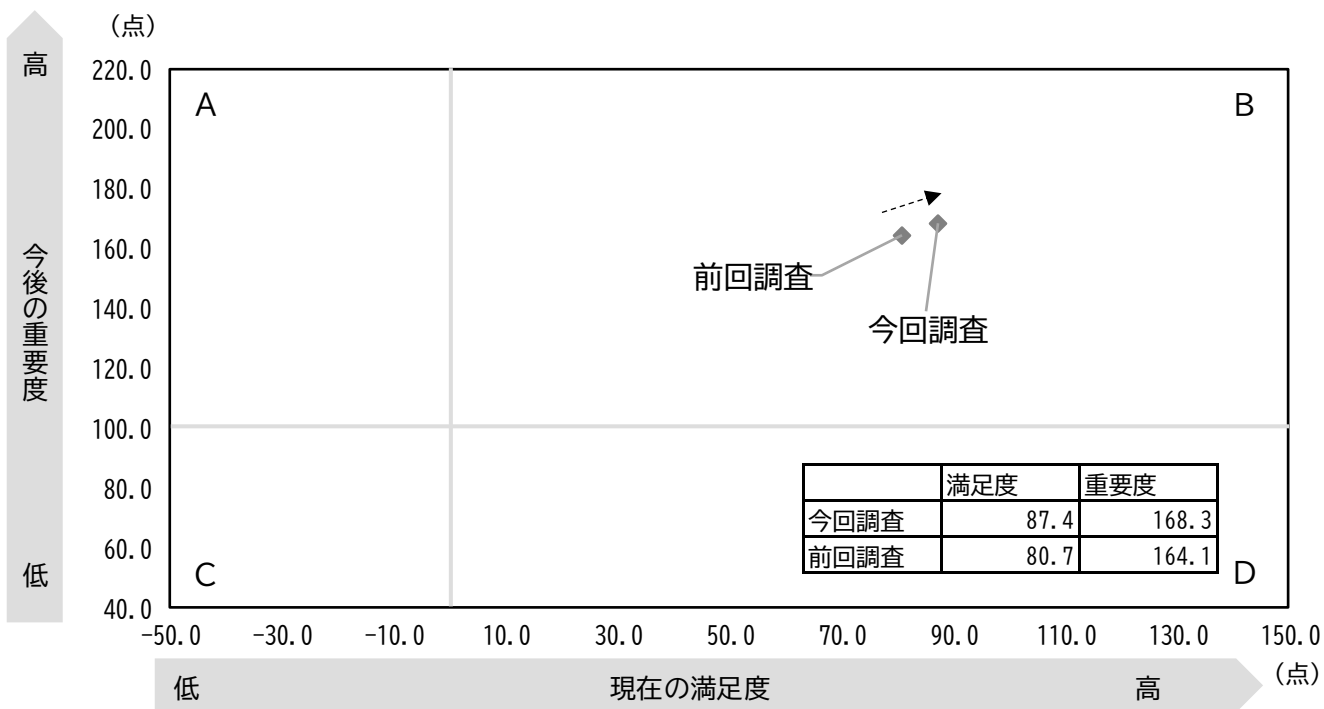
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、20年以上で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年以上5年未満、20年以上で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



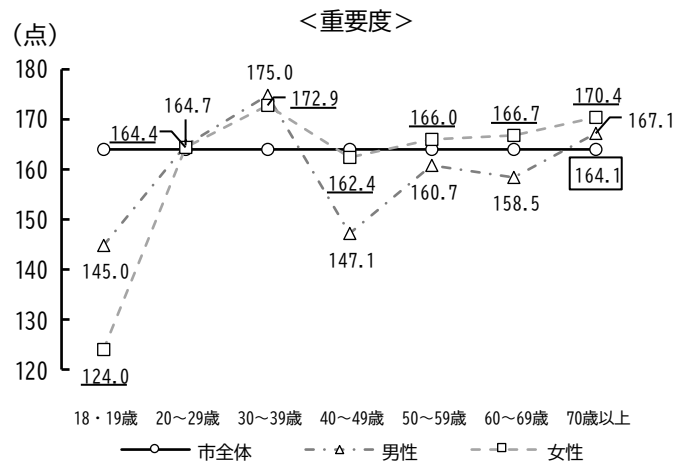
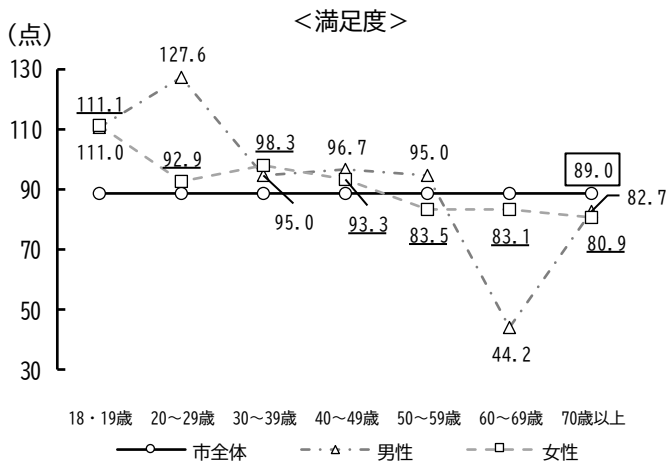
【雨水・汚水の適切な処理】

(37) 下水道の整備

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳の男女と、50～59歳の男性で市全体平均より高くなっている。

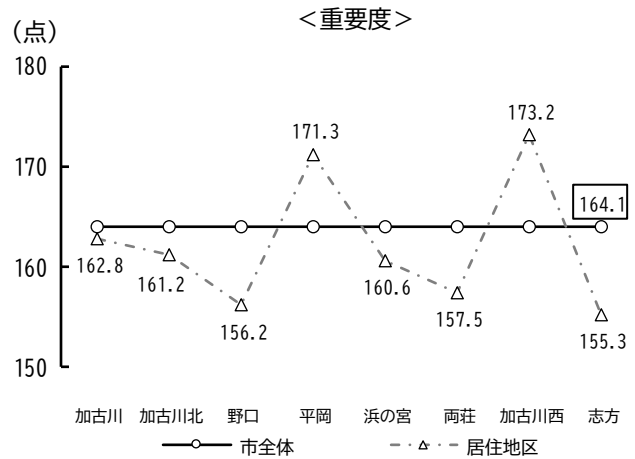
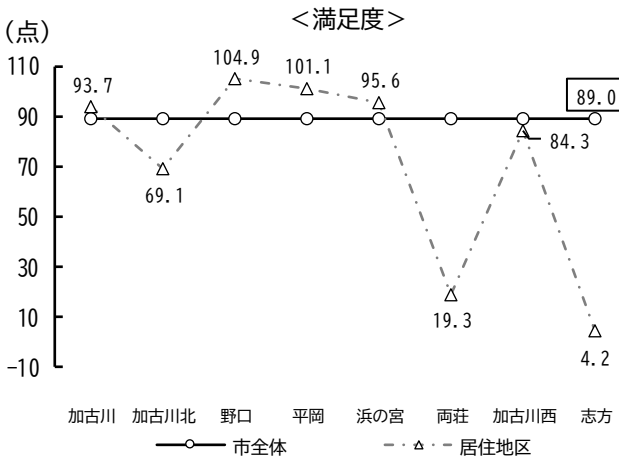
重要度を性年代別で見ると、20～29歳、30～39歳、70歳以上の男女と、50～59歳、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、野口、平岡、浜の宮で市全体平均より高くなっている。

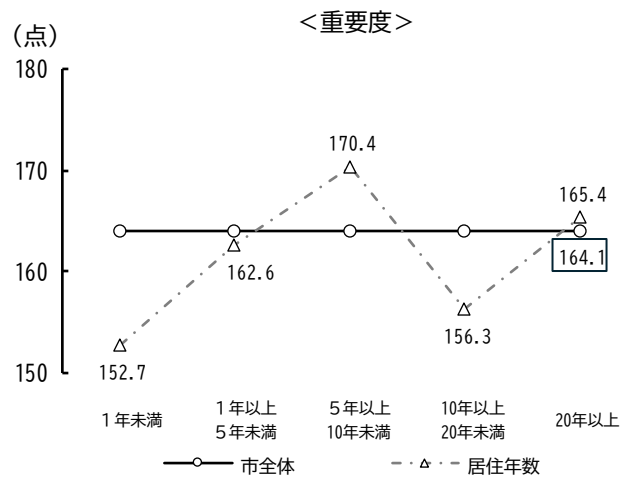
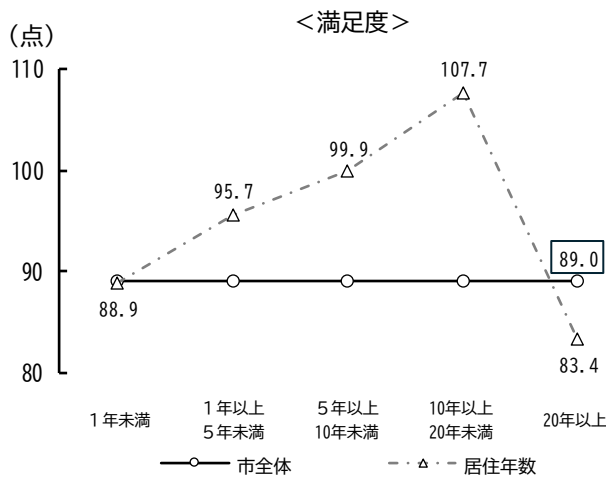
重要度を居住地区別で見ると、平岡、加古川西で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

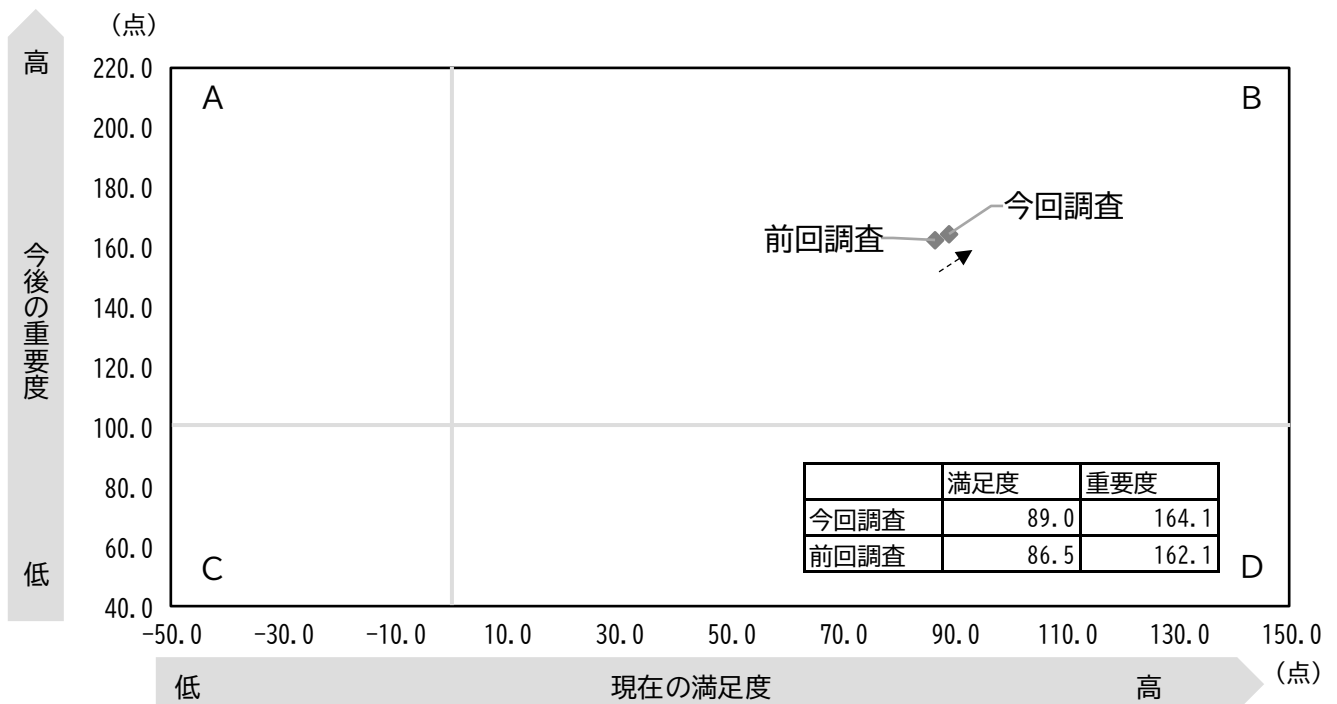
満足度を居住年数別で見ると、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、5年以上10年未満、20年以上で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。

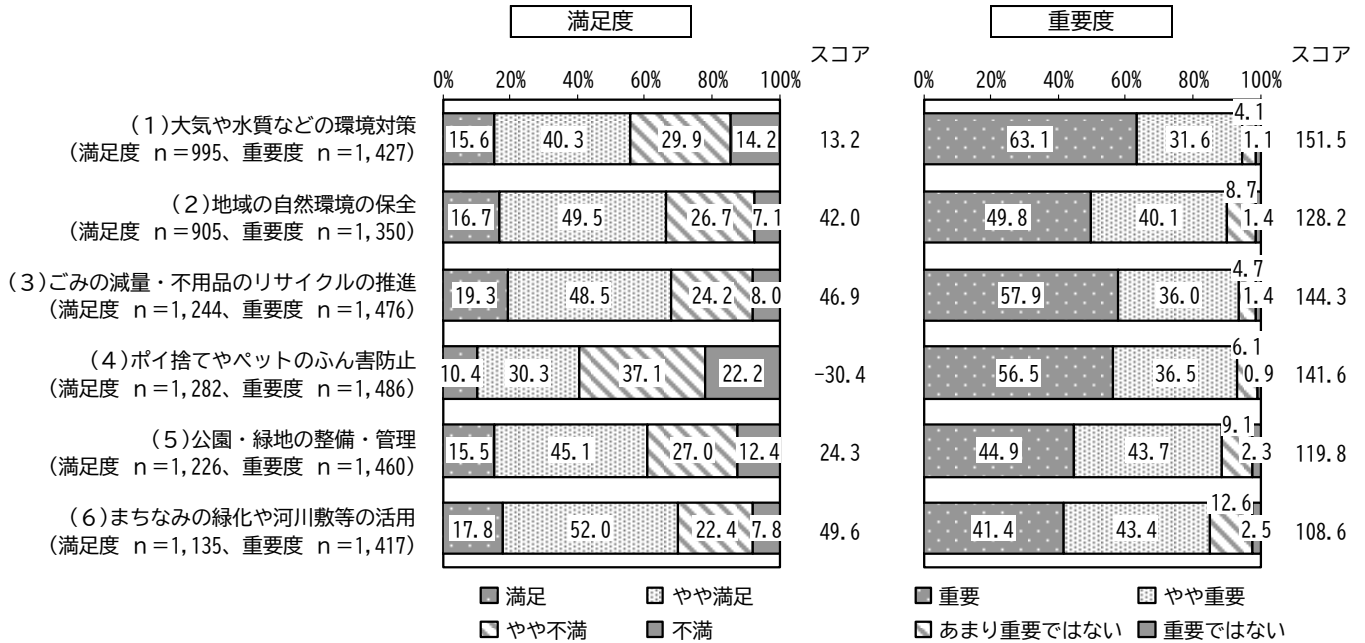


3-5 うるおいのあるまち

施策の満足度スコアが最も高い項目は「(6)まちなみの緑化や河川敷等の活用」、次いで「(3)ごみの減量・不用品のリサイクルの推進」となっています。一方、最も低い項目は「(4)ポイ捨てやペットのふん害防止」、次いで「(1)大気や水質などの環境対策」となっています。

施策の重要度スコアが最も高い項目は「(1)大気や水質などの環境対策」、次いで「(3)ごみの減量・不用品のリサイクルの推進」となっています。一方、最も低い項目は「(6)まちなみの緑化や河川敷等の活用」、次いで「(5)公園・緑地の整備・管理」となっています。

《全体》 ※グラフは「わからない」、「無回答」を除いて集計



地球環境と地域の環境を保全する

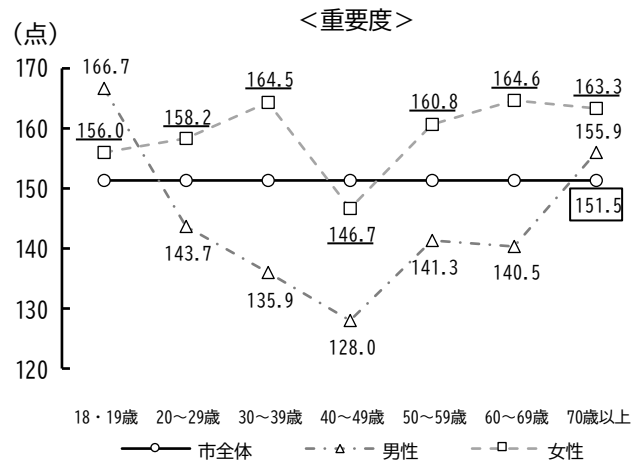
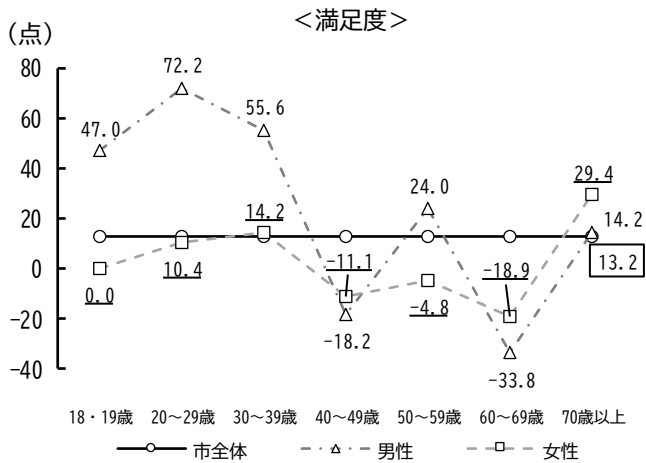
【地球環境の保全】

(38) 大気や水質などの環境対策

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、30～39歳、70歳以上の男女と、18・19歳、20～29歳、50～59歳の男性で市全体平均より高くなっている。

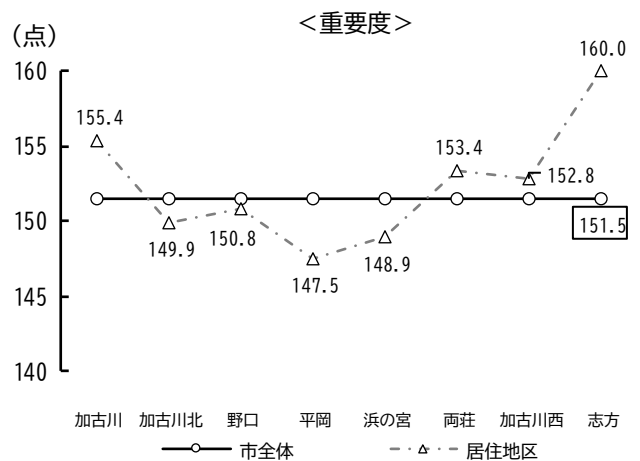
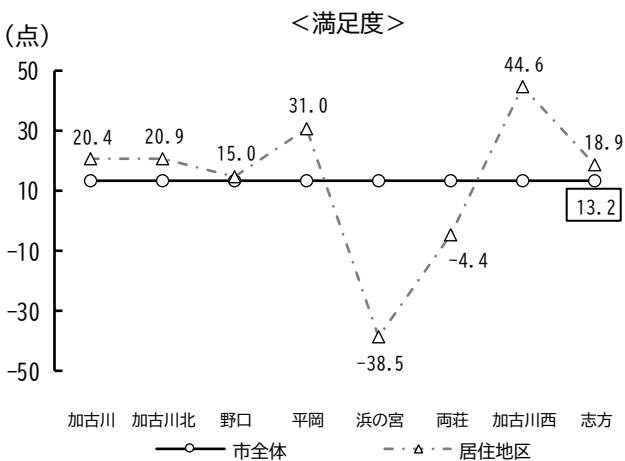
重要度を性年代別で見ると、18・19歳、70歳以上の男女と、20～29歳、30～39歳、50～59歳、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、加古川北、野口、平岡、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

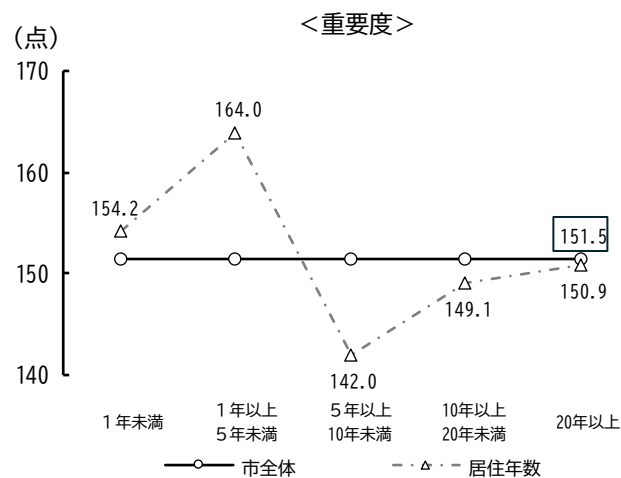
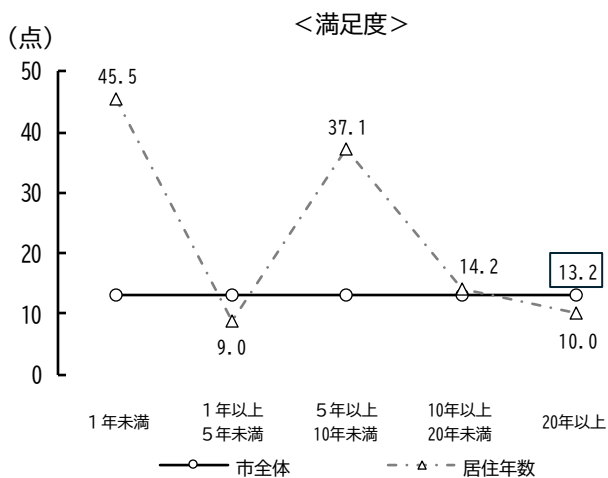
重要度を居住地区別で見ると、加古川、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

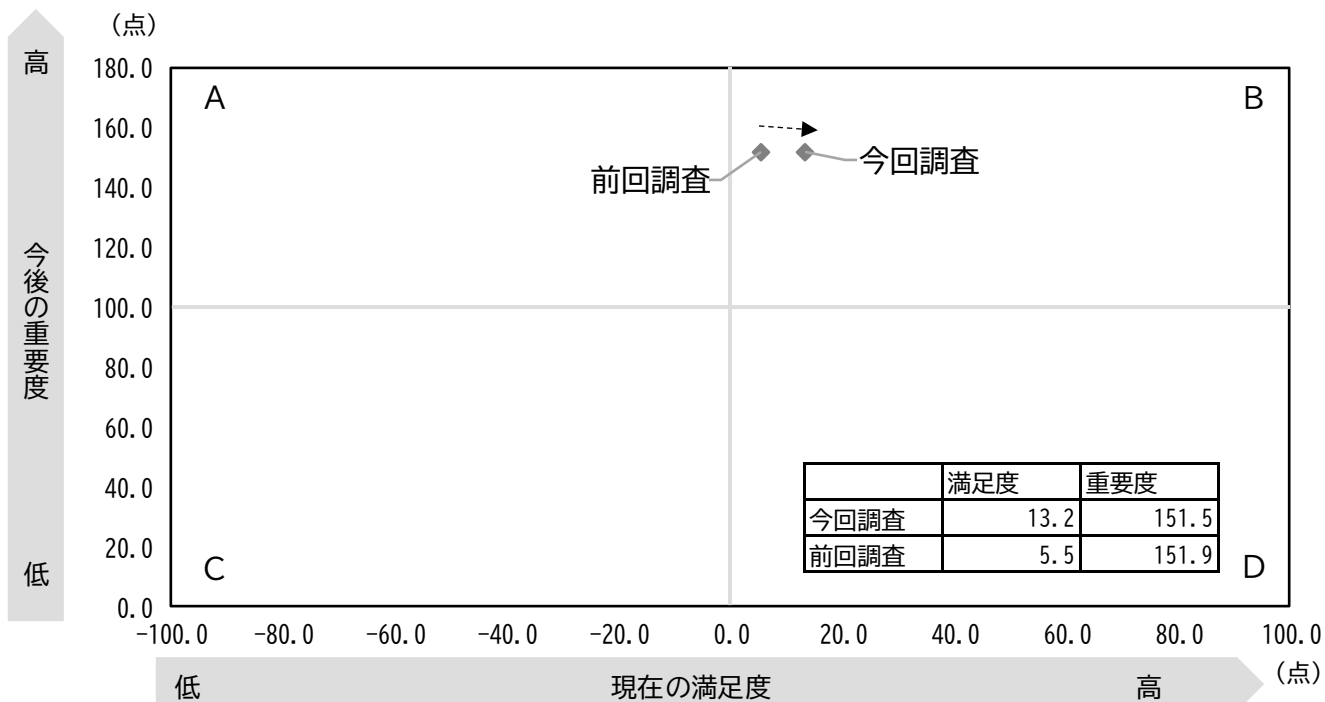
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。



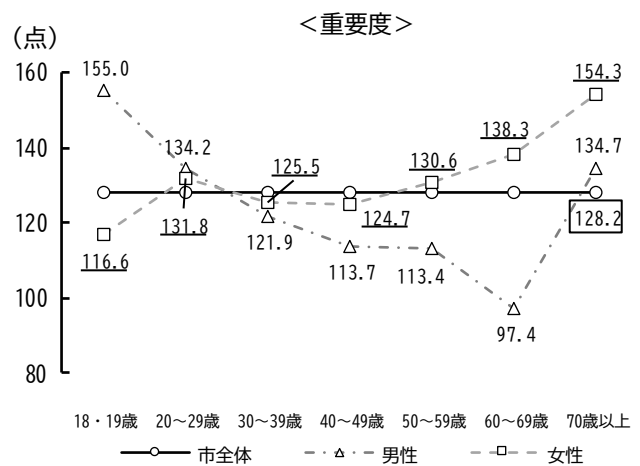
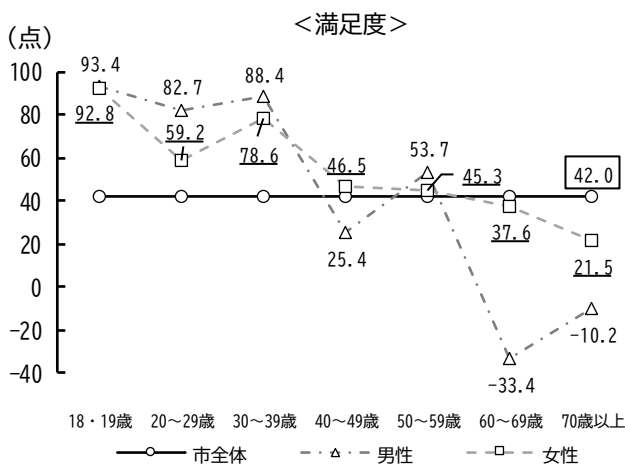
〔地域の自然環境の保全〕

(39) 地域の自然環境の保全

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳、50～59歳の男女と、40～49歳の女性で市全体平均より高くなっている。

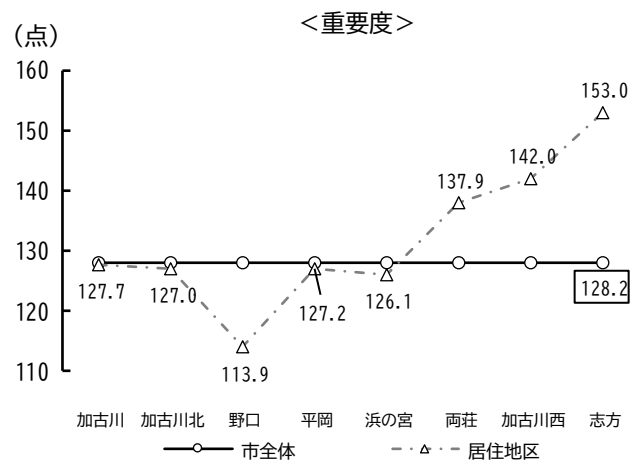
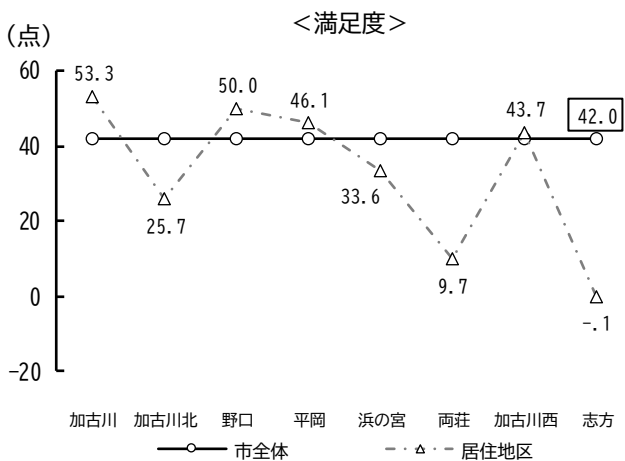
重要度を性年代別で見ると、20～29歳、70歳以上の男女と、50～59歳、60～69歳の女性と、18・19歳の男性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、野口、平岡、加古川西で市全体平均より高くなっている。

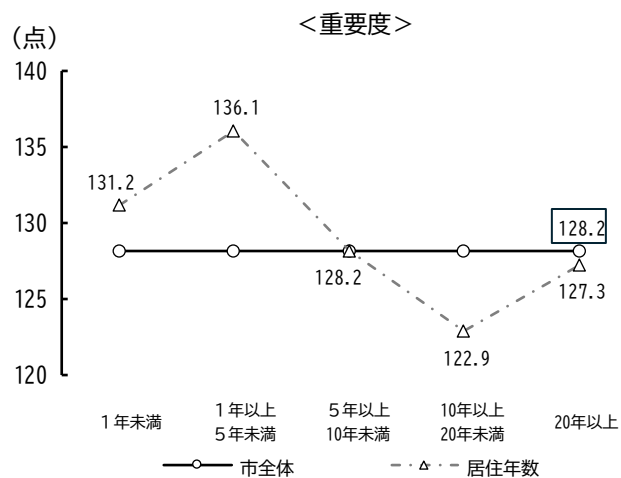
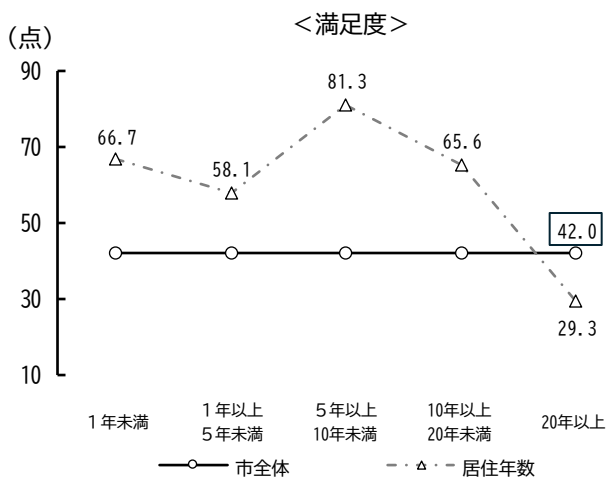
重要度を居住地区別で見ると、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

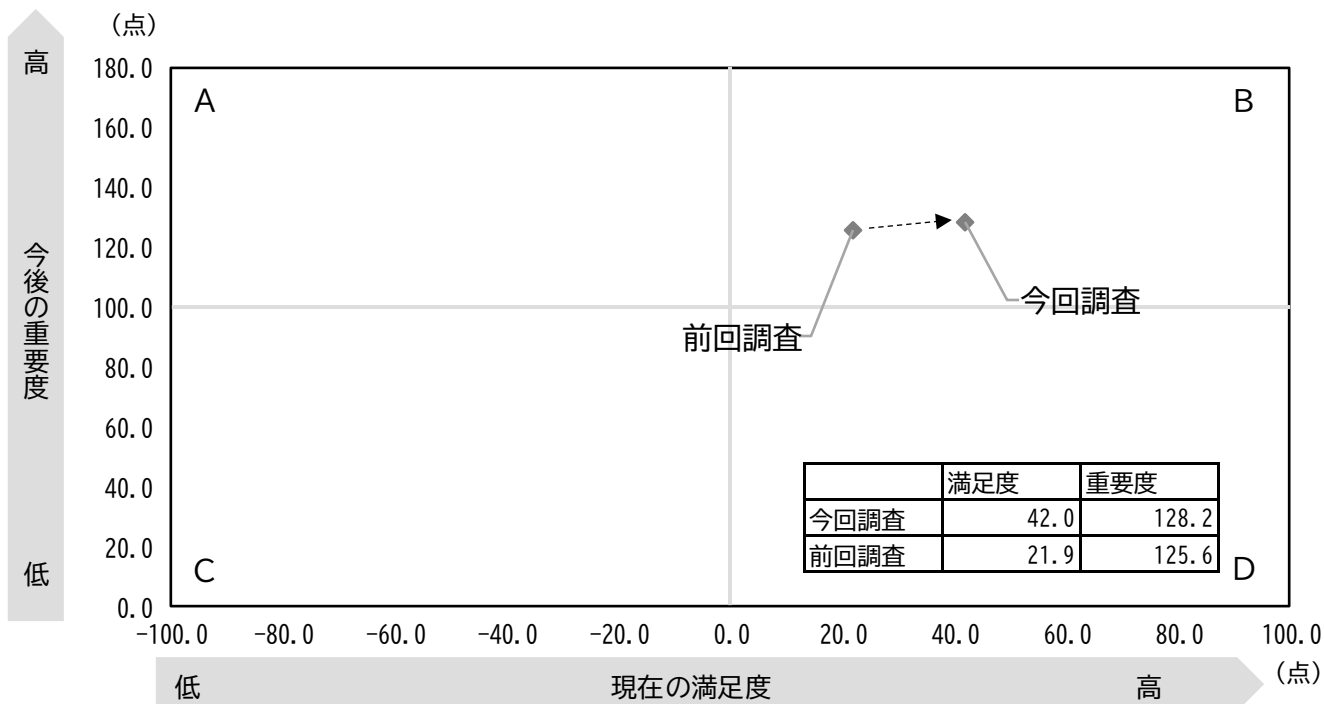
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



資源の循環と環境美化を推進する

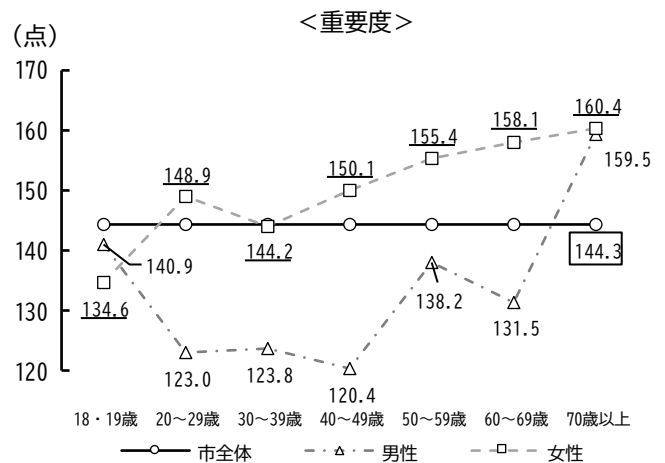
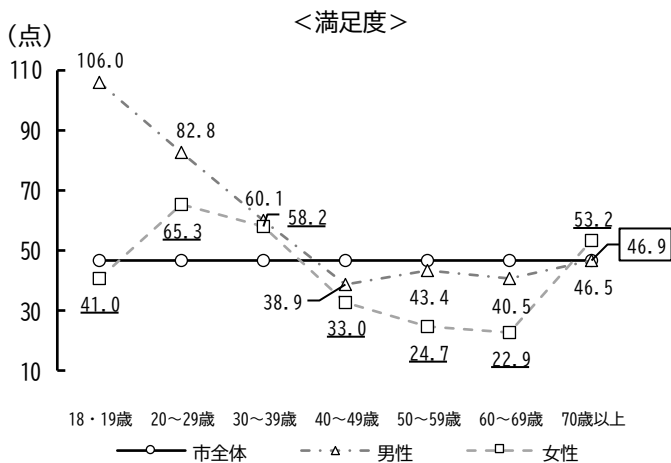
【ごみの減量・再資源化の推進】

(40) ごみの減量・不用品のリサイクルの推進

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、20～29歳、30～39歳の男女と、70歳以上の女性と、18・19歳の男性で市全体平均より高くなっている。

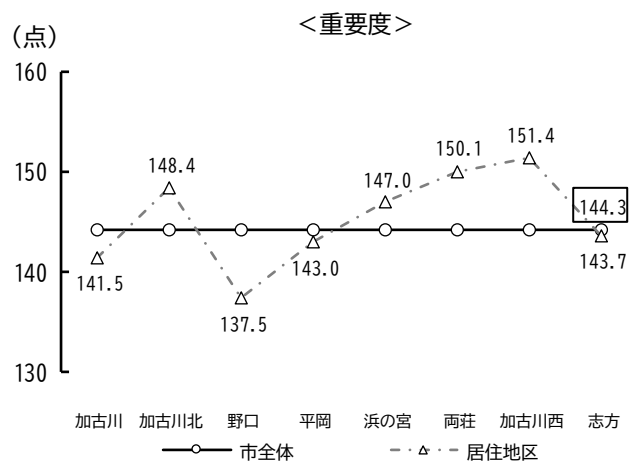
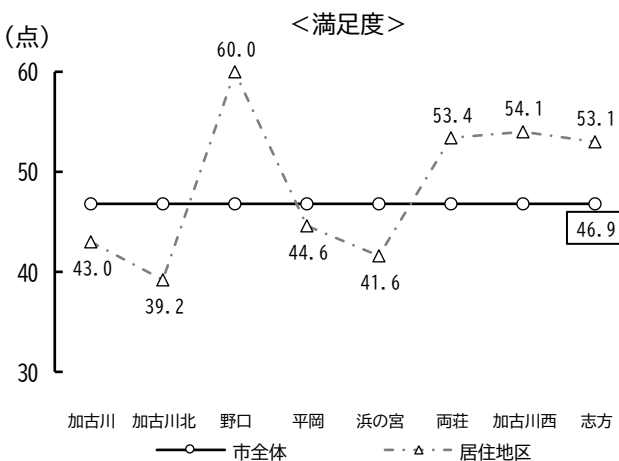
重要度を性年代別で見ると、70歳以上の男女と、20～29歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、野口、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

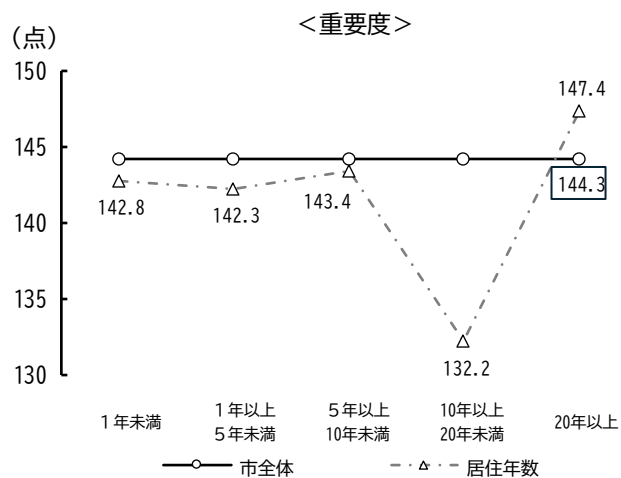
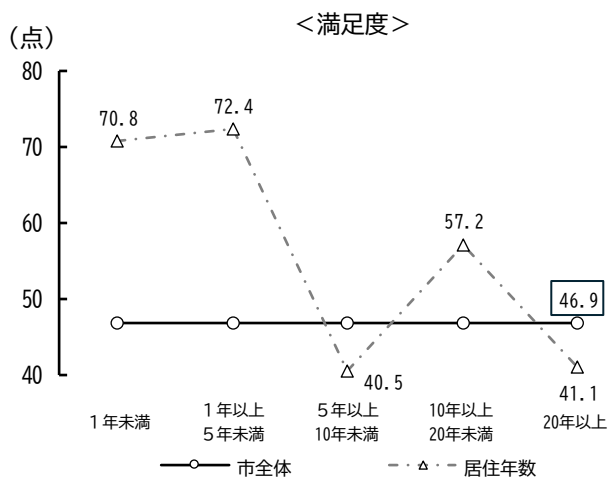
重要度を居住地区別で見ると、加古川北、浜の宮、両荘、加古川西で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

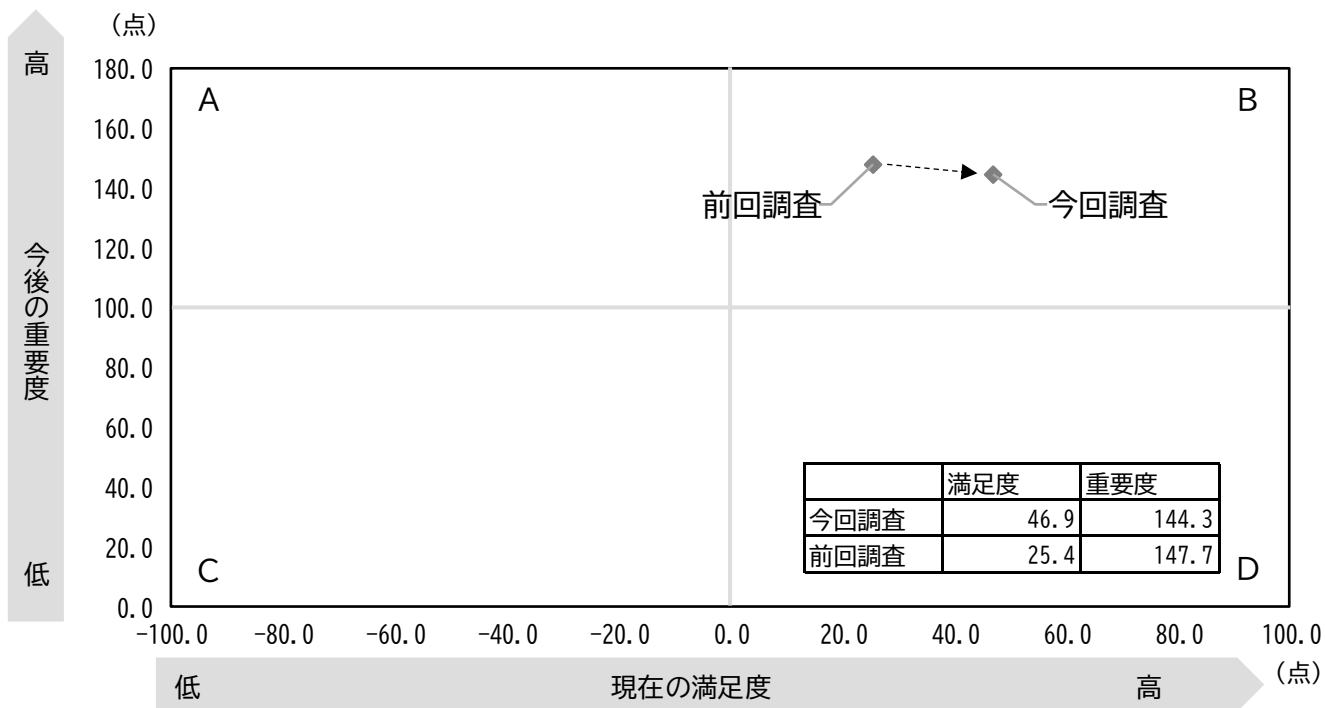
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、20年以上で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。



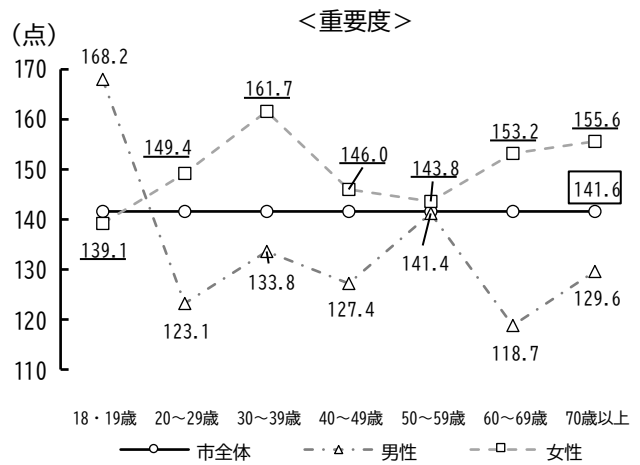
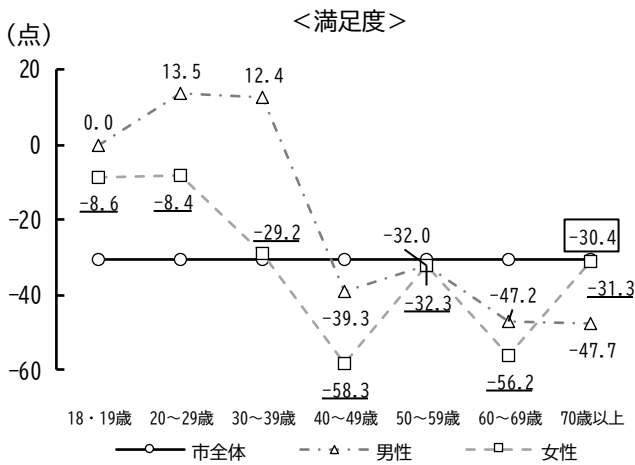
【環境美化の推進】

(41) ポイ捨てやペットのふん害防止

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女で市全体平均より高くなっている。

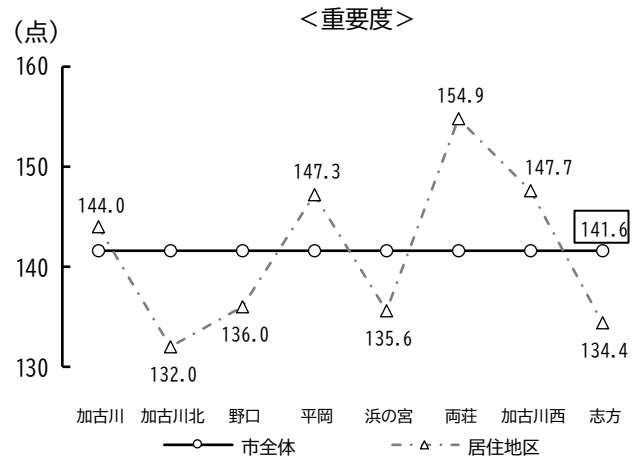
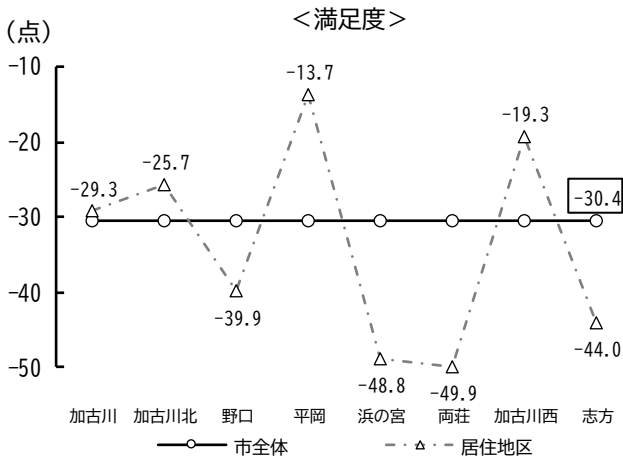
重要度を性年代別で見ると、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上の女性と、18・19歳の男性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、加古川北、平岡、加古川西で市全体平均より高くなっている。

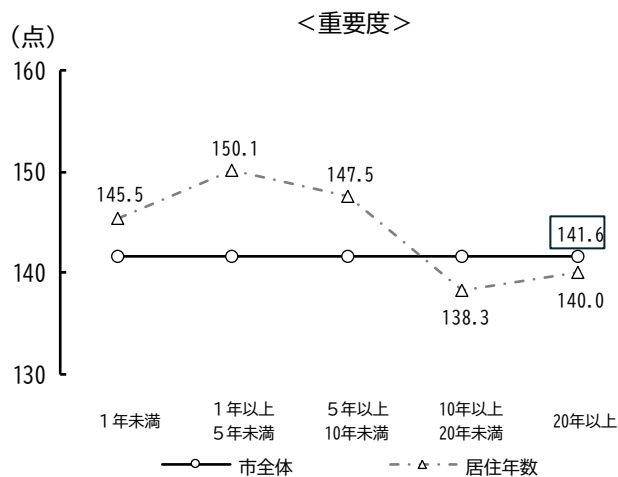
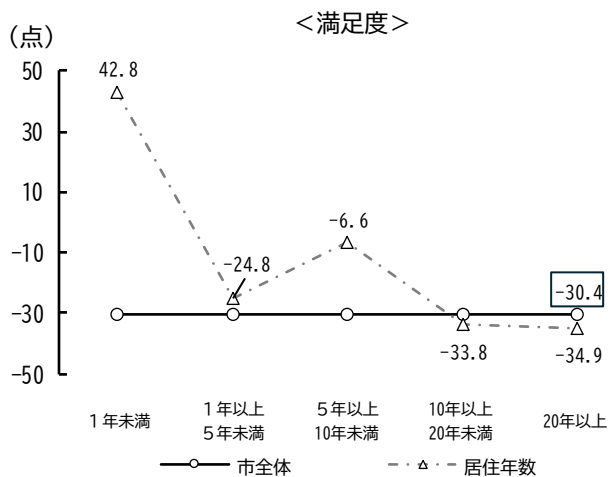
重要度を居住地区別で見ると、加古川、平岡、両荘、加古川西で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

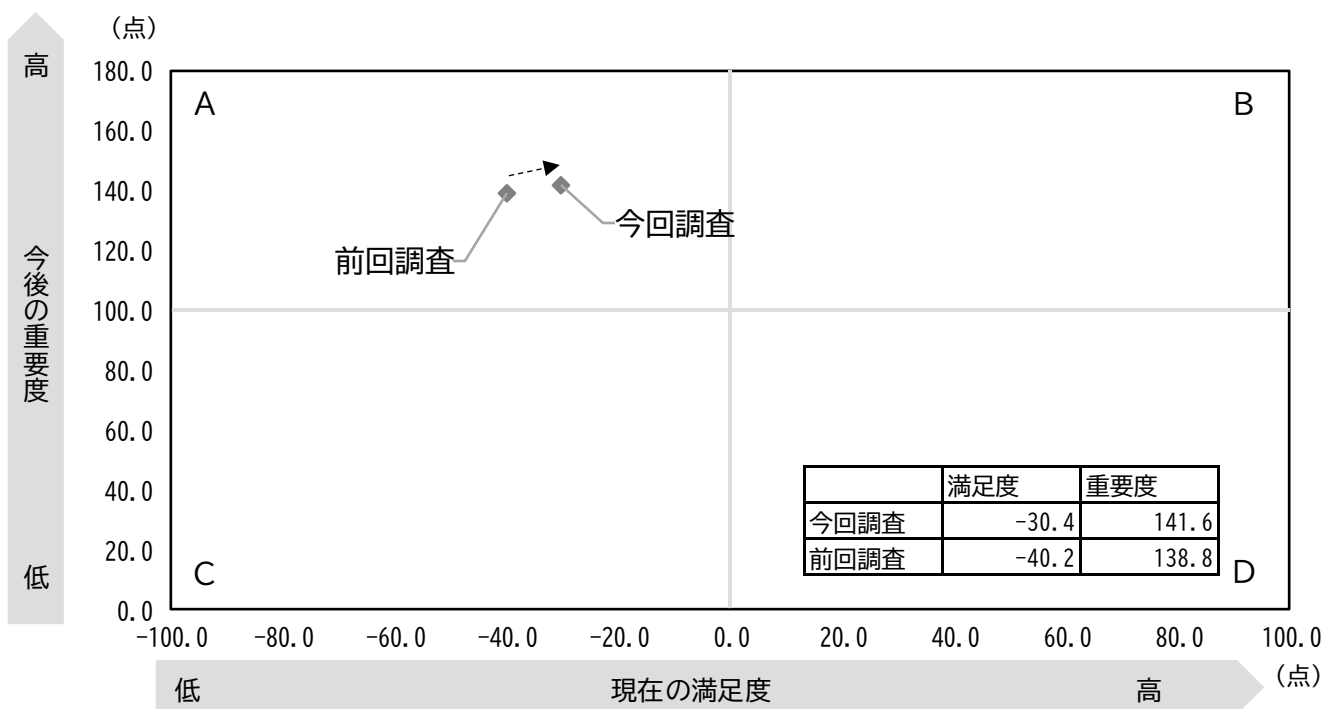
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



水と緑の空間を形成する

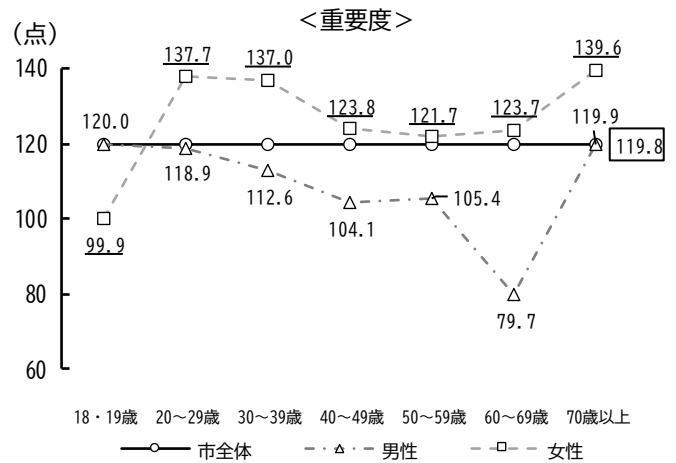
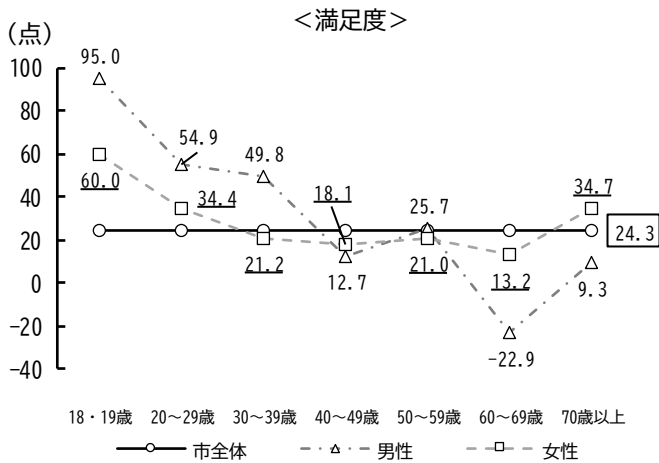
【公園等の整備】

(42) 公園・緑地の整備・管理

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳の男女と、70歳以上の女性と、30～39歳、50～59歳の男性で市全体平均より高くなっている。

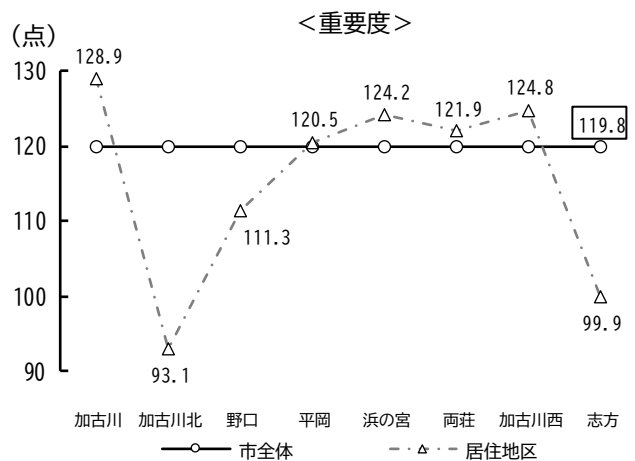
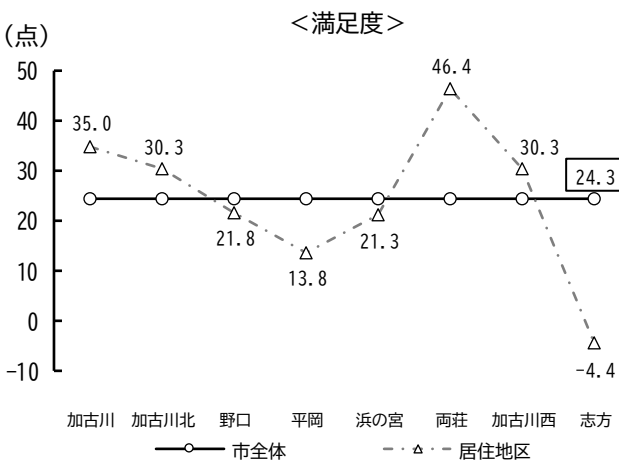
重要度を性年代別で見ると、70歳以上の男女と、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳の女性と、18・19歳の男性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、加古川北、両荘、加古川西で市全体平均より高くなっている。

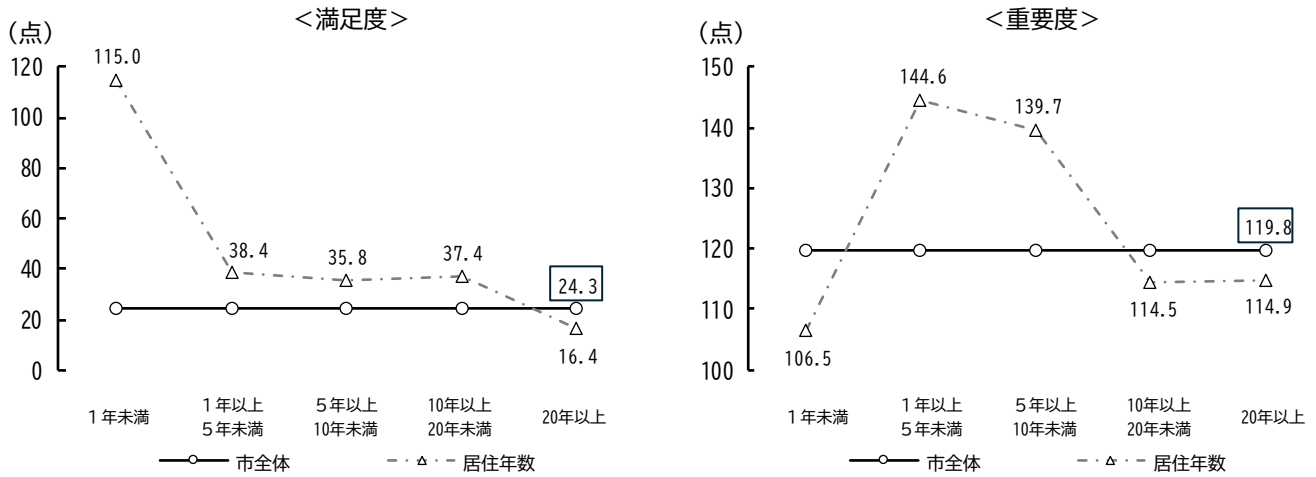
重要度を居住地区別で見ると、加古川、平岡、浜の宮、両荘、加古川西で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

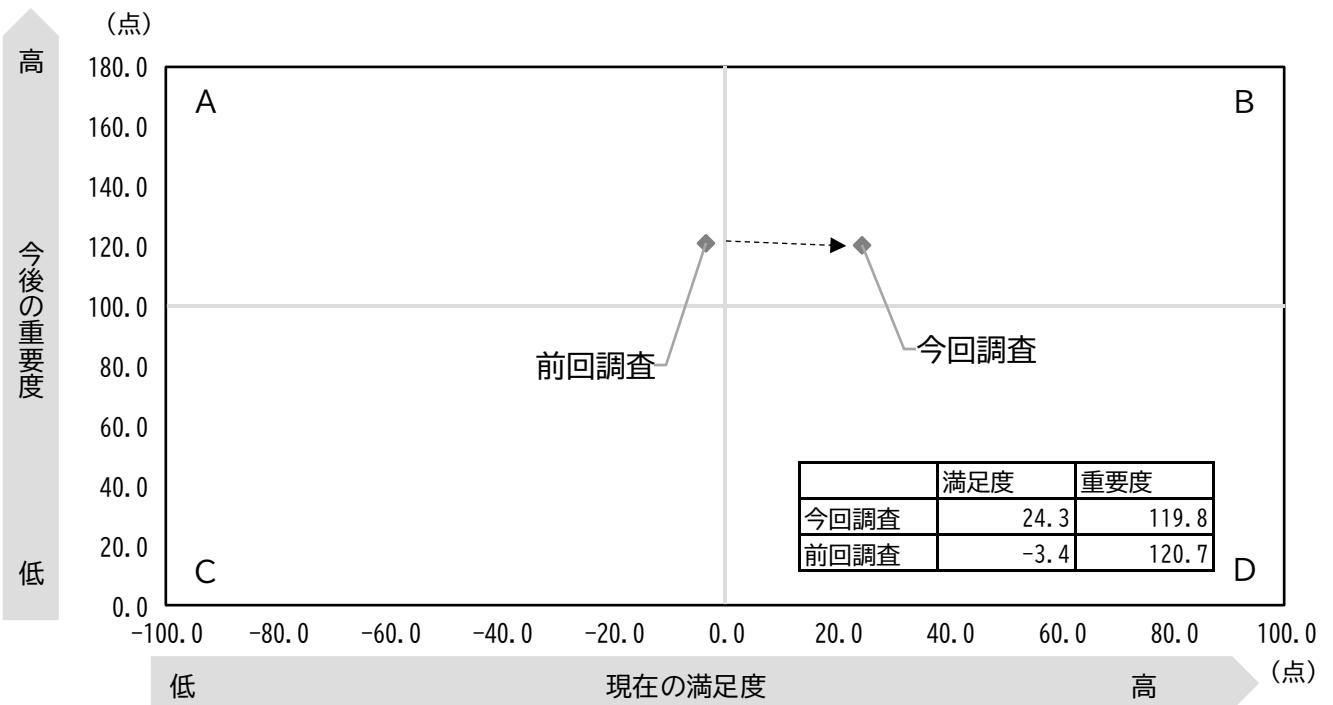
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年以上5年未満、5年以上10年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。



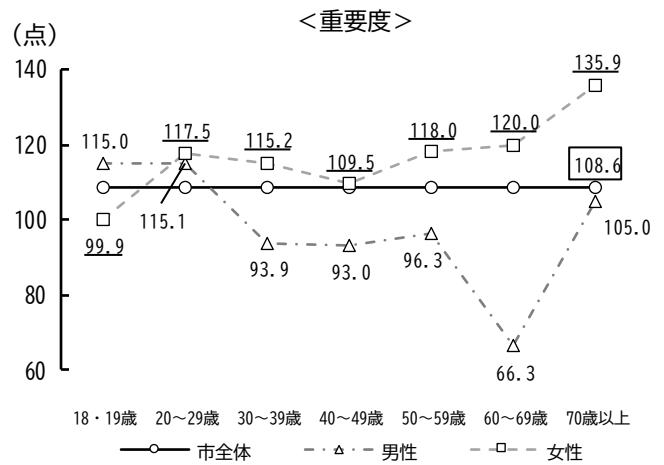
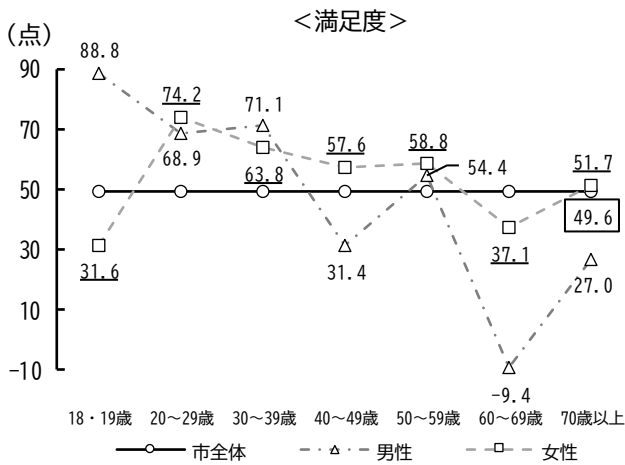
【緑化・親水空間の活用】

(43) まちなみの緑化や河川敷等の活用

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、20～29歳、30～39歳、50～59歳の男女と、40～49歳、70歳以上の女性と、18・19歳の男性で市全体平均より高くなっている。

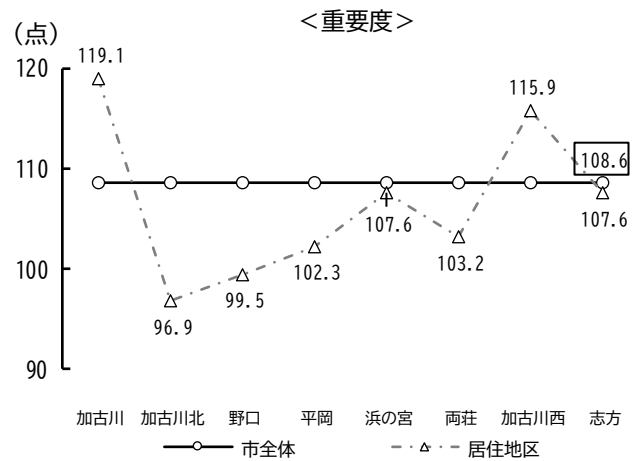
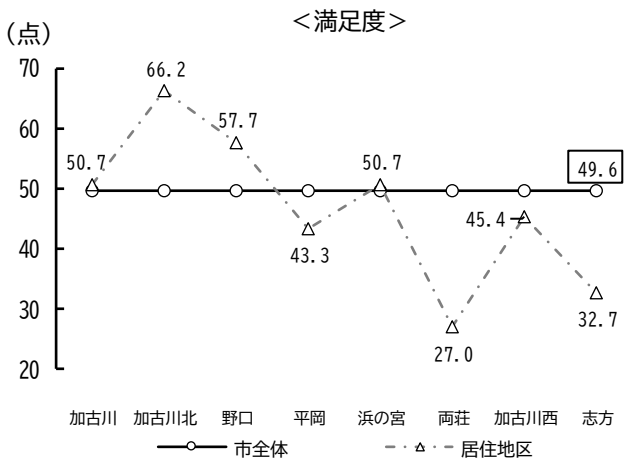
重要度を性年代別で見ると、20～29歳の男女と、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上の女性と、18・19歳の男性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、加古川北、野口、浜の宮で市全体平均より高くなっている。

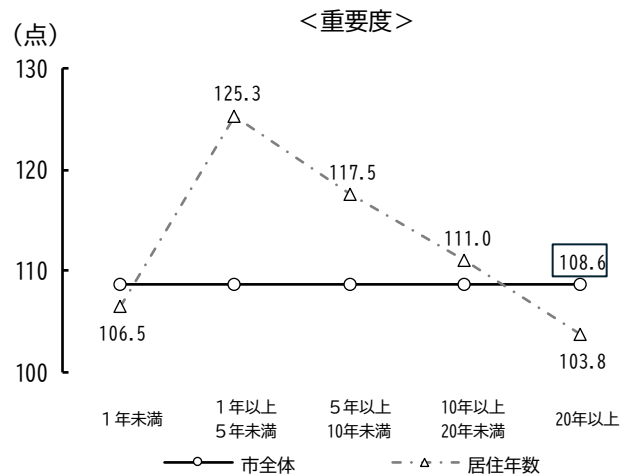
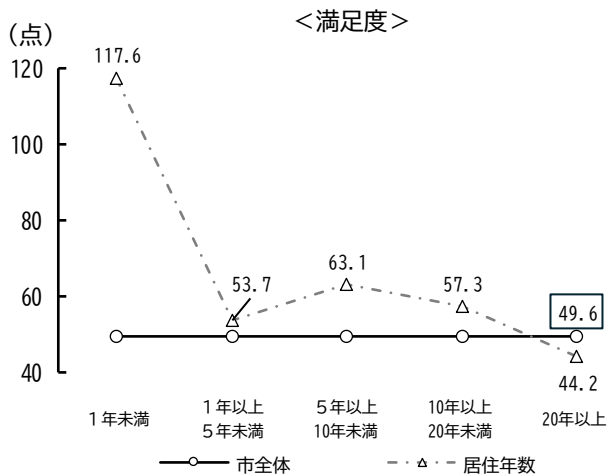
重要度を居住地区別で見ると、加古川、加古川西で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

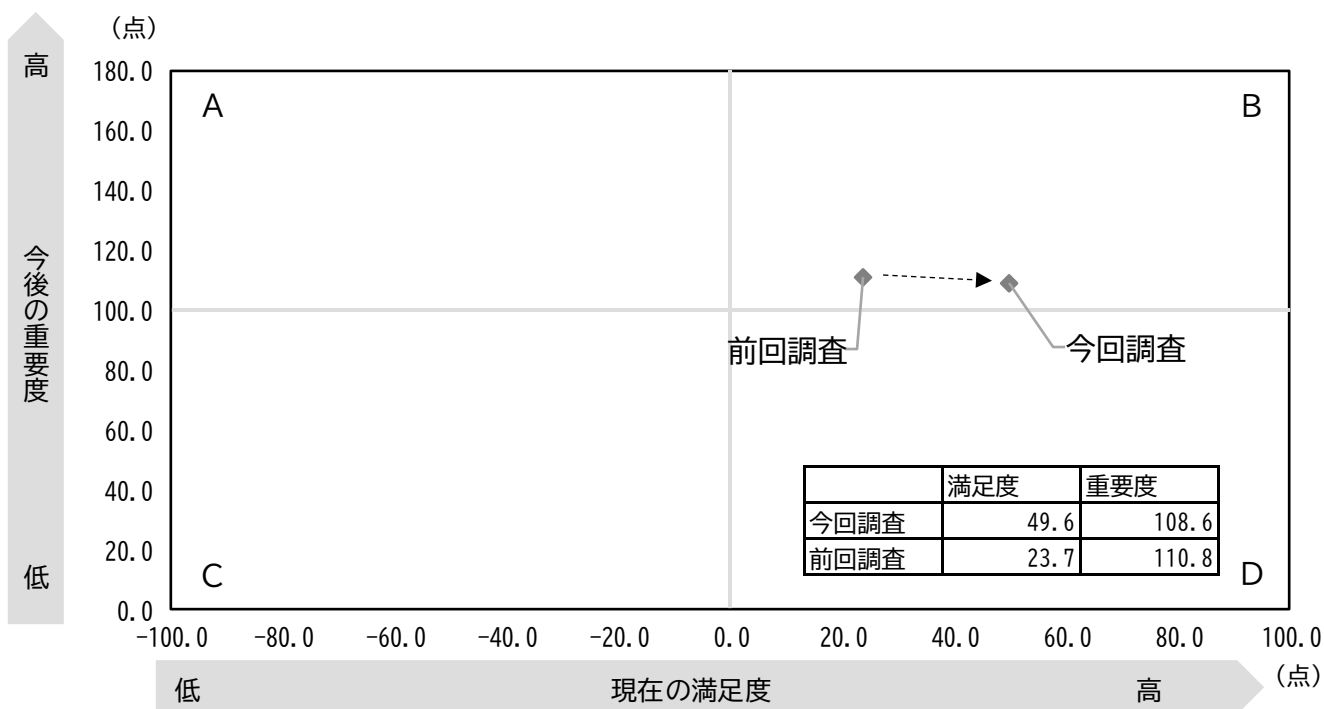
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。

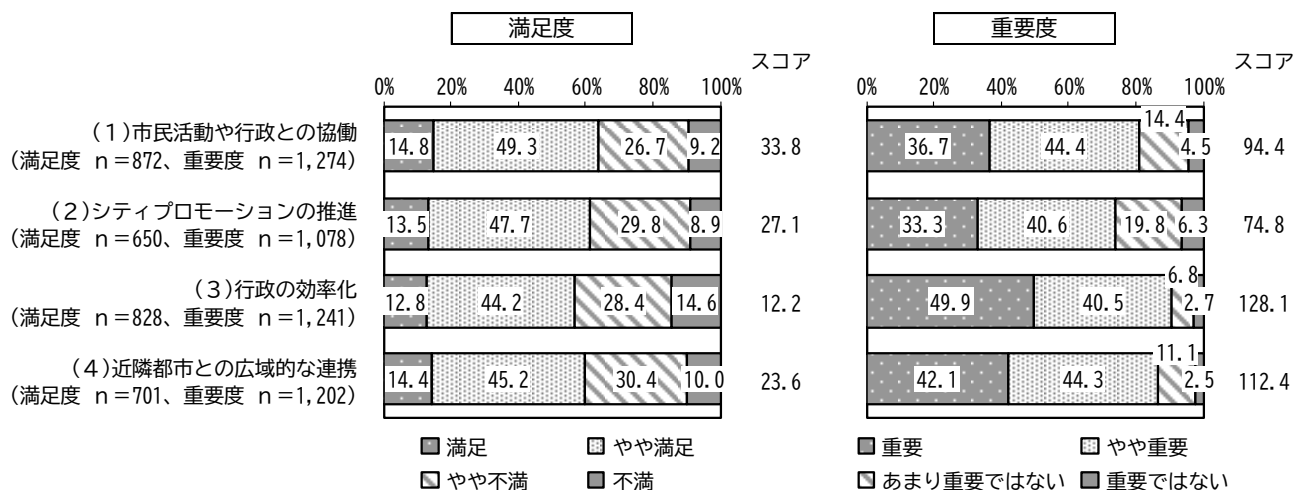


3-6 まちづくりの進め方

施策の満足度スコアが最も高い項目は「(1)市民活動や行政との協働」、次いで「(2)シティプロモーションの推進」となっています。一方、最も低い項目は「(3)行政の効率化」、次いで「(4)近隣都市との広域的な連携」となっています。

施策の重要度スコアが最も高い項目は「(3)行政の効率化」、次いで「(4)近隣都市との広域的な連携」となっています。一方、最も低い項目は「(2)シティプロモーションの推進」、次いで「(1)市民活動や行政との協働」となっています。

《全体》 ※グラフは「わからない」、「無回答」を除いて集計



まちづくりの進め方

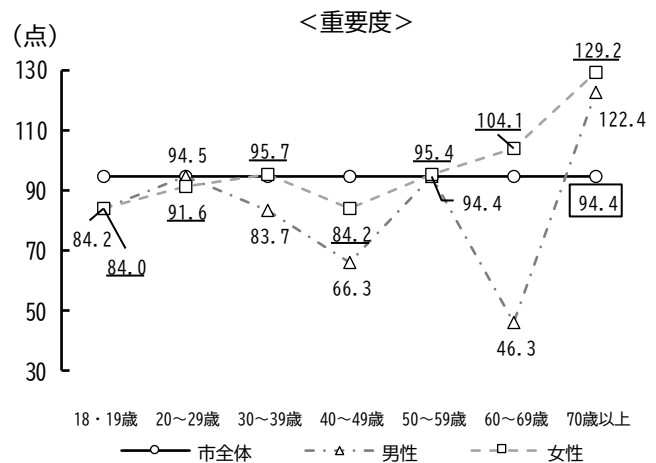
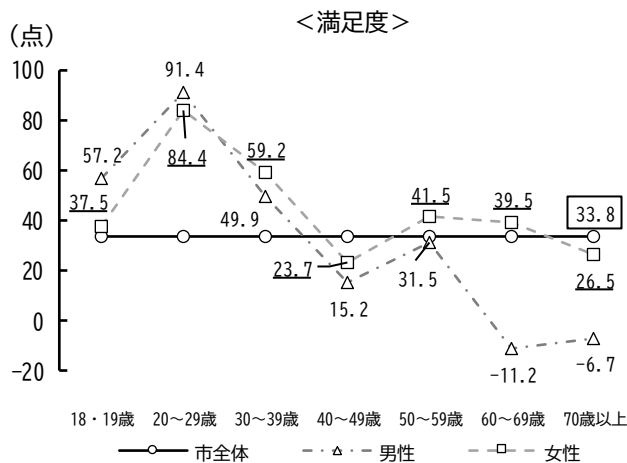
〔多様な主体と行政との協働〕

(44) 市民活動や行政との協働

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、50～59歳、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。

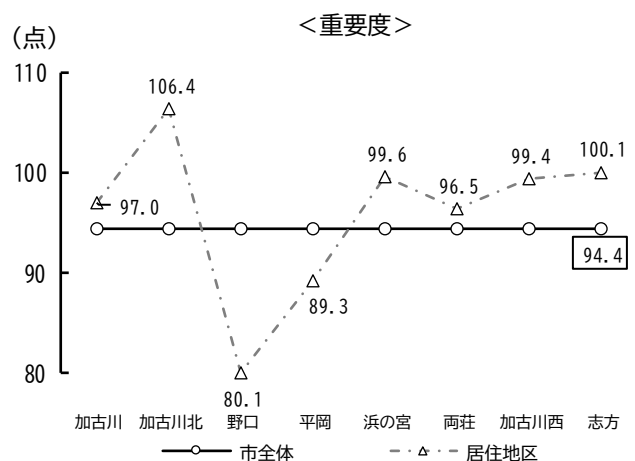
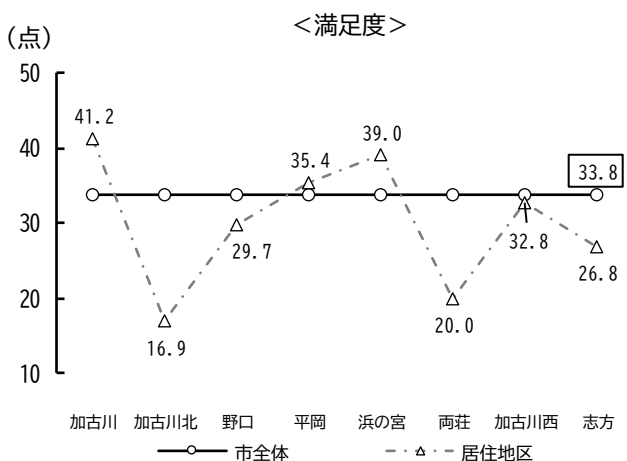
重要度を性年代別で見ると、70歳以上の男女と、30～39歳、50～59歳、60～69歳の女性と、20～29歳の男性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、平岡、浜の宮で市全体平均より高くなっている。

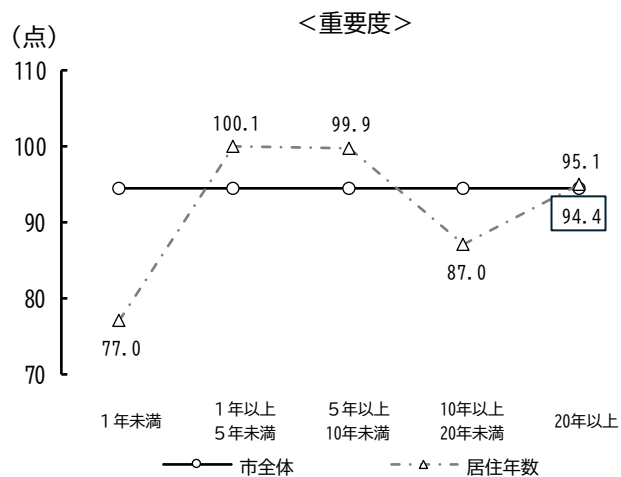
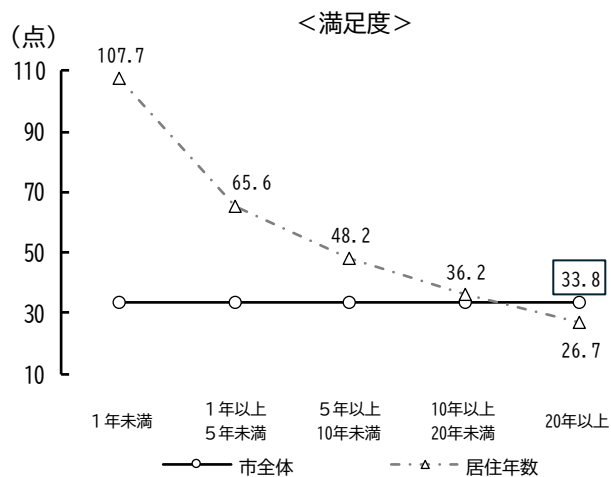
重要度を居住地区別で見ると、加古川、加古川北、浜の宮、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

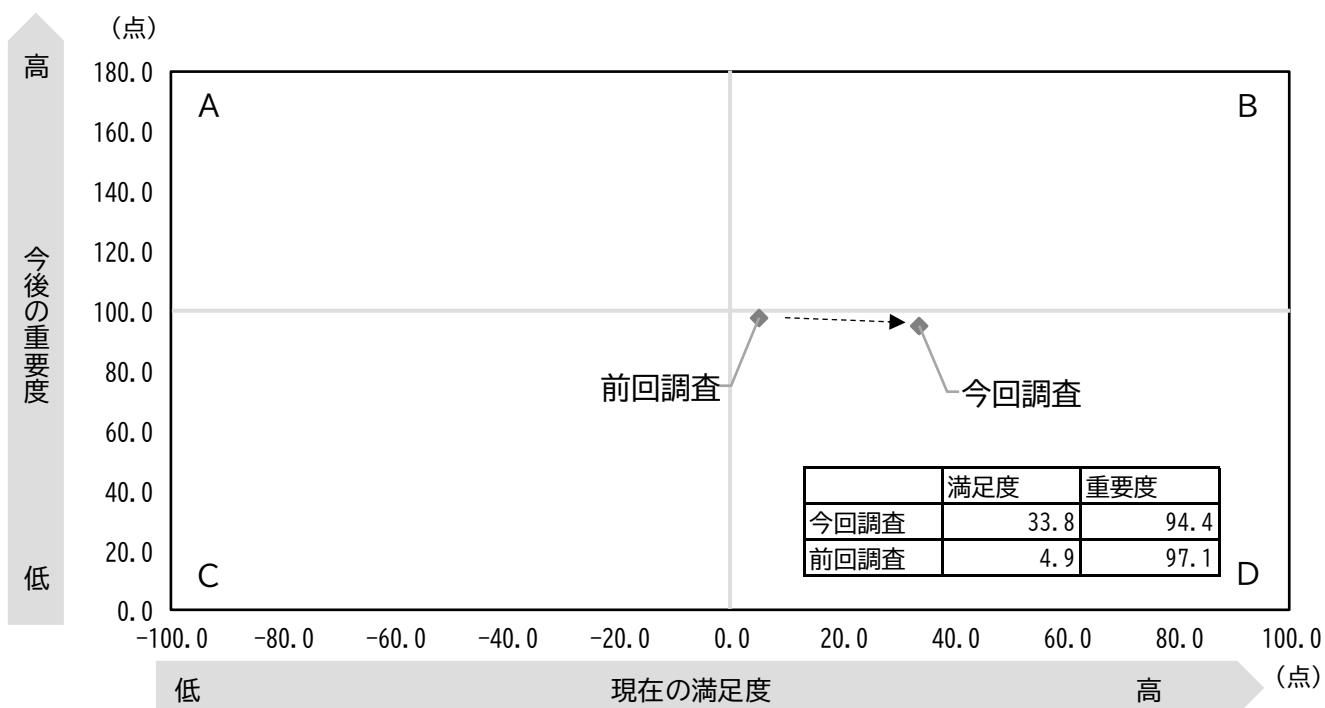
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年以上5年未満、5年以上10年未満、20年以上で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。



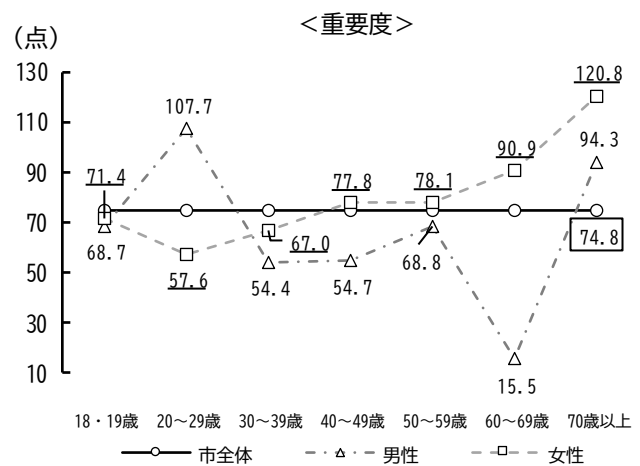
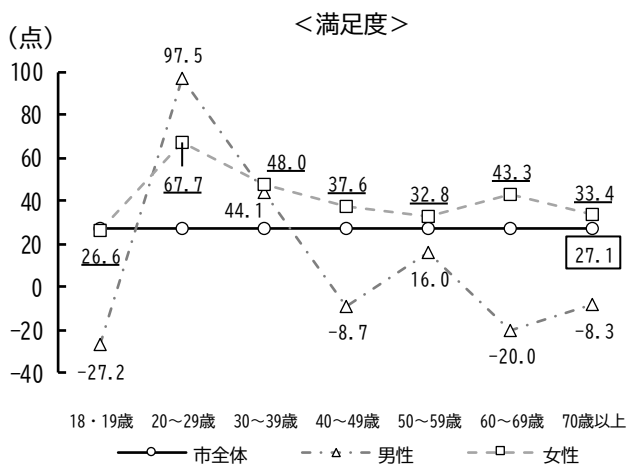
【シティプロモーションの推進】

(45) シティプロモーションの推進

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、20～29歳、30～39歳の男女と、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

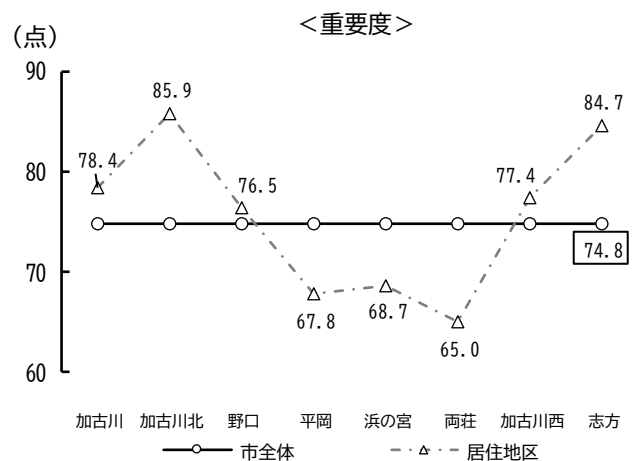
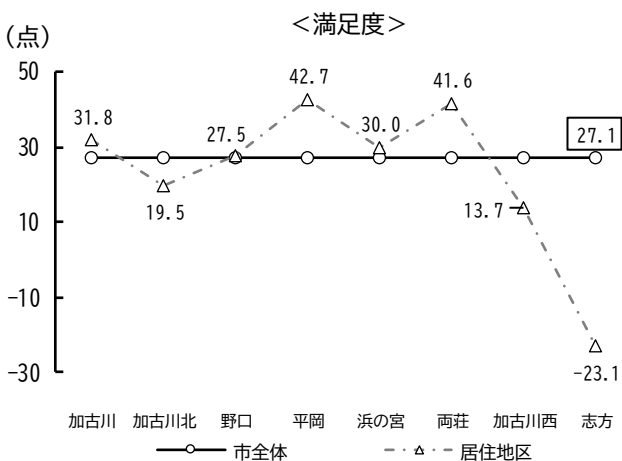
重要度を性年代別で見ると、70歳以上の男女と、40～49歳、50～59歳、60～69歳の女性と、20～29歳の男性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、野口、平岡、浜の宮、両荘で市全体平均より高くなっている。

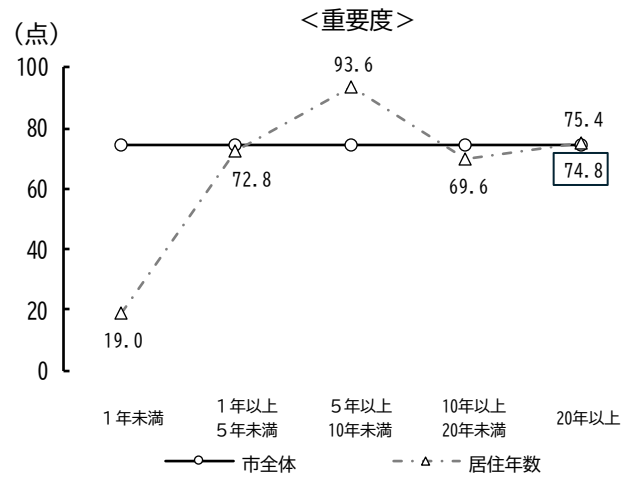
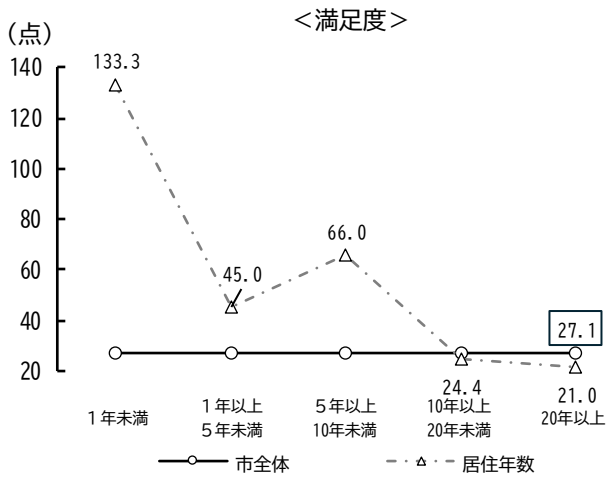
重要度を居住地区別で見ると、加古川、加古川北、野口、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

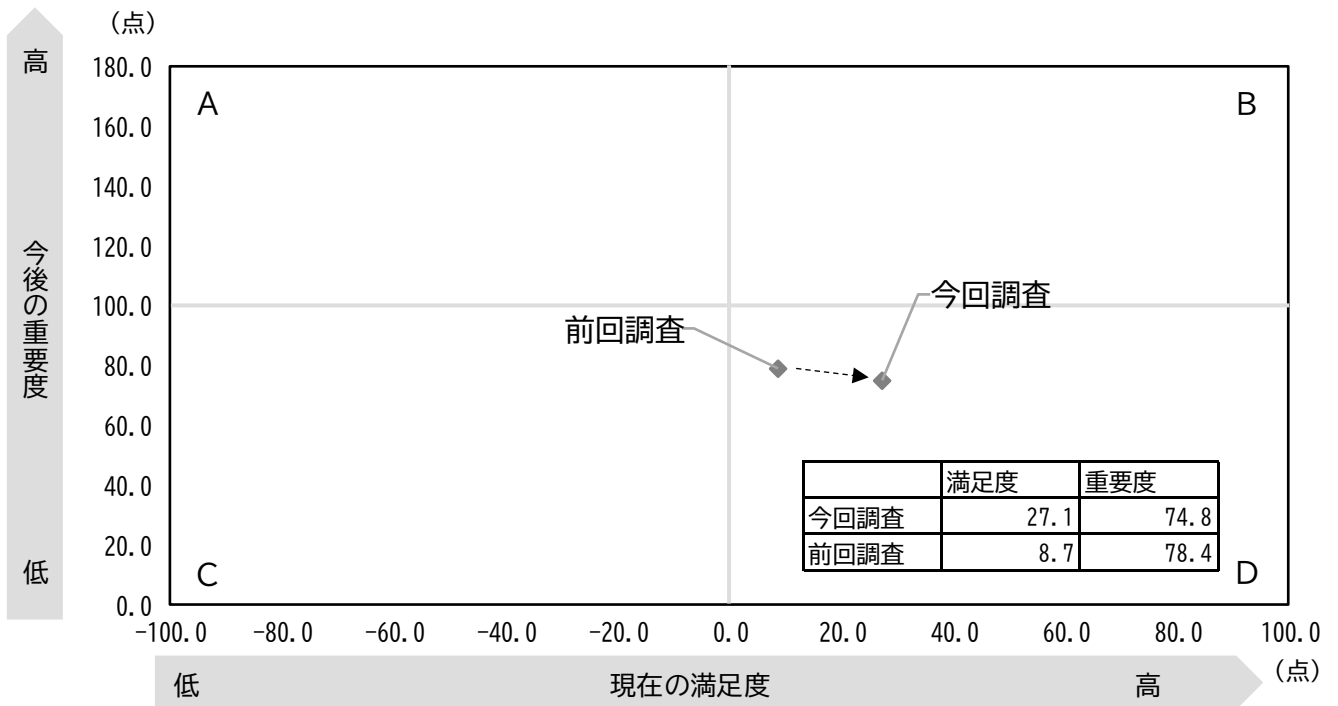
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、5年以上10年未満、20年以上で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。



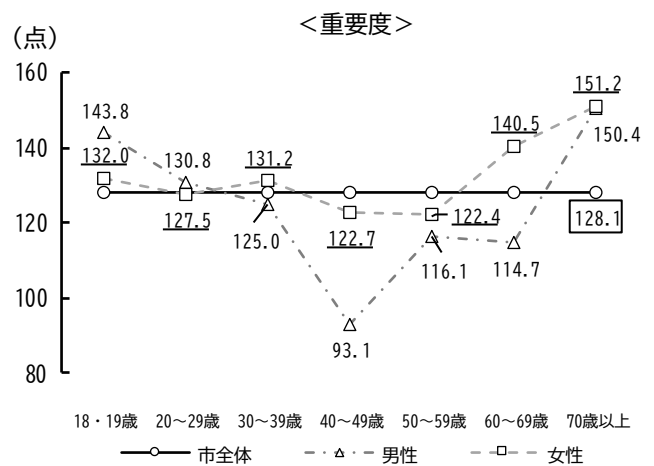
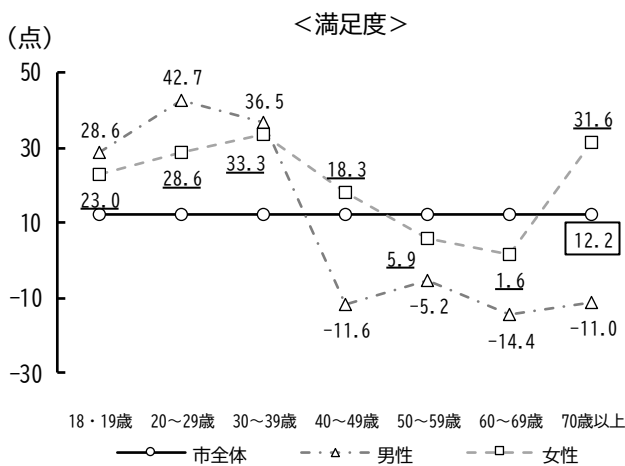
〔効果的・効率的な行財政運営〕

(46) 行政の効率化

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、40～49歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

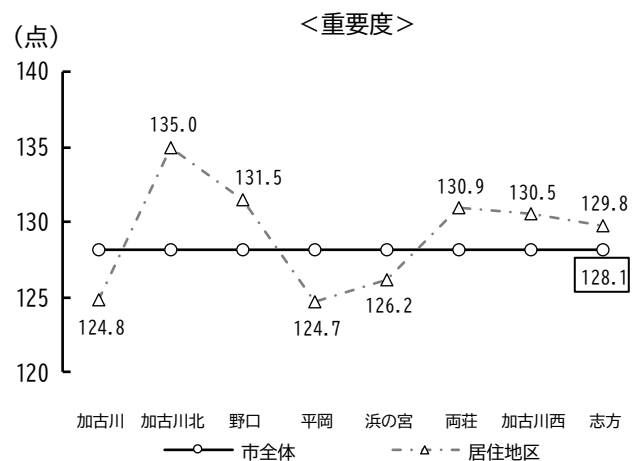
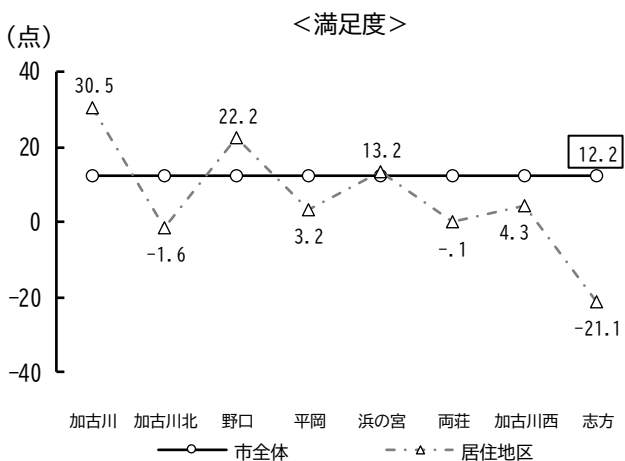
重要度を性年代別で見ると、18・19歳、70歳以上の男女と、30～39歳、60～69歳の女性と、20～29歳の男性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、野口、浜の宮で市全体平均より高くなっている。

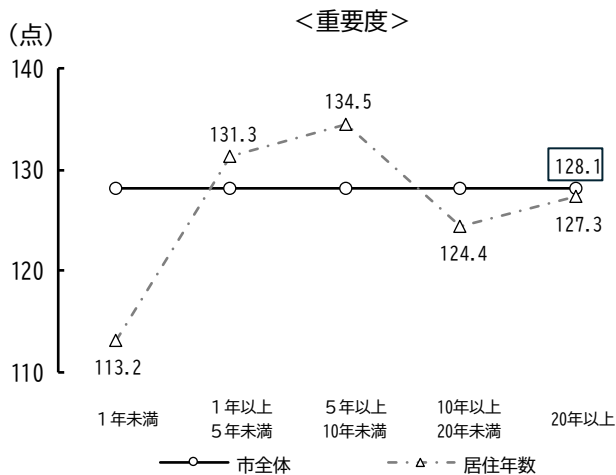
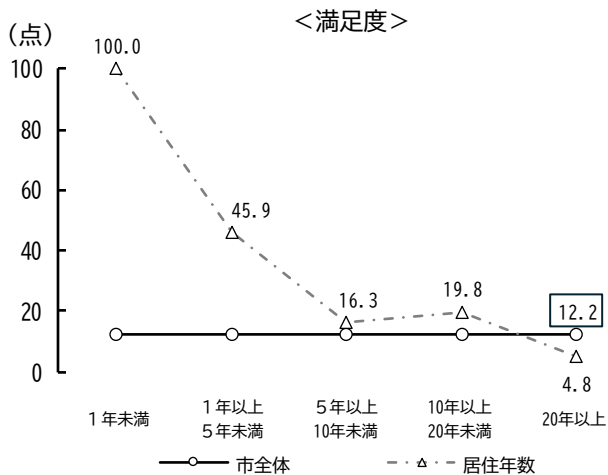
重要度を居住地区別で見ると、加古川北、野口、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

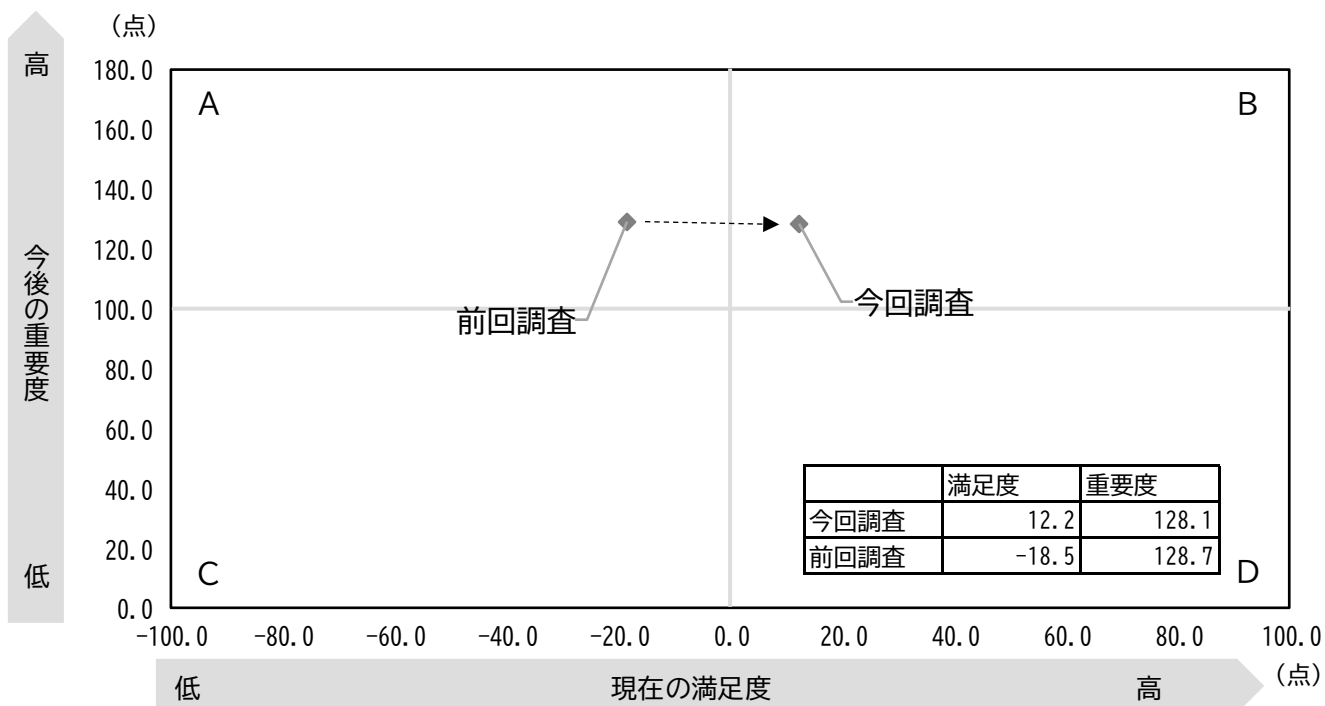
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、1年以上5年未満、5年以上10年未満で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。



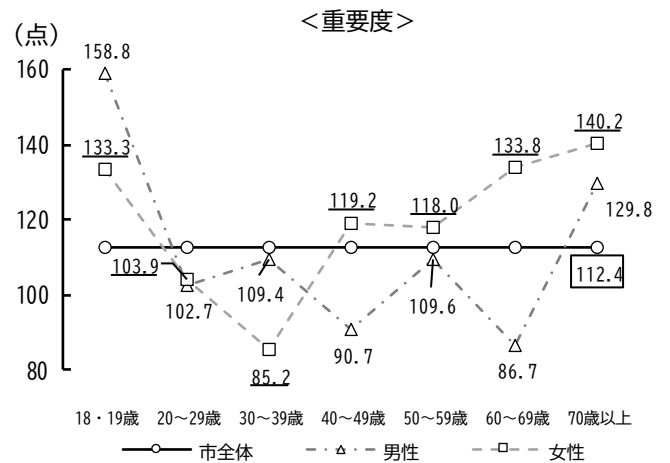
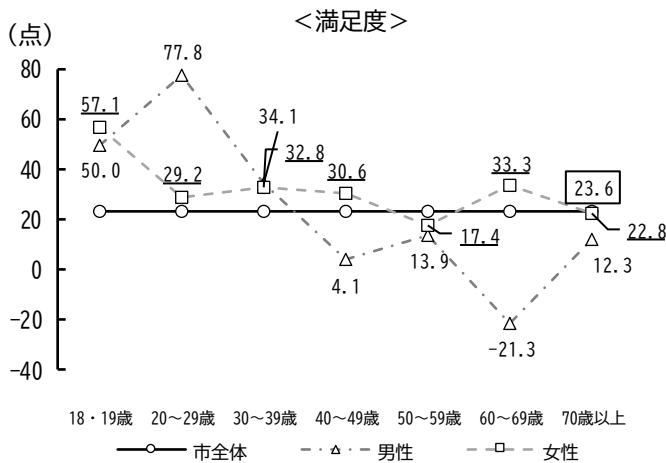
〔広域的なまちづくりの推進〕

(47) 近隣都市との広域的な連携

【性年代別】

満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～29歳、30～39歳の男女と、40～49歳、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。

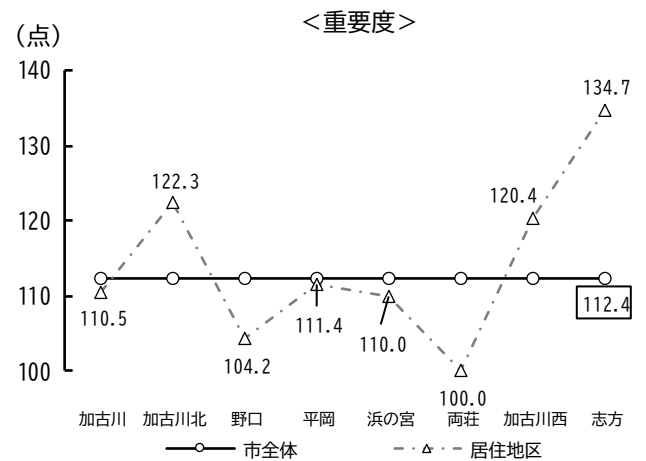
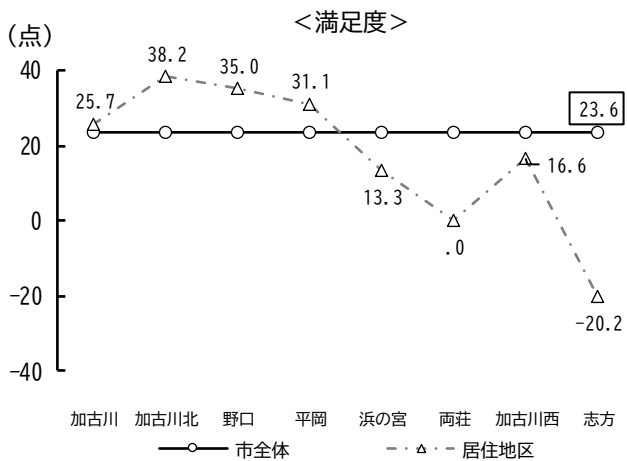
重要度を性年代別で見ると、18・19歳、70歳以上の男女と、40～49歳、50～59歳、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。



【居住地区別】

満足度を居住地区別で見ると、加古川、加古川北、野口、平岡で市全体平均より高くなっている。

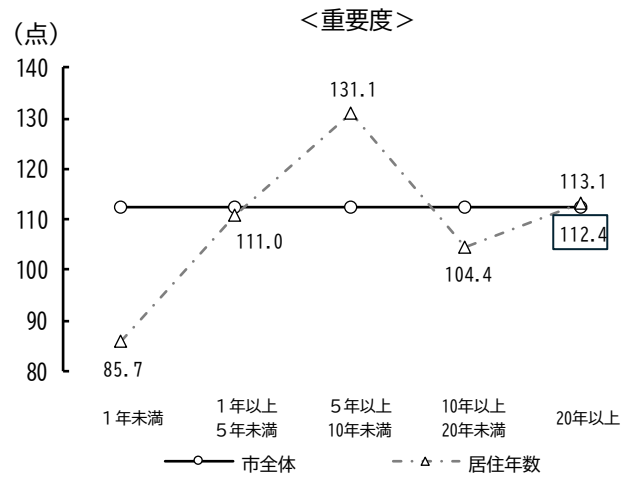
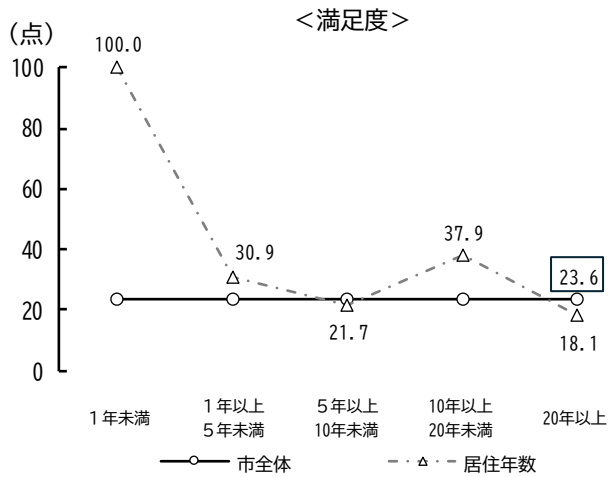
重要度を居住地区別で見ると、加古川北、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



【居住年数別】

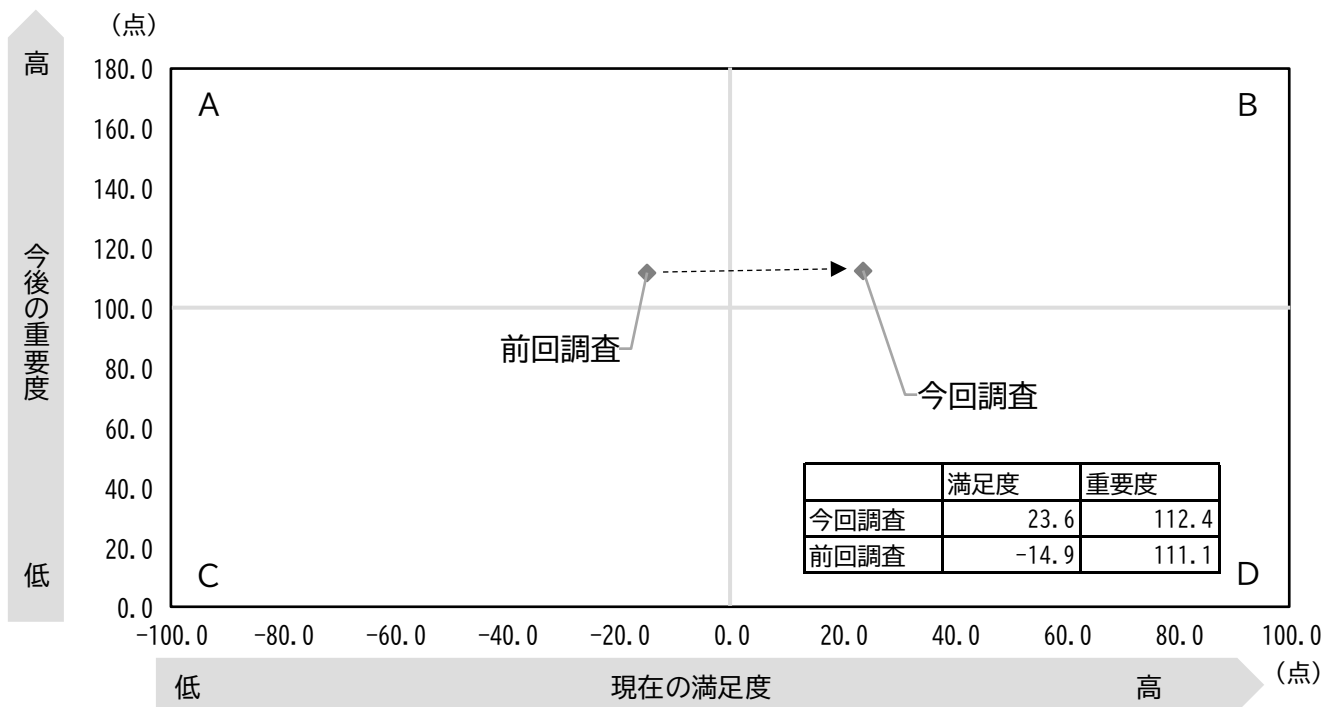
満足度を居住年数別で見ると、1年未満、1年以上5年未満、10年以上20年未満で市全体平均より高くなっている。

重要度を居住年数別で見ると、5年以上10年未満、20年以上で市全体平均より高くなっている。



【満足度と重要度の関係（前回調査との比較）】

満足度と重要度の関係で見ると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



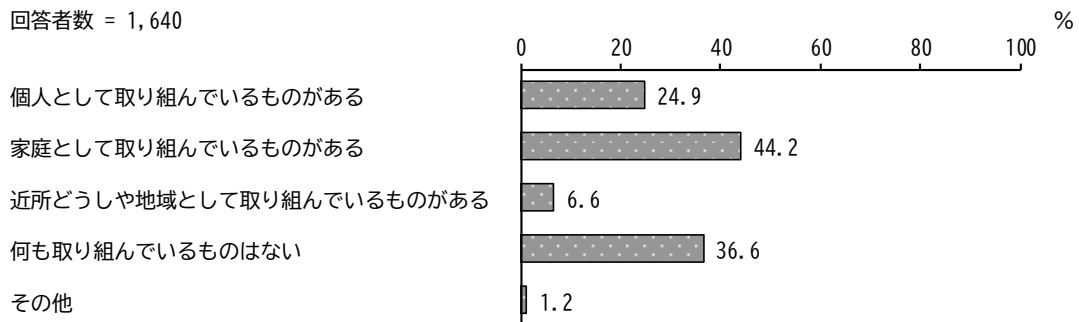
4 「防災」及び「防犯」対策への取組について

(1) 「防災」対策として取り組んでいること

問5 「防災」対策として、あなたご自身やご家庭、地域で取り組んでいるものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

「防災」対策として取り組んでいることについては、「家庭として取り組んでいるものがある」が44.2%と最も高く、次いで、「何も取り組んでいるものはない」が36.6%、「個人として取り組んでいるものがある」が24.9%となっています。

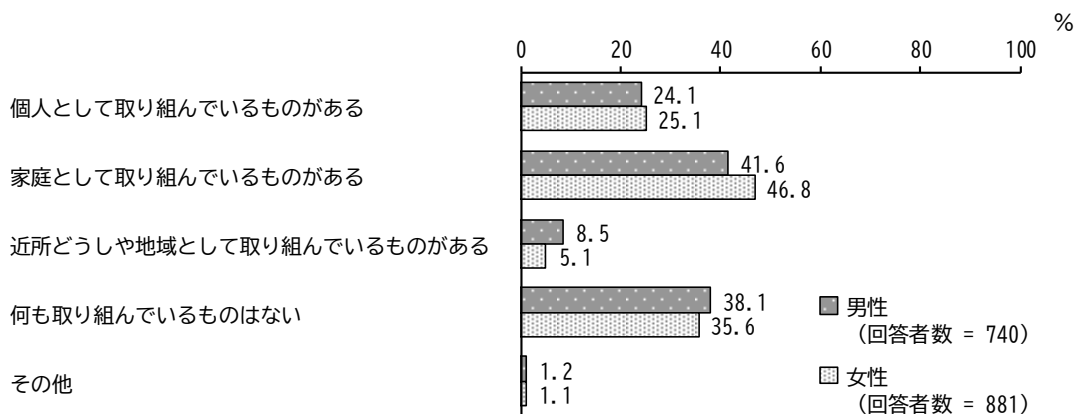
回答者数 = 1,640



※「不明・無回答」を除く

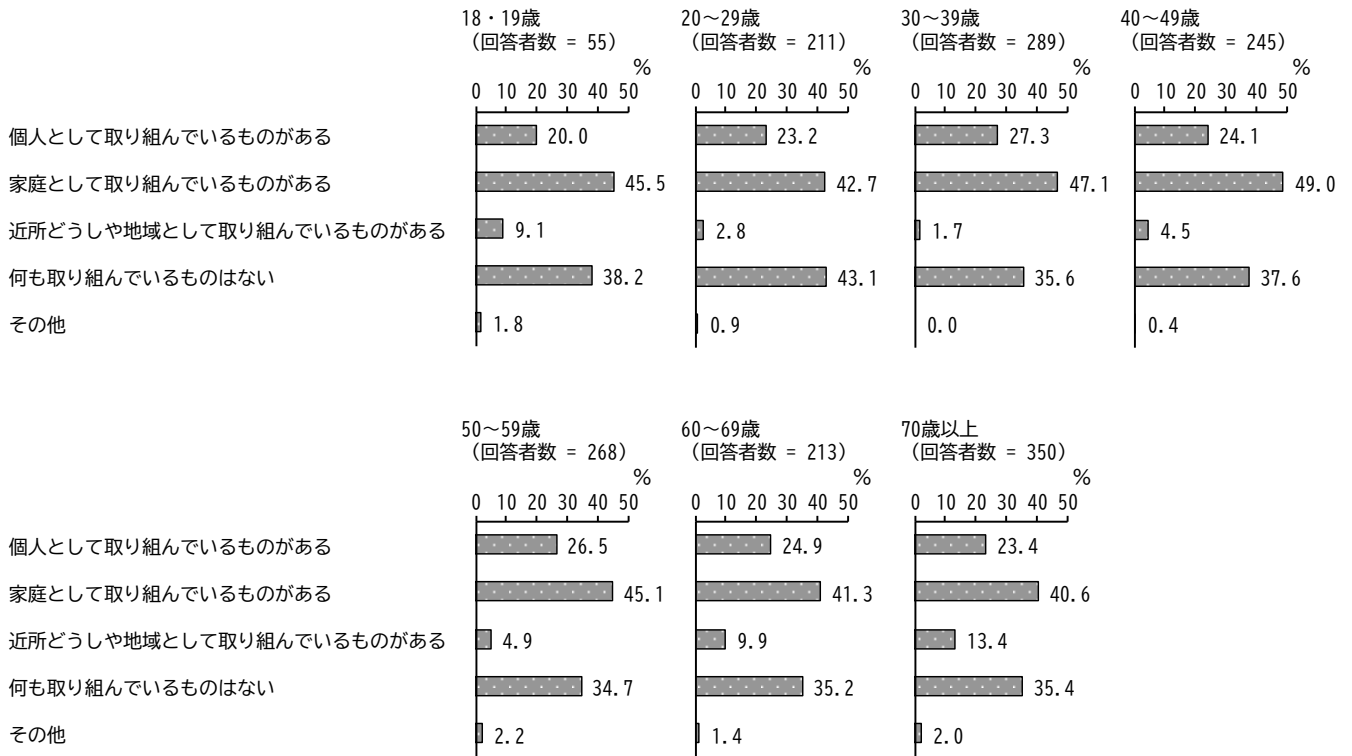
【性別】

性別にみると、男性と比較して、女性で「家庭として取り組んでいるものがある」の割合が高くなっています。



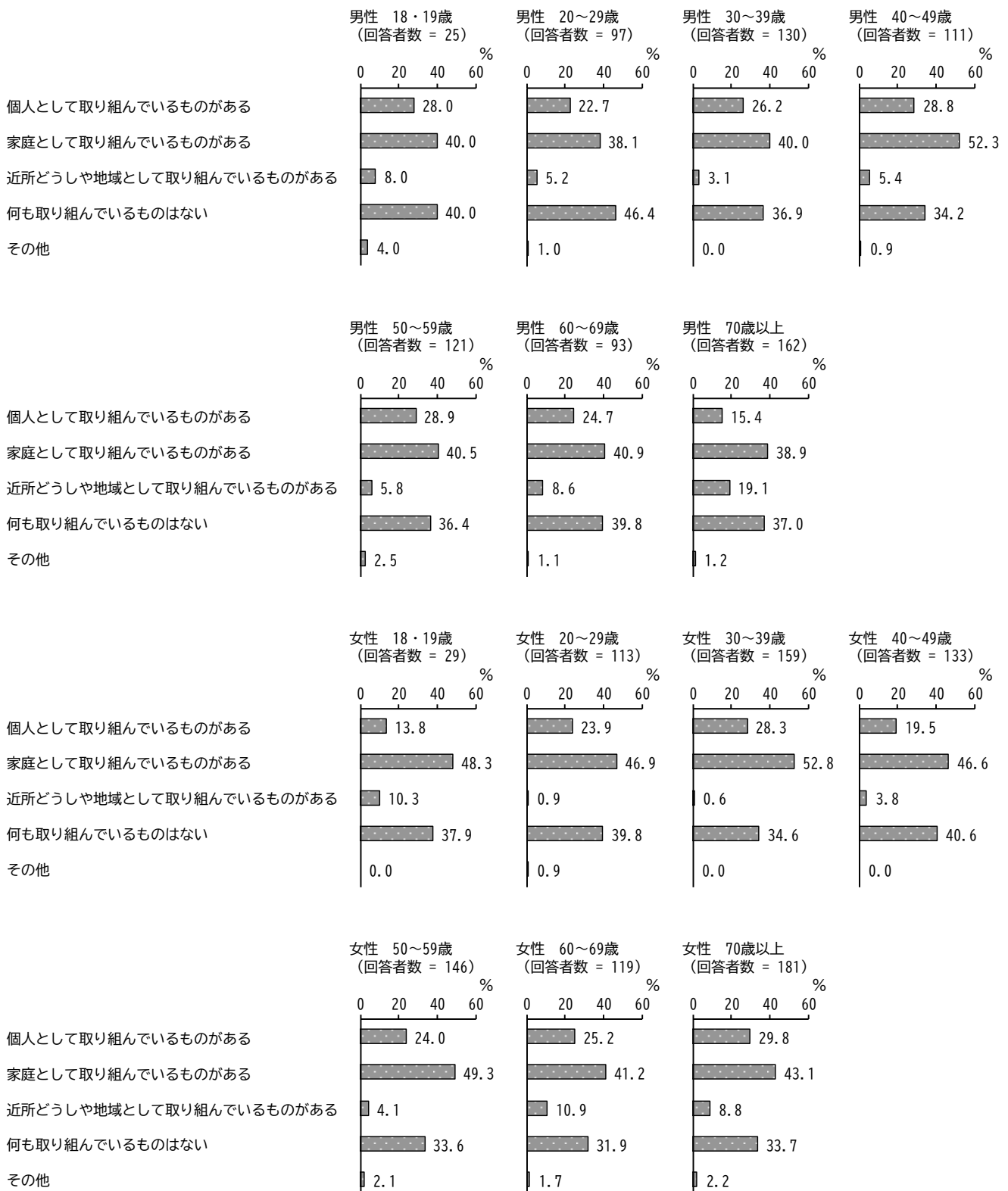
【年代別】

年代別にみると、60～69歳および70歳以上で、「近所どうしや地域として取り組んでいるものがある」の割合が他の世代より高い傾向にあります。



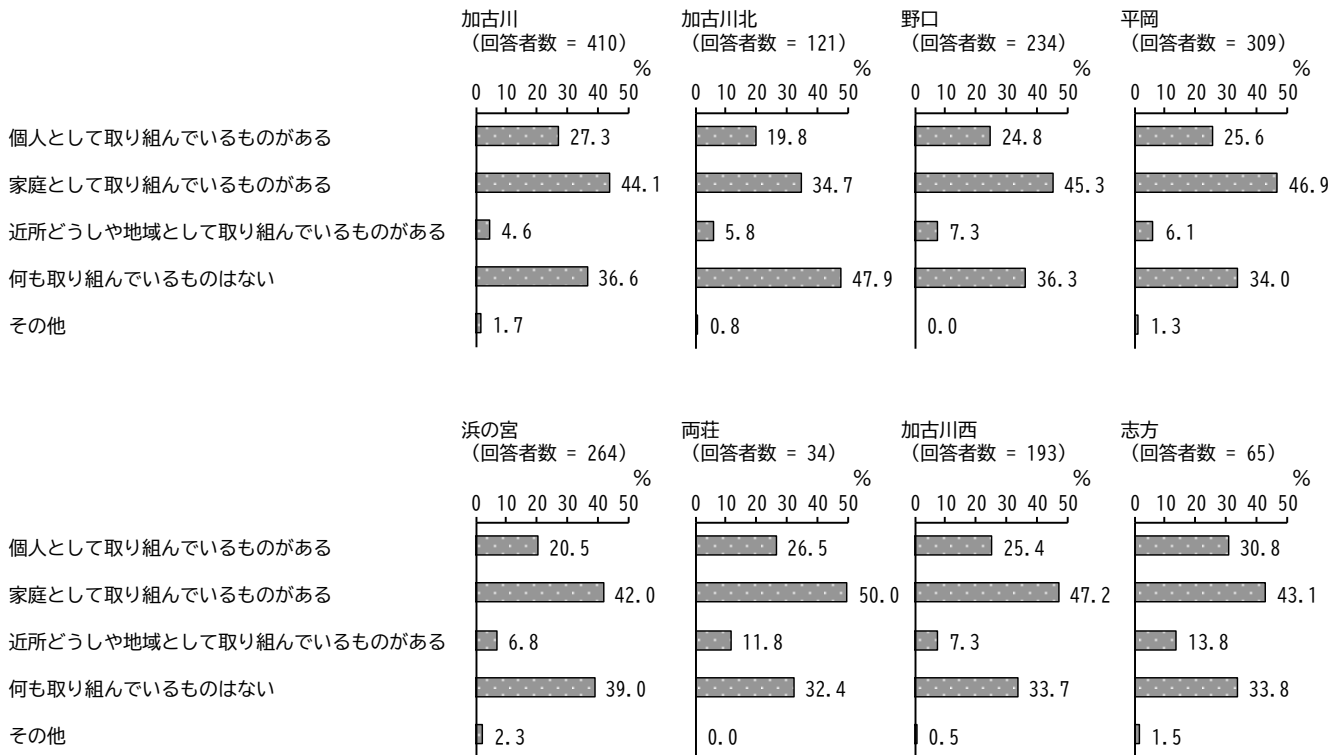
【性・年代別】

性・年代別にみると、男性 40～49 歳で“取り組んでいる”の割合が高くなっています。



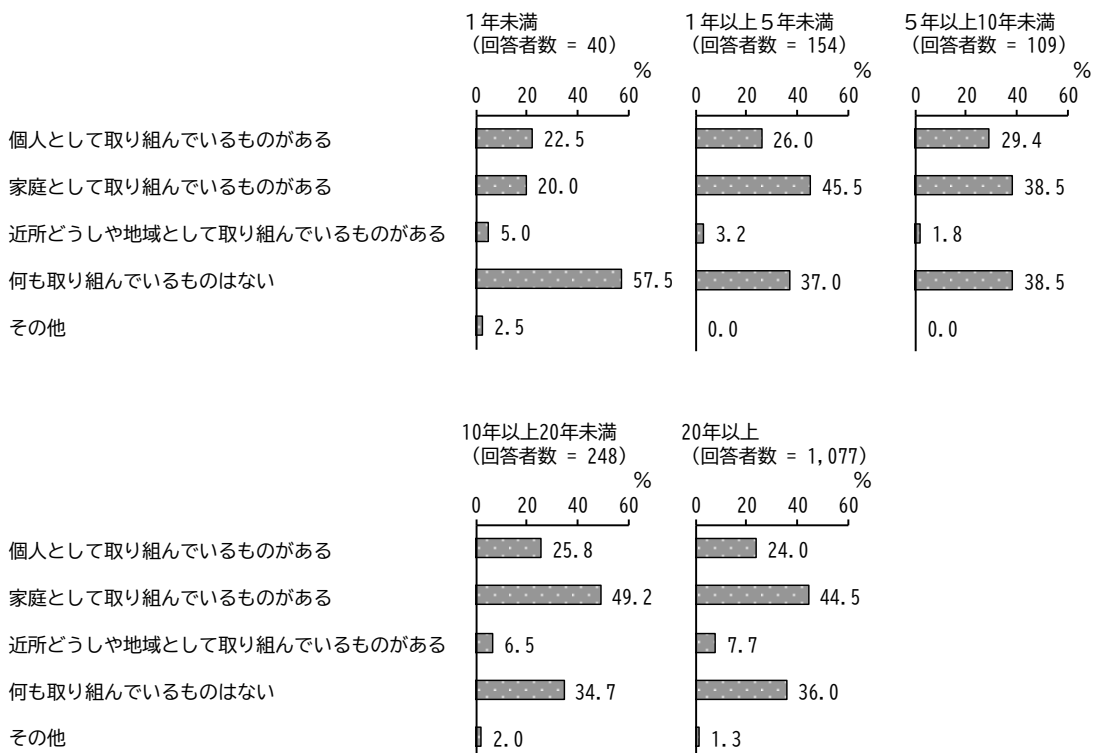
【居住地区別】

居住地区別にみると、両荘、志方で「取り組んでいる」、加古川北で「取り組んでいない」の割合が高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、1年未満で「取り組んでいない」の割合が高くなっています。

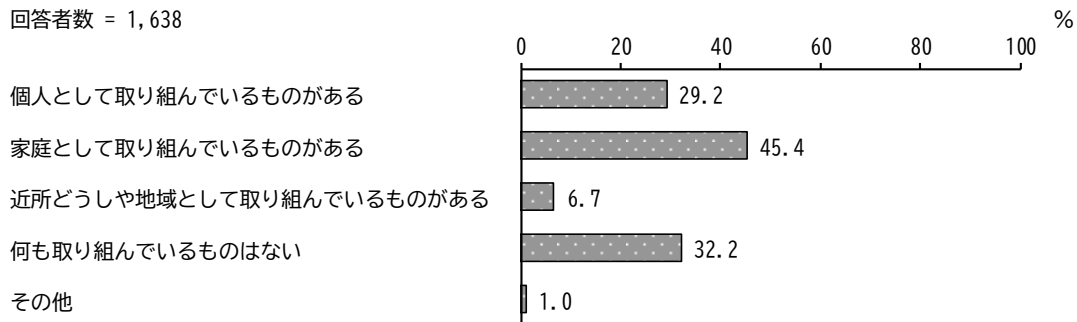


(2) 「防犯」対策として取り組んでいること

問6 「防犯」対策として、あなたご自身やご家庭、地域で取り組んでいるものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

「防犯」対策として取り組んでいることについては、「家庭として取り組んでいるものがある」が45.4%と最も高く、次いで、「何も取り組んでいるものはない」が32.2%、「個人として取り組んでいるものがある」が29.2%となっています。

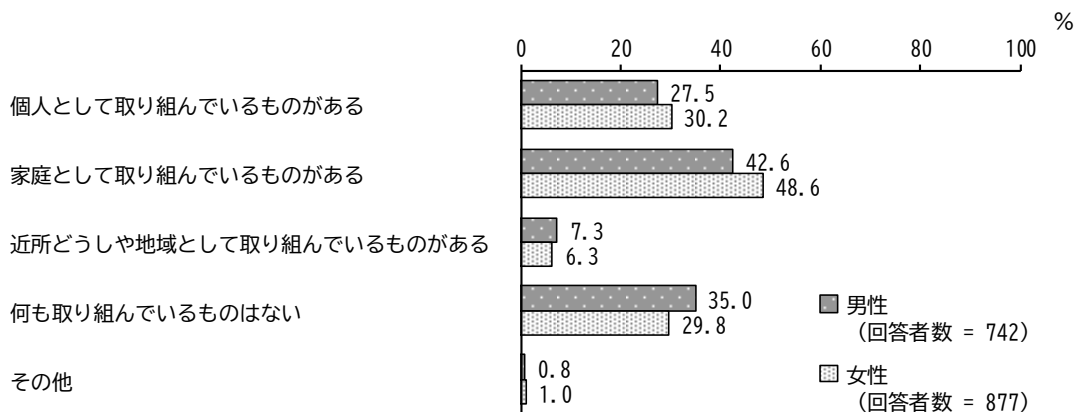
回答者数 = 1,638



※「不明・無回答」を除く

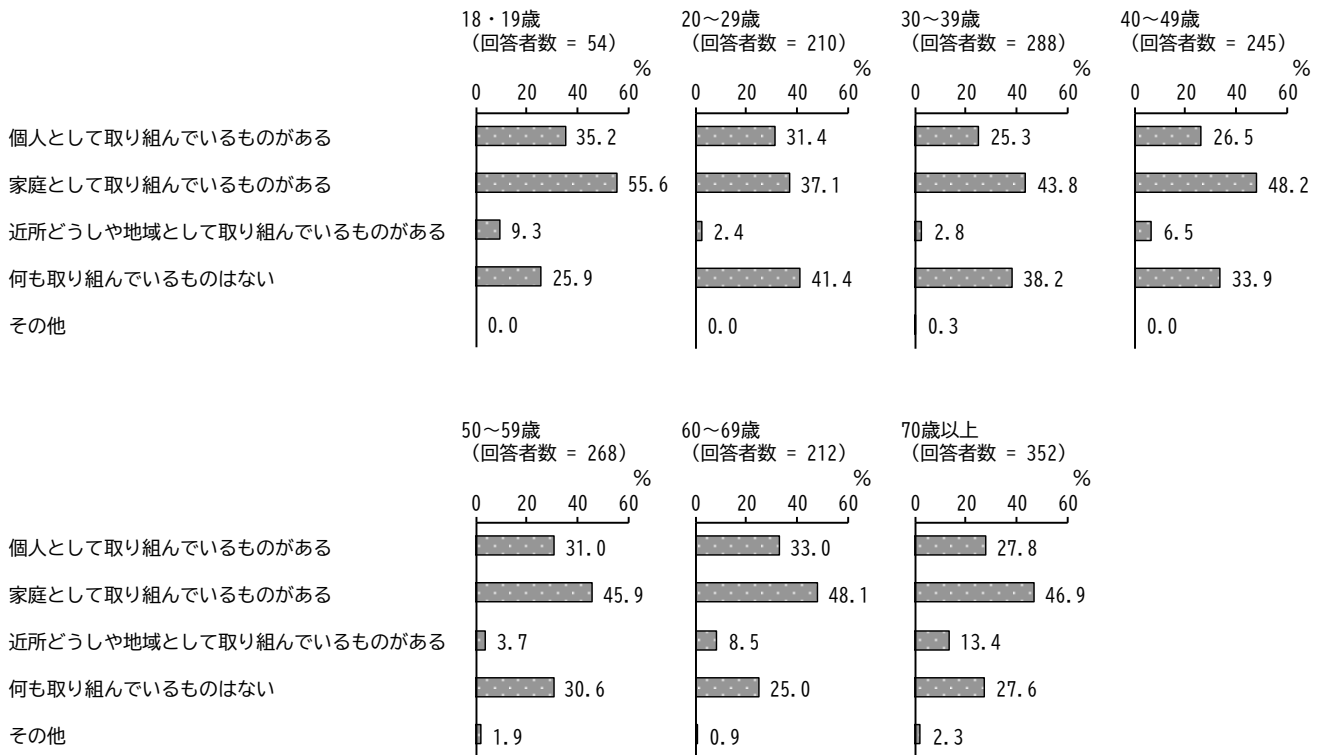
【性別】

性別にみると、男性と比較して、女性の“取り組んでいる”の割合が高くなっています。



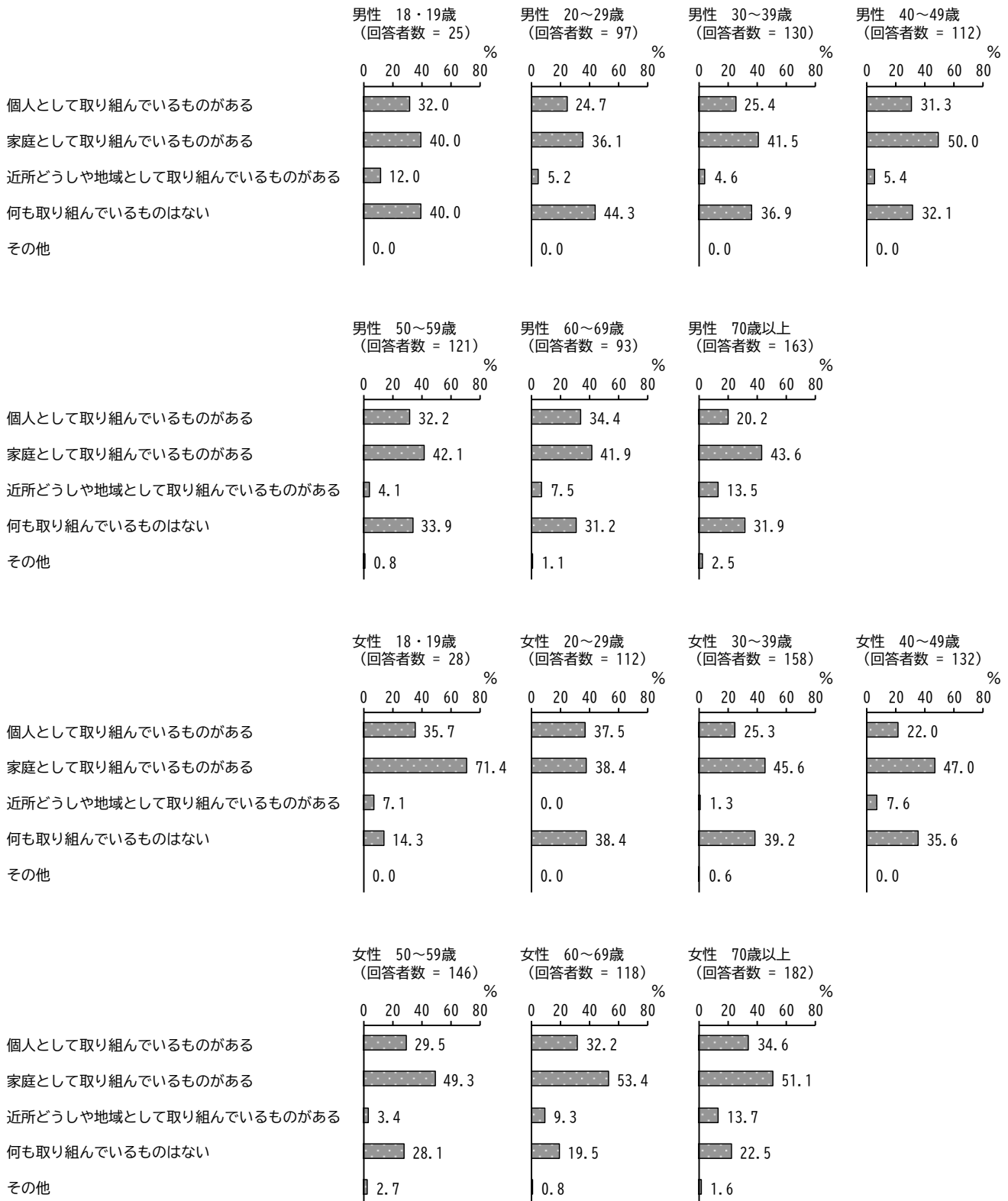
【年代別】

年代別にみると、20～29歳で「取り組んでいない」の割合が高くなっています。



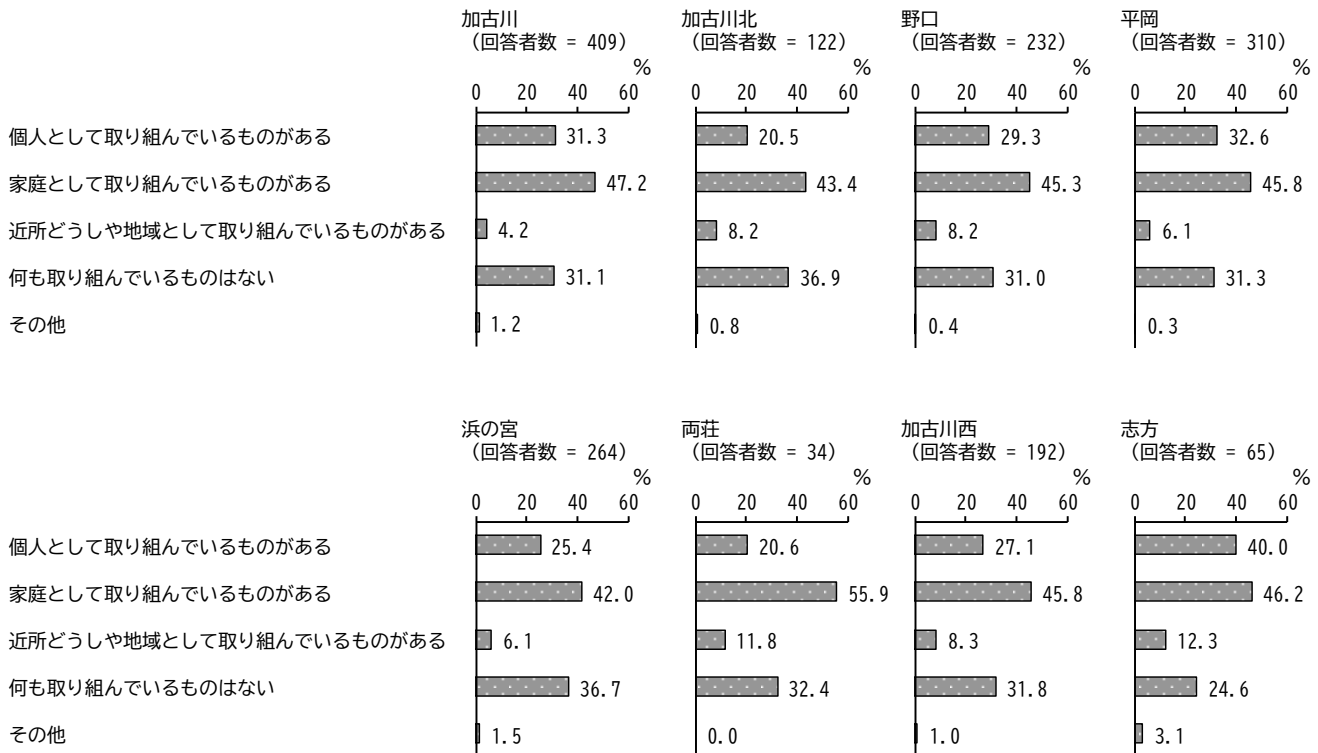
【性・年代別】

性・年代別にみると、女性 18・19 歳で“取り組んでいる”、男性 20～29 歳で「取り組んでいない」の割合が高くなっています。



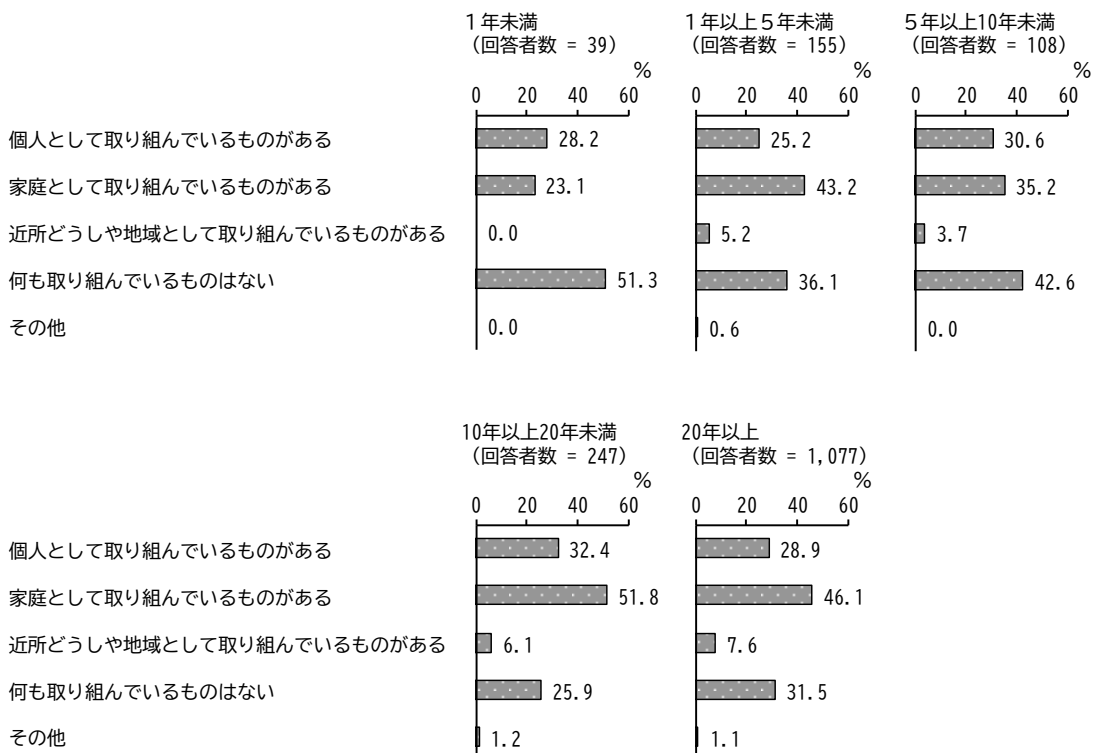
【居住地区別】

居住地区別にみると、志方で“取り組んでいる”の割合が高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、1年未満で「取り組んでいない」の割合が高くなっています。

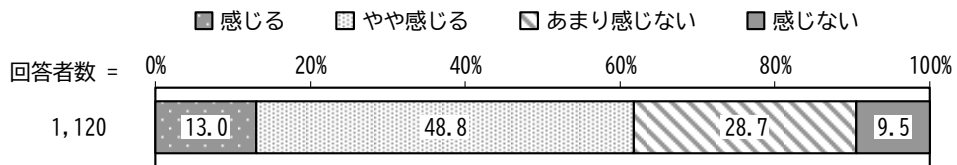


5 子育てと仕事に関することについて

(1) 加古川市が子育てしやすいまちだと感じるか

問7 あなたは、加古川市が子育てしやすいまちだと感じますか。(○は1つ)

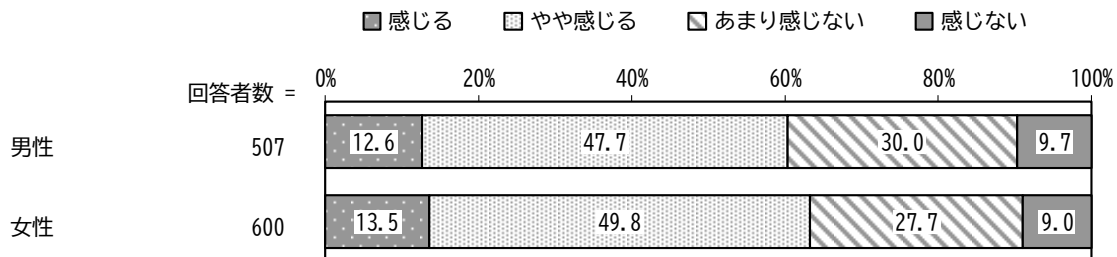
「感じる」「やや感じる」を合わせた“感じる”の割合が61.8%、「あまり感じない」「感じない」を合わせた“感じない”の割合が38.2%となっています。



※「わからない」「不明・無回答」を除く

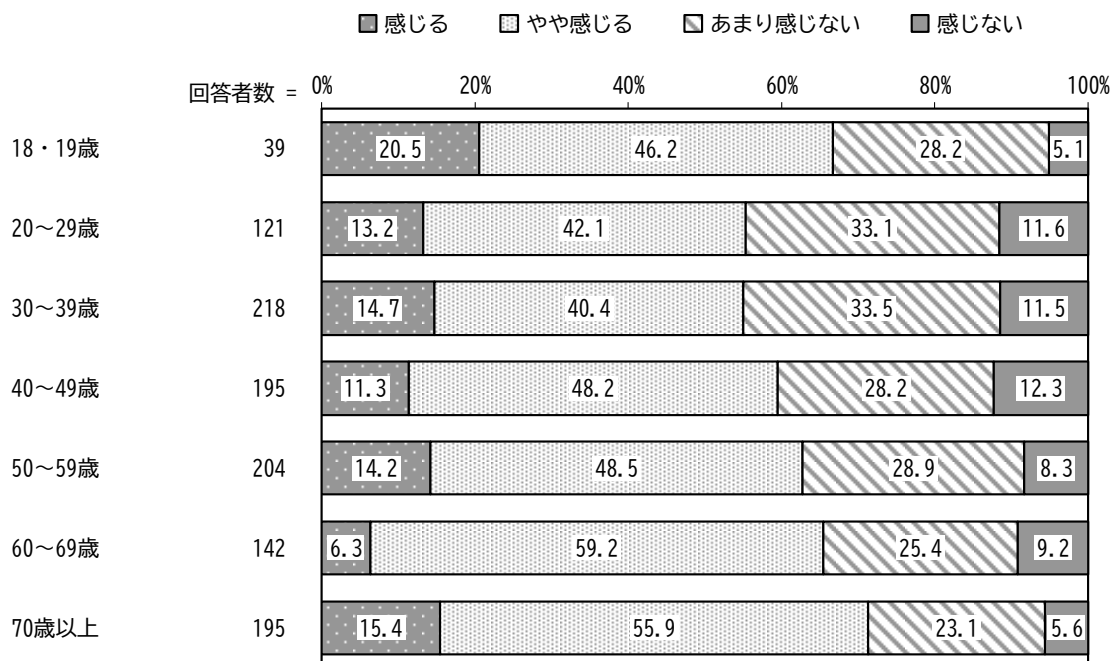
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



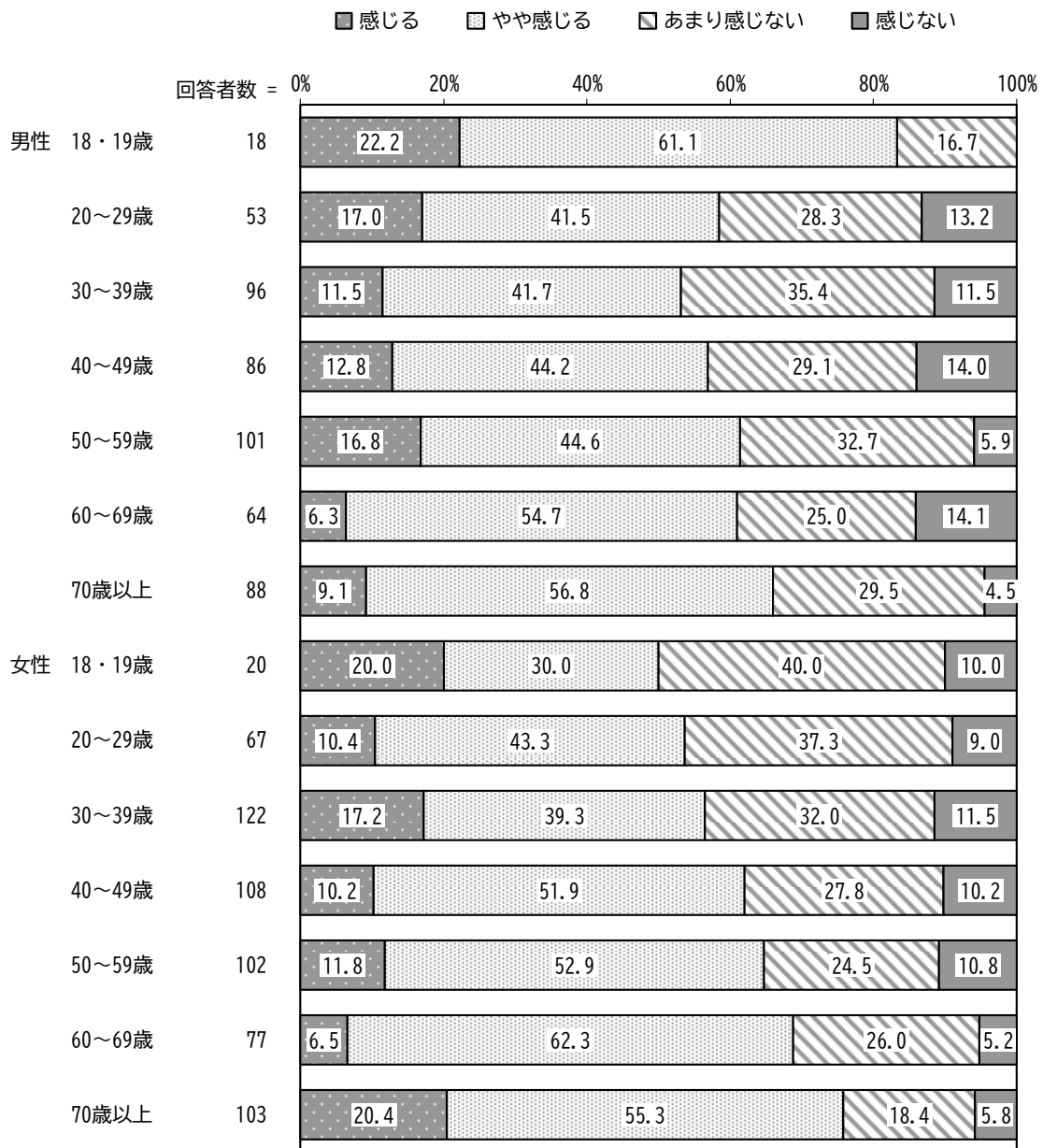
【年代別】

年代別にみると、70歳以上から30～39歳まで年代が下がるほど“感じない”の割合が高くなっています。



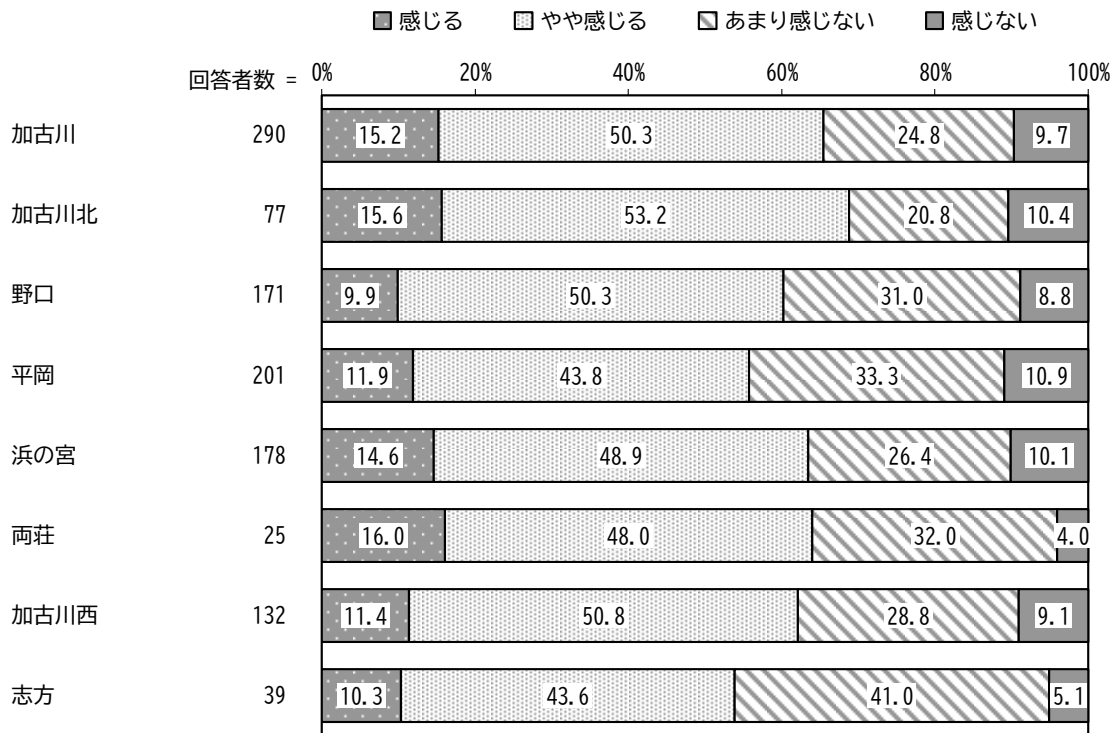
【性・年代別】

性・年代別にみると、男性18・19歳で“感じる”の割合が高くなっています。



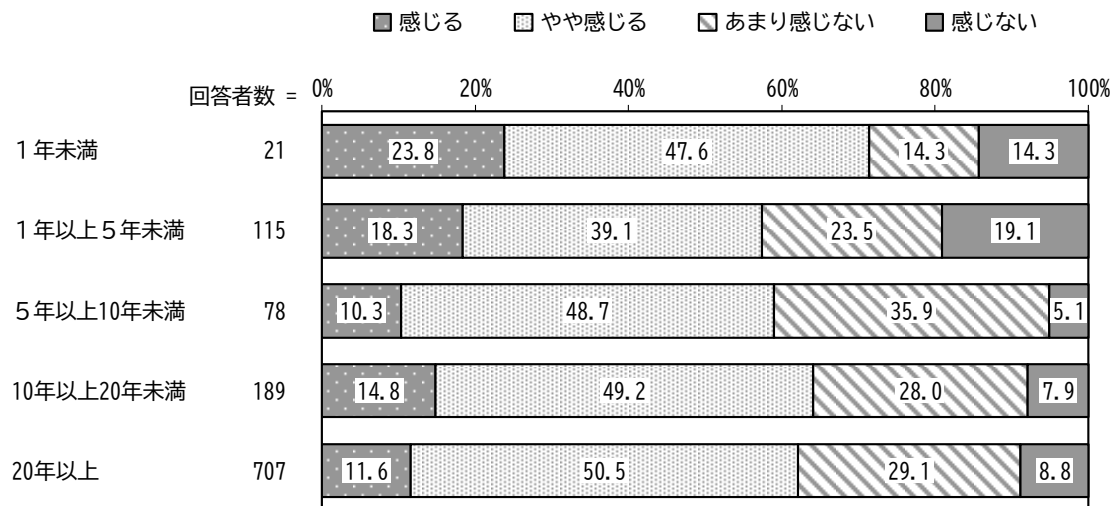
【居住地区別】

居住地区別にみると、加古川北で“感じる”、平岡、志方で“感じない”の割合が低くなっています。



【居住年数別】

1年未満で“感じる”の割合が高くなっています。

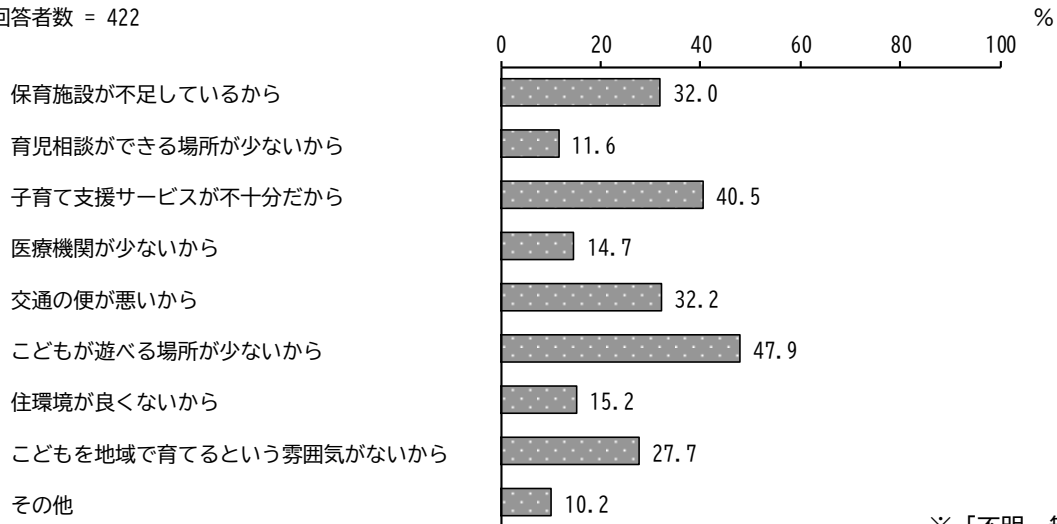


(2) 加古川市が子育てしやすいまちだと感じない理由

問7-① 問7で「あまり感じない」または「感じない」を選ばれた方におたずねします。その理由をお聞かせください。

「こどもが遊べる場所が少ないから」の割合が47.9%と最も高く、次いで「子育て支援サービスが不十分だから」の割合が40.5%、「交通の便が悪いから」の割合が32.2%となっています。

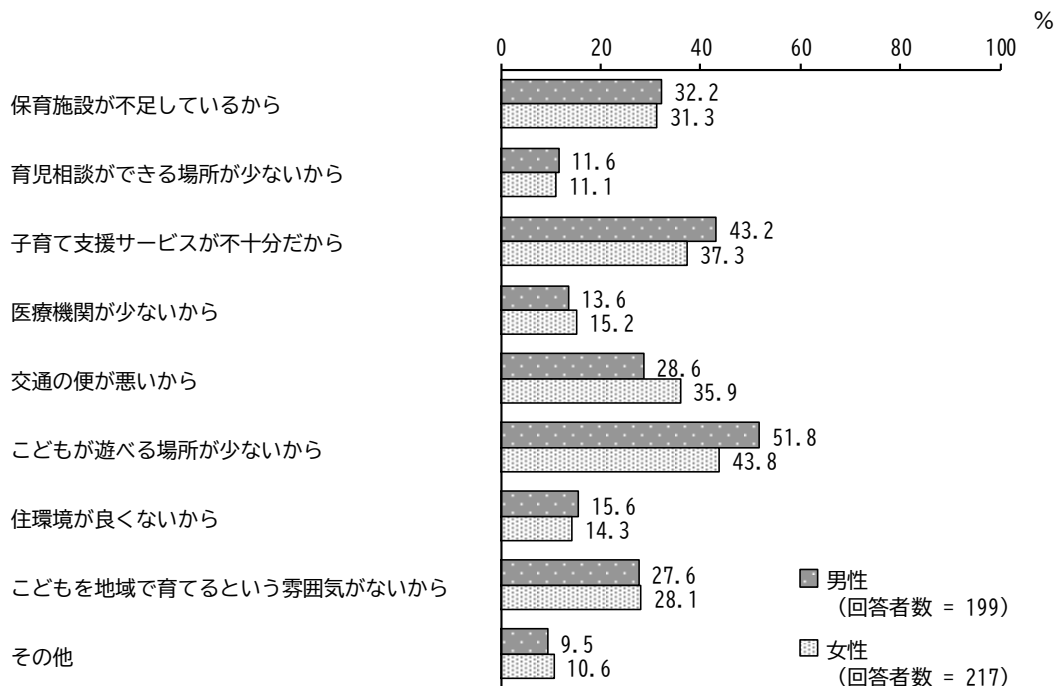
回答者数 = 422



※「不明・無回答」を除く

【性別】

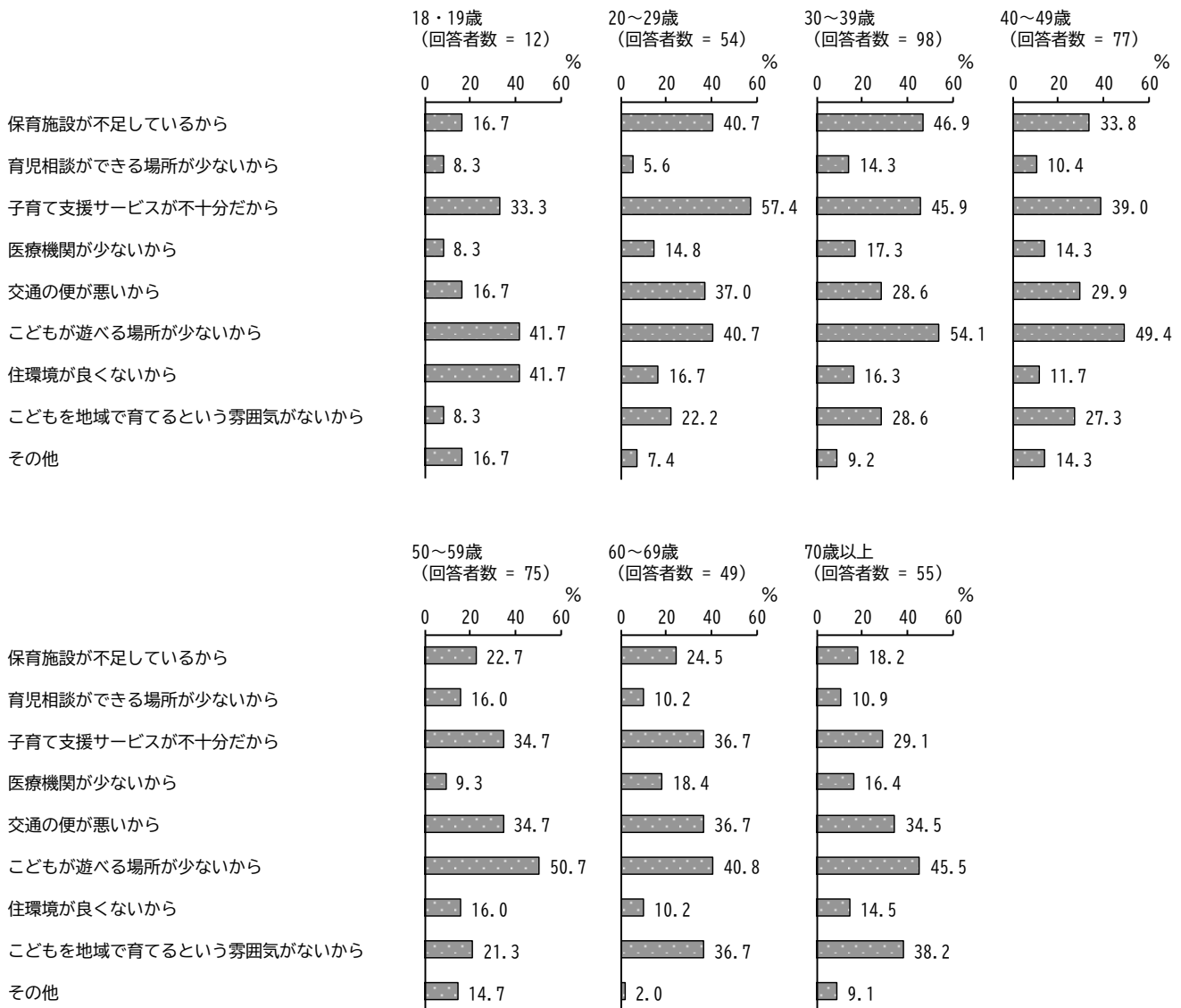
性別にみると、男性で「子育て支援サービスが不十分だから」「こどもが遊べる場所が少ないから」の割合が高く、女性で「交通の便が悪いから」の割合が高くなっています。



■ 男性
(回答者数 = 199)
 ■ 女性
(回答者数 = 217)

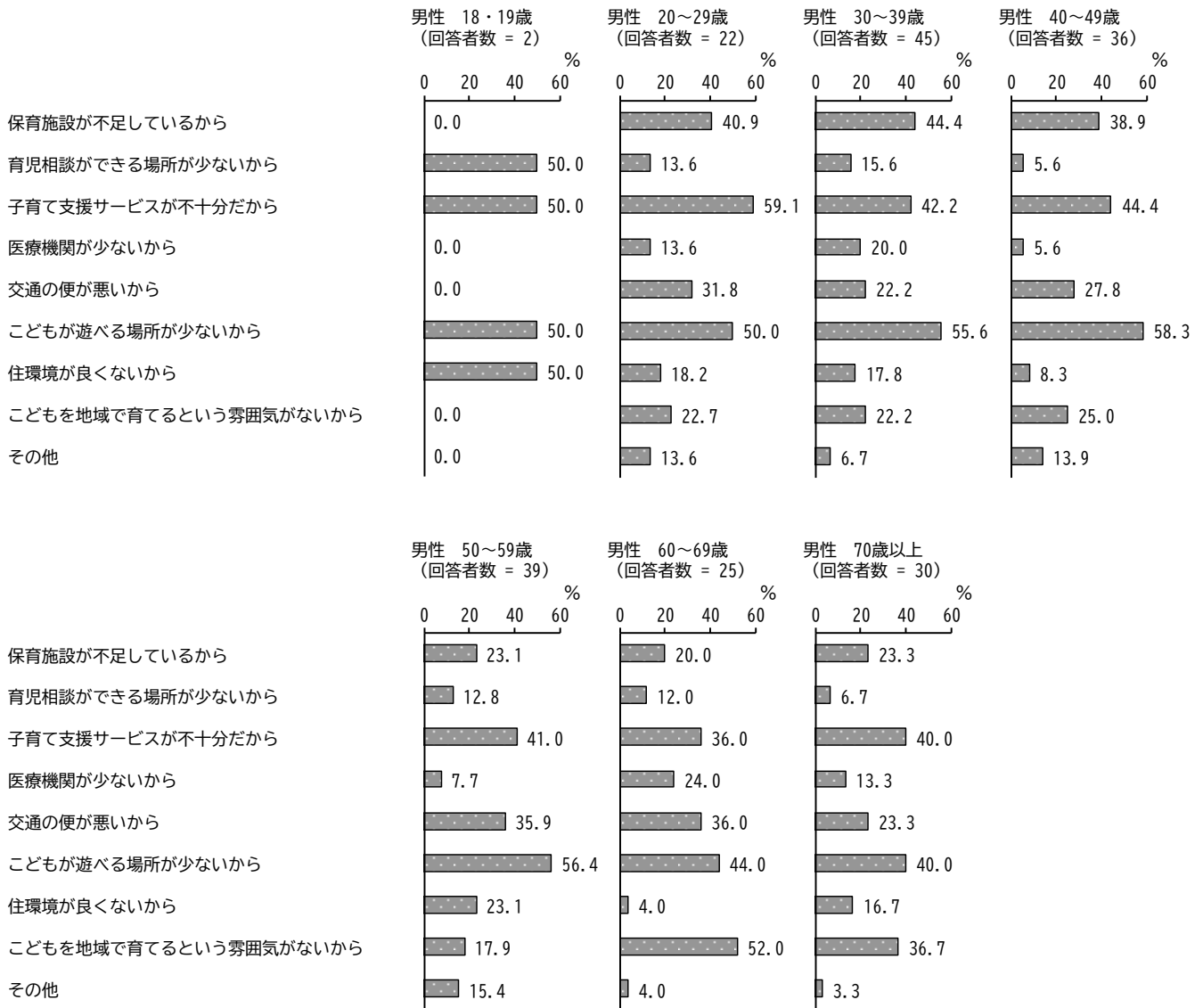
【年代別】

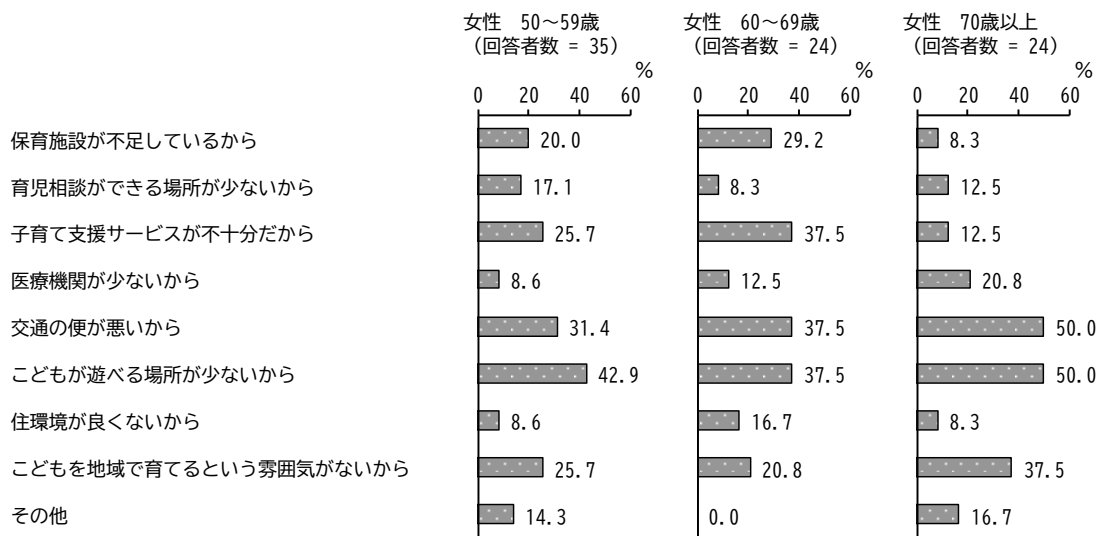
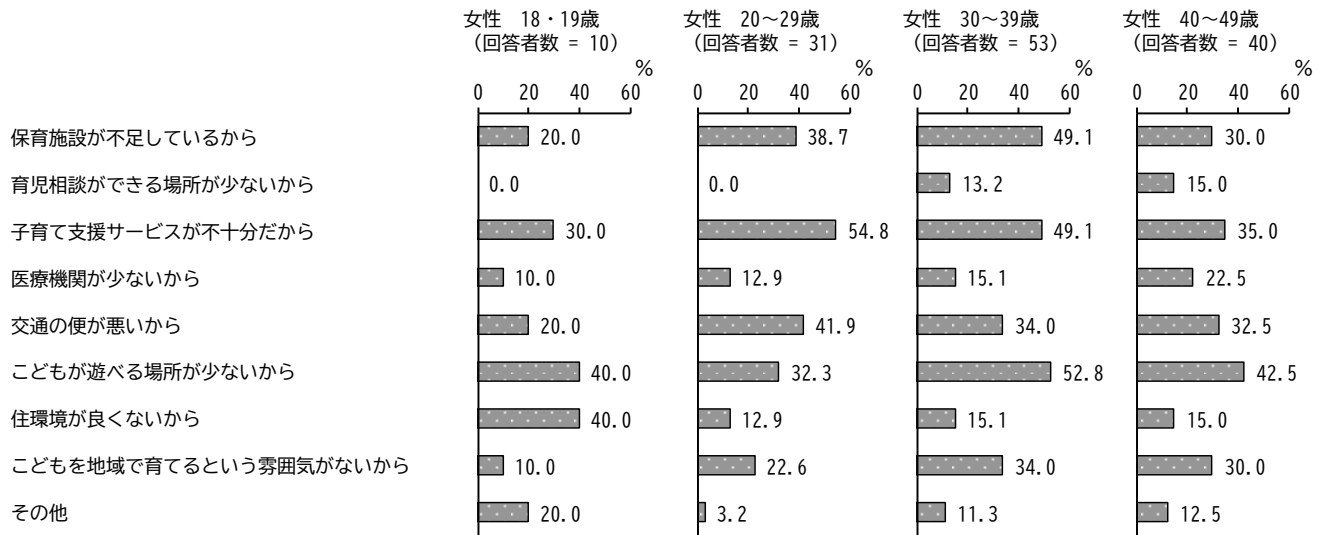
年代別にみると、20～29歳で「子育て支援サービスが不十分だから」の割合が高く、70歳以上で「子どもを地域で育てるといふ雰囲気がないから」の割合が高くなっています。



【性・年代別】

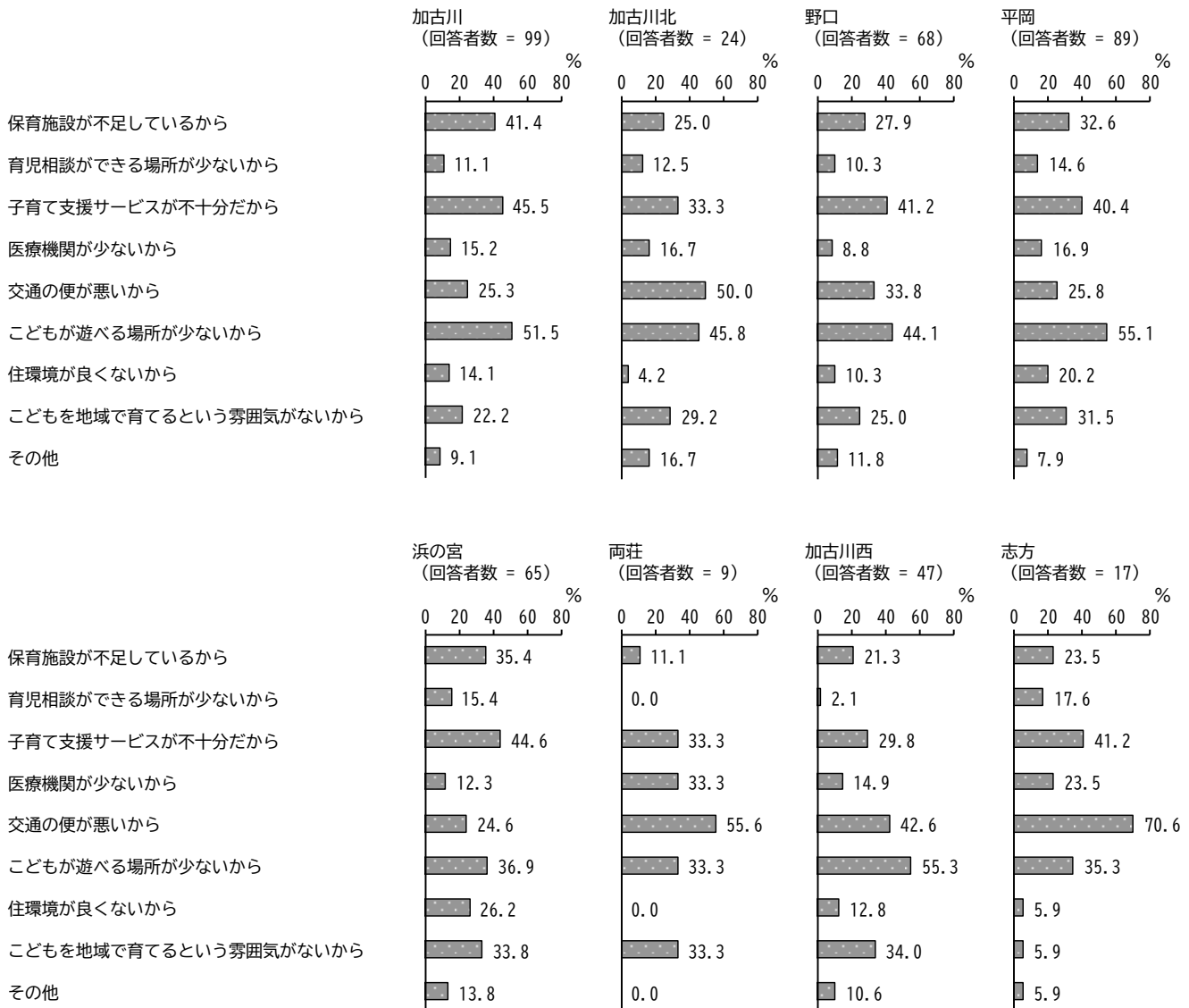
性・年代別にみると、女性 30～39 歳で「保育施設が不足しているから」、男性 20～29 歳で「子育て支援サービスが不十分だから」、女性 70 歳以上で「交通の便が悪いから」、男性 40～49 歳で「子どもが遊べる場所が少ないから」、女性 18・19 歳で「住環境が良くないから」、男性 60～69 歳で「子どもを地域で育てるといふ雰囲気がないから」の割合が高くなっています。





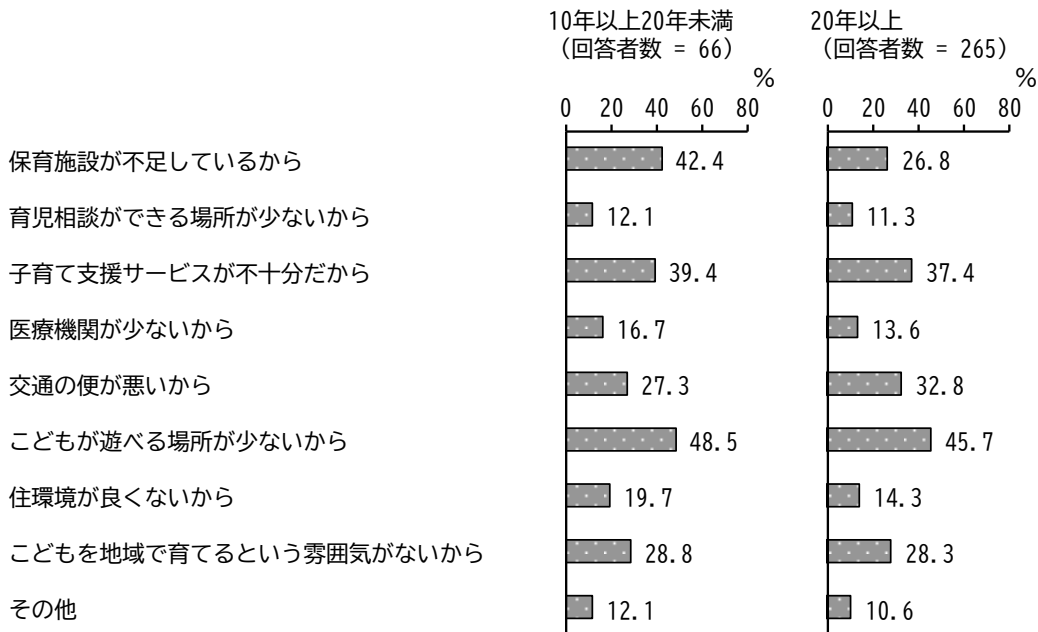
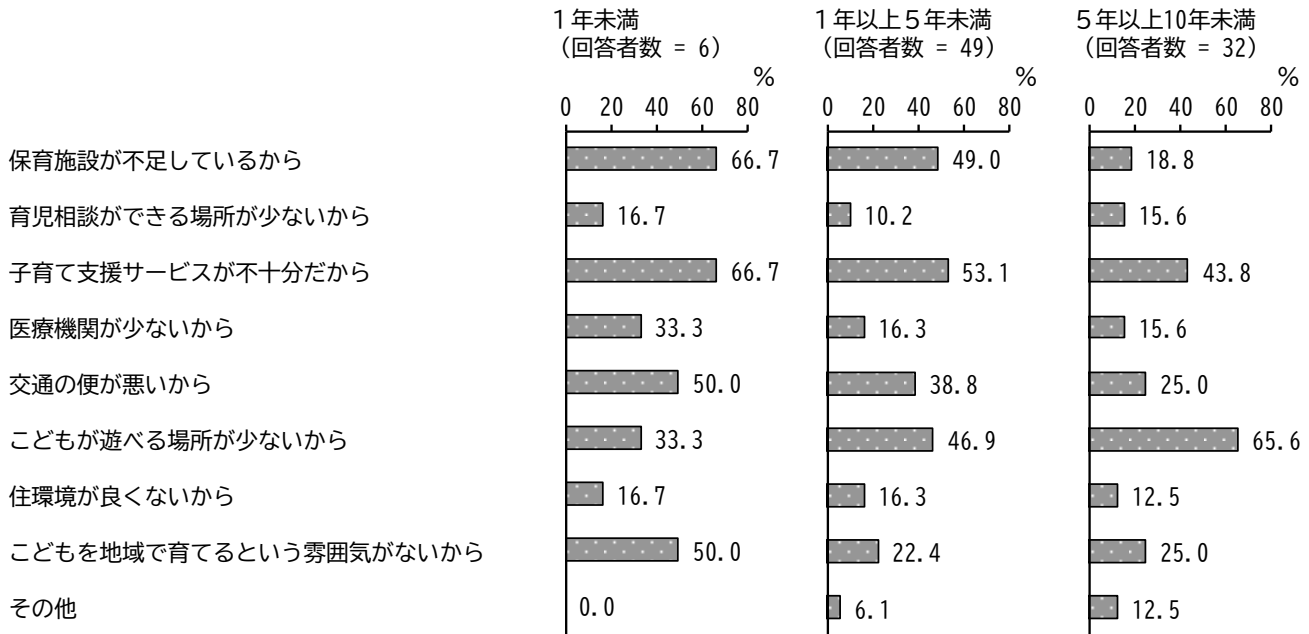
【居住地区別】

居住地区別にみると、加古川で「保育施設が不足しているから」「子育て支援サービスが不十分だから」、志方で「育児相談ができる場所が少ないから」「医療機関が少ないから」「交通の便が悪いから」、平岡、加古川西で「こどもが遊べる場所が少ないから」、浜の宮で「住環境が良くないから」、浜の宮、加古川西で「こどもを地域で育てるといふ雰囲気がないから」の割合が高くなっています。



【居住年数別】

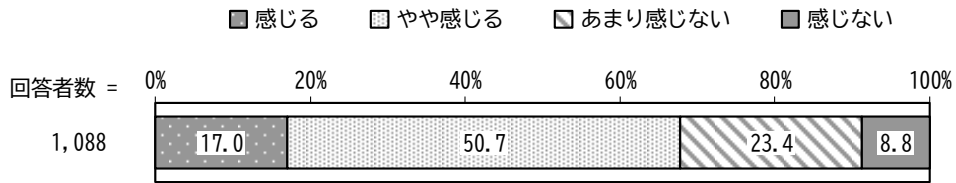
居住年数別にみると、居住年数が短いほど「子育て支援サービスが不十分だから」の割合が高く、20年以上から5年以上10年未満まで居住年数が短いほど「育児相談ができる場所が少ないから」「子どもが遊べる場所が少ないから」の割合が高く、「交通の便が悪いから」の割合が低くなっています。また、1年未満で「保育施設が不足しているから」の割合が高くなっています。



(3) 子育てと仕事の両立についての理解

問8 子育てと仕事の両立について、あなたの周りでは理解が進んでいると感じますか。(〇は1つ)

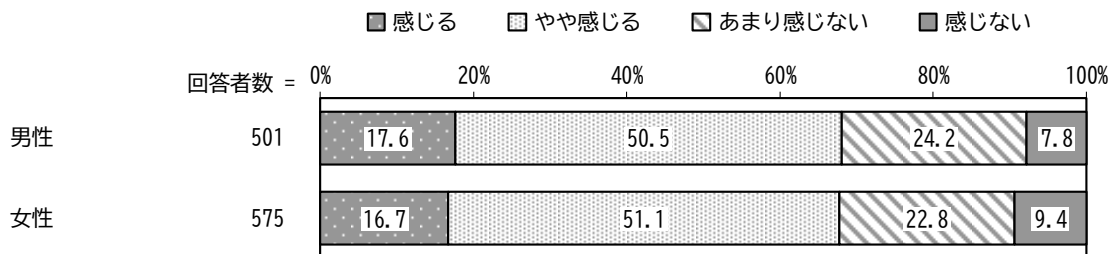
「感じる」「やや感じる」を合わせた“感じる”の割合が67.7%、「あまり感じない」「感じない」を合わせた“感じない”の割合が32.2%となっています。



※「わからない」「不明・無回答」を除く

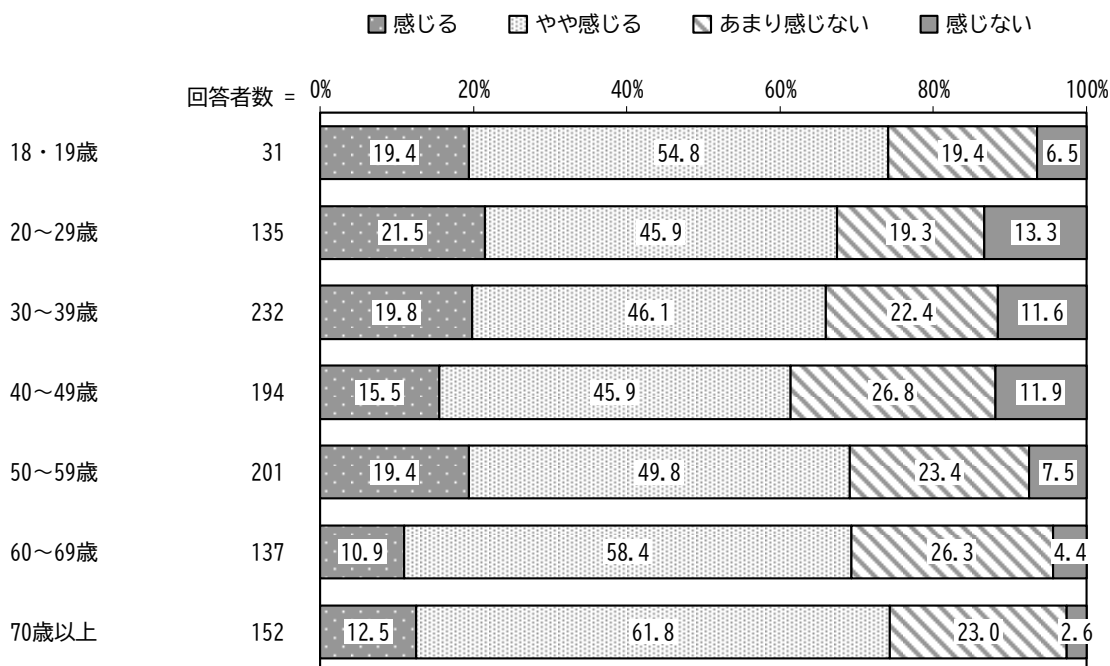
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



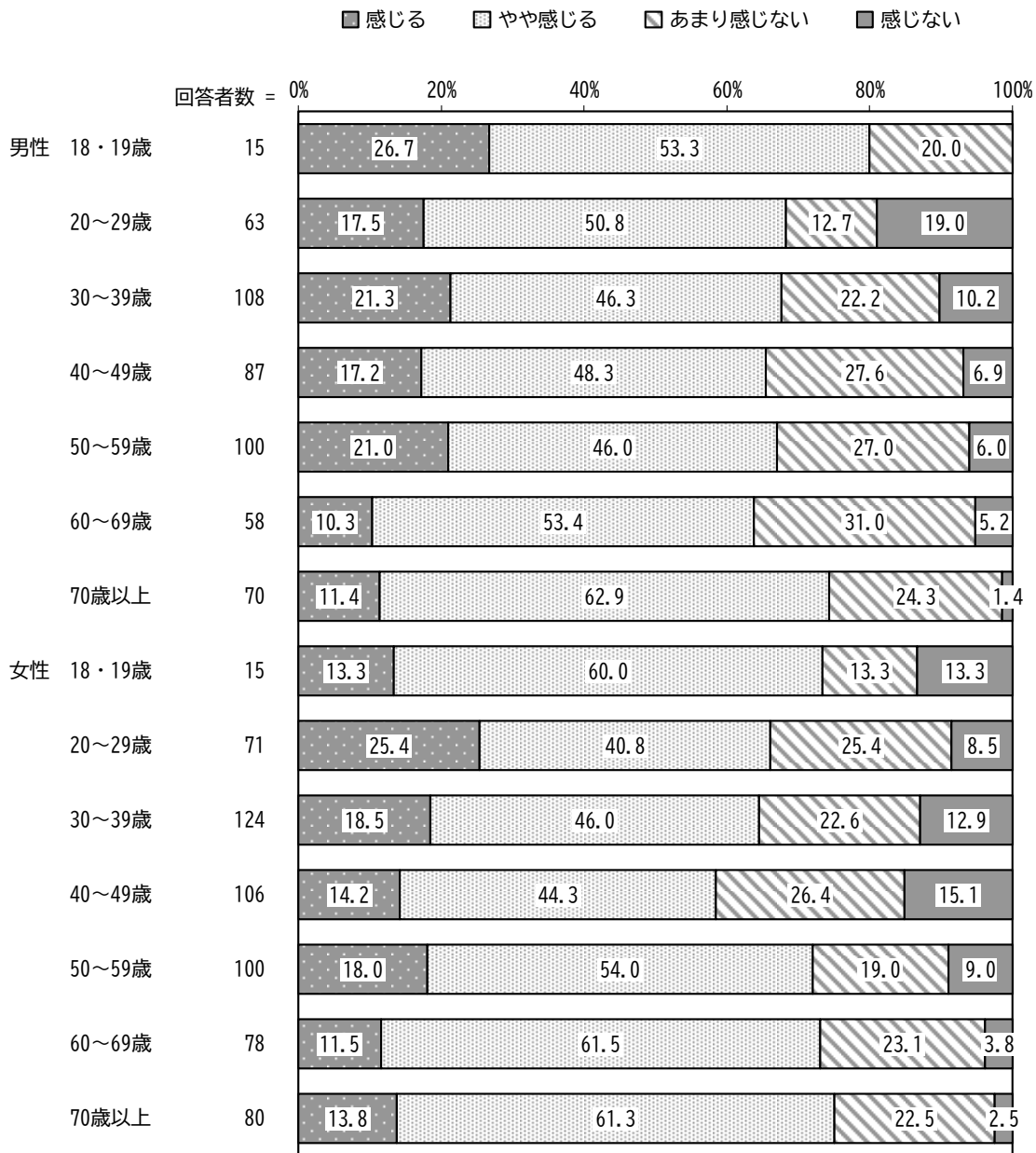
【年代別】

年代別にみると、40～49歳で“感じない”と回答した割合が高くなっています。



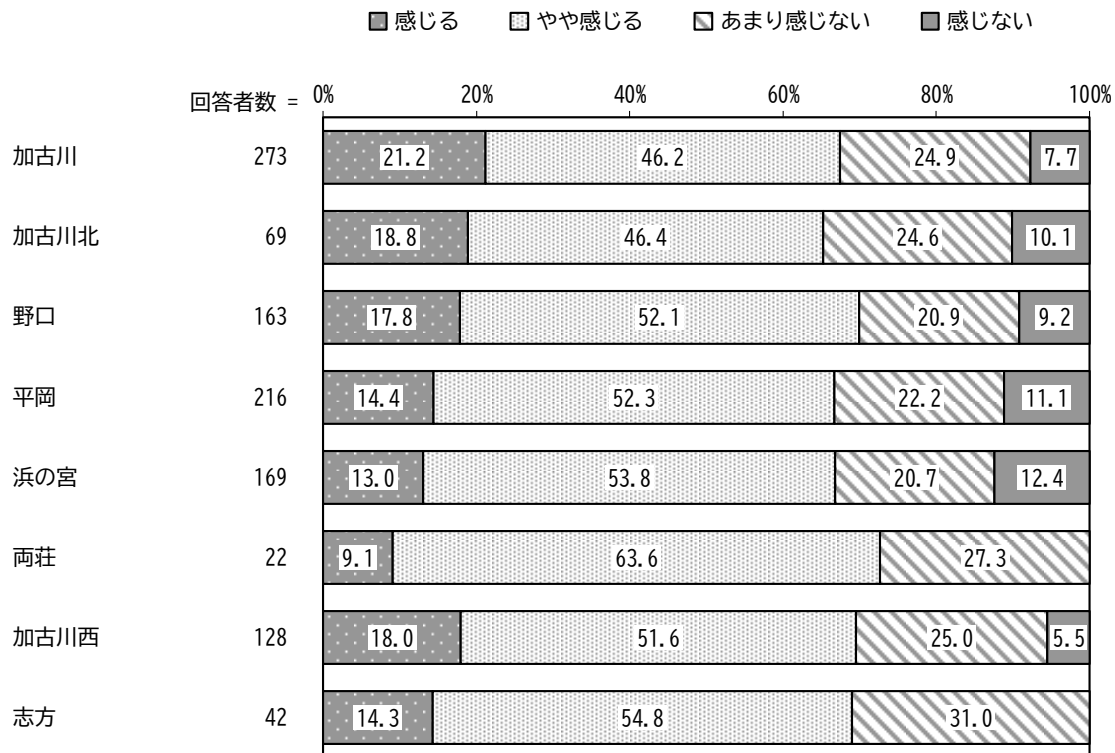
【性・年代別】

性・年代別にみると、男性18・19歳で“感じる”、女性40～49歳で“感じない”の割合が高くなっています。



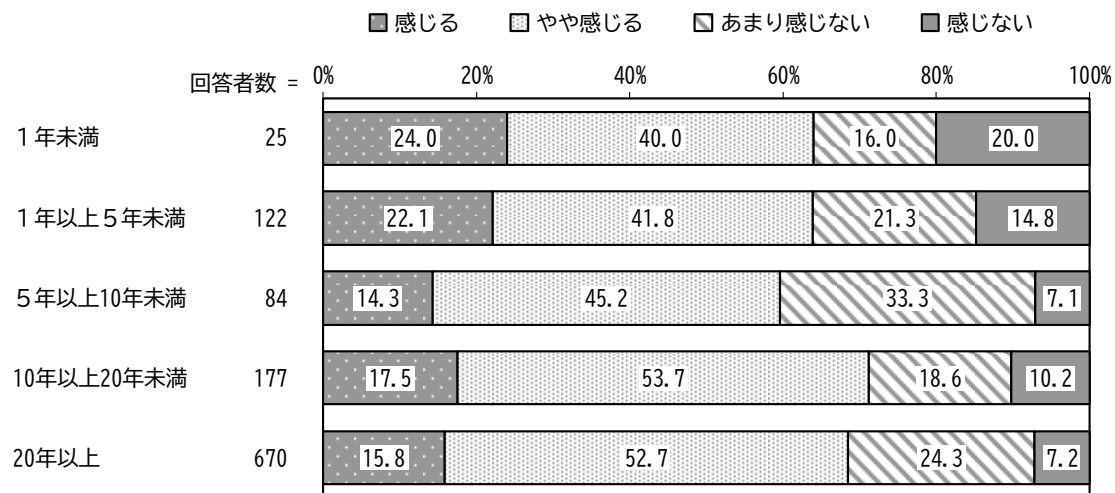
【居住地区別】

居住地区別にみると、両荘で“感じない”の割合が低くなっています。



【居住年数別】

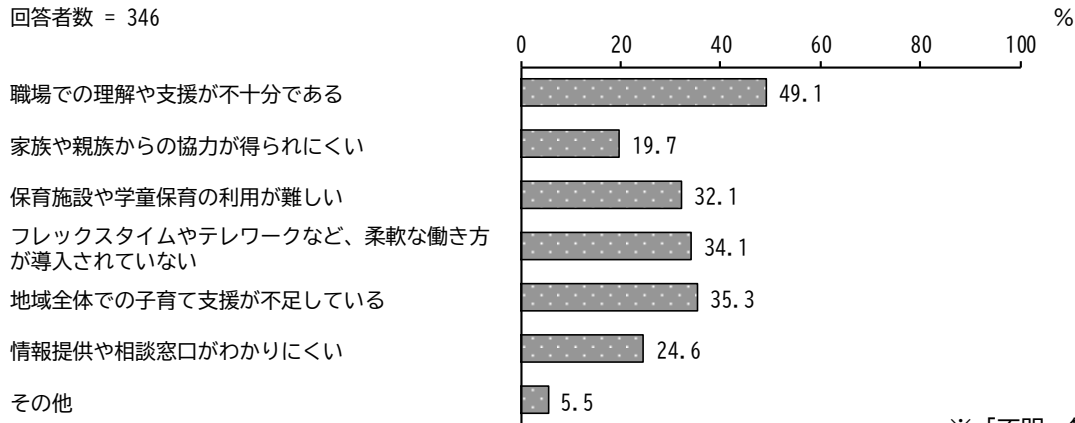
居住年数別にみると、5年以上10年未満で“感じない”の割合が高くなっています。



問8-① 問8で「あまり感じない」または「感じない」を選ばれた方におたずねします。その理由をお聞かせください。

「職場での理解や支援が不十分である」の割合が49.1%と最も高く、次いで「地域全体での子育て支援が不足している」の割合が35.3%、「フレックスタイムやテレワークなど、柔軟な働き方が導入されていない」の割合が34.1%となっています。

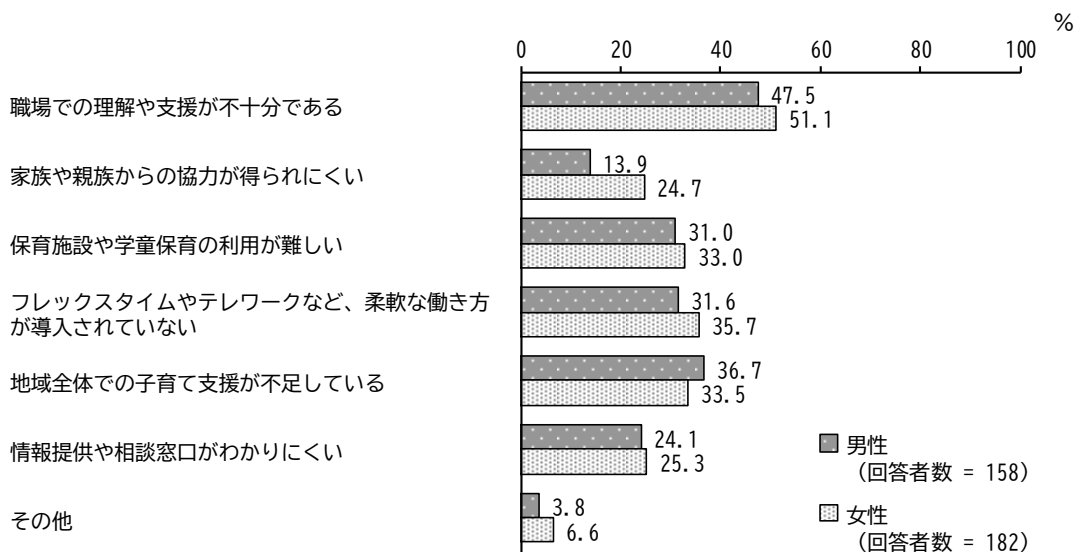
回答者数 = 346



※「不明・無回答」を除く

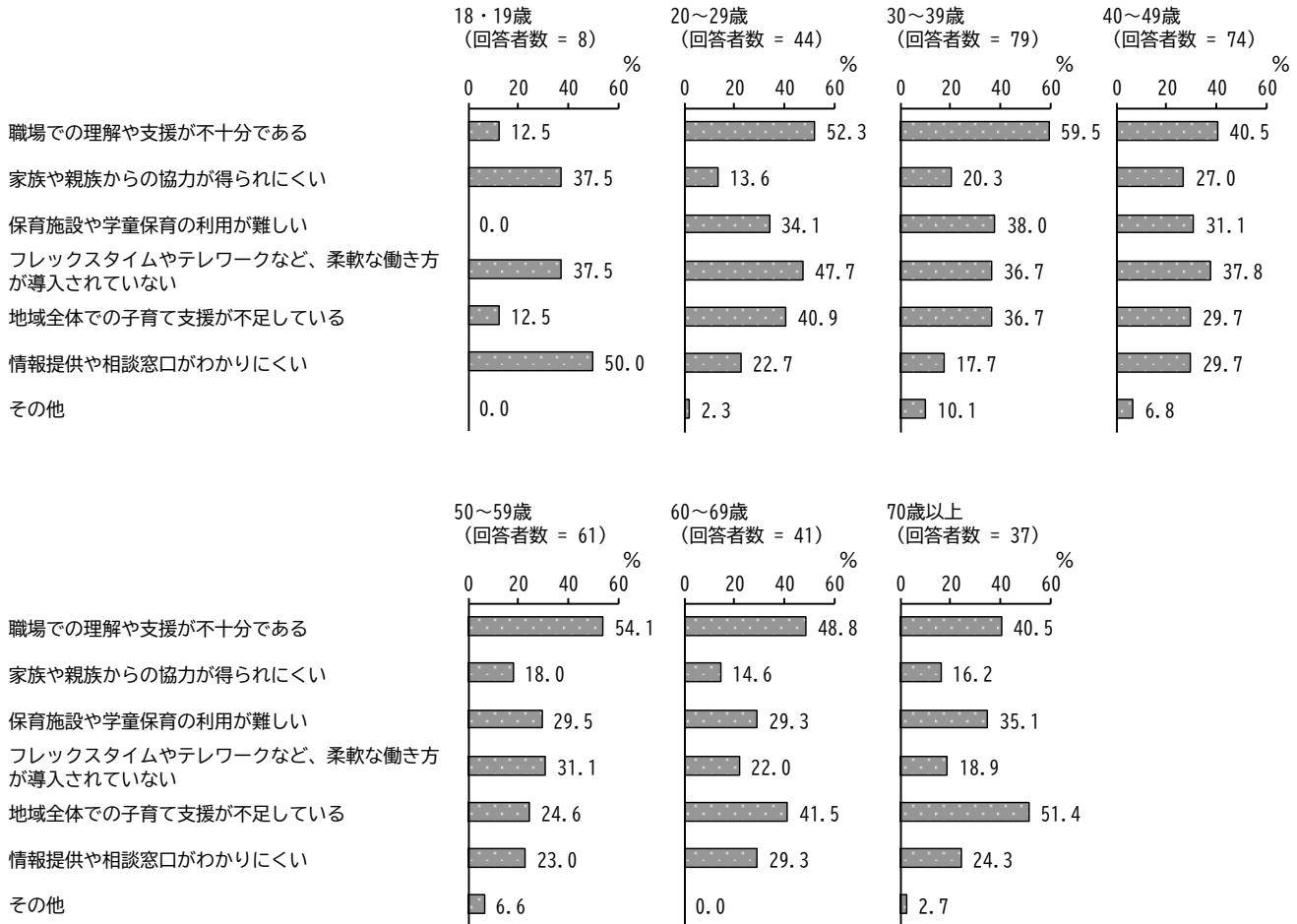
【性別】

性別にみると、男性と比較して、女性の「家族や親族からの協力が得られにくい」の割合が高くなっています。



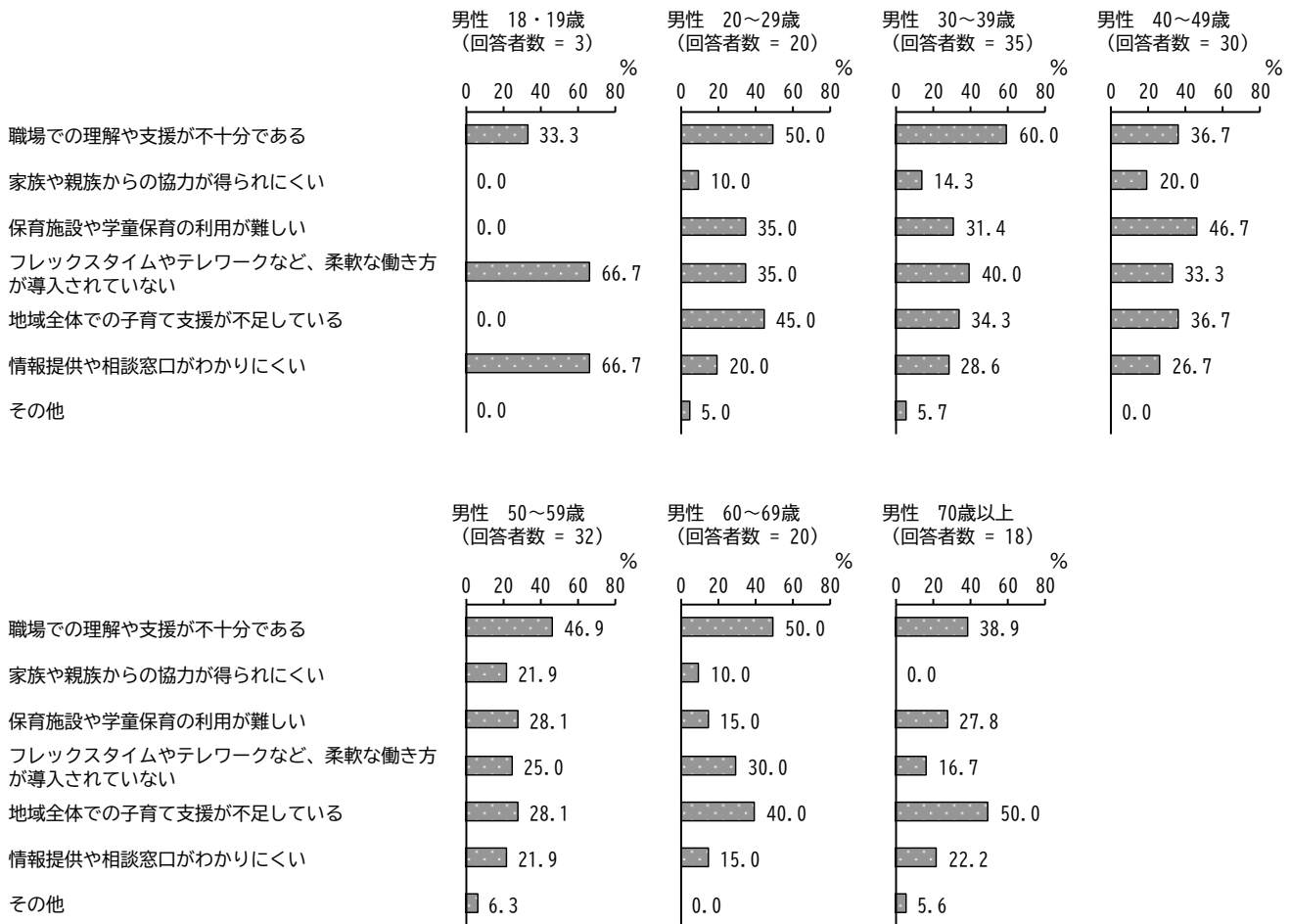
【年代別】

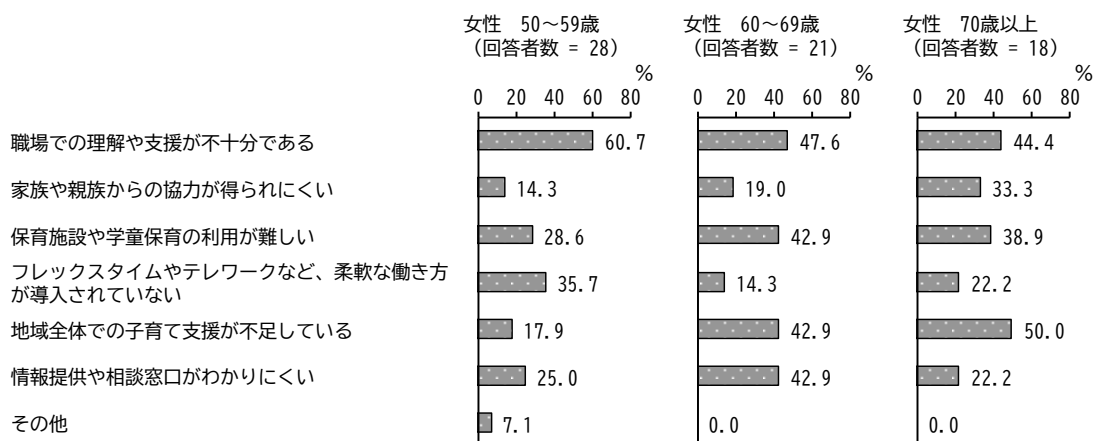
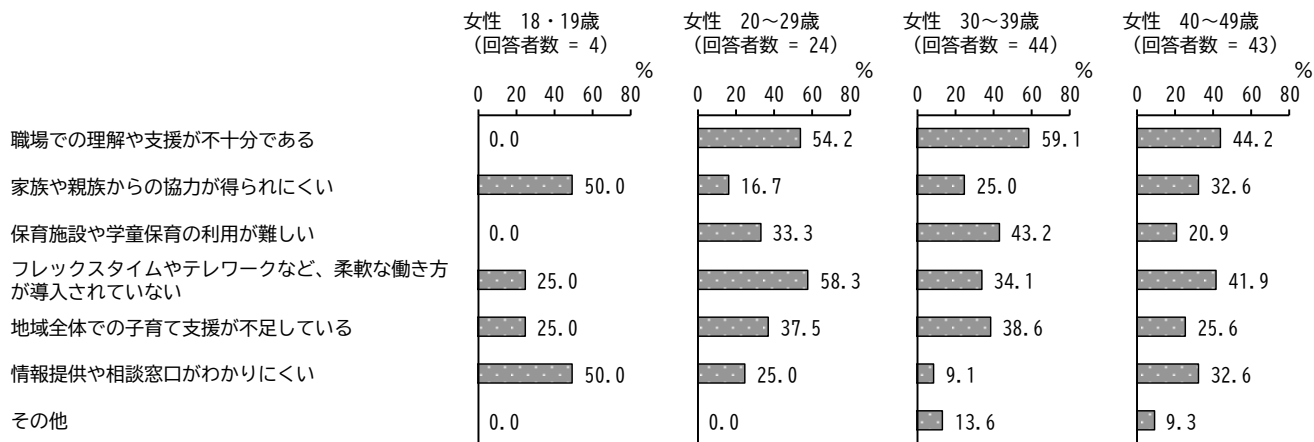
年代別にみると、70歳以上から20～29歳まで年代が下がるほど「フレックスタイムやテレワークなど、柔軟な働き方が導入されていない」の割合が高い傾向にあり、60～69歳から30～39歳まで年代が下がるほど「保育施設や学童保育の利用が難しい」の割合が高くなっています。また、30～39歳で「職場での理解や支援が不十分である」、70歳以上で「地域全体での子育て支援が不足している」の割合が高くなっています。



【性・年代別】

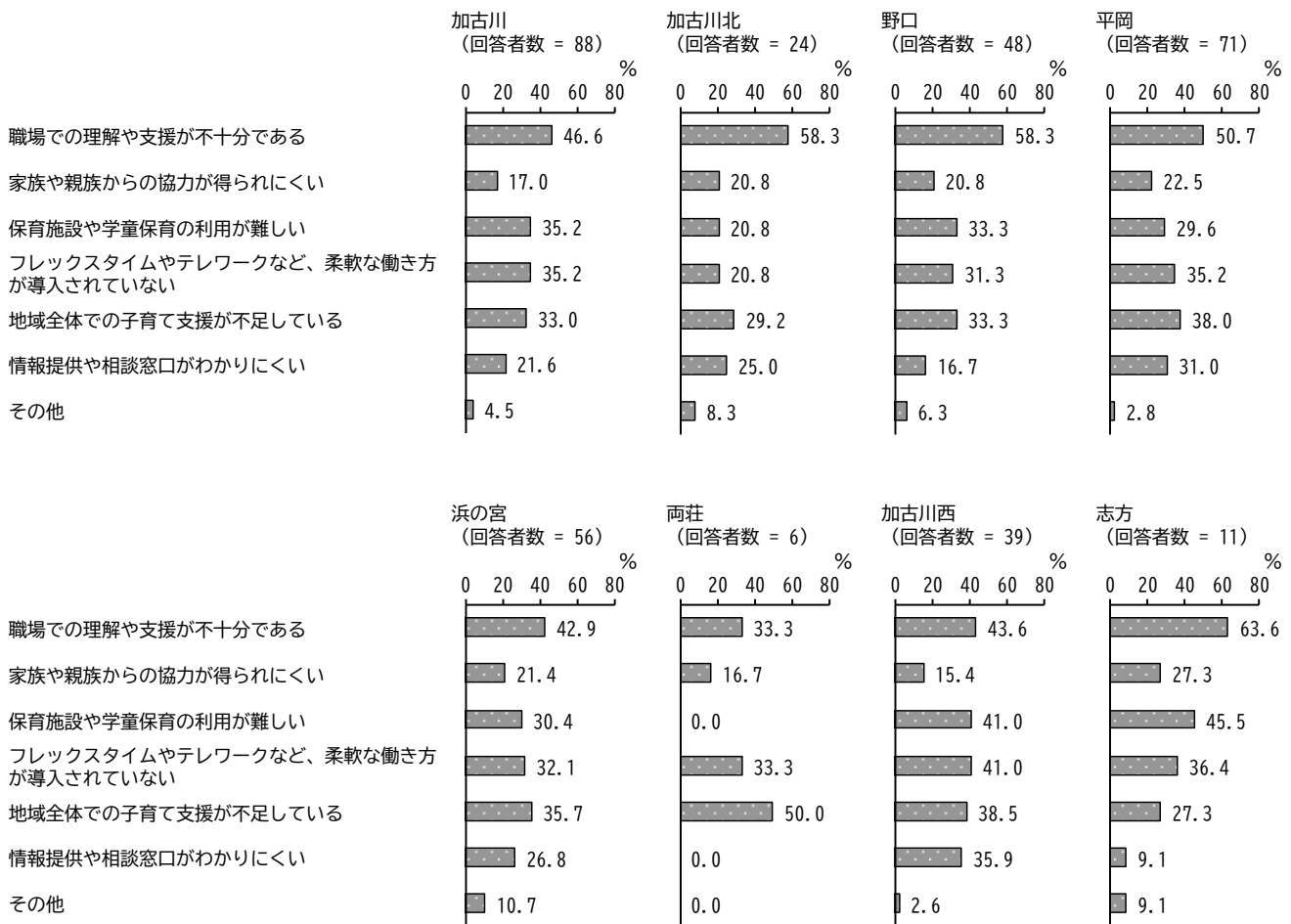
性・年代別にみると、男性 30～39 歳、女性 30～39 歳、女性 50～59 歳で「職場での理解や支援が不十分である」、女性 40～49 歳、女性 70 歳以上で「家族や親族からの協力が得られにくい」、男性 40～49 歳で「保育施設や学童保育の利用が難しい」、女性 20～29 歳で「フレックスタイムやテレワークなど、柔軟な働き方が導入されていない」、男性 70 歳以上、女性 70 歳以上で「地域全体での子育て支援が不足している」、女性 60～69 歳で「情報提供や相談窓口がわかりにくい」の割合が高くなっています。





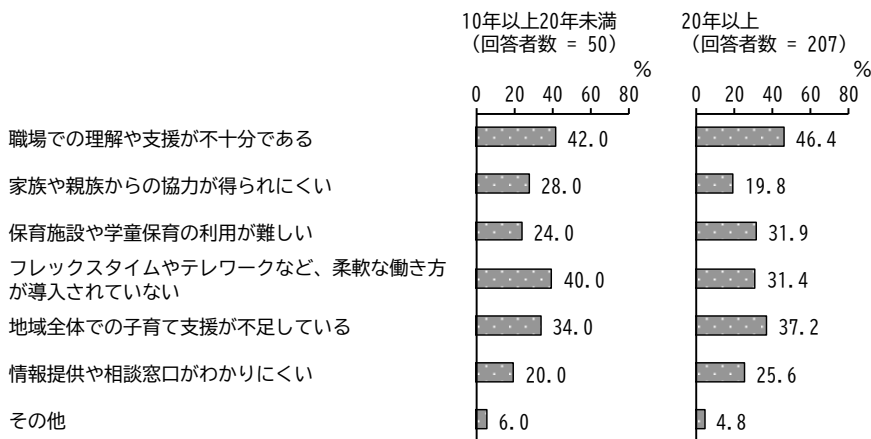
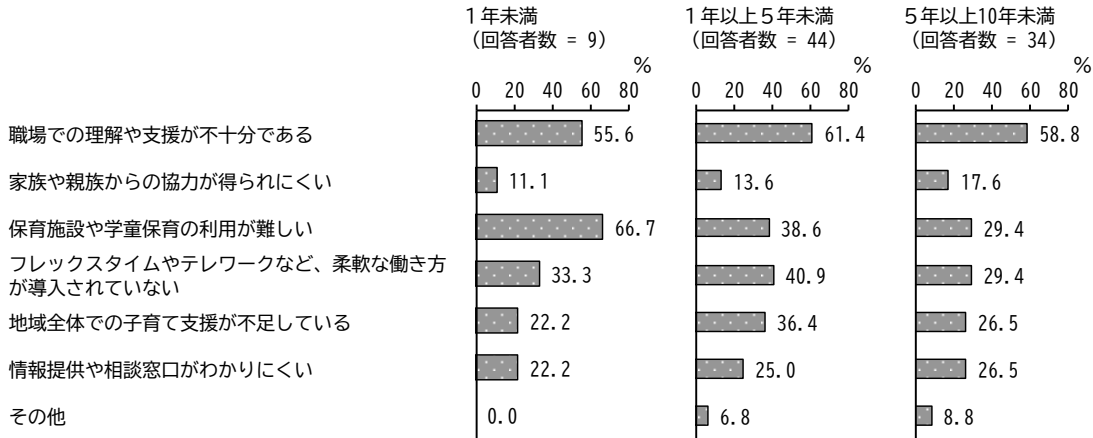
【居住地区別】

居住地区別にみると、志方で「職場での理解や支援が不十分である」「保育施設や学童保育の利用が難しい」、加古川西で「情報提供や相談窓口がわかりにくい」の割合が高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、1年未満から10年以上20年未満まで居住年数が高いほど「家族や親族からの協力が得られにくい」の割合が高く、「保育施設や学童保育の利用が難しい」の割合が低く、5年以上10年未満から20年以上まで居住年数が高いほど「地域全体での子育て支援が不足している」の割合が高くなっています。また、1年以上5年未満で「職場での理解や支援が不十分である」の割合が高くなっています。

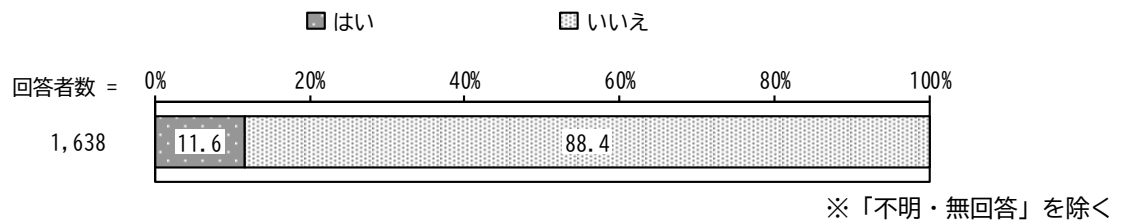


6 協働のまちづくりについて

(1) 市民活動の参加状況

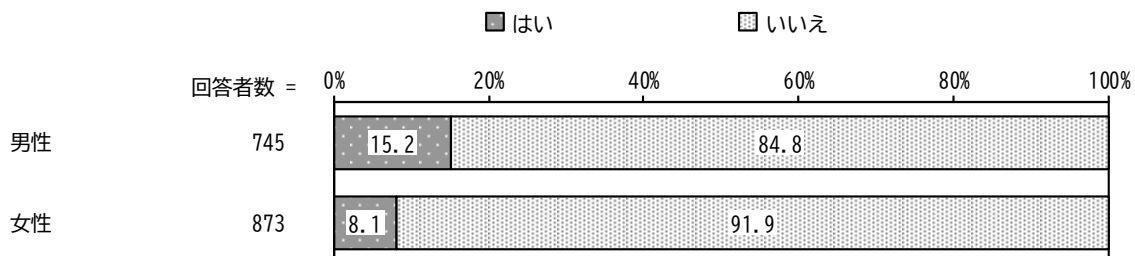
問9 あなたは、市民活動に参加していますか。(○は1つ)

「はい」の割合が11.6%、「いいえ」の割合が88.4%となっています。



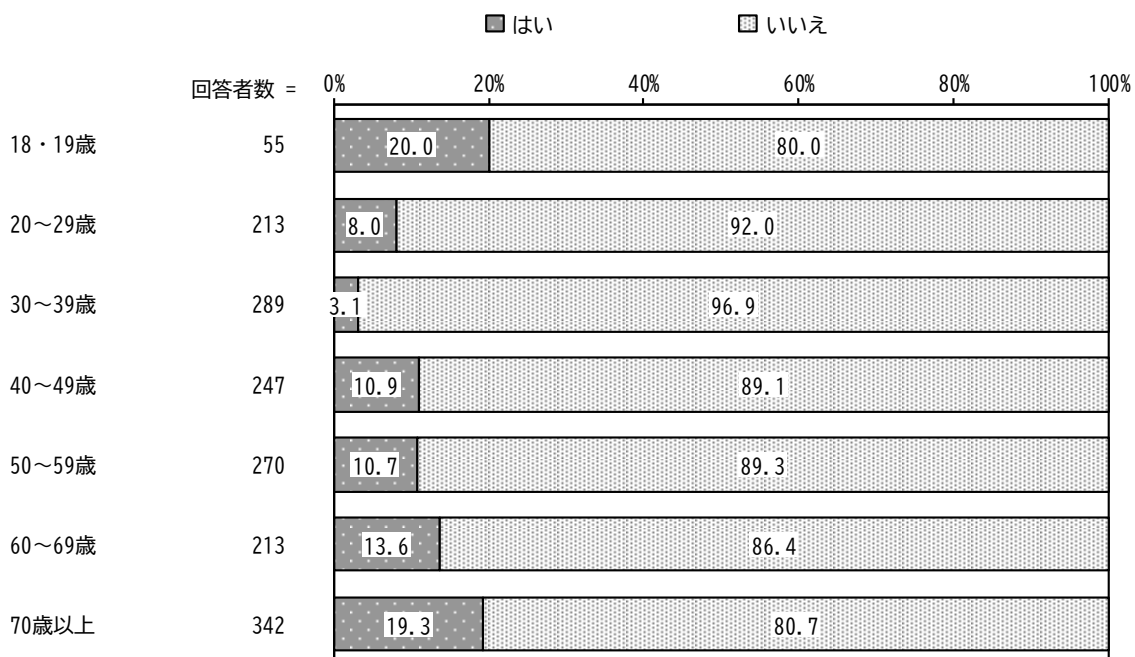
【性別】

性別にみると、女性と比較して、男性の「はい」の割合が高くなっています。



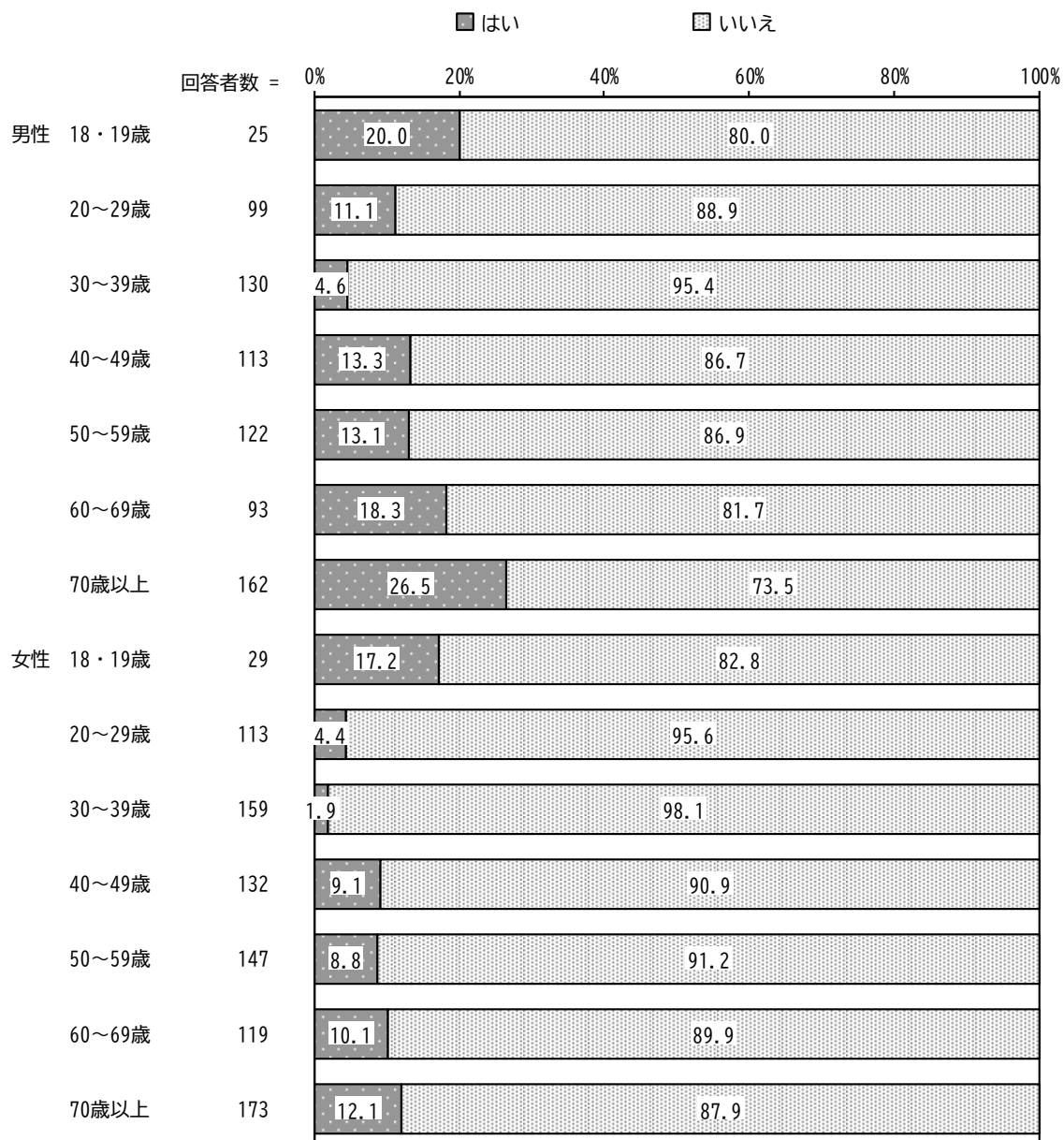
【年代別】

年代別にみると、30～39歳から70歳以上にかけて、年代が上がるほど「はい」の割合が高い傾向にあります。



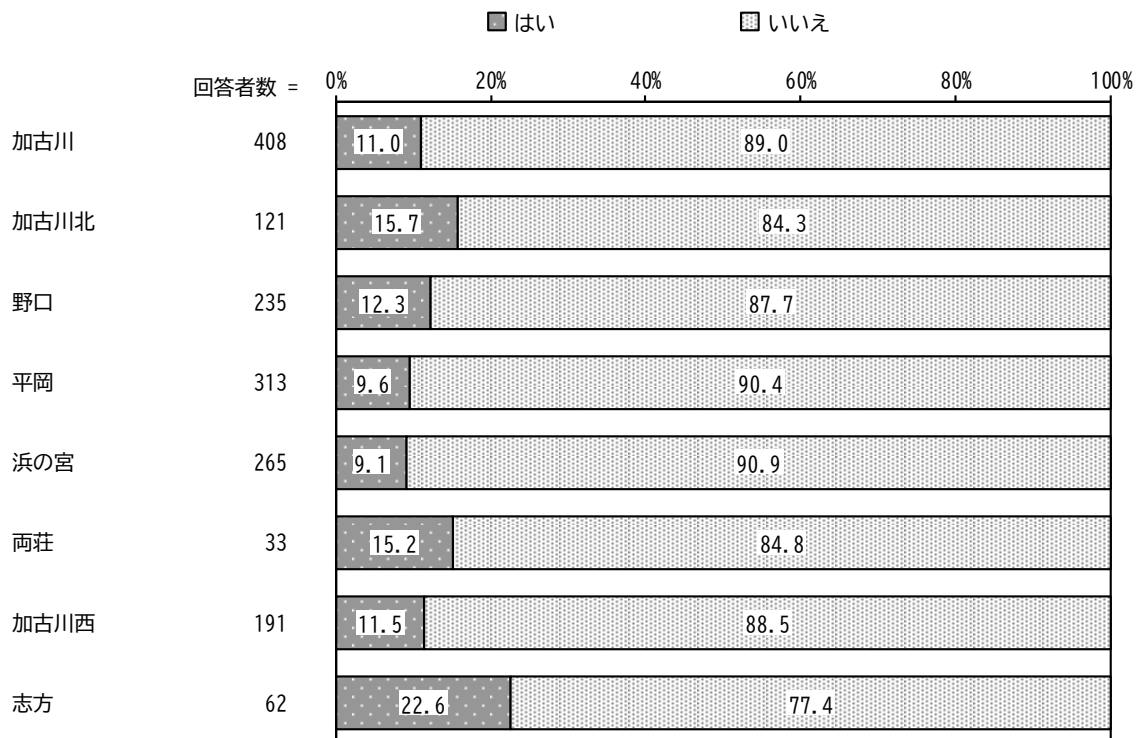
【性・年代別】

性・年代別にみると、男性 70 歳以上で「はい」の割合が高くなっています。



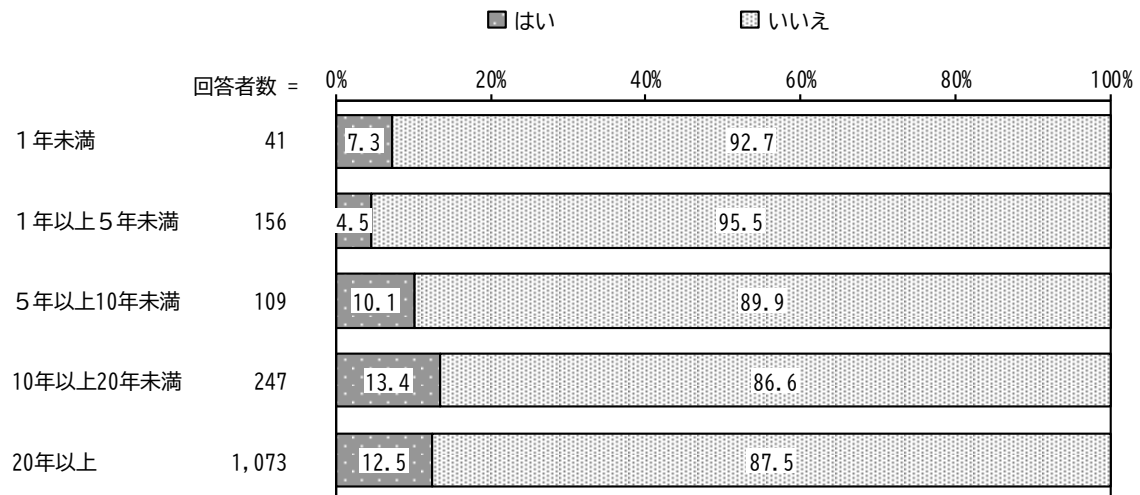
【居住地区別】

居住地区別にみると、志方で「はい」の割合が高くなっています。



【居住年数別】

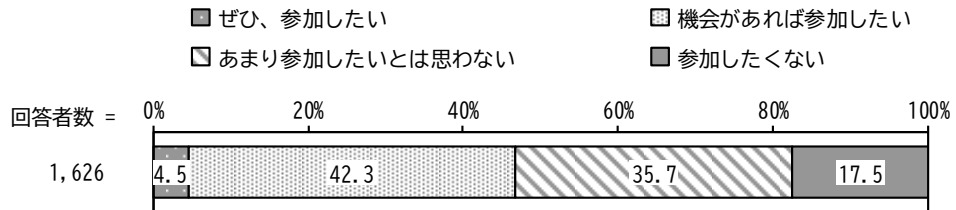
居住年数別にみると、1年以上5年未満で「いいえ」の割合が高くなっています。



(2) 市民活動への参加意向

問10 あなたは、問9のような活動に参加したいと思いますか。現在、何らかの活動に参加されている方は、引き続き活動に参加したいと思いますか。(〇は1つ)

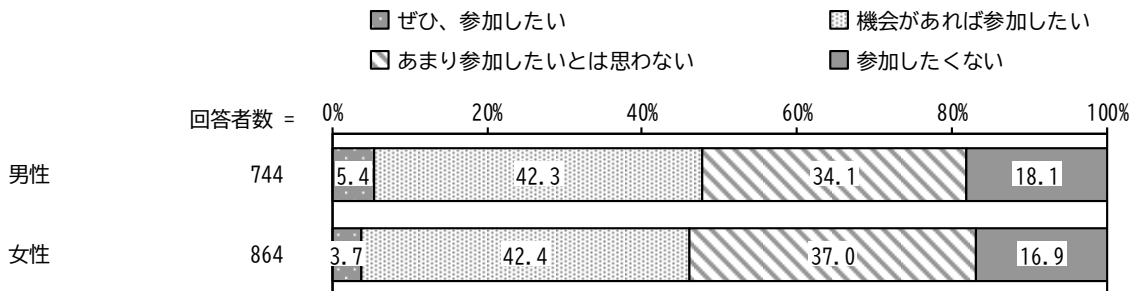
「ぜひ、参加したい」「機会があれば参加したい」を合わせた“参加したい”の割合が46.8%、「あまり参加したいとは思わない」「参加したくない」を合わせた“参加したくない”の割合が53.2%となっています。



※「不明・無回答」を除く

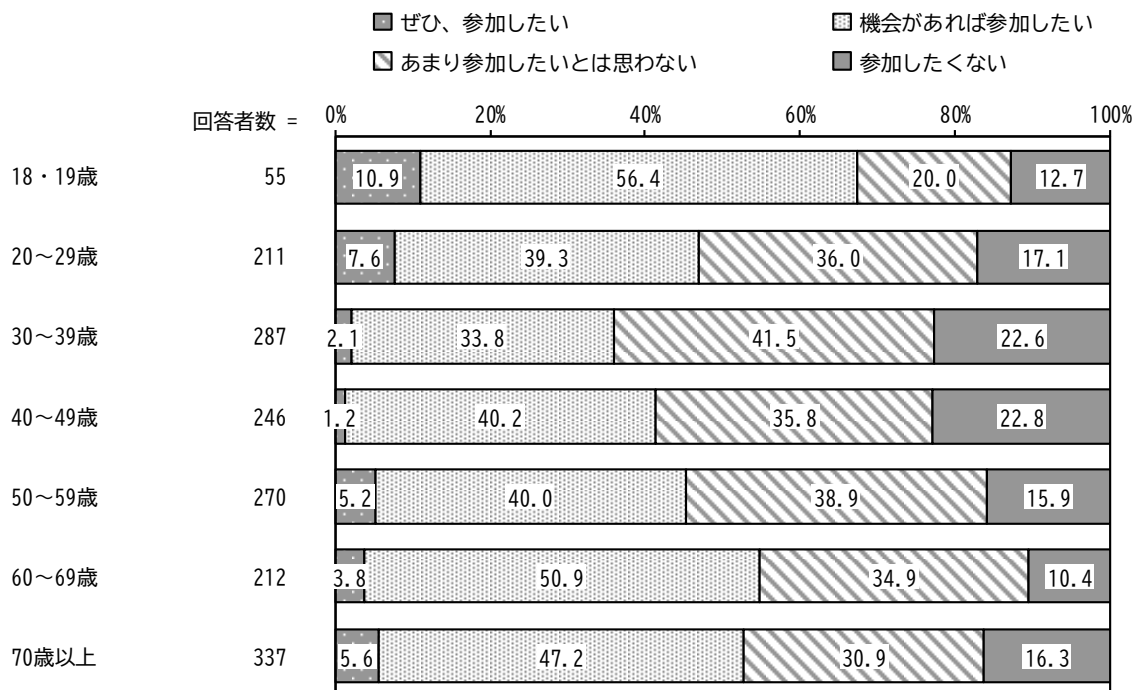
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



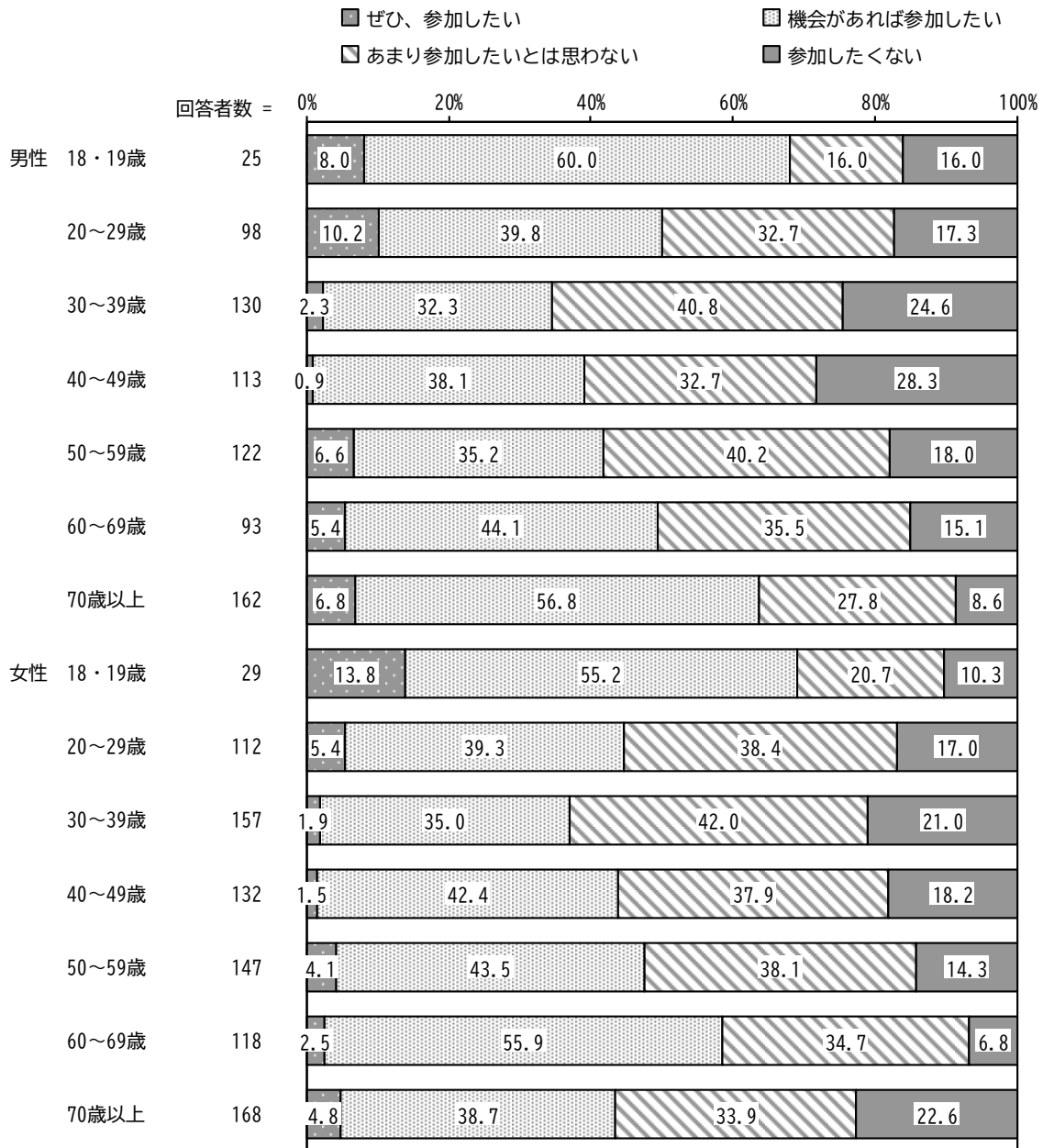
【年代別】

年代別にみると、18・19歳で“参加したい”、30～39歳で“参加したくない”の割合が高くなっています。



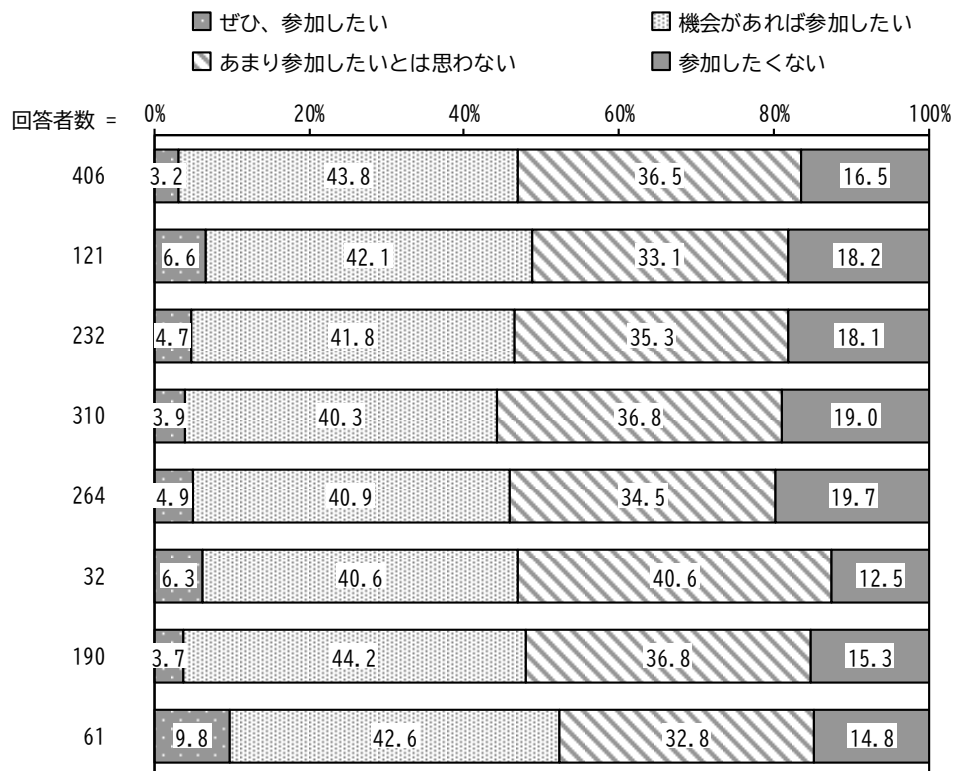
【性・年代別】

性・年代別にみると、男性18・19歳、女性18・19歳で“参加したい”、男性30～39歳で“参加したくない”の割合が高くなっています。



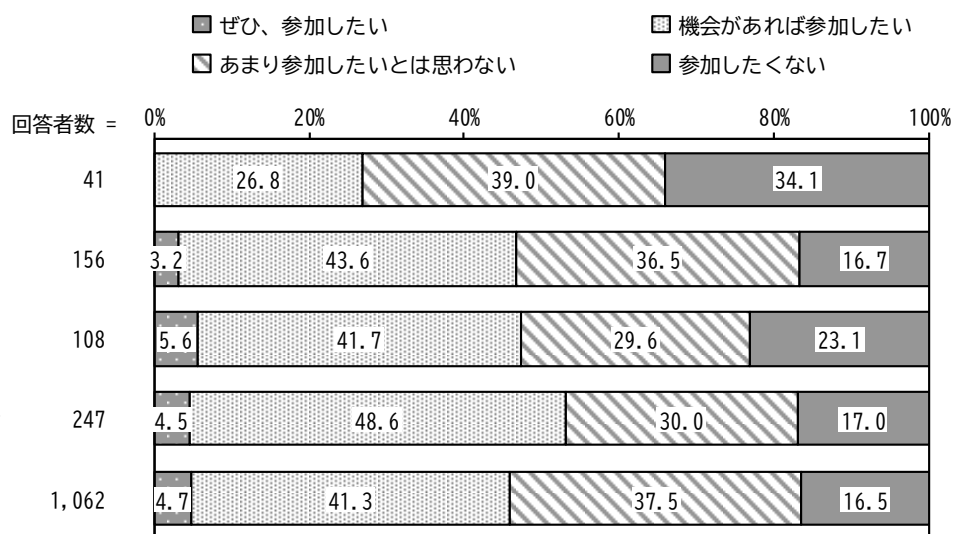
【居住地区別】

居住地区別にみると、志方で“参加したい”の割合が高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、1年未満から10年以上20年未満まで居住年数が高いほど“参加したい”の割合が高くなっています。また、1年未満で「参加したくない」の割合が高く、「機会があれば参加したい」の割合が低くなっています。

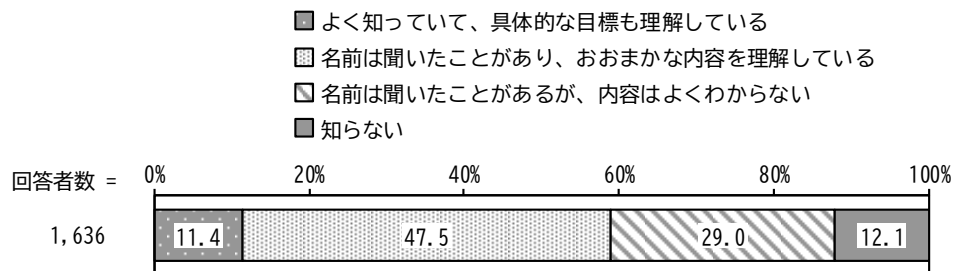


7 SDGs（エス・ディー・ジーズ）の取組について

（1）SDGsの認知度

問11 持続可能な社会を目指す国際的な目標（SDGs）について、あなたはどの程度知っていますか。（○は1つ）

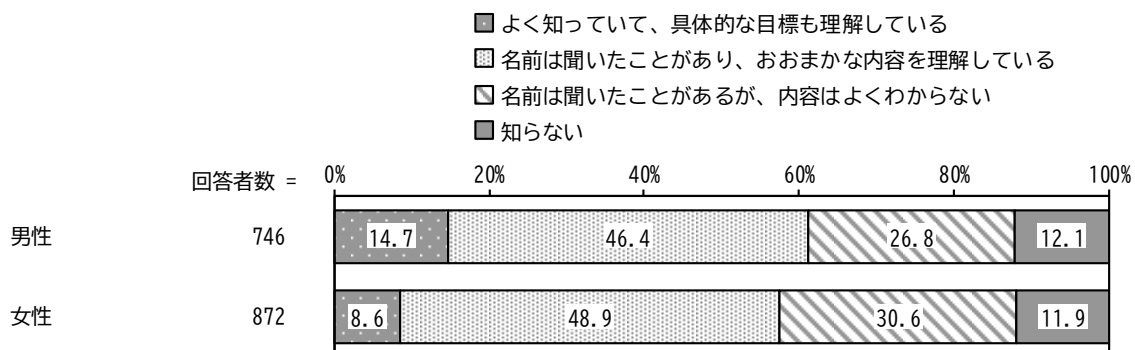
「名前は聞いたことがあり、おおまかな内容を理解している」の割合が47.5%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがあるが、内容はよくわからない」の割合が29.0%、「知らない」の割合が12.1%となっています。



※「不明・無回答」を除く

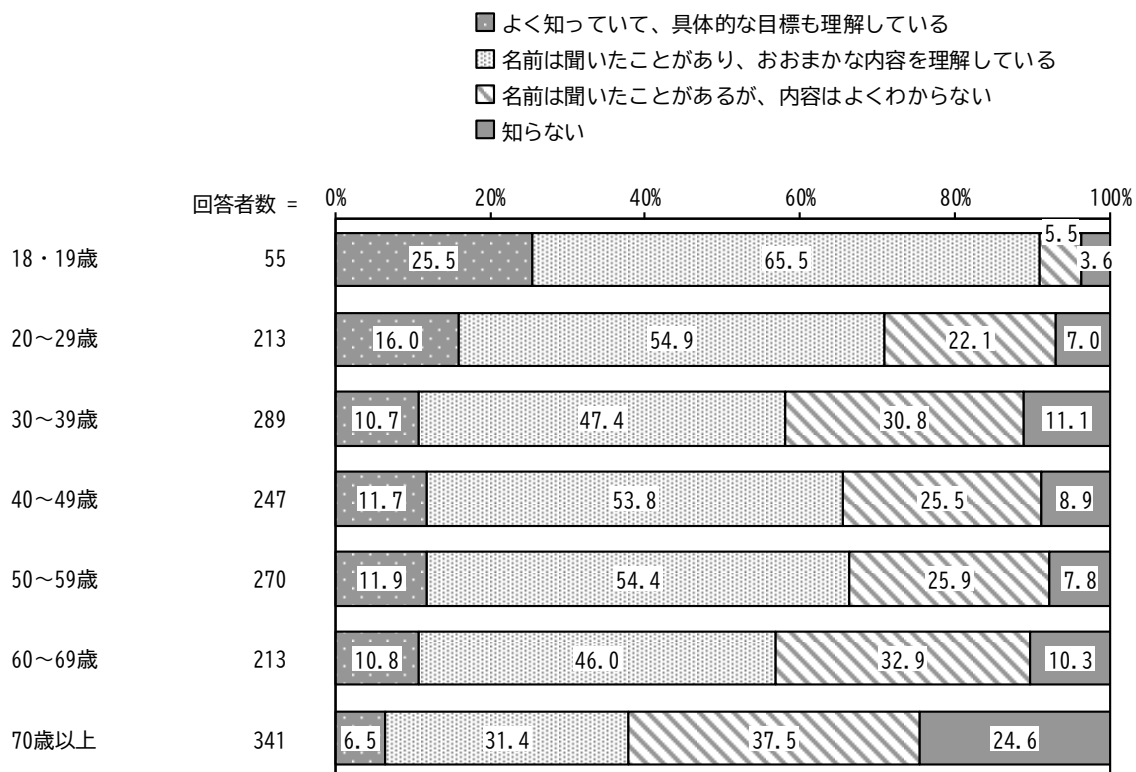
【性別】

性別にみると、女性と比較して、男性の「よく知っていて、具体的な目標も理解している」の割合が高くなっています。



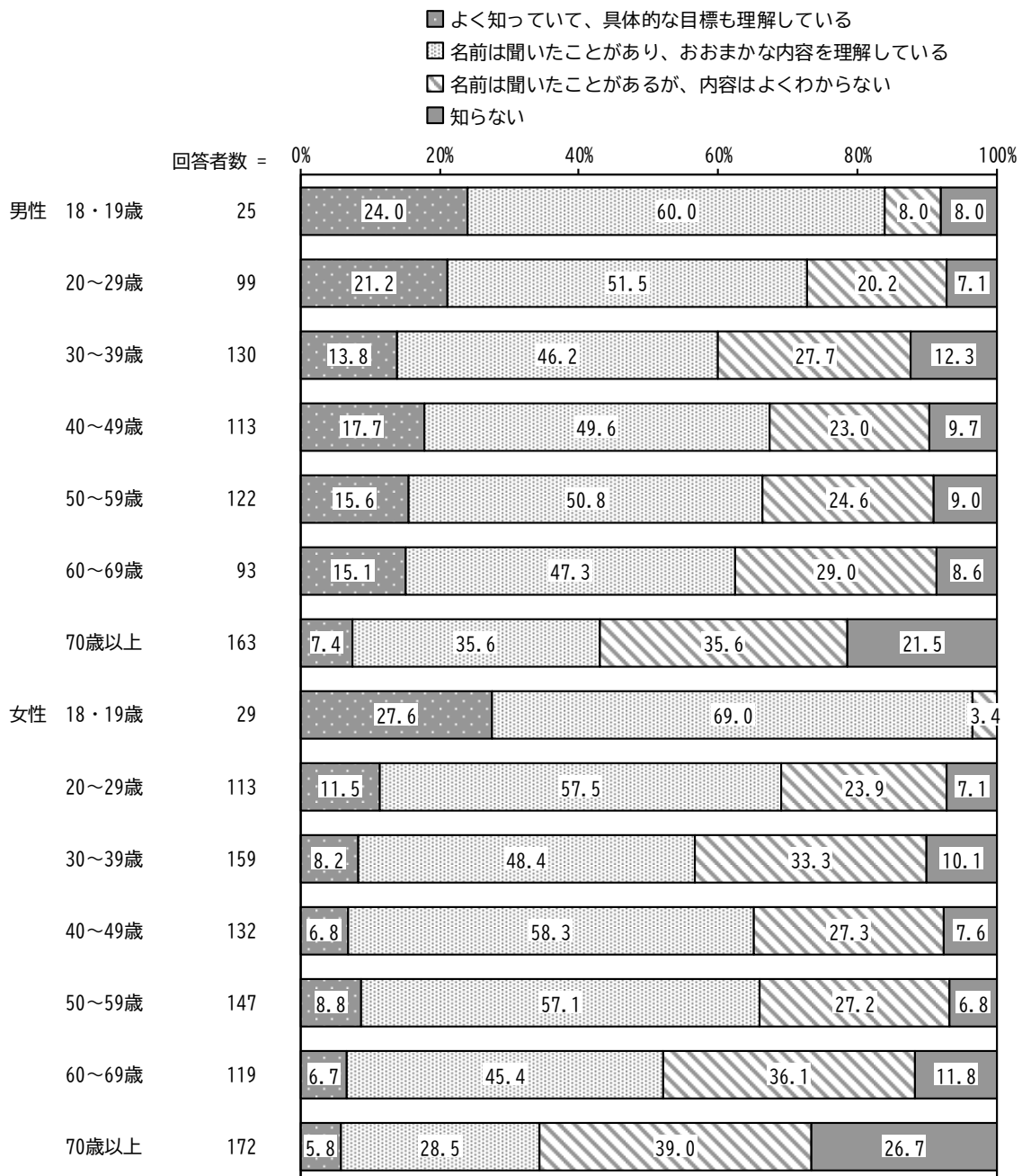
【年代別】

年代別にみると、18・19歳で「よく知っていて、具体的な目標も理解している」「名前は聞いたことがあり、おおまかな内容を理解している」、70歳以上で「知らない」の割合が高くなっています。



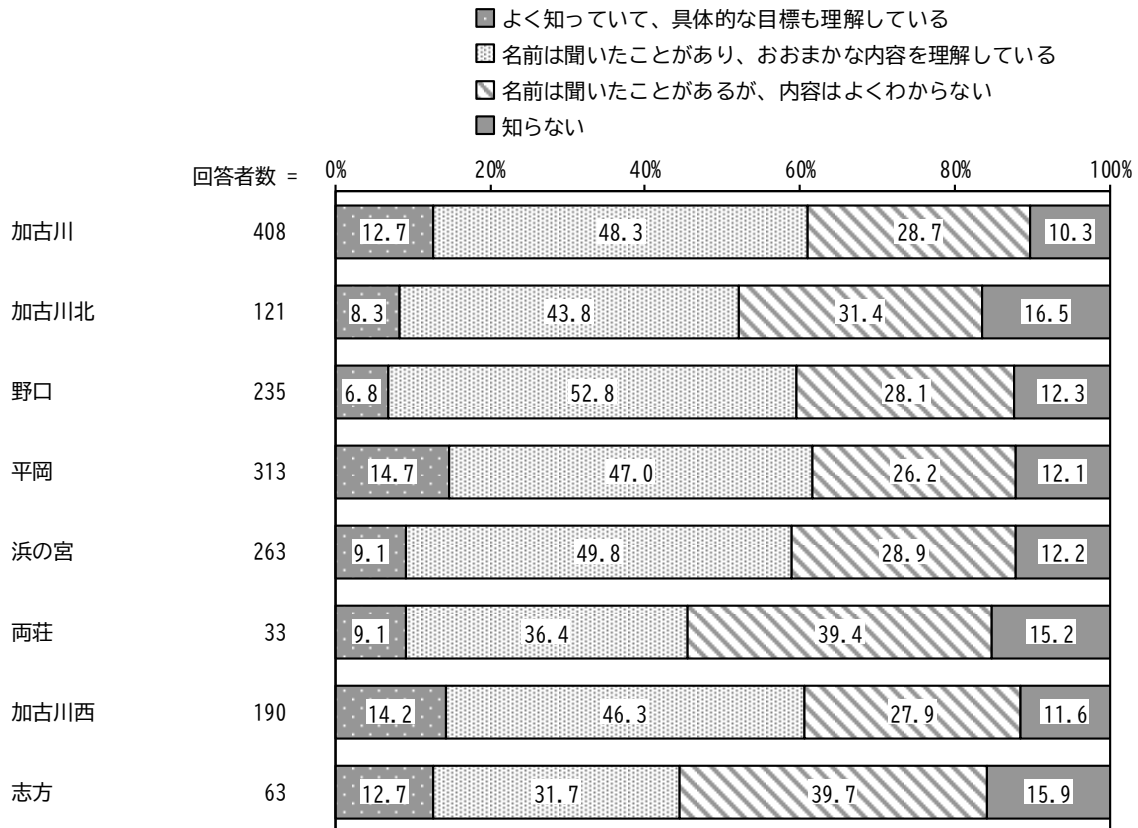
【性・年代別】

性・年代別にみると、女性 18・19 歳で「よく知っていて、具体的な目標も理解している」「名前は聞いたことがあり、おおまかな内容を理解している」、女性 70 歳以上で「名前は聞いたことがあるが、内容はよくわからない」「知らない」の割合が高くなっています。



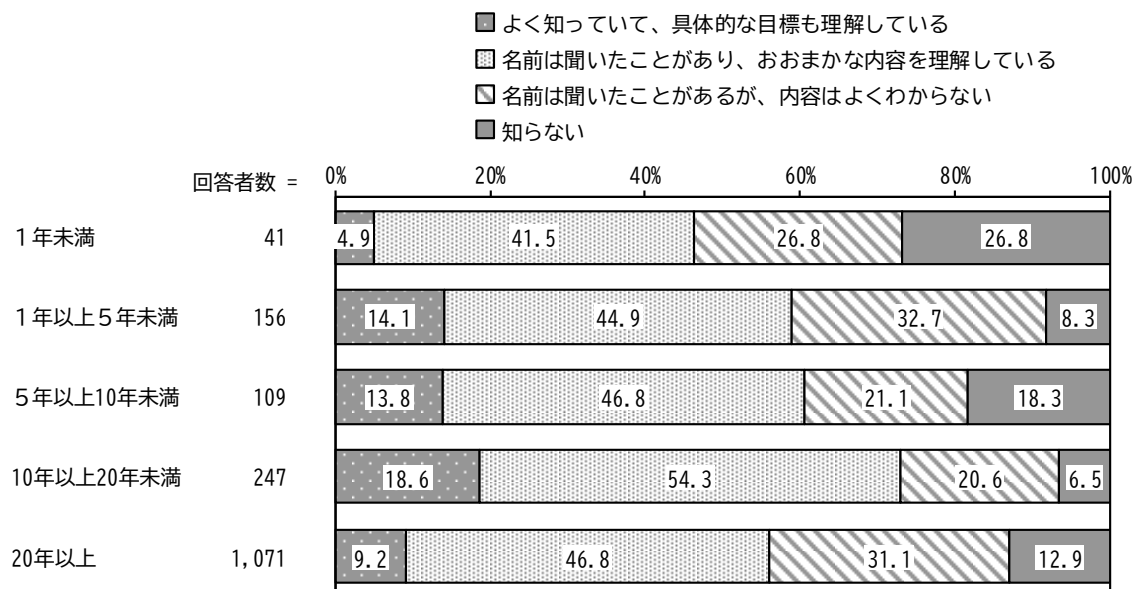
【居住地区別】

居住地区別にみると、両荘、志方で「名前は聞いたことがあるが、内容はよくわからない」の割合が高く、志方で「名前は聞いたことがあり、おおまかな内容を理解している」の割合が低くなっています。



【居住年数別】

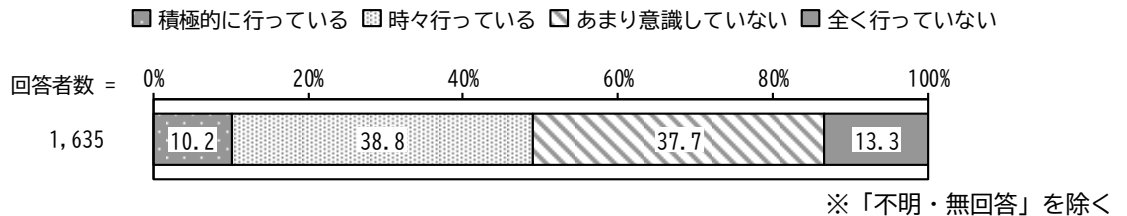
居住年数別にみると、1年未満から10年以上20年未満まで居住年数が高いほど「よく知っていて、具体的な目標も理解している」「名前は聞いたことがあり、おおまかな内容を理解している」の割合が高い傾向にあります。また、1年未満で「知らない」の割合が高くなっています。



(2) SDGsを意識した行動を行っているか

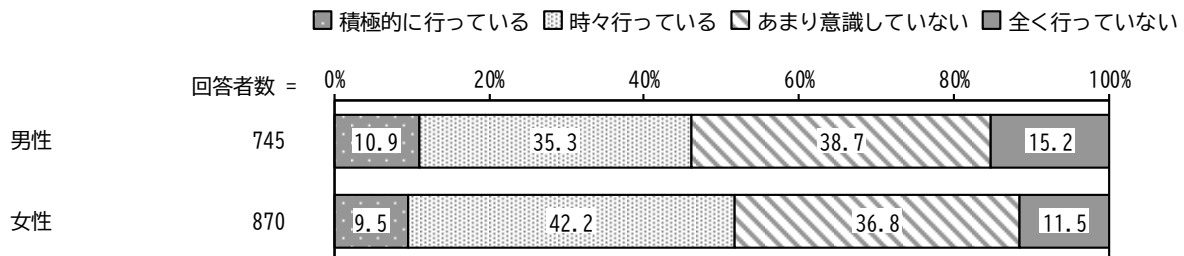
問12 あなたは、日常生活や仕事の中でSDGsを意識した行動を行っていますか。(〇は1つ)

「積極的に行っている」「時々行っている」を合わせた“行っている”の割合が49.0%、「あまり意識していない」「全く行っていない」を合わせた“行っていない”の割合が51.0%となっています。



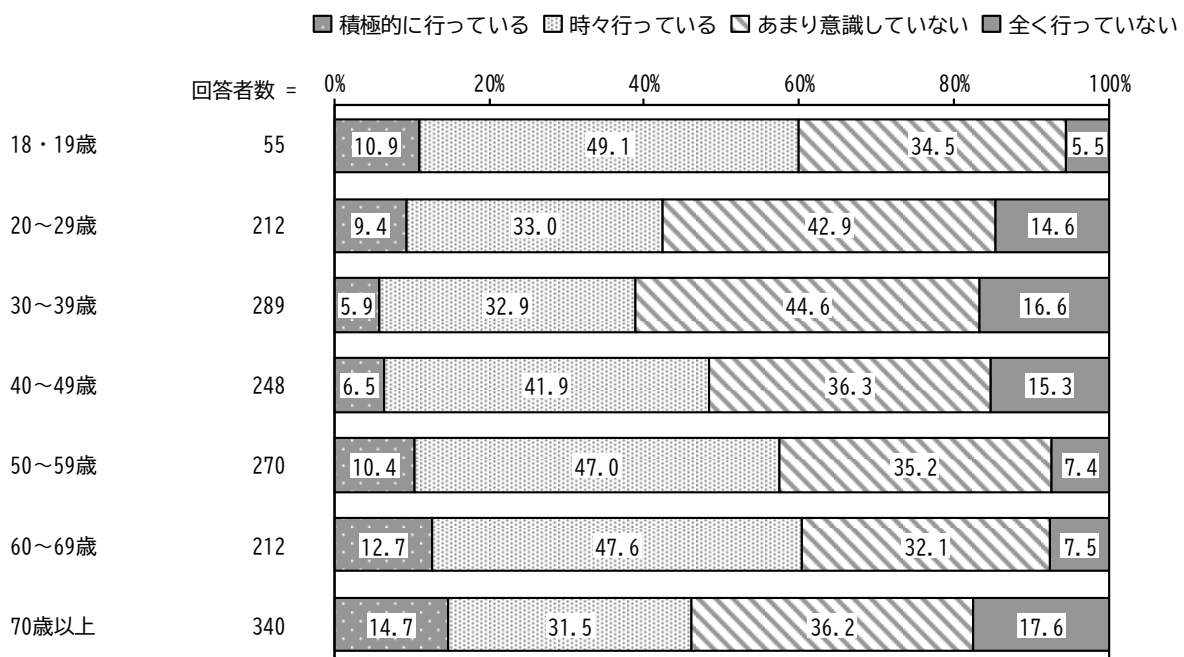
【性別】

性別にみると、女性と比較して、男性の“行っていない”の割合が高くなっています。



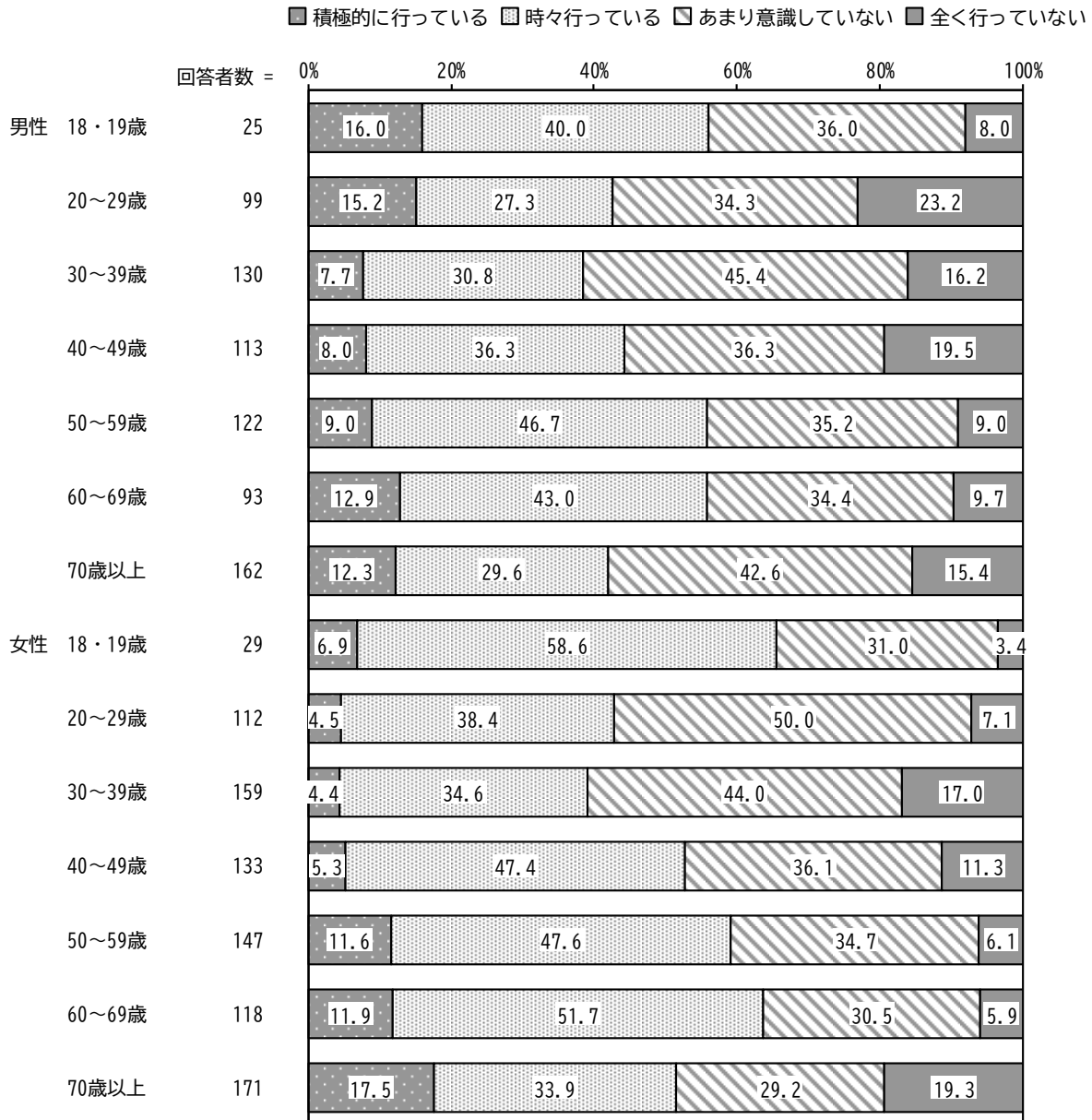
【年代別】

年代別にみると、18・19歳で“行っている”の割合が高く、30～39歳で“行っていない”の割合が高くなっています。



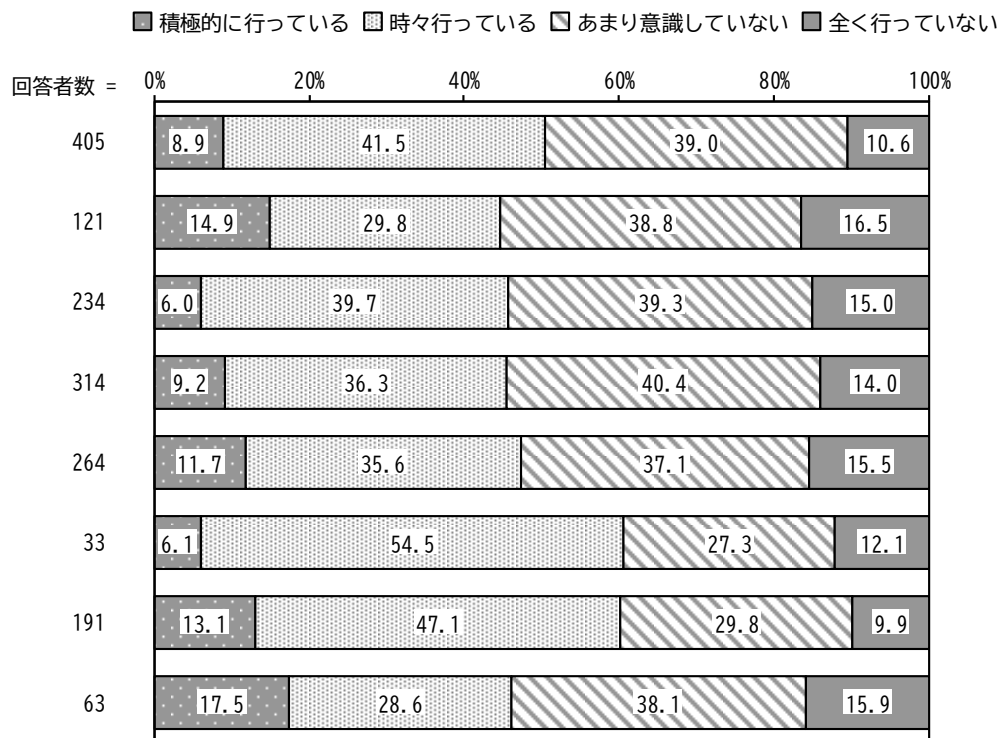
【性・年代別】

性・年代別にみると、女性 18・19 歳、女性 60～69 歳で“行っている”、男性 30～39 歳、女性 30～39 歳で“行っていない”の割合が高くなっています。



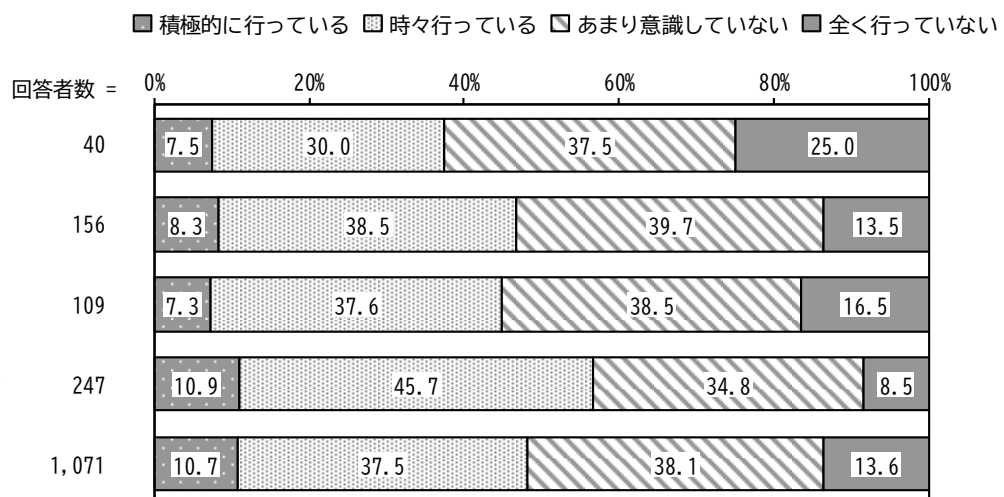
【居住地区別】

居住地区別にみると、両荘、加古川西で“行っている”の割合が高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、1年未満から10年以上20年未満まで居住年数が高いほど“行っている”の割合が高い傾向にあります。また、1年未満で「全く行っていない」の割合が高くなっています。

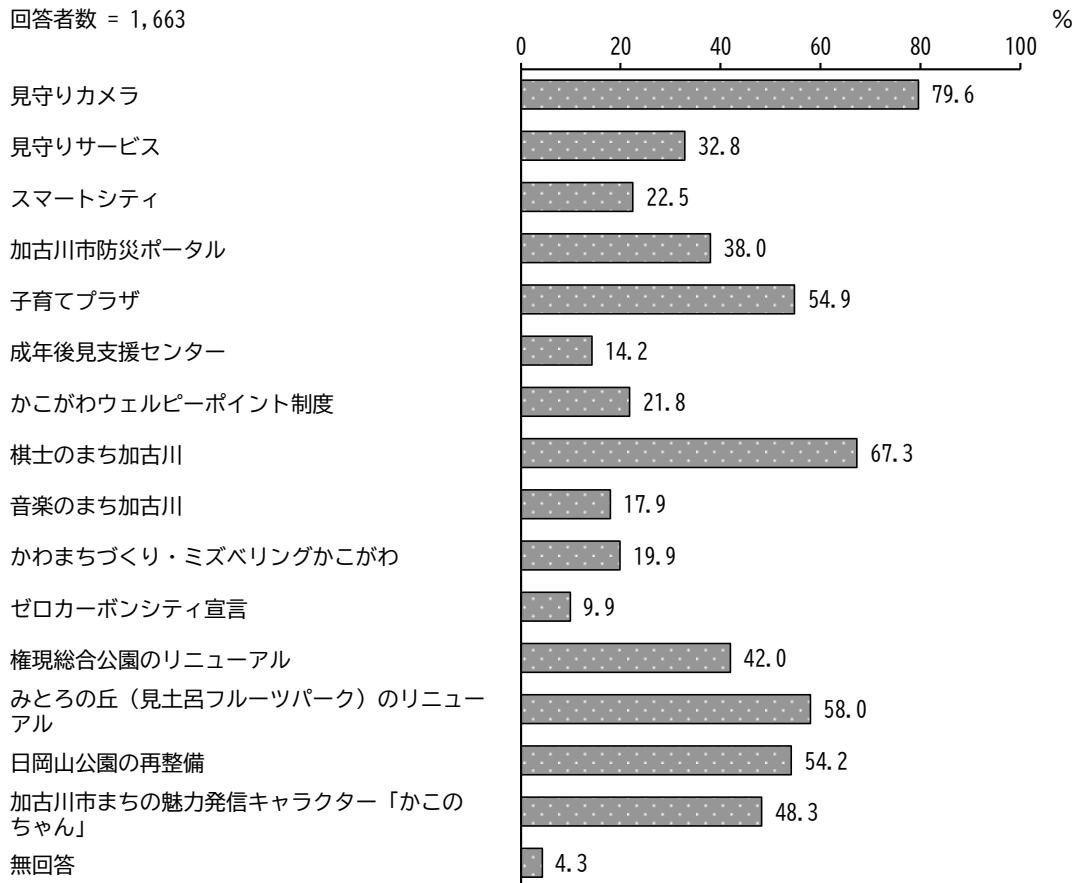


8 市政などに関する情報の認知状況

問13 以下に記載した項目について、知っているものをすべて選んで番号に○をつけてください。

「見守りカメラ」の割合が79.6%と最も高く、次いで「棋士のまち加古川」の割合が67.3%、「みとろの丘（見土呂フルーツパーク）のリニューアル」の割合が58.0%となっています。

回答者数 = 1,663



9 その他

(1) 自由回答

(1) 子どもの健やかな成長を支援する (83 件)

- 不妊治療の助成金はすごく助かっているが、できれば年齢制限を引き上げてほしいです。
- 基本的には子育てしやすいまちでありがたいが、第2子の保育料が無料になればうれしいです。
- 子どもの給食について、無償化になったとしても質を落とさないようにしてほしい。
- 公園が近所に少なく、ボール遊びができる場所も限られているため、のびのび遊べる場所が増えたらうれしいです。
- 子育てプラザは良い施設だと思うが、小学生が利用できないため、年齢差のある兄妹では使いにくく、児童館などを増やしてくれるとうれしい。
- 保育園に預けることができれば働けるが、入園できないため就労できない状況になっており、このような仕組みの見直しをしてほしい。
- 親族が近くにいない世帯でも利用しやすいよう、保育園や幼稚園に入りやすい制度にしてほしい。
- 子どもの療育施設が遠いため、身近な場所に整備してほしい。
- 暗記力重視ではなく、考える力、人間力、コミュニケーション力等、教育内容の検討が必要だと思う。
- 夏場のこどもたちの熱中症対策について、体育館へのエアコンや屋外での部活動禁止等の検討が必要だと思います。

(2) 地域における教育・学習環境を整備する (2 件)

- 図書館の本を公民館でも返却できるようにしてほしい。
- 義務教育後の世代に対しても、資格取得など将来につながる学びへの支援をしてほしいです。

(3) スポーツや文化・芸術を振興する (21 件)

- 河川敷のテニスコートについて、ネットの不備やボールが外に出ってしまうなど、設備面の改善をしてほしい。
- 市民会館などを活用し、気軽に音楽や舞台芸術を鑑賞できる機会を増やしてほしい。
- 「棋士のまち」などの特色をもっと発信してほしいです。
- 加古川出身のスポーツ選手を招いたイベントなどを実施してほしいです。
- オペラや音楽会などが開催できるような施設（ホール）を整備してほしい。

(4) 互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する (6 件)

- 外国人に対しては、違法行為には適切に対応するとともに、適法に生活している人が不当な差別を受けないようにしてほしい。
- 高齢者や障がいのある方、子どもなど、すべての人が安心して暮らせるまちにほしい。
- 地域の見守りや人のつながりの中で子育てができた経験から、そうした関係性を大切にしたまちづくりを続けてほしい。

(5) ともに支え合う福祉社会を実現する (49 件)

- 車を手放した後の移動手段に不安があり、バス路線の充実やタクシー券の導入など高齢者でも生活しやすい環境を整えてほしい。
- 子育て世代への支援が充実している一方で、高齢者や単身世帯への支援が不足していると感じています。
- 支援制度については一部の人だけではなく、必要な人に公平に行き渡るようにしてほしい。
- 障がいのある人やその家族への支援を充実してほしい（グループホームや入所施設の不足など）。
- スマートフォンなどを使えない高齢者への配慮や支援を行ってほしい。
- 地域とのつながりが薄れているため、行政による支援や見守り体制を強化してほしい。
- 障害の有無に関わらず、働きやすい環境や就労機会を広げてほしい。

(6) 健康づくりや地域医療を充実する (9 件)

- 歩きたばこ、ポイ捨て等、とにかくタバコに関して禁煙をすすめてほしい。
- 大きな病院の立地が偏っており、アクセスしにくい。
- コロナ禍のような状況も踏まえ、医療体制の充実を図ってほしい。
- 公共交通とあわせて、医療機関へのアクセスを改善してほしい。
- 高齢者でも利用しやすいよう、保険料の支払い方法（口座振替等）を充実してほしい。

(7) 市民生活の安全・安定を確保する (38 件)

- 見守りカメラがあっても、すぐ確認できないなど運用面に課題があるため改善してほしい。
- 街灯が少なく夜道が暗いため、不安を感じる場所が多いです。
- 横断歩道で止まらない車やスピードの出しすぎなど、交通ルールの徹底をしてほしい。
- 防犯カメラの設置だけでなく、そもそも治安の良いまちづくりを目指してほしい。
- 今のところ、何不自由もなく生活していますが災害等があるとすぐに立ち行かなくなるのでは、と思います。
- 通学路が狭い、暗い、危険な箇所が多く、子どもの安全確保に不安がある。

(8) 農業・水産業を振興する (3 件)

- 農地が放棄され、草木が生い茂っている場所が増えており、適切な管理をしてほしい。
- 農地や山林の管理について、個人任せではなく市として関与してほしい、また、農地を活用できるよう、事業化や支援策など市としてのバックアップしてほしい。
- 後継者不足や若い世代の流出により、農地の維持が難しくなっている。

(9) 工業・地場産業を振興する (4 件)

- 若い世代が就職で市外へ流出しているため、加古川に留まれるよう企業誘致を進めてほしい。
- 建築業や製造業など、地場産業の活性化や賃金の向上を図ってほしいです。

- 北部地域においても工業団地や商業地の整備を進め、地域の衰退を防いでほしい。

(10) 商業・観光を振興する (48 件)

- 加古川駅周辺について、店舗や商業施設が少なく、にぎわいが不足しているため、再整備や機能充実を図ってほしい。
- 商店街などでシャッターが目立ち、活気がないため、再開発や店舗誘致を進めてほしい。
- 市の観光 PR が分散しており、何が強みか分かりにくいいため、発信内容を整理してほしいです。
- 加古川に来て「遊べる場所がない」と感じるため、一日過ごせるような魅力づくりをしてほしいです。
- 加古川河川敷を活用したイベントや花火大会の充実など、にぎわいづくりを進めてほしいです。
- 「かつめし」などの地域資源に加え、新たな特産品や土産物を開発・発信してほしい。

(11) 機能的・効率的なまちを形成する (85 件)

- 国道2号線や加古川バイパスなどで慢性的な渋滞が発生しており、改善してほしいです。
- 加古川を挟んだ東西や南北の移動が不便であり、橋や道路の整備を進めてほしい。
- かこバスの本数やルートが不足しており、利用しにくいいため充実してほしい。
- 加古川駅と尾上の松駅をもっと行き来しやすくして欲しい。
- 駅周辺の駐輪場や駐車場が使いにくいいため整備してほしいです。
- 地域によってインフラ整備に差があり、北部・西部が取り残されていると感じます。
- 高齢者や交通弱者でも利用しやすい公共交通を整備してほしい。
- 鉄道（加古川線など）の本数が少なく、利便性が低い。
- 加古川駅は加古川の顔だから第一に様々なことにとりかかってほしい。

(12) 安全で快適な暮らしの基盤を整備する (28 件)

- 道路の幅が狭い、凸凹が多い、段差があるなど、生活道路の整備をしてほしいです。
- 横断歩道や白線が消えている、見通しが悪い箇所があるなど、安全面で不安があります。
- 側溝や用水路が危険な状態のままになっているため、改善してほしい。
- 街灯が少なく夜道が暗いため、防犯・安全面から増設してほしい。
- 水道管などインフラの老朽化が気になるため、更新を進めてほしい。
- 空き家や老朽化した建物が危険な状態で放置されているため、対策してほしいです。
- カーブミラーが設置されていない、または見えにくい箇所があり、危険を感じるため改善してほしい。

(13) 地球環境と地域の環境を保全する (7 件)

- 大気汚染への対策を強化し、空気環境を改善することで市のイメージ向上につなげてほしい。
- 山林の切り崩しや荒廃を防ぎ、森林資源を有効活用できるようにしてほしいです。
- 太陽光パネルの設置などによる自然環境への影響について、市の方針や理由を明確に説明してほしいです。

(14) 資源の循環と環境美化を推進する (9 件)

- 家庭ごみやもやすごみの収集が不便であり、集積所まで運ぶ負担や当番の負担が大きい。
- 犬や猫のフンの放置が多く、マナー向上のためステッカー配布や罰則の導入など対策を希望。
- 粗大ごみの出し方を簡素化してほしいです。
- ごみステーションやネット・柵の設置など、より効果的な回収・防止策を整備してほしい。

(15) 水と緑の空間を形成する (16 件)

- 公園の遊具やスペースは、近隣への配慮も含めて幅広い世代が活用できるようにしてほしいです。
- 浜の宮公園や権現総合公園など、地域の自然環境と調和した整備を進めてほしい。
- 河川敷の活用をもっと進め、ドッグランやキャンプ場など多世代が利用できる施設を整備してほしい。
- 河川敷の樹木や施設管理についても、景観や安全性を意識した整備をしてほしい。
- 河川敷でのイベントや花火の運営について、地域のニーズや安全面も考慮して最適化してほしい。
- 加古川河川敷の更なる有効利用をした方が良くと思います。
- 加古川駅周辺だけでなく、地域生活に根ざした自然環境や緑地の維持に重点を置いてほしい。

(16) まちづくりの進め方 (16 件)

- 市民への情報発信が不十分で、施策やイベントの進捗、予算の使い道がわかりにくいと感じる。
- 町内会活動や地域協力の負担が大きく、もっと行政との連携や負担軽減が必要だと思います。
- 市税や福祉サービスの公平性を高め、子育て世代や高齢者に偏らず、全世代が恩恵を受けられるようにしてほしいです。
- 加古川市の魅力や観光・文化資源をもっと発信してほしい。
- スマートシティや行政アプリなどの施策について、利便性や実感がわかるようにしてほしい。
- イベントや公共施設の整備については、費用対効果や市民への実利を考慮して進めてほしい。
- 近隣自治体との連携や情報共有が十分でなく、市民にとってわかりやすい広域行政の取り組みが必要だと感じる。

(17) その他 (68 件)

- 若者向けのデジタル商品券が配布されたが、高齢者には配慮がなく、不公平だと感じる。
- 市民意識調査の質問内容が抽象的で、似た内容が多く回答に困る。具体的な施策や内容を示してほしい。
- 加古川市に住んでいてよかったと感じる機会をもっと増やしてほしい。
- 市民の立場から、行政の自己満足で終わらず、実際に市民の生活にどう影響するかを意識してほしい。
- 高齢者・若者・子育て世代への施策のバランスを取り、公平に恩恵が届くようにしてほしい。
- 将来の人口減少や高齢化に対応した、長期的で持続可能な政策を示してほしい。
- 行政が市民目線で意思決定しているか、住民にわかりやすく説明してほしい。

- 駅前整備や河川敷活用など、中心部ばかりでなく、地域生活に根ざしたまちづくりも進めてほしい。

Ⅲ 総括

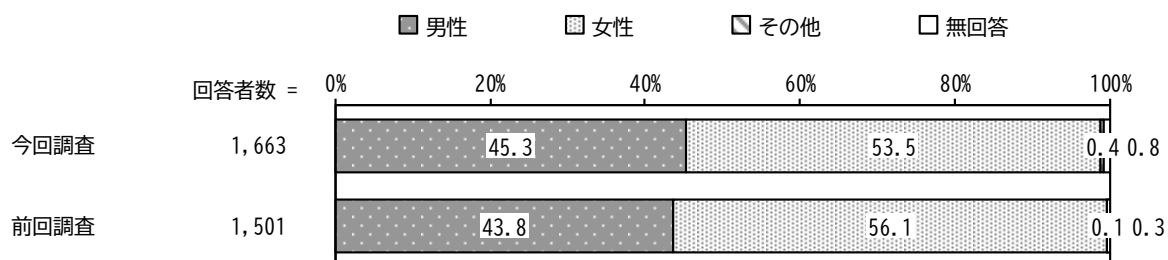
1 経年比較

アンケート結果の主な項目における前回調査との比較についてまとめます。

(1) 回答者の性別・年齢について

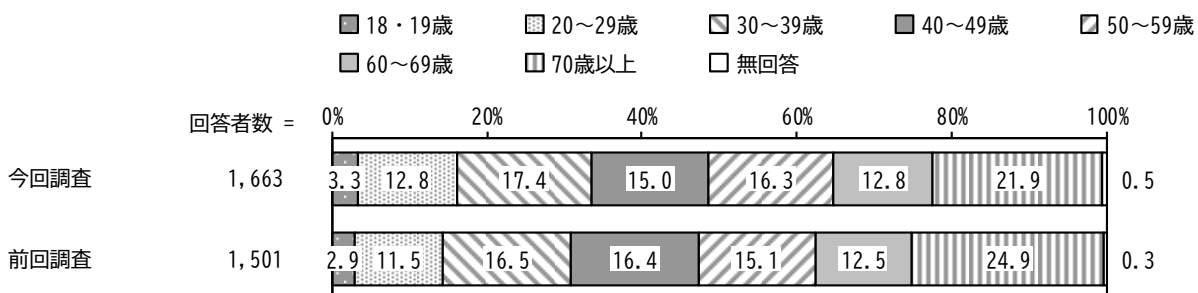
【経年比較 性別】

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【経年比較 年齢】

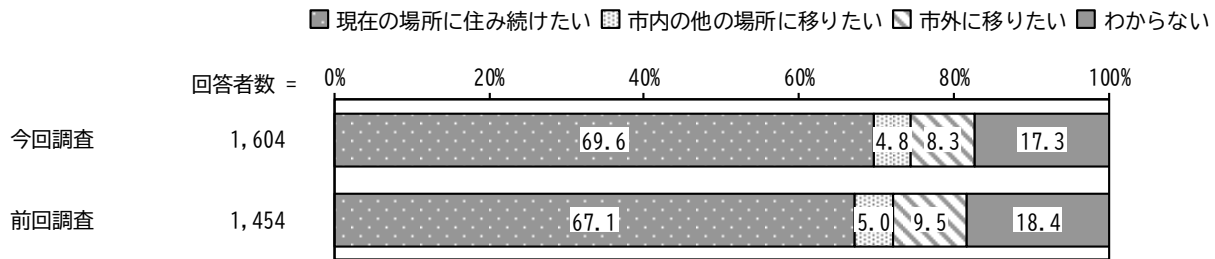
前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 定住意向について

【経年比較 定住意向】

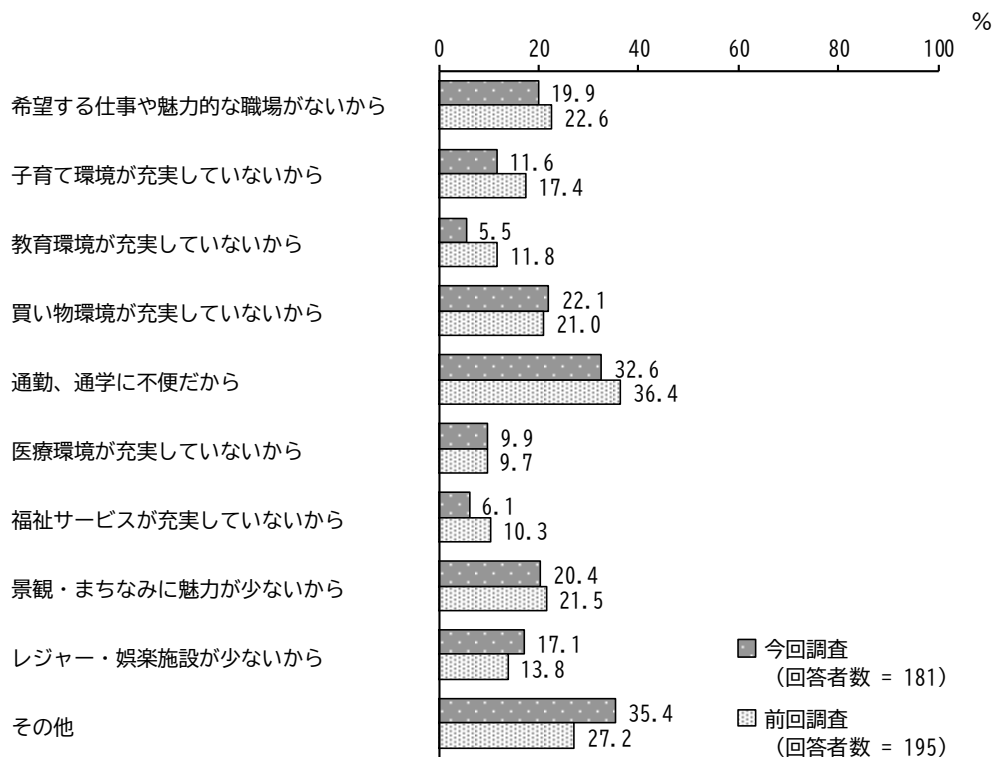
前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※「不明・無回答」を除く

【経年比較 転居したい理由】

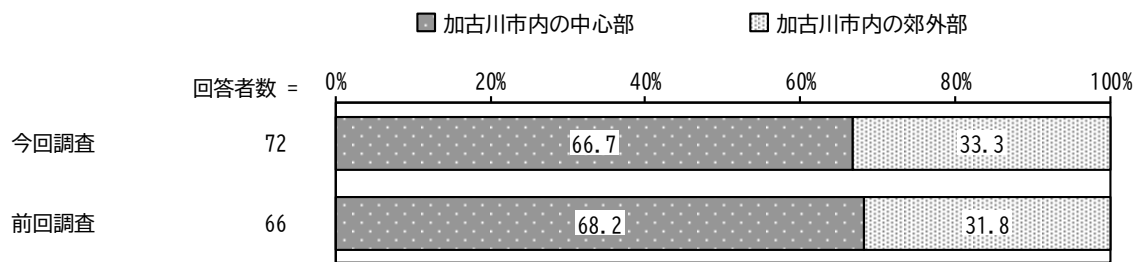
前回調査と比較すると、「子育て環境が充実していないから」「教育環境が充実していないから」の割合が減少しています。



※「不明・無回答」を除く

【経年比較 市内で希望する居住場所について】

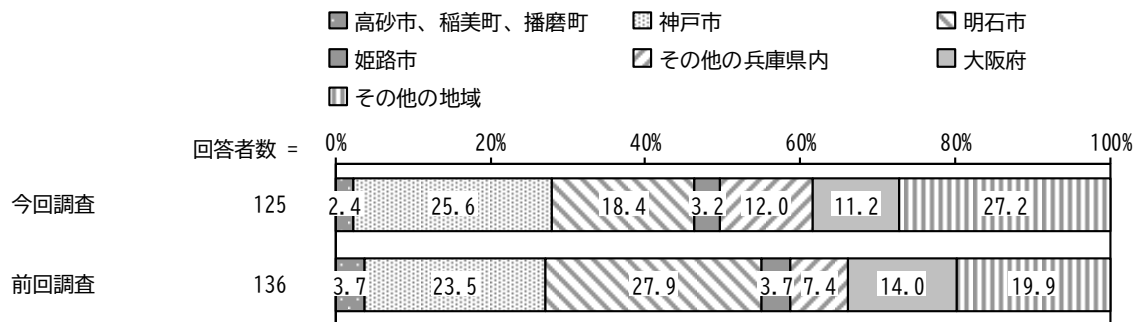
前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※「不明・無回答」を除く

【経年比較 市外で希望する居住場所】

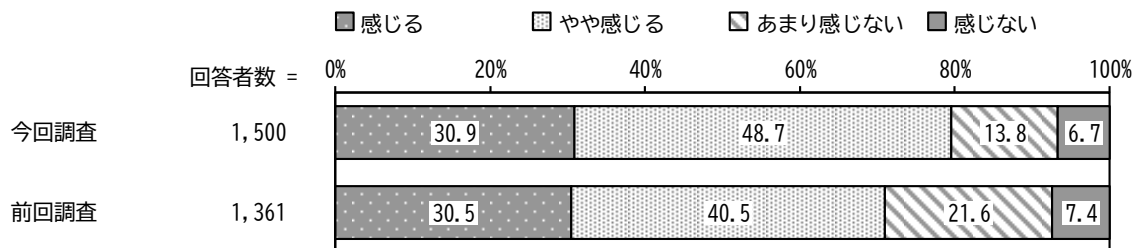
前回調査と比較すると、「その他の地域」の割合が増加しています。一方、「明石市」の割合が減少しています。



※「不明・無回答」を除く

【経年比較 このまち（加古川市）に対する誇りや愛着の程度】

前回調査と比較すると、「あまり感じない」と「感じない」を合わせた“感じない”の割合が減少しています。



※「わからない」「不明・無回答」を除く

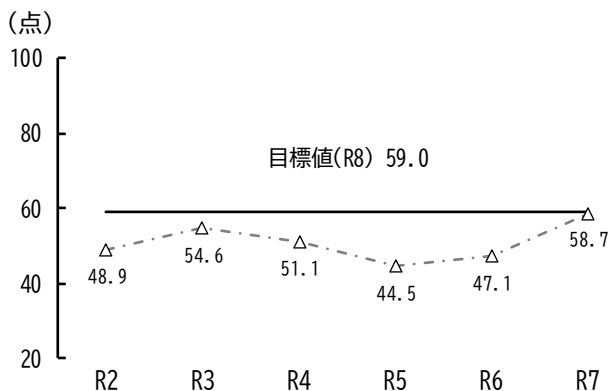
(3) 市の施策に対する満足度（「満足」＋「やや満足」）について

3-1 心豊かに暮らせるまち

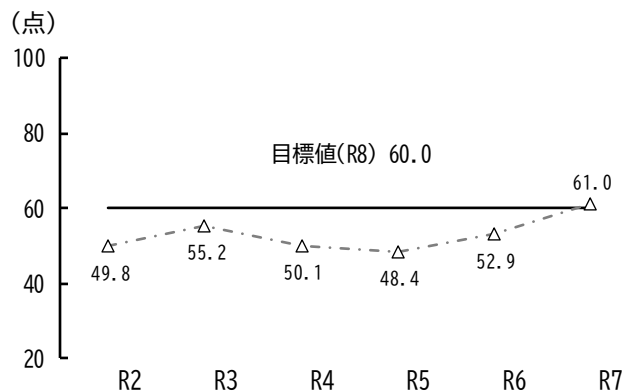
令和2年度から令和7年度にかけての満足度（「満足」＋「やや満足」）を比較すると、すべての項目で、令和6年度から令和7年度にかけて上昇傾向にあります。

「(2) 就学前教育・保育の内容」「(4) 特別支援教育の内容」「(5) 教育を支える体制や学習環境」「(6) 生涯学習の機会や環境」「(9) 文化・芸術に接する機会」「(10) 人権に関する教育や啓発」「(11) 男女共同参画の推進」については、令和7年度のスコアが目標値を上回っています。

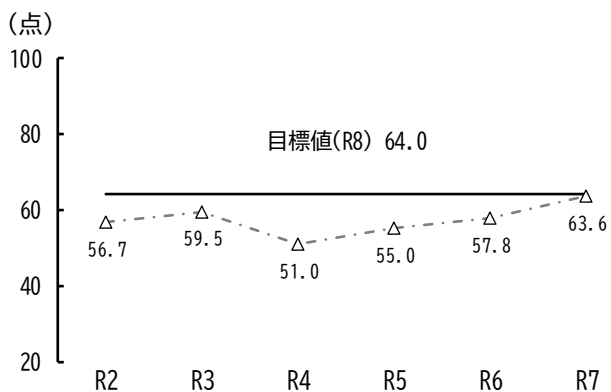
(1) 結婚・出産・子育てに関する支援



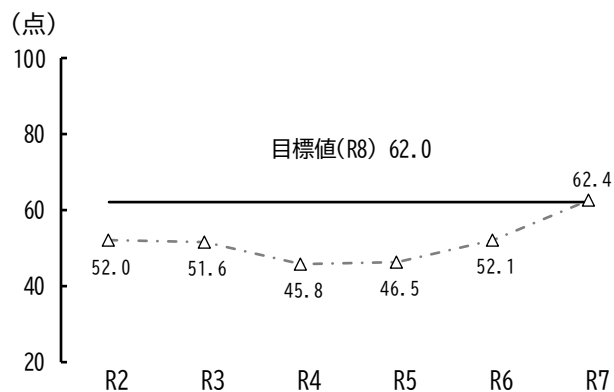
(2) 就学前教育・保育の内容



(3) 義務教育の内容

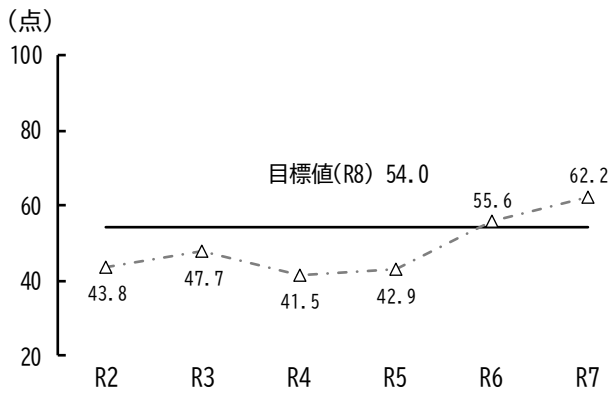


(4) 特別支援教育の内容

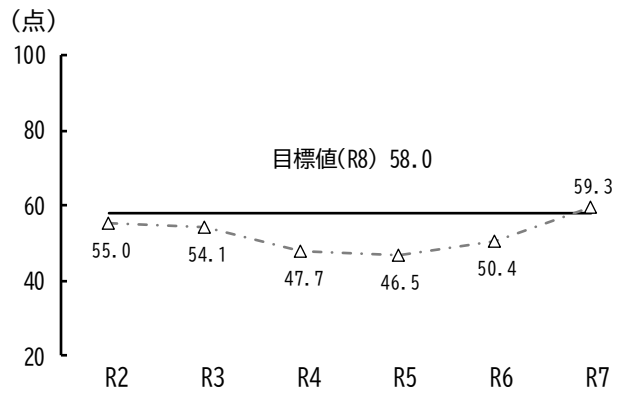


※ R2～R7の数値は令和元年度から令和7年度にかけて、毎年度実施している市民意識調査の結果による。

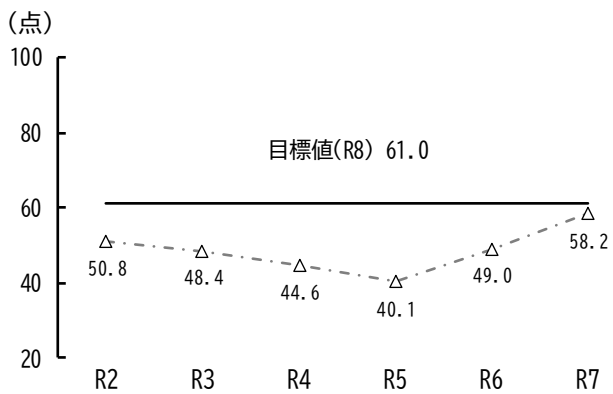
(5) 教育を支える体制や学習環境



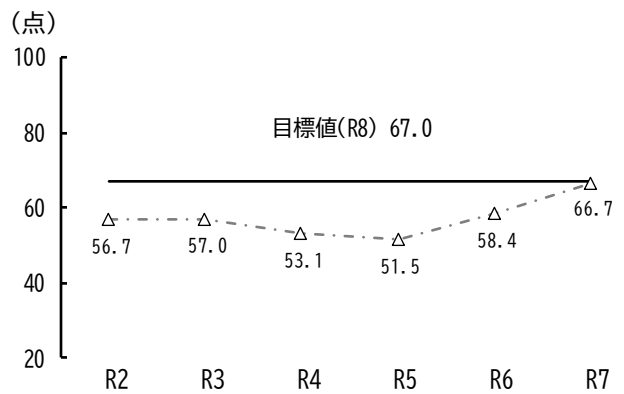
(6) 生涯学習の機会や環境



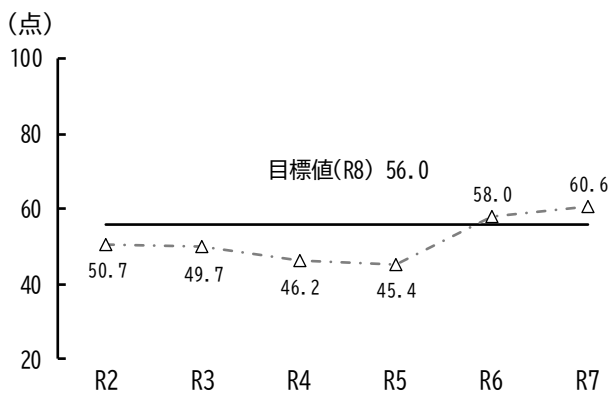
(7) 青少年の健全な育成



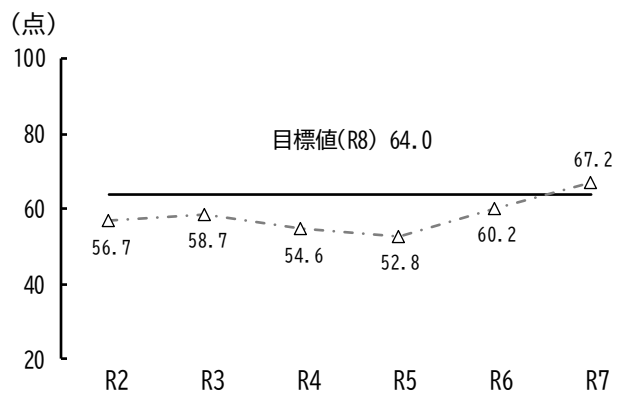
(8) スポーツ・レクリエーション活動の機会や環境



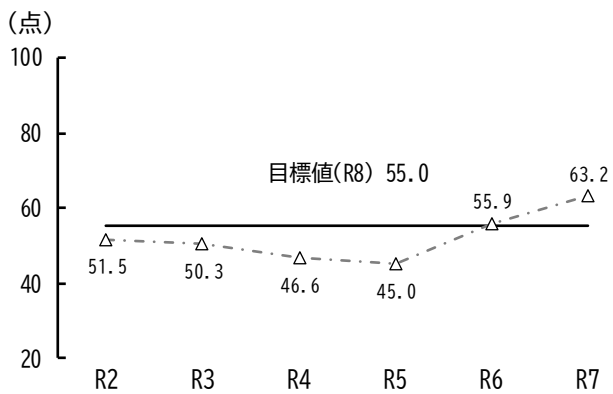
(9) 文化・芸術に接する機会



(10) 人権に関する教育や啓発



(11) 男女共同参画の推進

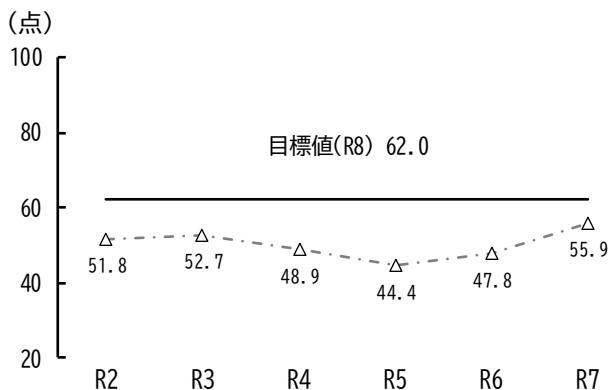


3-2 安心して暮らせるまち

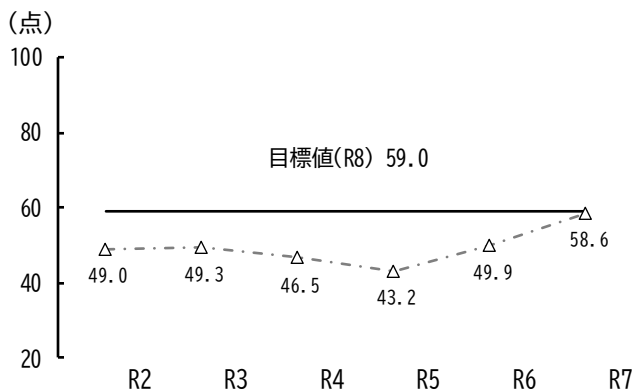
令和2年度から令和7年度にかけての満足度（「満足」＋「やや満足」）を比較すると、「(3) 高齢者に対する支援」を除くすべての項目で、令和6年度から令和7年度にかけて上昇傾向にあります。

「(7) 消防や救急・救命体制」「(10) 就業機会の確保や働き方改革の推進」については、令和7年度のスコアが目標値を上回っています。

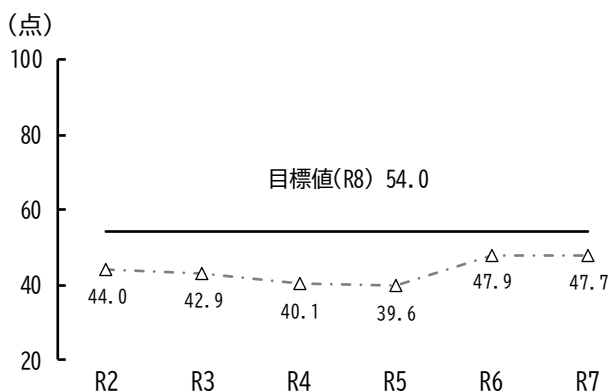
(1) 地域福祉の推進



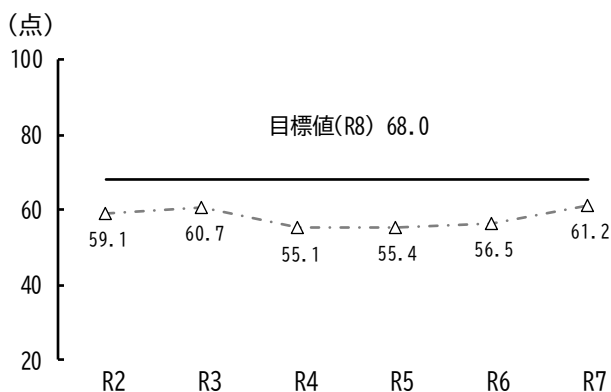
(2) 障がい者に対する支援



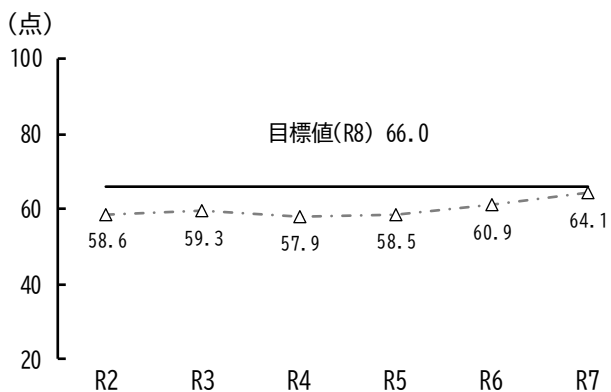
(3) 高齢者に対する支援



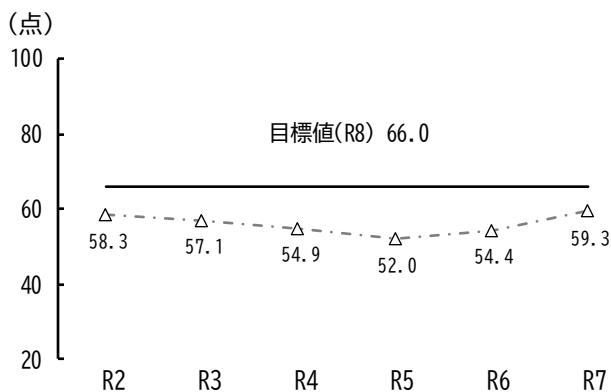
(4) 健康の保持・増進



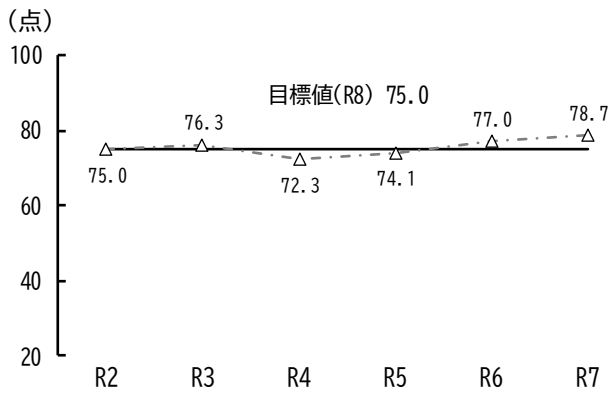
(5) 安心できる医療体制



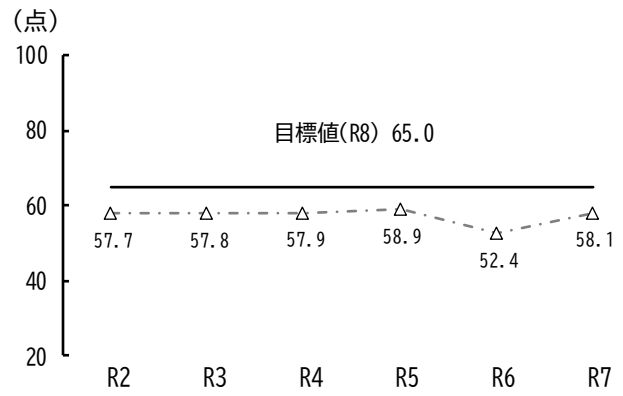
(6) 地域の防災体制



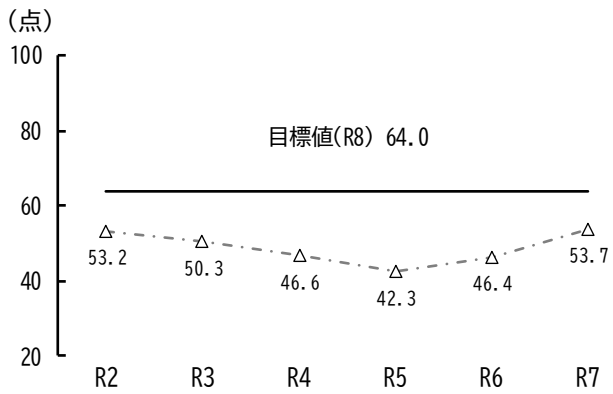
(7) 消防や救急・救命体制



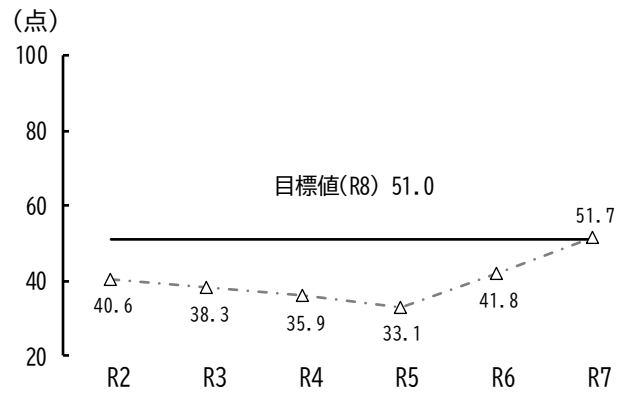
(8) 防犯・交通安全対策の推進



(9) 消費生活に関する教育や消費者保護対策



(10) 就業機会の確保や働き方改革の推進

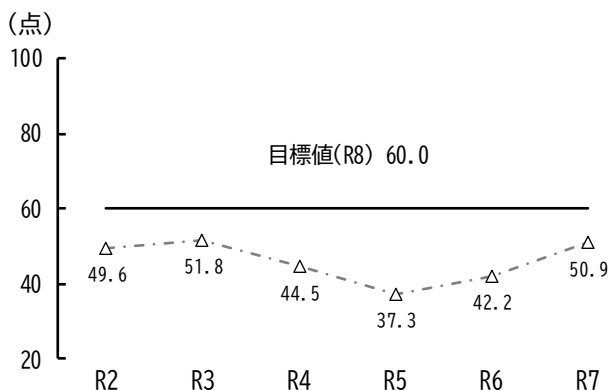


3-3 活力とにぎわいのあるまち

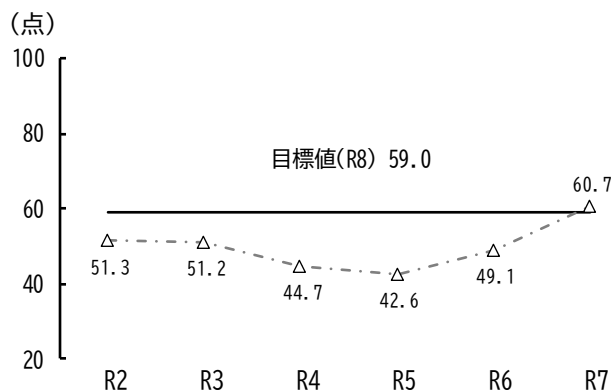
令和2年度から令和7年度にかけての満足度（「満足」＋「やや満足」）を比較すると、すべての項目で、令和6年度から令和7年度にかけて上昇傾向にあります。

「(2) 水産業の振興」「(3) 工業の振興」「(4) 地場産業の振興」については、令和7年度のスコアが目標値を上回っています。

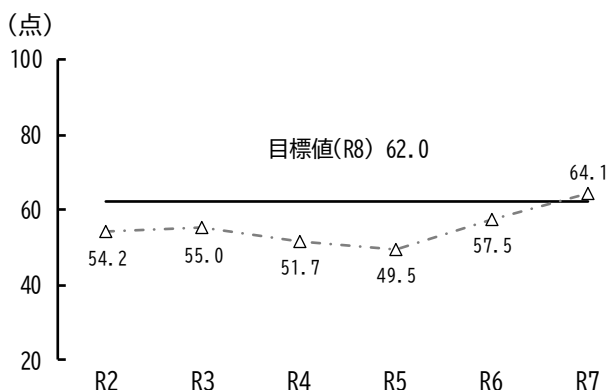
(1) 農業の振興



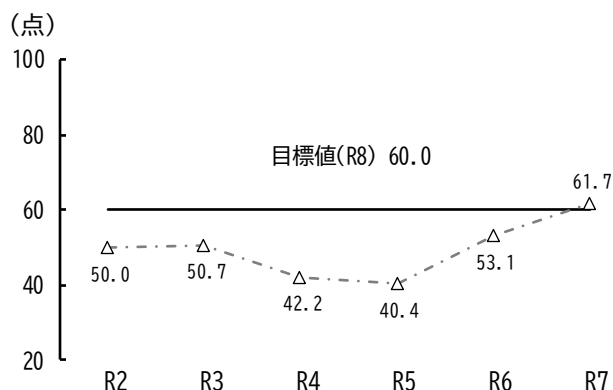
(2) 水産業の振興



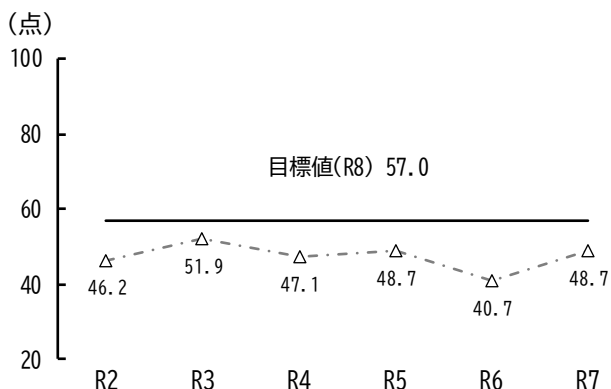
(3) 工業の振興



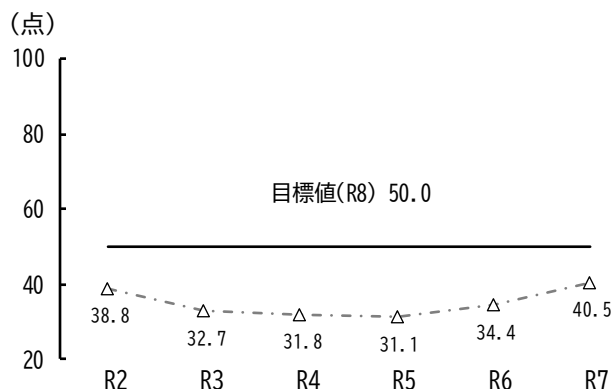
(4) 地場産業の振興



(5) 商業・サービス業の振興



(6) 観光の振興

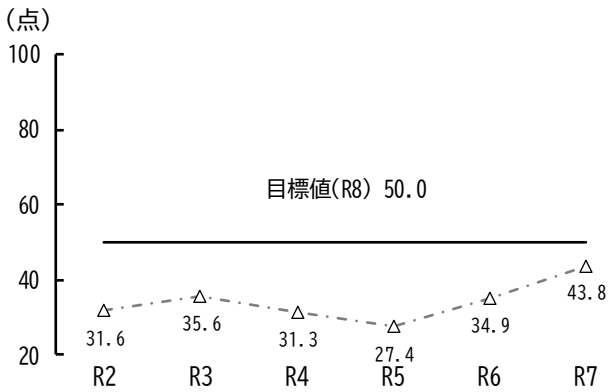


3-4 快適なまち

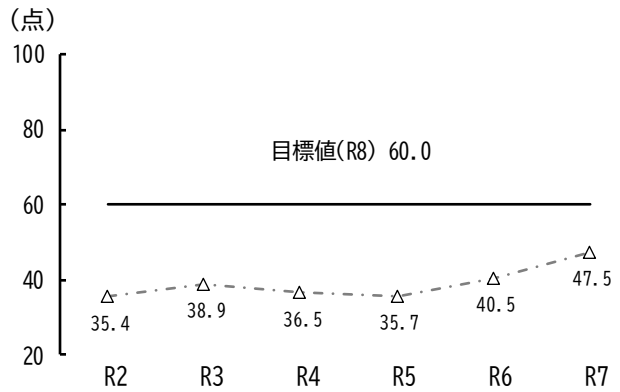
令和2年度から令和7年度にかけての満足度（「満足」＋「やや満足」）を比較すると、すべての項目で、令和6年度から令和7年度にかけて上昇傾向にあります。

「(7) 景観や、まちなみの美しさ」「(11) 水道水の供給」「(12) 下水道の整備」については、令和7年度のスコアが目標値を上回っています。

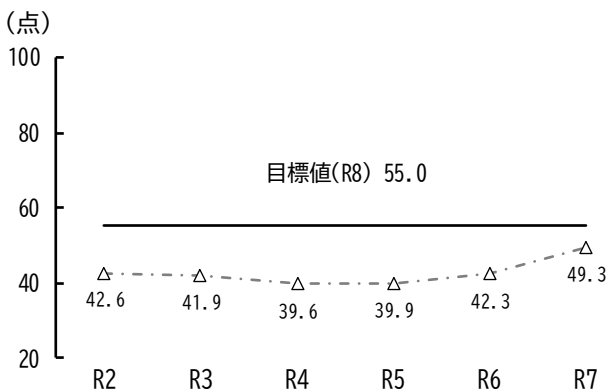
(1) 地域特性を生かした効果的な土地利用



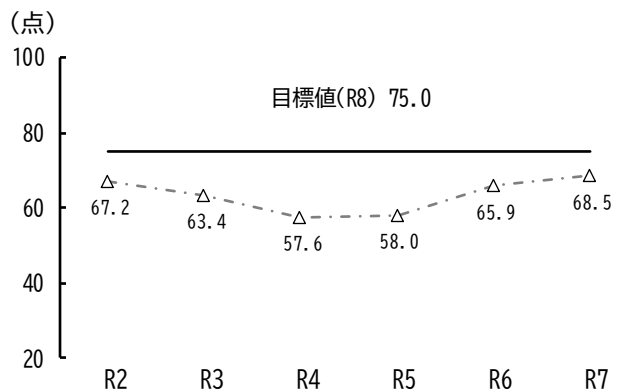
(2) 加古川駅周辺の都心としての魅力



(3) 幹線道路の整備

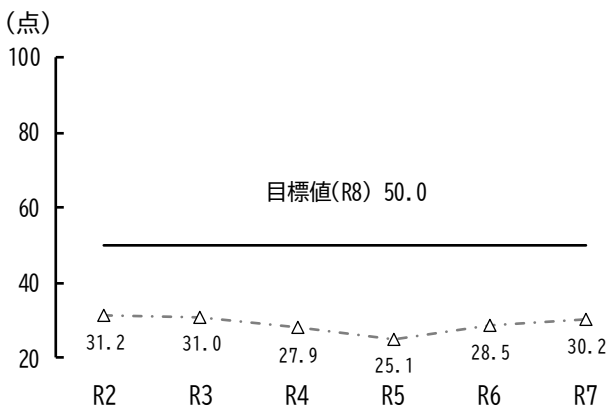


(5) 鉄道の便利さ

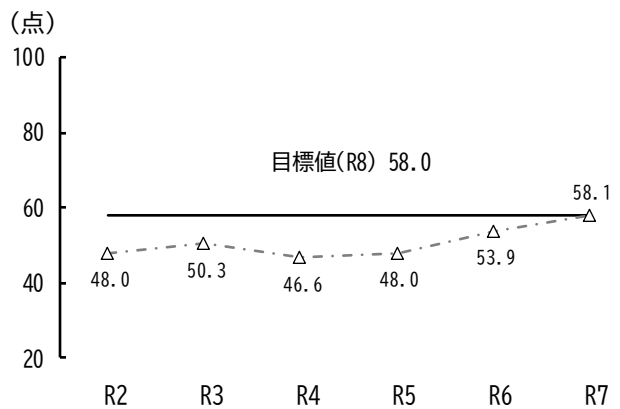


※「(4) 公共交通機能の充実」はR6から新たに設定した項目のため、R1～R5のデータ、目標値はなし

(6) バスの便利さ

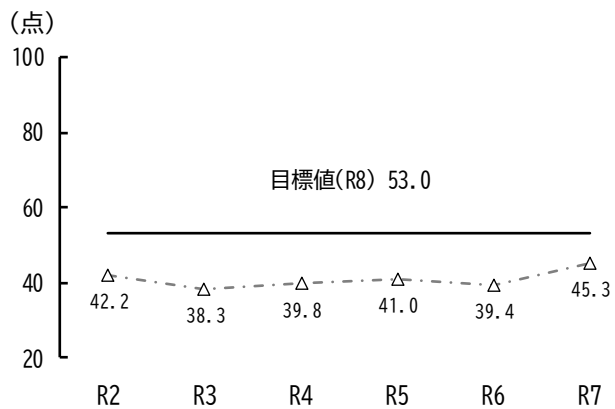


(7) 景観や、まちなみの美しさ

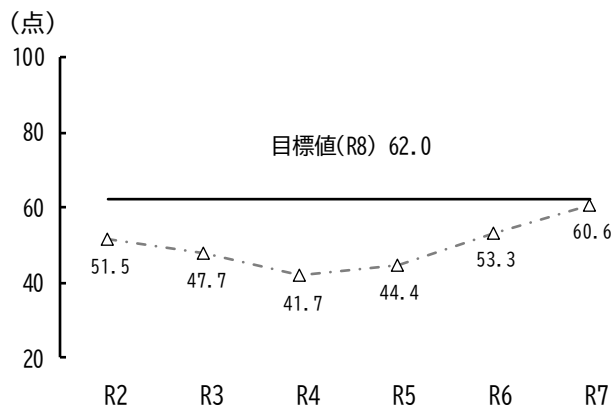


※「(8) 防災・防犯のための基盤の整備」はR6から新たに設定した項目のため、R1～R5のデータ、目標値はなし

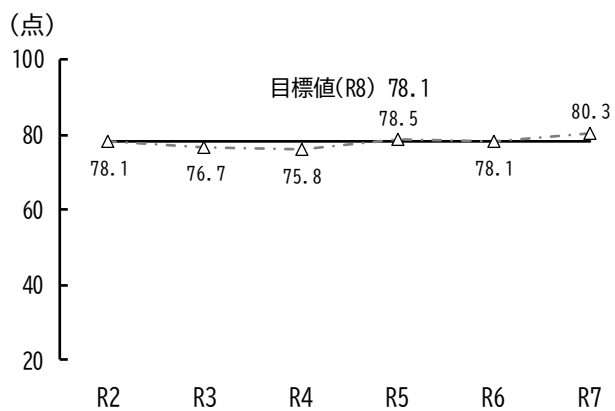
(9) 生活に身近な道路の安全性や便利さ



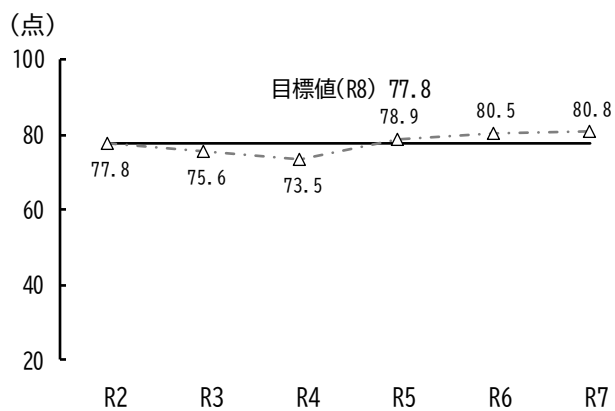
(10) 良質な住宅供給の促進



(11) 水道水の供給



(12) 下水道の整備

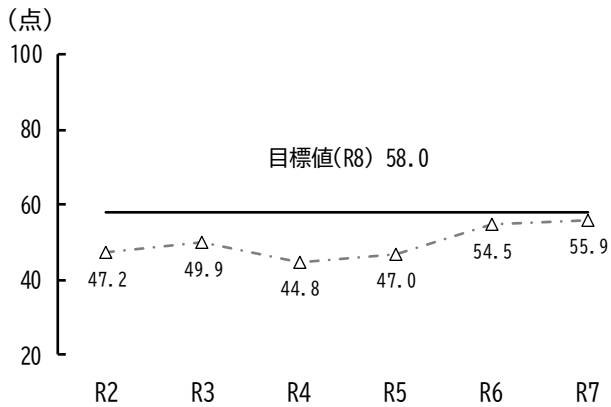


3-5 うるおいのあるまち

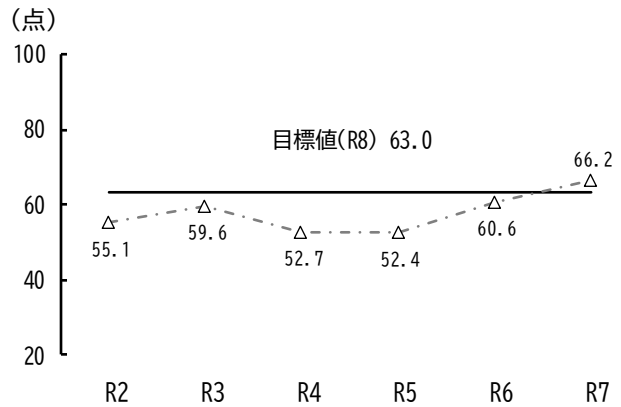
令和2年度から令和7年度にかけての満足度（「満足」＋「やや満足」）を比較すると、すべての項目で、令和6年度から令和7年度にかけて上昇傾向にあります。

「(2) 地域の自然環境の保全」「(3) ごみの減量・不用品のリサイクルの推進」「(6) まちなみの緑化や河川敷等の活用」については、令和7年度のスコアが目標値を上回っています。

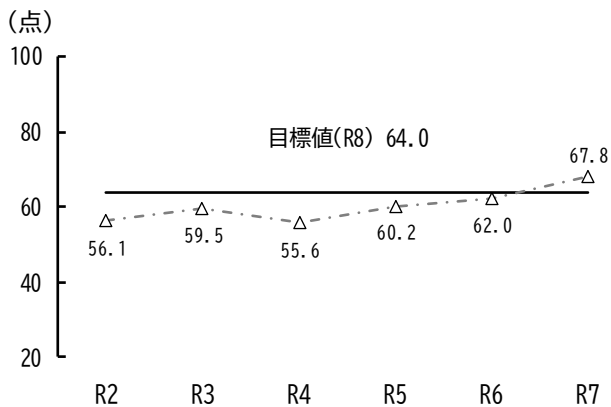
(1) 大気や水質などの環境対策



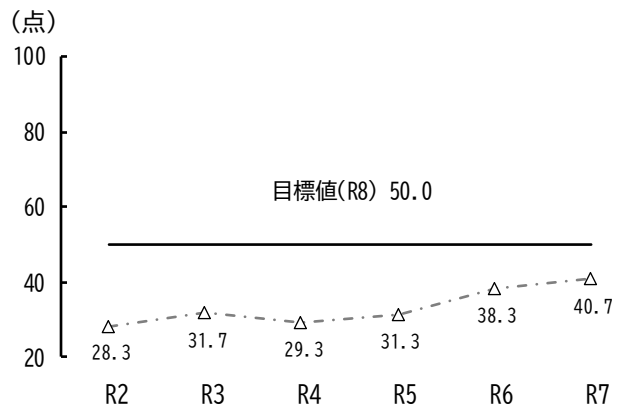
(2) 地域の自然環境の保全



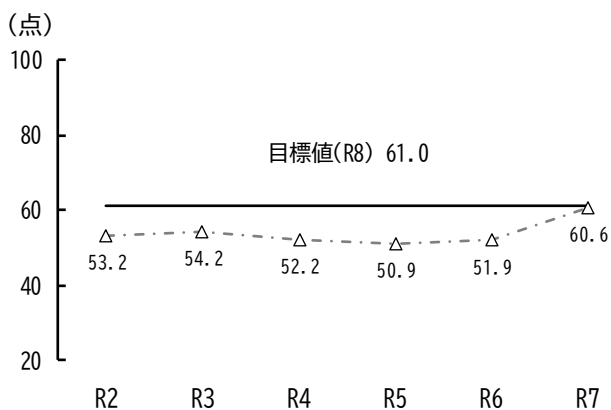
(3) ごみの減量・不用品のリサイクルの推進



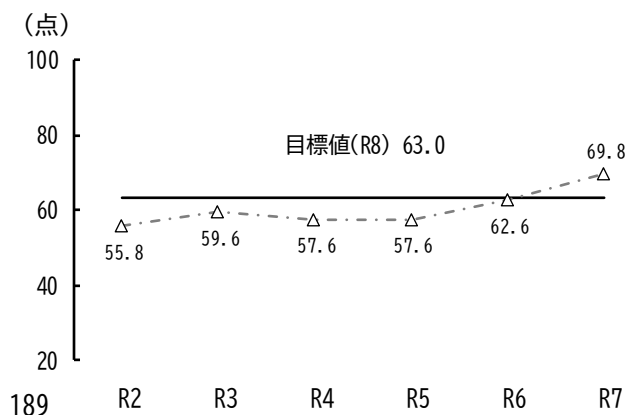
(4) ポイ捨てやペットのふん害防止



(5) 公園・緑地の整備・管理



(6) まちなみの緑化や河川敷等の活用

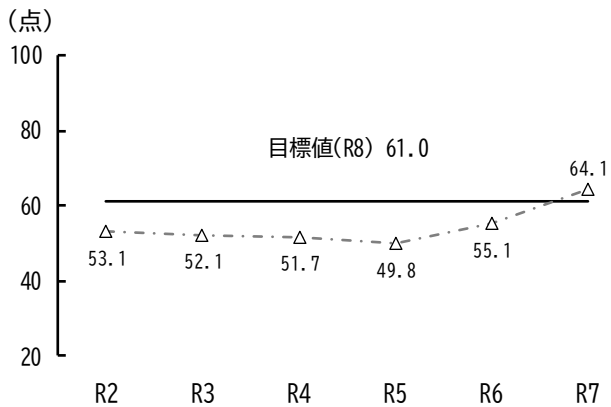


3-6 まちづくりの進め方

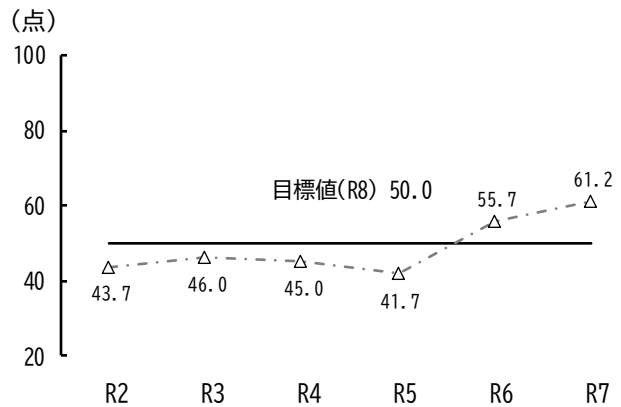
令和2年度から令和7年度にかけての満足度（「満足」＋「やや満足」）を比較すると、すべての項目で、令和6年度から令和7年度にかけて上昇傾向にあります。

いずれの項目も、令和7年度のスコアが目標値を上回っています。

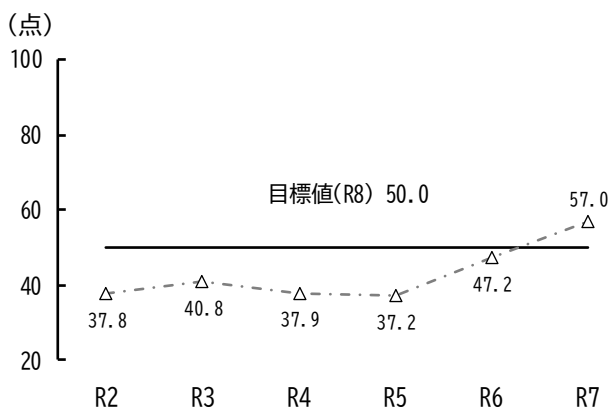
(1) 市民活動や行政との協働



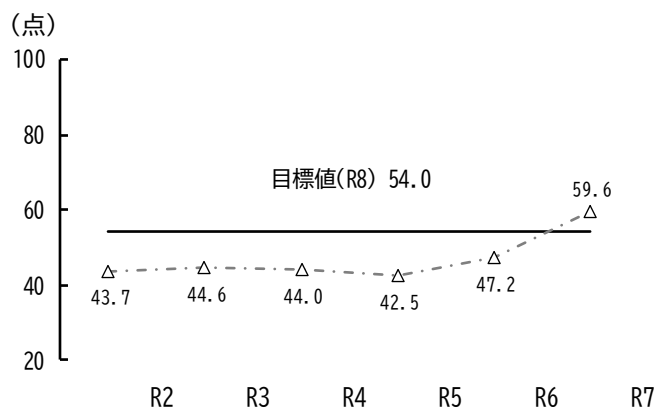
(2) シティプロモーションの推進



(3) 行政の効率化

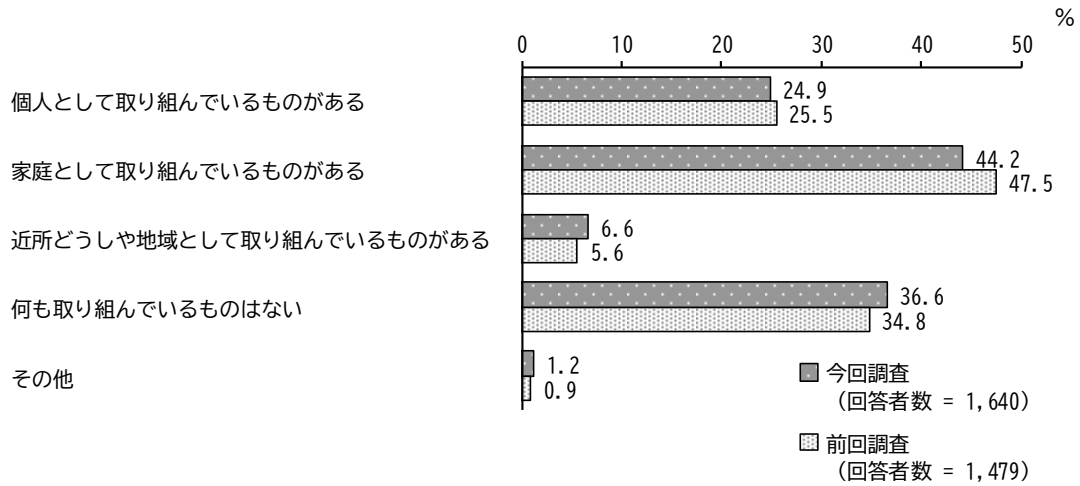


(4) 近隣都市との広域的な連携



(4) 防災対策について

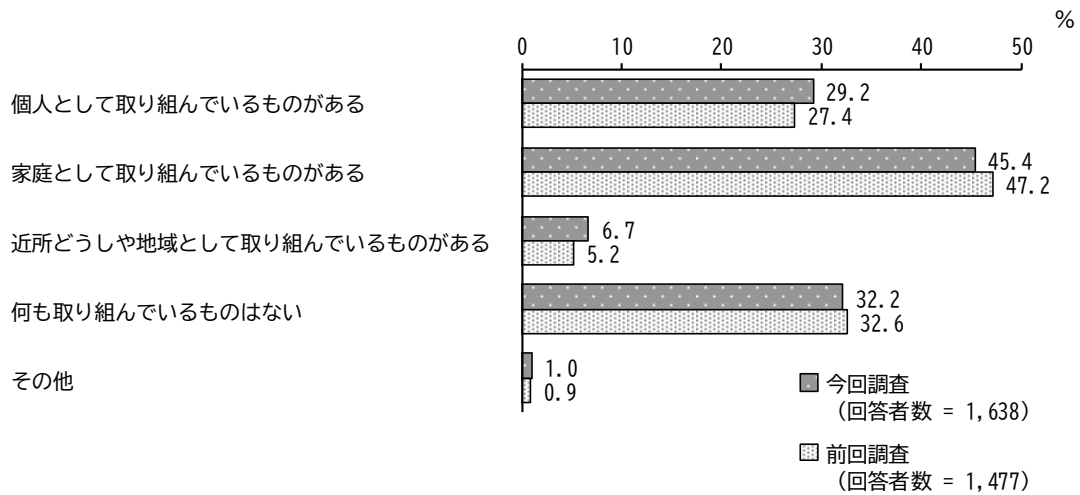
前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※「不明・無回答」を除く

(5) 防犯対策について

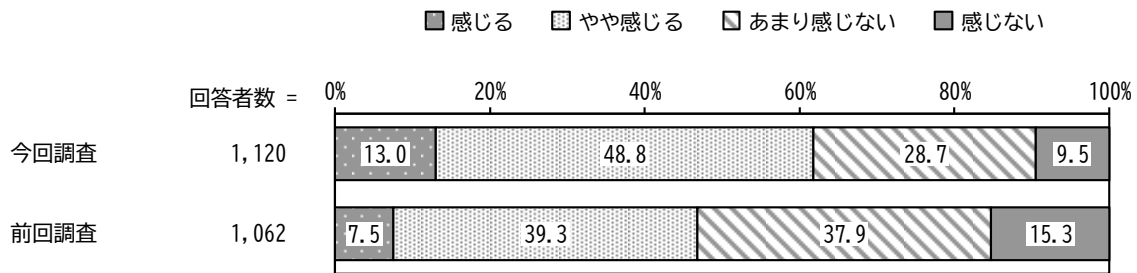
前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※「不明・無回答」を除く

(6) 加古川市が子育てしやすいまちだと感じるか

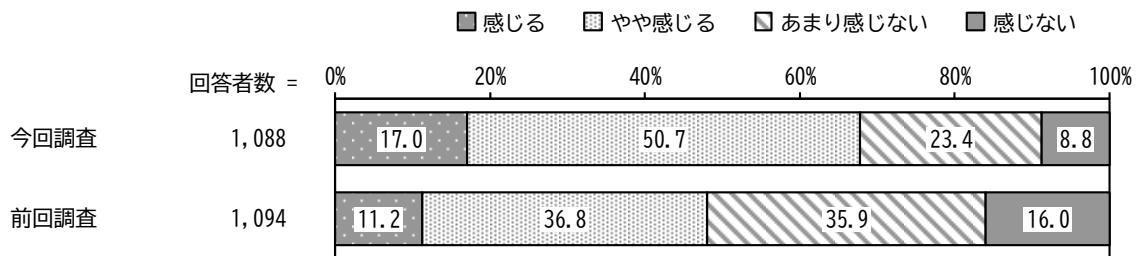
前回調査と比較すると、「感じる」「やや感じる」を合わせた“感じる”の割合が増加しています。



※「わからない」「不明・無回答」を除く

(7) 子育てと仕事の両立についての理解について

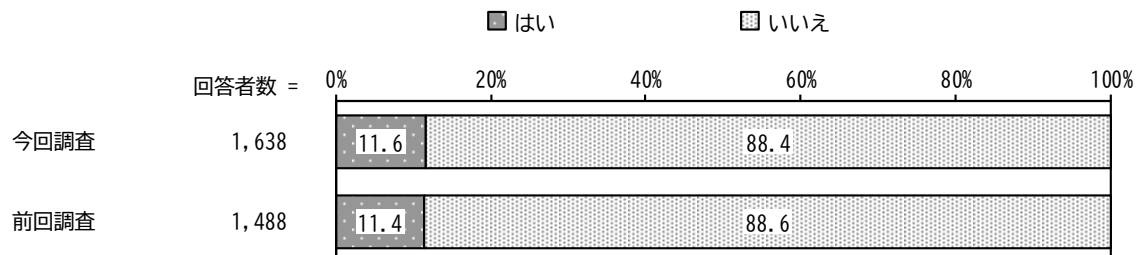
前回調査と比較すると、「感じる」「やや感じる」を合わせた“感じる”の割合が増加しています。



※「わからない」「不明・無回答」を除く

(8) 市民活動の参加状況について

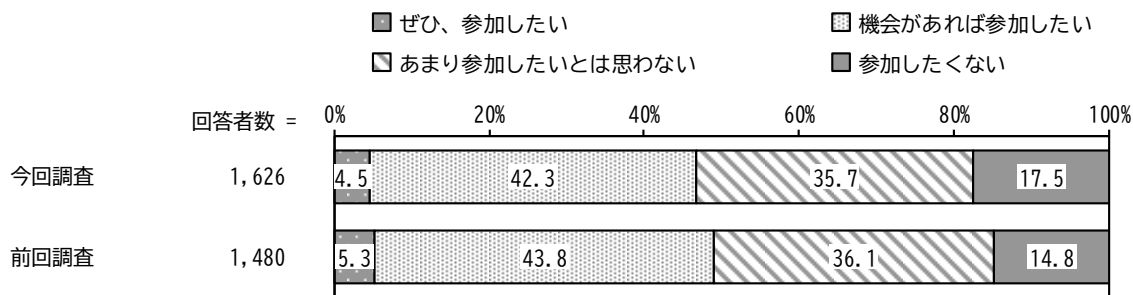
前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※「不明・無回答」を除く

(9) 市民活動の参加意向について

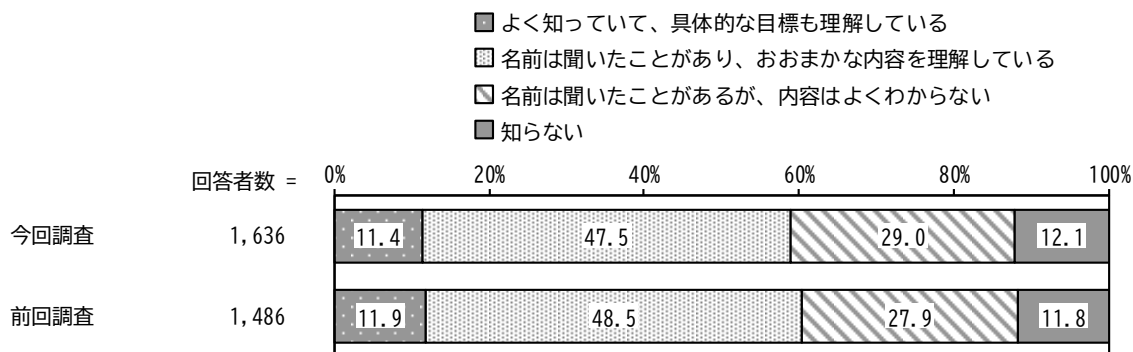
前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※「不明・無回答」を除く

(10) SDGs (エス・ディー・ジーズ) の認知度について

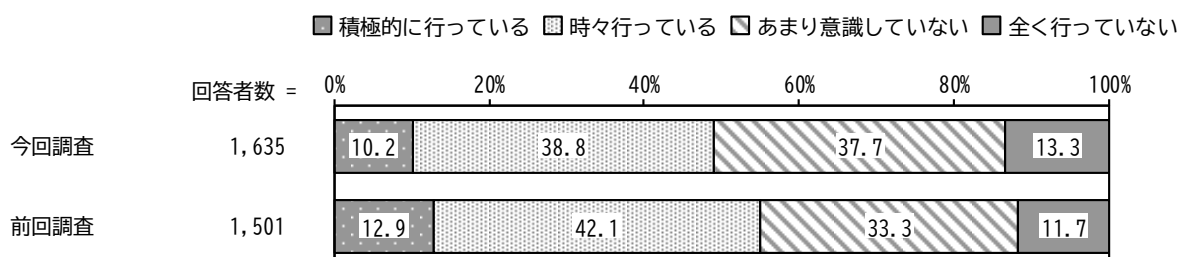
前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※「不明・無回答」を除く

(11) SDGs を意識した行動を行っているか

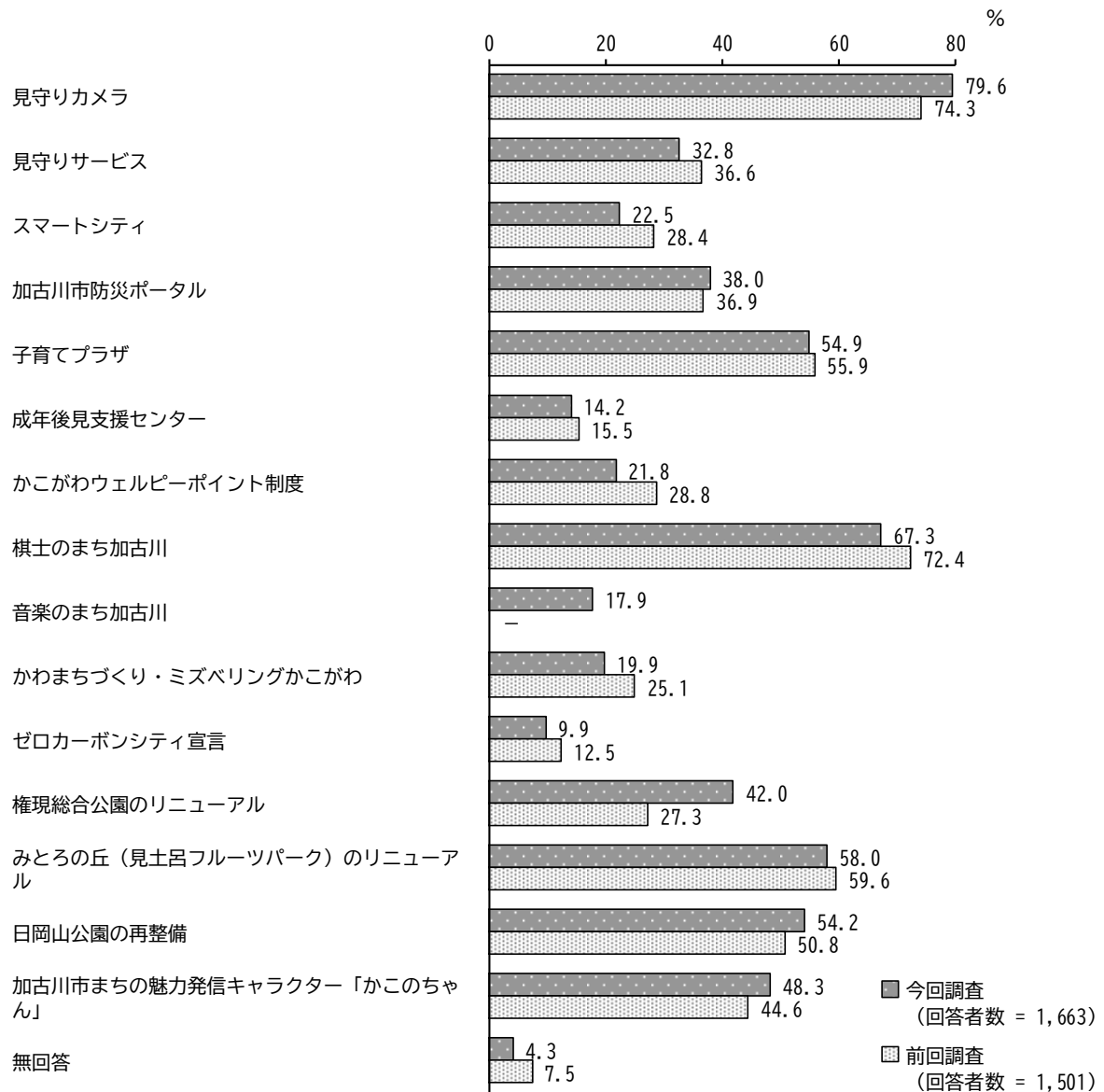
前回調査と比較すると、「積極的に行っている」「時々行っている」を合わせた“行っている”の割合が減少しています。



※「不明・無回答」を除く

(12) 加古川市の取組等の認知度について

前回調査と比較すると、「見守りカメラ」「権現総合公園のリニューアル」の割合が増加しています。一方、「スマートシティ」「かこがわウェルビーポイント制度」「棋士のまち加古川」「かわまちづくり・ミズベリングかこがわ」の割合が減少しています。



※前回調査では、「権現総合公園のリニューアル」が「権現総合公園の整備」となっており、「音楽のまち加古川」がありませんでした。

2 考察

■ 回答者について

性別については、男性が45.7%、女性が53.9%となっています。年齢については、70歳以上が22.0%と最も高くなっており、前回調査と同様の傾向となっています。家族構成については、全体の55.7%が「核家族世帯（親と子ども）」と最も高くなっています。加古川市での居住年数については、全体の約66.4%が「20年以上」と最も高くなっています。

職業については、「会社員、公務員」が39.0%、「無職（学生、専業主婦・主夫を除く）」が約15.3%となっています。通勤・通学先については、全体の31.9%が「加古川市内」となっています。普段利用する交通手段については、全体の57.2%が「自動車」となっています。

結婚の状況と子どもの有無については、「結婚している」が全体の65.9%、子どもが「いる」人が全体の約66.9%となっています。

■ 市の政策に対する満足度・重要度について

満足度のスコアをみると、「下水道の整備」、「水道水の供給」、「消防や救急・救命体制」などが上位に挙がっています。一方で、「バスの便利さ」、「観光の振興」などのスコアが低くなっています。重要度については、「安心できる医療体制」、「消防や救急・救命体制」、「水道水の供給」などが上位に挙がっています。

重要度が高いが満足度が低い項目（重要度が平均以上かつ満足度が平均以下の項目）としては、「地域福祉の推進」「農業の振興」「商業・サービス業の振興」「就業機会の確保や働き方改革の推進」「ポイ捨てやペットのふん害防止」「幹線道路の整備」「結婚・出産・子育てに関する支援」「高齢者に対する支援」「公共交通機能の充実」「大気や水質などの環境対策」「生活に身近な道路の安全性や便利さ」「防災・防犯のための基盤の整備」「防犯・交通安全対策の推進」が挙げられます。

■ 防災対策・防犯対策について

防災対策については「何も取り組んでいるものはない」が36.6%、防犯対策については「何も取り組んでいるものはない」が32.2%となっており、いずれも前回調査と比較して大きな変化はみられません。今後は、こうした層の減少に向けた取組を検討していく必要があると考えられます。

■ 子育てと仕事に関することについて

加古川市が子育てしやすいまちだと感じるかについては、“感じる”（「感じる」と「やや感じる」の合計）が61.8%、子育てと仕事の両立について理解が進んでいると思うかについては、“感じる”が67.7%となっており、いずれも前回調査と比較すると大幅に上昇しています。

一方で、子育てしやすいまちと感じない理由としては、「こどもが遊べる場所がない」が47.9%と最も高く、子育てと仕事の両立について理解が進んでいると感じない理由としては、「職場での理解や支援が不十分」が49.1%と最も高くなっています。

■ 協働のまちづくりについて

市民活動の参加状況については、参加している人が全体の11.6%となっています。

市民活動への参加意向については、“参加したい”（「ぜひ参加したい」と「機会があれば参加したい」の合計）の割合が46.8%、“参加したくない”（「参加したくない」と「あまり参加したいとは思わない」）の割合が53.2%となっています。

いずれの項目についても、前回調査と比較して大きな変化はみられません。市民活動への参加状況は低い水準にとどまっている一方で、「機会があれば参加したい」と考える人が一定数存在していることから、参加のきっかけとなる機会の創出や参加しやすい環境づくりが重要であると考えられます。

■ SDGsの取組について

SDGsの取組については、「よく知っていて、具体的な目標も理解している」が11.4%、「名前は聞いたことがあり、おおまかな内容を理解している」が47.5%となっており、内容を理解していると回答した人の合計は50%を超えています。男女ともに70歳以上では「知らない」の割合が他の性年代に比べて高い傾向がみられます。

また、SDGsを意識した行動を行っているかについては、「積極的に行っている」が10.2%、「時々行っている」が38.8%となっており、SDGsについて一定程度理解している層においては、何らかの行動につながっている傾向がうかがえます。

■ 市政などに関する情報の認知状況

市政に関する項目の認知度については、「見守りカメラ」の割合が79.6%と最も高く、次いで「棋士のまち加古川」の割合が67.3%、「みとろの丘（見土呂フルーツパーク）のリニューアル」の割合が58.0%となっています。

また、前回調査と比較すると、「権現総合公園のリニューアル」は27.3%から42.0%へ上昇している一方で、「みとろの丘（見土呂フルーツパーク）のリニューアル」や「子育てプラザ」については低下しています。リニューアル直後の事業については認知度が高まる傾向がみられる一方で、時間の経過とともに認知度が低下する可能性があることがうかがえます。

令和7年度 市民意識調査 報告書

令和8年3月

加古川市 企画部 企画広報課

〒675-8501 加古川市加古川町北在家 2000 番地

電話 (079) 427-9113